

School of Education

Waseda University

授業ガイド

教育学科編目次

I 科目登録の手引き

| | |
|-------------|---|
| 1. 科目登録の手引き | 3 |
|-------------|---|

II 卒業要件と履修方法

| | |
|---|----|
| 1. 卒業要件と履修方法 | 18 |
| ■ <u>教育学専修</u> | |
| (2019年度以降入学者) | 20 |
| (2011～2018年度入学者) | 22 |
| 【学士入学者】(2012年度以降入学者) | 24 |
| ■ <u>生涯教育学専修</u> | |
| (2020年度以降入学者) | 27 |
| (2019年度入学者) | 29 |
| (2012～2018年度入学者) | 31 |
| ■ <u>教育心理学専修</u> | |
| (2019年度以降入学者) | 35 |
| (2011～2018年度入学者) | 37 |
| 【学士入学者】(2012年度以降入学者) | 39 |
| ■ <u>初等教育学専攻</u> | |
| (2022年度以降入学者) | 42 |
| (2019年度以降入学者) | 44 |
| (2014～2018年度入学者) | 46 |
| 【学士入学者】(2016年度以降入学者) | 48 |
| 2. 外国語科目の履修方法 | 49 |
| 3. 他箇所・他機関の設置科目(オープン科目含む)の履修方法 | 54 |
| ※オープン科目の詳細(科目概要等)は、グローバルエデュケーションセンター「全学オープン科目履修ガイド」 で確認してください。 | |
| 4. 総合科学プログラム | 61 |
| 5. 教員免許状取得のための履修方法 | 65 |
| ■ 教育学部内共通 | 65 |
| ■ 教育学専修 | 72 |
| ■ 生涯教育学専修 | 78 |
| ■ 教育心理学専修 | 85 |
| ■ 初等教育学専攻 | 91 |

III 授業時間割

| | |
|-----------------|-----|
| 1. 共通科目 | 107 |
| 2. 外国語科目 | 113 |
| 3. 専門教育科目 | 126 |
| 4. 他学科他専修聴講可能科目 | 150 |

IV 付録

| | |
|-------------------|-----|
| 1. レポートの作成・提出について | 166 |
| 2. 授業欠席の取り扱いについて | 169 |
| 3. 全学休講の取り扱いについて | 171 |

I 科目登録の手引き

1. 科目登録基本情報

科目登録では、みなさん自身で履修希望の科目を申請し、みなさん自身の手で時間割を完成させることとなります。1年次には外国語科目や共通科目を履修することをお薦めします。

1-1. 本手引きについて

教育学部生の科目登録方法・ルール等が記載されております。また、科目登録に関する情報を教育学部HPにも記載しています。本書及び教育学部HPを参照の上、科目登録に臨んでください。

1-2. 用語集



「科目」に関する基本用語

| 用語 | 説明 |
|----------|--|
| 科目区分 | 科目のカリキュラム上の分類。科目区分には、共通科目、外国語科目、専門教育科目などがあり、科目区分ごとに卒業に必要な単位数が定められている。 |
| 配当年次 | 当該科目を履修可能な学年。 当該学年以上 の学年が履修可能。例えば配当年次2年の場合、2年生以上が履修可能となる。 |
| 科目名 | 科目に付いている数字（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等）までが科目名。また、副題（サブタイトル）が付いている場合もある。例「英語上級コミュニケーションⅠ」、「法学Ⅰ（自由とは何か）」 |
| クラス | 「科目名」のあとに続く、「A」や「B」などの英字。科目には複数クラス開講されているものがある。他のクラスを受講しても単位は修得できませんので、必ず登録決定となったクラスを受講してください。また、試験やレポートでは必ずクラス名記入してください。例「英語初級コンプリヘンション(文化)ⅠA」「英語初級コンプリヘンション(文化)ⅠB」は同一科目のため、重複して履修することはできません。 |
| 定員 | 授業の特性や教室の定員を考慮し定められた受講可能な人数。定員を超えた履修希望があった場合、抽選により履修者を決定する。 |
| 学期 | 年間を通して授業を行う科目は「通年」、春学期のみの半期科目は「春学期」、秋学期のみの科目は「秋学期」と表示される。その他、クォーター期間開講される科目もある（春クォーター科目など）。担当教員欄に「春学期」「秋学期」の表示がある科目は、学期により担当教員が異なる。 |
| 必修科目 | 卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目。 |
| 随意科目 | 卒業に必要な単位として扱わず、年間履修制限単位数にも含まない科目。主に他箇所・他機関設置科目（授業ガイド「3. 他箇所・他機関の設置科目（オープン科目含む）の履修方法」を参照）や、教職等の資格関連科目（授業ガイド「POINT5 教職課程科目・資格関連科目の取扱い」を参照）が該当する。 |
| 全学オープン科目 | グローバルエデュケーションセンター、留学センター設置科目の他、各学部があらかじめ他学部生に対しても開放している科目。1次登録にて申請可能。詳細は全学オープン科目履修ガイドを参照のこと。 |
| 他学部提供科目 | 各学部において、2次登録の結果定員に余裕がある場合に他学部生に対しても開放する科目。他学部提供科目登録（3次登録）にて申請することが可能。対象科目は各学部HPを参照のこと。 |



「科目登録」に関する基本用語

| 用語 | 説明 |
|-----------|--|
| 履修学年 | 履修上の学年を指す。履修学年以下の学年に配当された科目を科目登録する。休学や私費留学の期間は、履修学年としてカウントしないので注意。在学留学の場合はカウントされる。 |
| 前提科目 | 特定の科目を履修する前に修得しておかなければならない科目。 |
| 年間履修制限単位数 | 1年間に登録可能な単位数の上限。ただし、随意科目として履修する科目の単位は含めない。 |
| 抽選 | 履修希望者数が科目の定員を超えた場合に行われる。抽選に外れた科目は登録されない。 |
| 登録エラー | 不正な科目申請の場合には、申請をしても登録が不許可となる。 |
| 余裕定員表 | 各科目の残り定員数の一覧表。各登録機会の結果発表に合わせて各学部HPに公開。 |
| 再履修 | 過去に履修して不合格であった科目を再び履修すること。 |
| 聴講料 | 科目を履修するために別途聴講料になる場合がある。教育学部の対象科目は後述。その他、グローバルエデュケーションセンター等の科目でも必要となる場合がある。 |

1-3. 入学前にやっておくこと

- Waseda ID の取得 **【取得期間：3月27日10:00～】**

入学手続き類と併せて送付した「MyWaseda 利用者控」の初期ログイン ID と初期パスワードを用いてインターネットに接続されたパソコンから MyWaseda にログインし、Waseda ID を取得します。



科目登録には Waseda ID が必要です。科目登録間際に慌てないように、早めに取得してください。

- 新入生行事への参加 **【開催日：3月下旬（詳細は入学手続き書類を確認してください）】**

学科専攻専修別ガイダンス等、各行事に参加してください。

- 新入生コンピュータセキュリティセミナー受講および情報倫理テスト受験**【4月1日(土)～4月中旬】**
セミナー未受講もしくはテスト不合格である者に対して、学部より指導を行うことがあります。

1-4. 科目登録で参照する冊子・サイト

- 入学から卒業まで利用する冊子・サイト

■ 学部要項

入学から卒業までの学生生活に必要な情報を収録しています。カリキュラムや卒業要件は入学年度に応じて適用しますので、「授業ガイド」とあわせて参照してください。

- 当該年度利用する冊子・サイト

■ 授業ガイド

科目登録、卒業要件、時間割、履修上の注意点、教員免許状取得のための履修方法等を収録しています。**教育学部HPの科目登録ページと合わせて参照してください。**

- 最新情報がUPされている Web サイト

■ 教育学部 HP > 在学生の方へ > 科目登録

本手引きに記載していない、より詳細な科目登録情報を掲載しています。「**余裕定員表**」等の最新情報、**各冊子の変更情報**を掲載しますので、**科目登録時には必ず確認してください。**



[<https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/>]

■ 英語以外の外国語を学ぼう(選択のための手引き)

教育学部 HP に掲載しています。入学時に外国語を選択するにあたってのヒント、履修方法の詳細が掲載されています。

■ 教職課程履修の手引き

教員免許状、各種資格を取得するための履修方法、教職課程科目の授業概要等が収録されています。

■ 早稲田大学 HP > データ集 > Web シラバス

各科目の授業概要や授業計画、教科書等はこちらで確認してください。また、授業実施教室もこちらで確認可能です。



[<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php>]

1-5. 科目登録スケジュールについて

教育学部HP > 在学生の方へ > 科目登録 > 日程に科目登録関連スケジュールを記載しています。

- 科目登録期間中に科目登録ができない場合

やむを得ない事由により申請できない場合は、代理人申請を認めています。

①委任状（所定用紙は教育学部 HP からダウンロード。教育学部事務所でも配布。）、②本人の学生証コピー、③代理人の身分証明書の3点を用意のうえ手続きを委任してください。

ただし、**代理人に起因する登録ミスが生じても、その訂正は認めません。**

1-6. 科目登録のルール

本書に記載しているルール以外にも、履修にあたっての前提条件等のルールがあります。必ず教育学部HPの科目登録ページを確認してください。

● 年間履修制限単位数

「年間履修制限単位数」を超過した登録はできません。超過して申請した場合、教育学部設置科目→他箇所設置科目の順に**無作為に登録不可**となります。**超過して申請しないよう注意してください。**



科目申請時には、制限単位数を超えた場合でもワーニング表示のみで申請が受け付けられますが、結果発表時には**超過した単位数が無作為に登録不可**となります。必ず、年間履修制限単位数内で申請してください。年間履修制限単位には不合格科目の単位も含まれます。

| 学科専攻専修 | 年間履修制限単位数 |
|--|----------------------|
| 教育学科（教育学/生涯教育学/教育心理学）、国語国文学科、英語英文学科、社会科、数学科、複合文化学科 | 40単位 (学士入学者は46単位) |
| 教育学科（初等教育学専攻）、理学科 | 44単位 (学士入学者は50単位) |

年間登録単位数の上限の目安



卒業所定単位数に算入しない科目については、年間履修制限単位数を超えて登録することができますが、本学では、卒業必要単位数に算入する科目のみならず、随意科目等、卒業必要単位数に算入しない科目を含めて、1年間に登録できる単位数の目安を50単位としています。ただし、本学部では、夏季・冬季・春季集中科目を除外して1年間の登録単位数を算出することとしています。

● 締切時間の厳守

PCやネットワーク機器等の不具合も含め、いかなる理由でも期間外の申請は一切認めません。

● 申請情報確認メール

Web履修申請では、受け付けた申請内容を翌日に「申請情報確認メール」として送信します。このメールは、**自身の申請内容を証明するものであり、各自保管してください。**締切前日までに申請すれば、申請期間内に正しく申請できていることを本メールにて確認できます。「自身では申請（・取消）をしたはずなのに反映されていない」などの問い合わせの際には本メールの提出を求めることがあります。

● 抽選とその優先順位

履修希望者が定員を超えた場合、抽選が実施されます。抽選の優先順位は、原則として下表のとおりです。ただし、一部科目では諸事情を勘案し、例外的な扱いをするものもあります。

■ 優先順位表（数字が小さいほど優先順位が高い）

| 学年 | 共通科目 | 外国語・専門必修科目 | 専門選択・教職課程科目 |
|-----|------|----------------------|-------------|
| 1年生 | 1 | 1：配当年次の学年 | 5 |
| 2年生 | 2 | 2：上級学年 | 4 |
| 3年生 | 5 | (例. 2年配当科目の場合、2年生>延長 | 3 |
| 4年生 | 4 | 生>4年生>3年生>1年生の順に優先さ | 2 |
| 延長生 | 3 | れる) | 1 |

登録エラー

下表に示すような申請をした場合、**登録エラーとなり、科目が登録されません**。登録に関する注意事項、特定の科目に関する注意事項を確認し、エラーが発生しないように注意してください。

| エラー名称 | エラーとなる事例 | 結果 | | | | | | | | |
|------------------|--|--|----|-----------------|-----|------------------|-----|--------|-----|----------|
| 登録制限単位数オーバーエラー | <ul style="list-style-type: none"> 年間履修制限単位数を超えて申請 教職課程「教職に関する科目」を21単位以上申請（2018年度以前入学者） 教職課程「教育の基礎的理解に関する科目」等、「各教科の指導法」を21単位以上申請（2019年度以降入学者） | 申請時にはワーニングとして申請が受け付けられるが、発表時には制限単位数以下になるまで、 教育学部設置科目→他箇所設置科目の順 に無作為に登録不可となる | | | | | | | | |
| 前提条件エラー | 前提条件のある科目について、指定された条件を満たさず申請した場合 | 申請エラーとなる | | | | | | | | |
| 曜日・時限重複エラー | 申請科目の曜日・時限が他の申請科目（または自動登録科目）と重複した場合 ※フルオンデマンド科目は対象外です | いずれか1科目が無作為に登録され、それ以外はエラーとなる。 | | | | | | | | |
| 遠距離エラー | 異なるキャンパス間の移動が時間的に不可能な場合。例えば1限に所沢キャンパス、2限に早稲田キャンパスの科目を申請した場合など ※キャンパス間の移動に必要な時間 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>早稲田⇄戸山、早稲田⇄西早稲田</td> <td>9分</td> </tr> <tr> <td>早稲田⇄先端生命医科学センター</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>早稲田⇄東伏見、早稲田⇄上石神井</td> <td>50分</td> </tr> <tr> <td>早稲田⇄所沢</td> <td>90分</td> </tr> </table> ※フルオンデマンド、全回リアルタイム配信科目は対象外です | 早稲田⇄戸山、早稲田⇄西早稲田 | 9分 | 早稲田⇄先端生命医科学センター | 10分 | 早稲田⇄東伏見、早稲田⇄上石神井 | 50分 | 早稲田⇄所沢 | 90分 | 申請エラーとなる |
| 早稲田⇄戸山、早稲田⇄西早稲田 | 9分 | | | | | | | | | |
| 早稲田⇄先端生命医科学センター | 10分 | | | | | | | | | |
| 早稲田⇄東伏見、早稲田⇄上石神井 | 50分 | | | | | | | | | |
| 早稲田⇄所沢 | 90分 | | | | | | | | | |
| 既得済・登録済エラー | <ul style="list-style-type: none"> 既に単位修得済みの科目を申請した場合 すでに登録済みの科目を申請した場合 | 申請エラーとなる | | | | | | | | |
| 配当年次エラー | 例えば、1年生が2年生以上に配当された科目を申請した場合 | 申請エラーとなる | | | | | | | | |



「登録制限単位数オーバーエラー」に注意しましょう！

算入として登録可能なのは年間 40 or 44 単位、教職課程科目「教職に関する科目」(2018 年度以前入学者)・「教育の基礎的理解に関する科目」等/「各教科の指導法」(2019 年度以降入学者)は年間 20 単位までです。
※履修制限単位数はあくまで「年間」であることに注意してください。春学期登録の段階で制限単位数上限まで登録すると、秋学期登録では秋学期科目を全く登録できません。



「教育の基礎的理解に関する科目」等とは、「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」を指します。

1-7. 分からないことがあったら

問い合わせる前に教育学部HPの科目登録ページを確認してください。本手引きに記載していない詳細な情報を記載しています。また、過去に問い合わせのあった実績に基づきFAQのページも作成しています。

■ FAQ ページ : <https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/faq/>

右記のQRコードからもアクセス可能です。



科目登録について

MyWaseda「★成績照会・科目登録専用メニュー」上の「Web 科目登録の問い合わせ」フォームより問合せを行ってください。

Waseda ID について(パスワード再発行)

早稲田ポータルオフィス(7号館1階)に問い合わせてください。
【開室時間】 ※詳細はHPを参照してください。

2. 科目登録のポイント

POINT1 自動登録

下表の科目は自動的に科目が登録されます。自動登録結果発表日以降、1次登録期間までに各自でWeb履修申請画面にアクセスし、登録状況を確認してください。在学生には自動登録結果通知日にWasedaメールで通知します。また新入生には、教育学部HPに掲載している動画コンテンツでWeb履修申請画面へのアクセス方法等を説明します。

| 対象科目 | 対象年次 | 注意点 |
|--------------------------|----------|--|
| 専門必修科目 | 各科目の配当年次 | 以下の科目は予備登録を経て、登録クラスや指導教員を決定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・3年演習（ゼミ）、4年演習（ゼミ）/卒業論文、卒業研究 ・地理歴史専修：「歴史学/地理学基礎演習」 ・複合文化学科：新2年次外国語専門科目 通常、予備登録は開講学期の前学期に実施します。WasedaメールやMyWasedaのお知らせをよく確認ください。 地球科学専修「*基礎演習」（2単位）、複合文化学科「複合文化学演習Ⅱ」（2単位）は春学期に予備登録を行い、秋学期に自動登録します。年間履修制限単位数に注意してください。 |
| 外国語Aの基礎 | 1年次 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国学生は自動登録されません。日本語教育研究センターの日本語科目を各自でWeb申請してください。 ・朝鮮語は「朝鮮語（入門）」、「朝鮮語（初級）」が自動登録されます。 |
| 基礎充実英語1 | 1年次 | 入学時のWeTECスコアが基礎充実レベルと判定された場合に自動登録されます。 |
| 地理学研究法1,2,3,4 | 2年次以上 | 前年度秋学期に行う予備登録の結果をもとに、自動登録されます。 |
| 再履修となった卒業論文、卒業研究、3ゼミ、4ゼミ | | <ul style="list-style-type: none"> ・教育心理学専修、初等教育学専攻は自動登録されません。再履修を希望する場合、各自でWeb履修申請を行ってください |

※再履修等でWeb履修申請が必要な専門必修科目や外国語Aの基礎において、抽選の結果選外になり、時間割の都合上履修不可能な場合は、教育学部事務所に相談してください。

● 自動登録例外科目

以下にあてはまる場合には自動登録されませんので注意してください。

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・複合文化学科：「複合文化学テーマ演習Ⅰ」、「複合文化学テーマ演習Ⅱ」 ・学士入学・再入学・転科転専修学生 ・再履修となった専門必修科目（卒業論文、卒業研究、3ゼミ、4ゼミを除く） ⇒ Web履修申請 ・休学・留学から復学する際の専門必修科目（復学手続の書類を参照のこと） ・「外国語Aの基礎」以外の外国語科目、2年次以降の「外国語Aの基礎」 ・外国学生の日本語科目 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史学演習Ⅰ・Ⅱ」「地理学演習Ⅰ・Ⅱ」を専門選択科目（主選択）として履修した場合の再履修希望者 ・前年に行われた「卒業論文」「演習（ゼミ）」予備登録に不参加 | ⇒ 所属学科専攻専修の主任（または助手）に申し出てゼミを決定してください。その後、「科目登録変更願（所定用紙）」に許可印をもらい、教育学部事務所に提出してください。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・必修科目を登録するための前提条件を満たしていない | ⇒ 申請できません |
| <ul style="list-style-type: none"> ・教育心理学専修：「教育心理学演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業論文」 ・初等教育学専攻：「初等教育学演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業論文」 | ⇒ 専門選択科目（主選択）のため、自動登録されません。Webから履修登録が必要です。予備登録で決定したクラスを登録してください。 |

● 自動登録された科目のクラス変更・取消しを認める場合

以下の場合はクラス変更や取消しを認めますので、1次登録期間中に教育学部事務所で手続きください。

① 再履修の専門必修科目と自動登録された専門必修科目の曜日時限が重複している場合

※ただし、再履修科目のクラスが1つしかない場合に限る

② 最終学年時において、クラスを変更しないと在学中に資格取得に必要な単位を修得できない場合

POINT2 科目登録 (Web 履修申請)

履修希望科目を決めるにあたっては、授業ガイドに加えて教育学部 HP の科目登録ページ*を参照してください。履修希望科目が決まったら、Web 科目登録手順 (教育学部 HP に記載) に従って Web 履修申請を行ってください。締切時間に注意し、余裕を持って申請を行ってください。

*教育学部 HP > 在学生の方へ> 科目登録 (<https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/>) を参照のこと。右記 QR コードからもアクセス可能です。



● 申請対象科目

登録機会によって申請対象科目が異なります。教育学部 HP 科目登録ページの日程を参照してください。

● 余裕定員表の確認

申請する前に、必ず「余裕定員表」で登録希望科目の残り定員を確認してください (1次登録を除く)。余裕定員表は先に行われた登録機会の結果発表日 9:00 までに教育学部 HP の科目登録ページに公開します。



募集を終了している科目は Web 履修申請画面で検索することができません

● 利用可能時間

システムの安定稼働のために、利用可能時間を指定します。

| | |
|---------------------|--------------------------|
| 8 : 0 0 ~ 翌 2 : 0 0 | Web 履修システムが稼働しています。 |
| 2 : 0 0 ~ 8 : 0 0 | メンテナンス時間のため利用することができません。 |

※利用が集中し、システムの安定稼働に不都合が発生すると判断した場合は、学籍番号末尾による利用時間の指定を実施する場合があります。実施時は MyWaseda のお知らせ機能、および科目登録関連ページ (<https://wnpspt.waseda.jp/student/supportanywhere/category/class/>)にてお知らせします。



申請時間締切直前はシステムが大変混雑しますので、余裕を持って申請を行ってください。
いかなる理由があっても、指定された期間外には受付できません。

● 希望順位登録

一部科目については、「希望順位登録」を行います。希望順位登録とは、抽選が行われる可能性が高い科目を同時に複数クラス申請できる登録方法です。

希望順位を選択できる科目群は、希望順位選択のプルダウンメニューが表示されます。希望順位を選択する場合は、必ず第1希望から順に選択してください。第1希望のみ、第1・第2希望のみの申請も可能です。

■ 登録機会/教育学部設置科目での対象科目

1次登録 / 「教育実習演習」「介護体験実習講義」



・希望順位登録に伴う科目登録の流れは以下のとおりとなりますので、申請時に**第1～3希望のクラスと他の科目クラスの曜日時限を重複させないこと**をお勧めします。

①上記の対象科目が第1～3希望までの希望順位に従い、最優先で登録される

②その後、上記①以外の科目が登録される

● 登録結果通知メール

登録結果発表日に Waseda メールアドレス宛に通知しますので、申請した科目の登録結果を確認してください。

■ 登録結果

登録結果は下表のとおり表示されます。

| 結果 | 説明 |
|----|---------------------|
| 決定 | 登録が決定した科目 |
| 不可 | 登録エラーのため、登録されなかった科目 |
| 選外 | 抽選の結果、登録されなかった科目 |



授業実施教室はWebシラバスおよび1次登録結果発表日以降のWeb履修申請画面で確認できます。ただし、諸般の都合で教室が変更になる可能性がありますので、常に教育学部ホームページやWebシラバスで最新情報を確認してください。

■ 最終登録結果通知

聴講料納入期間終了後に、最終的な科目登録結果を確認するための通知を Waseda メール宛に送信します。以下の科目は登録が取り消され、科目一覧に表示されていませんので確認してください。

- ・聴講料未納の科目
- ・決定科目取消・変更期間中に取り消した科目
- ・科目履修の前提条件を充たしていない科目

POINT3 科目区分変更

一部科目では規定の科目区分を変更することが可能です（「随意科目」から「自由選択科目」等）。科目区分変更は、Web 科目登録画面上から所定期間内に行う必要があります。

なお、「卒業に必要な単位」に算入される科目区分に変更した場合、**その単位数は年間履修制限単位数にも含まれます**ので、年間履修制限単位数を超過しないように申請してください。

■ 変更可能科目

- ・「申請中」となっている科目。
- ・一部の登録「決定」科目。**決定科目変更・取消期間**にのみ変更可能。対象科目は次表のとおり。

| 変更可能科目 | 算入可能な科目区分 |
|---|---|
| 他箇所設置科目 | ☞授業ガイド > I 卒業要件と履修方法 > 3. 他箇所・他機関の設置科目（オープン科目含む）の履修方法 |
| （2018年度以前入学者） 教職課程科目のうち 「教職に関する科目」 | 教職課程科目「教職に関する科目」 ※「教科又は教職に関する科目」、「司書関連科目」、「学芸員関連科目」は、卒業所定単位へ算入できません。 |
| （2019年度以降入学者） 教職課程科目のうち 「教育の基礎的理解に関する科目」等、 「各教科の指導法」 | 教職課程科目 ※「大学が独自に設定する科目」、「司書関連科目」、「学芸員関連科目」は、卒業所定単位へ算入できません。 |

※**教育学部設置の専門教育科目等の科目区分変更はできません。**

※既に「決定」となっている科目の科目区分は、当該科目登録機会における決定科目取消・変更期間にのみ変更可能。**ただし、以前の登録機会で決定となった科目の区分変更はできません。**

例：既に春学期に「決定」となった科目の科目区分は、秋学期科目登録では変更できません。

■ MyWaseda 操作方法

教育学部HP > 在学生の方へ > 科目登録 > 申請方法 > Web 科目登録利用手順を参照ください。



・他箇所設置科目の変更可能な科目区分は、科目によって異なります。詳細は、授業ガイド「教育学部における単位取り扱いについて」を参照してください。

POINT4 決定科目取消

当該学期の1次～2次登録で「決定」となった科目については、3次・他学部提供科目登録の期間に限り、取消の申請を行うことができます。ただし、次に挙げる科目は取消できません。

- ・専門必修科目
- ・地球科学専修主管の専門選択科目
- ・外国語科目
- ・教職課程科目のうち、「介護体験実習講義」「教育実習演習」「教職実践演習」
- ・他箇所/他機関設置科目（日本語教育研究センターを除く）



- ・春学期登録機会は通年科目・春学期科目（夏季集中・春夏期科目を含む）、秋学期登録機会は秋学期科目（冬季・春季集中科目を含む）のみ取消可能です。春学期登録科目は秋学期に取り消しできません。
- ・取消内容は即時に反映されます。年間履修制限単位数の範囲内であれば、科目取消と同時に、取り消した科目の単位数分、別の科目を追加で申請可能です。

- 取消可能な単位数の上限：上限はありません。

- MyWaseda 操作方法：教育学部HPの科目登録ページに記載のWeb 科目登録利用手順を参照のこと。

POINT5 教職課程科目・資格関連科目の取扱い

1. 教員免許状

(1) 単位の取扱い

教職課程履修の手引きに記載のある科目（授業ガイドに「専門必修科目」、「専門選択科目」または「専門教育科目（他学科・他専修）」として定められている科目を除く）は、「随意科目」として取り扱い、修得した単位は卒業所定単位数に算入されません。また、年間履修制限単位数にも含まれません。

ただし、科目区分を変更することで、2018年度以前入学者は「教職に関する科目（必修、選択）」を、2019年度以降入学者は「教育の基礎的理解に関する科目」等（必修、選択）/「各教科の指導法」（必修、選択）を、教職課程科目として卒業所定単位数に算入できます。この場合、年間履修制限単位数に含まれます。区分変更は、科目申請時または当該登録機会の決定科目変更期間でのみ可能です。



- ・年間履修制限単位数とは別に、卒業要件に算入できる上限単位数が設けられている学科専修もあります。上限単位数は、入学年度や各学科専攻専修により異なるため、授業ガイドの卒業要件を参照してください。
- ・2018年度以前入学者：各学科専攻専修における「教職に関する科目（必修、選択）」は、授業ガイドの「教員免許状取得のための履修方法」を参照してください。
- ・2019年度以降入学者：「教育の基礎的理解に関する科目」等（必修、選択）、「各教科の指導法」（必修、選択）は学部要項を参照してください。

(2) 教職課程の年間履修制限単位数

- ・2018年度以前入学者：「教職に関する科目（必修、選択）」
- ・2019年度以降入学者：「教育の基礎的理解に関する科目」等（必修、選択） / 「各教科の指導法」（必修、選択）

年間20単位を超えて登録することはできません。20単位を超えて申請した場合、**無作為に選ばれた科目が取り消されます。**なお、各学科専攻専修に配当されている専門教育科目で「教職に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」等に充当される科目は、この制限の対象とはなりません。

(3) 教職課程科目の履修条件

教職課程履修の手引きを参照してください。

(4) 聴講料

☞ POINT 6 聴講料・実験実習料・実習費納入を参照ください。

2. 図書館司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員

(1) 単位の取扱い

教職課程履修の手引きに記載のある科目は、「随意科目」と取扱い、修得した単位は卒業所定単位数に算入されません。また、年間履修制限単位数にも含まれません。但し、授業ガイドに「専門必修科目」、「専門選択科目」または「専門教育科目（他学科・他専修）」として定められている科目を除きます。Web履修申請画面の「科目区分」を確認し、算入単位か非算入単位であるかを確認してください。

(2) 各資格に関する科目の履修条件

教職課程履修の手引きを参照してください。

(3) 聴講料

☞ POINT 6 聴講料・実験実習料・実習費納入を参照ください。

POINT6 聴講料・実験実習料・実習費納入

聴講料・実験実習料・実習費の納入が必要な科目の登録が決定した場合は、所定の方法で納入してください。**期限内に納入がなかった場合、当該科目の登録が取り消されます。**期間外の納入は一切できません。

また、その後の科目登録において、抽選の優先順位が下がることがあります。

聴講料納入時は登録決定した対象科目の合計額を納入する必要があります。一部の科目についてのみ聴講料を納入し残りを未納とする、といった対応はできませんので注意してください。

■ 対象科目

| 対象者 | 聴講料が必要な科目 | 聴講料 |
|---|--|-----------|
| 当該科目履修者全員 | 基礎充実英語 1 / 基礎充実英語 2 | ¥4,510 |
| | 教職課程科目 | ※1 |
| | 図書館司書関連科目 | ¥7,000 ※2 |
| | 博物館実習 | ¥5,000 |
| | 博物館情報・メディア論 | ¥2,000 ※3 |
| | 地理学研究法3/4 | ¥500 |
| | 生物学通論実験 I / 生物学通論実験 II | ¥2,500 ※4 |
| | 地学通論実験 I / 地学通論実験 II | ¥2,500 ※5 |
| | 化学実験 I / 化学実験 II | ¥5,000 ※6 |
| | 物理学実験 I / 物理学実験 II | ¥5,000 ※6 |
| | ツールとしての ICT 1 / ツールとしての ICT 2 | ¥2,000 |
| | 個人差と適応 (心理学) | ¥300 |
| | 公認心理師心理実習 | ¥30,000 |
| | Preparation for TOEFL | ¥1,500 |
| | Advanced Preparation for TOEFL | ¥1,500 |
| | グローバルエデュケーションセンター等設置科目のうち実験実習料や実習費を納入する必要がある科目※7 | 科目により異なる |
| 初等教科専門生活 | ¥1,000 ※8 | |
| 初等理科教育法 初等生活科教育法 初等教科専門図画工作 初等教科専門家庭 | 1科目につき ¥2,000 ※8 | |

※1. 教職課程科目の聴講料は下記のとおり。なお、対象科目については、☞「教職課程履修の手引き」を参照ください。

| 対象者 | 対象科目 | 聴講料 | 備考 |
|------------------|--|------------------|---|
| 2014年度以前入学者 | 教職課程科目 ・教職に関する科目 (必修、選択) ・教科又は教職に関する科目 | ¥10,000 | 学生単位の聴講料 一度納入すれば在学中有効 |
| 2015年度～2018年度入学者 | 教職課程科目 ・教職に関する科目 (必修、選択) | 1単位につき ¥1,000 | 対象科目を登録する度毎に、登録 単位数に応じた聴講料の納入が 必要 |
| 2019年度以降入学者 | 教職課程科目 ・「教育の基礎的理解に関する科目」 等 (必修、選択) ・各教科の指導法 (必修、選択) | 1単位につき ¥1,000 | 対象科目を登録する度毎に、登録 単位数に応じた聴講料の納入が 必要 |

※2. 図書館司書関連科目は一度納入すれば在学中有効となります。詳細は☞「教職課程履修の手引き」を参照してください。なお、教育学科教育学専修および生涯教育学専修の学生が「図書館概論」のみ履修する場合、聴講料は不要です。また、「生涯学習」は聴講料対象科目ではありません。

※3. 教育学科生涯教育学専修の学生が履修する場合も聴講料の支払いが必要です。

※4. 理学科地球科学専修の学生が履修する場合、聴講料は不要です。

※5. 理学科生物学専修の学生が履修する場合、聴講料は不要です。

※6. 理学科生物学専修および地球科学専修の学生が履修する場合、聴講料は不要です。

※7. 英語英文学科1年次に自動登録される専門必修科目「Tutorial English」は聴講料不要です。

※8. 初等教育学専攻の学生が履修する場合、聴講料は不要です。

■ 納入方法

聴講料の納入が必要な学生に対し、**Wasedaメール宛に納入案内メールを送付**しますので、そちらから必要な手続きを取ってください。コンビニ支払、ペイジーまたはクレジットカードで納入可能です。



・**Waseda メールを定期的に確認すること**

- ・差出人: fee-payment@list.waseda.jp、件名:【重要】〇〇年度〇学期登録 聴講料・実験実習料の納入について という案内メールが送信されます。対象のメールが「迷惑メールフォルダ」に入ってしまう場合もありますのでよく確認してください。
- ・分納(一部の科目のみ納入)はできません。
- ・「登録結果通知メール」の中で「¥」の付いた科目が聴講料の必要な科目です

POINT7 秋学期科目登録

秋学期科目(冬季・春季集中科目を含む)は、秋学期に科目登録します。ただし、**自動登録科目は、春学期科目登録の時点で、全期間の科目(通年科目・春学期科目・秋学期科目)が登録されます**(一部例外あり)。申請期間・方法等の詳細は、後日、教育学部HP等で発表します。

■対象科目

秋学期科目(冬季・春季集中科目を含む)



- ・登録できるのは、年間履修制限単位数を超えない単位数分の科目のみです。
- ・春学期に不合格の科目が秋学期(冬季・春季集中)に開講している場合、申請可能です。

POINT8 留学予定者の科目登録

留学中は早稲田大学の科目を履修できません。既に登録されている科目は、留学後に教育学部事務所にて取消を行います(6月/12月頃)。取消に関し必要な手続きはありません。

また、秋学期から復学する場合、休・留学開始年度に履修していた通年科目を継続して履修できます(継続履修制度)。継続履修を希望する学生は、留学前に担当教員にその旨を伝えてください。その後、復学時の手続きで継続履修を申請します。ただし4月から休・留学を開始する場合は、継続履修の対象ではありません。留学に関する詳細は「学部要項」および留学センター発行の「留学の手引き」を参照してください。

なお、他学部提供の一部の科目では、半期以下の留学でも継続履修を認めているものや、半期科目での継続履修を認めているもの、また学籍状態が”留学”であっても履修できる科目があります。詳細は、教育学部HPの科目登録ページを参照してください。

■ 春学期から留学する場合、秋学期から半期留学する場合の登録科目の取り扱い

留学前には科目登録をする必要ありません。既に登録されている科目は、成績がついている科目以外は通年科目を含め事務所にて取消します(6月/12月頃)。

■ 秋学期から1年間留学する場合の登録科目の取り扱い

| 科目 | 留学前（春学期） | 帰国後（秋学期） |
|--------|--|---|
| 通年科目 | <ul style="list-style-type: none"> ・試験やレポートは必ず受験・提出のこと。スケジュール上不可能な場合は、事前に担当教員に相談する ・春学期最終講義時に、担当教員に留学予定で、復学後に継続履修予定であることを伝える | <ul style="list-style-type: none"> ・継続履修対象となるため、復学の手続き時に登録手続きを行う ・成績は留学前の春学期と復学後の秋学期の成績を通算して評価される |
| 春学期科目 | 試験やレポートは必ず受験・提出する | — |
| 秋学期科目 | — | 復学後、Web 科目登録で通常通り申請する |
| 夏季集中科目 | 出発前に履修する。留学と重複し、当年度履修できない場合は、登録を放棄することになる | 継続履修対象外 |

※他大学提供科目、復学時に休講・廃止となった通年科目は**継続履修対象外**となり登録放棄となります。



秋学期～春学期の1年間休留学した場合の年間履修制限単位数は、**留学前の半期の登録単位数＋復学後の半期の登録単位数**で計算されます。

POINT9 科目登録上の注意点

- 新設・廃止・名称変更のあった科目の登録

新設・廃止・名称変更のあった科目は、「授業ガイド」>「II 授業時間割」の「注意事項」に記載の科目対応表から確認してください。

- 共通科目：情報処理関連科目

下表の科目は同レベルの内容のため、1科目でも申請または修得した場合、他科目は履修できません。

| 設置箇所 | 科目 |
|-------------------|---|
| 教育学部 | コンピュータ入門、コンピュータ初級 |
| グローバルエデュケーションセンター | 早稲田大学情報環境の活用（アカデミックリテラシー）（～2013年度） PC・ネットワークを利用した情報表現（～2015年度） Webコンテンツ作成技術と実践（～2017年度） 情報表現の基礎（～2018年度） 情報表現の実践（～2020年度） プレゼンテーションスキル実践（～2019年度） Webデザイン実践 |

- 共通科目：所属学科専攻専修により履修できない科目

所属学科専攻専修によっては履修できない科目がありますので、「授業ガイド」>「II 授業時間割」の時間割掲載ページ下の注※を参照してください。

- 「外国語演習」「ツールとしての外国語」

本科目の受講には前提となる科目の単位を修得済みである必要があります。詳細は（☞「授業ガイド」>「I 卒業要件と履修方法」>「2. 外国語科目の履修方法」）を参照してください。

■ 複合文化学科の学生

| 科目 | 前提科目 |
|---------------|---------------------|
| 外国語演習 I 1、I 2 | 外国語の基礎 |
| 外国語演習 II 1 | 外国語演習 I 1 |
| 外国語演習 II 2 | 外国語演習 I 2 |
| 外国語演習 III | 外国語演習 II 1 または II 2 |
| 外国語演習 IV | 外国語演習 III |

| 科目 | 前提科目 |
|----------------|-----------------------------|
| ツールとしての外国語 I | 外国語の基礎 および 外国語のコミュニケーションの基礎 |
| ツールとしての外国語 II | ツールとしての外国語 I |
| ツールとしての外国語 III | ツールとしての外国語 II |
| ツールとしての外国語 IV | ツールとしての外国語 III |
| ツールとしての外国語 V | ツールとしての外国語 IV |

■ 複合文化学科以外

| 科目 | 前提科目 |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 外国語演習 I 1、I 2、II 1、II 2、III、IV | 「外国語の基礎」 |
| ツールとしての外国語 I、II、III、IV、V | 「外国語の基礎」および「外国語のコミュニケーションの基礎」 |

POINT10 その他科目登録・科目履修に関する情報

● 科目登録・科目履修に関する情報

より詳細な科目登録の情報・科目履修の情報を教育学部HPの科目登録ページに記載しています。以下に挙げる項目について記載しています。必要に応じて参照してください。

教育学部HP > 在学生の方へ > 科目登録 > 科目登録情報

[<https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other>]

右記のQRコードからもアクセスできます。



| 項目 | 概要 |
|--------------------------------|--|
| 1 <u>外国語Aの履修について</u> | 外国語Aとして選択していない言語の科目履修について等 |
| 2 <u>朝鮮語選択学生の優先登録</u> | 外国語Aとして朝鮮語を選択している学生に対するグローバルエデュケーションセンター朝鮮語科目の優先登録について |
| 3 <u>英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合</u> | TOEFLやTOEIC等のスコアで英語要件を満たす場合の注意点等。なお、各学科専攻に必要なスコアは「授業ガイド」>「I卒業要件と履修方法」>「1. 卒業要件と履修上の注意」を確認してください。 |
| 4 <u>他学科他専修聴講可能科目</u> | 他学科他専修聴講可能科目を履修するにあたっての留意事項 |
| 5 <u>再履修</u> | 当年度成績が不合格であった科目を翌年度以降に再度履修する場合の注意点等 |
| 6 <u>複合文化学科における注意点</u> | 「外国語演習」「ツールとしての外国語」のWeb申請について |
| 7 <u>地球科学専修における注意点</u> | 科目登録に関する注意事項 |
| 8 <u>生物学専修における注意点</u> | 実験科目の履修における時間割の制約について |
| 9 <u>他箇所の科目履修</u> | 科目登録時期や注意点、単位の取扱い |
| 10 <u>大学院先取り履修</u> | 4年次に教育学研究科・理工学研究科の一部科目を履修することができます。その制度の詳細な内容について。 |
| 11 <u>延長生における注意点</u> | 延長生における夏季集中科目および他大学科目の登録について |
| 12 <u>学士入学者における注意点</u> | 学士入学者（2012年度以降入学のみ）のWeb履修申請について |
| 13 <u>付録</u> | 共通端末室の利用案内・Web科目登録利用案内 |

● 卒業・教員免許状取得見込判定

4年生以上の学生を対象に行う卒業・教員免許状取得見込判定に関し、見込証明書の発行基準やその他の注意点を教育学部HPの科目登録ページに記載しています。

教育学部HP > 在学生の方へ > 卒業と演習・卒業論文（研究） > 卒業・教員免許状取得見込判定

[https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/graduate-exercises/#anc_18]

右記のQRコードからもアクセスできます。



Ⅱ 卒業要件と履修方法

1. 卒業要件の見方

2011～2018年度入学者

【教育学科・教育学専修】

《卒業要件》

【科目区分・科目系列】

科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために必要となる単位数が定められています。

要件を満たす
4単位を満たすこと。

【所定単位数】

その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。これらを全て満たしていない場合、卒業必要単位数（124～134単位）を修得しても卒業不可となります。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 上限単位数 ※1 | 履修方法 | |
|-----------------|--------------|-------|-----|----------|--|-------------------------|
| | | 内訳 | 計 | | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 4 | 12 | 20 | ◇人文系・会系・自位を修得 ◇所定単位数20単位 設置科目までを | |
| | 社会系 | — | | | | |
| | 自然系 | 2 | | | | |
| | 数理情報系 | — | | | | |
| | 総合系 | — | | | | |
| | 体育系 | — | 2 | | | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 8 | ◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単 | |
| | | コミュ | 2 | | | |
| | | 語演習 | 2 | | | |
| | 外国語B (英語) | 基礎 | (8) | | ◇外国語A位、「外国語演習」から2単者に | |
| | | 初級 | | | | |
| | | 中級 | | | | |
| | 上級 | | | | | |
| | その他の外国語 | — | | | | |
| 専門教育科目 (自専修) | 専門 必修科目 | 1年 | 12 | 52 | ◇教育学専し、合計 | |
| | | 2年 | 14 | | | |
| | | 3年 | 14 | | | |
| | | 4年 | 12 | | | |
| | 専門 選択科目 | 主選択 | 10 | 8 | 18 | ◇教育学専科目から ◇所定単位数4単位ま |
| | | 副選択 | — | | | |

【上限単位数】

科目区分ごとの、卒業必要単位に算入できる上限単位数。この例では、「共通科目」は20単位まで卒業単位に算入されますので、仮に共通科目で24単位修得しても、4単位分は算入されません。体育系は2単位まで算入可能です。

【英語卒業要件】

卒業に必要な外国語Bの単位数。自身の英語レベル以上の科目を履修しなければなりません。※中級レベルの者が初級科目を履修しても卒業要件を満たしません。

【卒業要件】

TOEIC等の外部試験で基準点以上を取得することで、英語卒業要件を満たすことも可能です。その場合英語科目の履修は必要不再ありますが、卒業必要単位数（124～134単位）は変わりませんので、この分を他の科目区分から修得しなければなりません。

グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合は申請方法に注意が必要です。（→「2. その他の注意事項」）

②《卒業所定単位数》

124

◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計90（98）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。
◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

2. その他の注意事項

①グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合、Web科目申請時に科目区分を変更して申請する必要があります。その際、グローバルエデュケーションセンターが定めている英語レベルと、教育学部が定めている英語レベルが異なりますので、必ず**授業ガイドの「グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧」**を確認し、自身の英語レベル以上の科目を履修申請してください。（例：「General Tutorial English（中級）」は教育学部では「初級」の扱いとなります。）

②2019年度以降入学者は、科目区分別の卒業算入上限単位数はありません。しかしながら、一部の科目区分の単位を偏って履修しないよう、体系的に学ぶようご掛けてください。

3. 成績照会画面の見方

MyWasedaの成績照会画面を開き「単位修得状況の照会」をクリックすると、これまでの単位の修得状況を確認することができます。

1E13A000 さんの成績です。

学籍状態 在学中

判定結果

外国語

クラス A1

発表開始日付 2012年10月30日 09時00分

年度分のみ 全て 表示

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

科目名 取得年度 学期 単位 成績

| | | | | |
|------------|--|--|--|--|
| ◎教育学部共通科目◎ | | | | |
| 【人文系】 | | | | |

単位修得状況の照会
伝達事項があります
※必ず確認してください

クリック

単位修得状況は科目登録、成績発表時には必ず確認してください。
授業ガイドより卒業要件を確認の上、卒業に必要な科目を履修してください。

【科目区分名】

科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために
必要となる単位数が定められています。

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

| 科目区分名 | 所定 | 既得 | 算入 |
|---------------|-----|----|----|
| 教育学部共通科目 | | | |
| 人文系・社会系 | 4 | 6 | 6 |
| 自然系 | 2 | 2 | 2 |
| 数理情報系 | | 2 | 2 |
| 総合系 | | 0 | 0 |
| 小計 | 12 | 10 | 10 |
| 体育系 | | 2 | 2 |
| 小計 | | 12 | 12 |
| 外国語科目 | | | |
| 外国語A | 8 | 6 | 6 |
| <中国語(基礎)> | 4 | 4 | 4 |
| <中国語(コミュ基礎)> | 2 | 0 | 0 |
| <中国語(実習・ツール)> | 2 | 2 | 2 |
| 外国語B | | 0 | 0 |
| 外国語その他 | | 0 | 0 |
| 小計 | 8 | 6 | 6 |
| 一年必修 | 12 | 12 | 12 |
| 二年必修 | 14 | 6 | 6 |
| 三年必修 | 14 | 0 | 0 |
| 四年必修 | 12 | 0 | 0 |
| 小計 | 52 | 18 | 18 |
| 主・副選択 | 18 | 12 | 12 |
| 自由選択科目 | | 4 | 4 |
| 教職課程科目 | | 2 | 2 |
| 小計 | | 6 | 6 |
| 小計 | | 4 | 4 |
| 小計 | | 4 | 0 |
| 小計 | | 4 | 0 |
| 小計 | | 2 | 0 |
| 小計 | | 2 | 0 |
| 【上記以外の卒業要件】 | | 0 | 0 |
| 選択(主選択) | 10 | 4 | 4 |
| 英語試験 | | 0 | 0 |
| 小計 | | 4 | 4 |
| 総合計 | 124 | 64 | 58 |

【《上記以外の卒業要件》】

学科専攻専修によって定められた卒業要件
2011年度以降入学の教育学専修の場合、
以下の要件があります。
※入学年度により要件は異なります。

- ① 専門選択科目のうち主選択から 10 単位修得
- ② 英語卒業要件

【所定・既得・算入】

「所定」…その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。授業ガイドの「所定単位数」を意味します。
「既得」…科目区分・科目系列ごとの修得した総単位数。卒業所定単位数に算入されない単位も含まれます。
「算入」…科目区分・科目系列ごとの修得した卒業所定単位数に算入される総単位数。随意科目は含まれません。

よって、卒業要件を満たすには「所定単位数 ≤ 算入単位数」となるように単位を修得し、全体で卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しなければなりません。その際、各科目区分の算入上限単位数にご確認ください。※

※科目登録の際は、各科目区分の単位修得状況と授業ガイドの卒業要件のページを確認してください。科目区分に上限単位数が設定されている場合、上限単位数以上に履修申請をしても、上限を超えた分の単位は卒業単位数に算入されません。

【教育学科・教育学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 履修方法 | |
|--------------------------|---------------------|-------|------|------|---|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 4 | 6 | 12 | ◇人文系・社会系から4単位、自然系から2単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から6単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。 |
| | 社会系 | | | | |
| | 自然系 | | | | |
| | 数理情報系 | | | | |
| | 総合系 | | | | |
| 体育系 | — | — | — | — | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 8 | ◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」2単位、「外国語演習Ⅰ～Ⅳ」または「ツールとしての外国語Ⅰ～Ⅴ」から2単位の合計8単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者は、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Aとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語B（英語）は、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。 |
| | | コミュ | 2 | | |
| | | 語演習 | 2 | | |
| | | ツール | | | |
| | 外国語B （英語） | 基礎 | (8) | — | |
| 初級 | | | | | |
| 中級 | | | | | |
| 上級 | — | — | — | | |
| その他の外国語 | — | — | — | — | |
| 専門教育科目 （自専修） | 専門 必修科目 | 1年 | 12 | 52 | ◇教育学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計52単位を修得すること。 |
| | | 2年 | 14 | | |
| | | 3年 | 14 | | |
| | | 4年 | 12 | | |
| 専門 選択科目 | 主選択 | 10 | 8 | 18 | ◇教育学専修設置の主選択科目から10単位、主選択・副選択科目から8単位の合計18単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。 |
| | 副選択 | — | | | |
| 専門教育科目 （他学科） （他専修） | 専門選択科目 | — | — | — | ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目は、算入することができない。 |
| 他箇所 設置科目 ※ | 他学部科目 | — | — | — | ◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部は、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。 |
| | 他大学科目 | — | — | — | |
| | 自由選択科目 （全学部対象科目） | — | — | — | |
| | 教職課程科目※ | — | — | — | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 |
| ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計 | | 90 | (98) | | |
| ②《卒業所定単位数》 | | 124 | | | ◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計90（98）単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。 |

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分は、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

| placement test (WeTEC) 判定結果 | 判定レベル | 必要とされる科目レベルおよび単位数 |
|-----------------------------|-------|---------------------|
| 0点 ～ 429点 | 基礎充実 | 「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位 |
| 430点 ～ 599点 | 初級 | 「初級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 600点 ～ 719点 | 中級 | 「中級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 720点 ～ 1000点 | 上級 | 「上級」レベルの科目を計8単位 |

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更しない場合には卒業所定単位数非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことになる。

② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18

（教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>科目登録情報

>英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）



【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。

| 英語力判定試験 | 学部で指定する基準 |
|-----------------------------------|-----------|
| TOEIC (Listening & Reading Test) | 690点以上 |
| TOEFL (iBT) | 73点以上 |
| 実用英語技能検定（英検） | 1級 |

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

| 科目区分系列 | 登録科目の単位数 |
|----------|------------------------------|
| 教育学部共通科目 | 8単位～12単位 |
| 外国語科目 | 《外国語A》4単位、《外国語B》4単位 |
| 専門教育科目 | 1年配当の《必修科目》12単位及び《選択科目》から8単位 |
| 自由選択科目 | 0～4単位 |

◇ゼミ

「教育学演習Ⅰ」（3年必修）・「教育学演習Ⅱ」（4年必修）はいわゆるゼミにあたる科目であり、各クラス「教育学演習Ⅰ」と「教育学演習Ⅱ」との合併授業として2年連続で行われます。「教育学演習Ⅰ」のクラスは2年次の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「教育学演習Ⅱ」は「教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

なお、「教育学演習Ⅰ」は1～2年配当の専門必修科目12単位以上の単位を未修得の場合は、履修を許可しません。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位数に算入することはできません。

【教育学科・教育学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 上限 単位数 ※1 | 履修方法 |
|-----------------------------|---------------------|------------|------|-----------------|--|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 4 | 12 | 20 | ◇人文系・社会系から4単位、自然系から2単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から6単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて20単位まで系列に係わらず卒業単位数に算入される。 但し、体育系はグローバルエデュケーションセンター設置の対象科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り2単位まで卒業単位数に算入することができる。 |
| | 社会系 | | | | |
| | 自然系 | 2 | | | |
| | 数理情報系 | — | | | |
| | 総合系 | — | | | |
| | 体育系 | — | 2 | | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 8 | ◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」2単位、「外国語演習I～IV」または「ツールとしての外国語I～V」から2単位の合計8単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者は、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Aとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語B(英語)は、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。なお、()内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす(以下同様)。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇外国語Aおよび外国語B(英語)の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて24単位まで卒業単位数に算入される。 |
| | | コミュ | 2 | | |
| | | 語演習 ツール | 2 | | |
| | 外国語B (英語) | 基礎 | (8) | 24 | |
| | | 初級 | | | |
| 中級 上級 | | | | | |
| | その他の外国語 | — | — | | |
| 専門教育科目 (自専修) | 専門 必修科目 | 1年 | 12 | 52 | ◇教育学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計52単位を修得すること。 |
| | | 2年 | 14 | | |
| | | 3年 | 14 | | |
| | | 4年 | 12 | | |
| 専門 選択科目 | 主選択 副選択 | 10 | 8 | 18 | ◇教育学専修設置の主選択科目から10単位、主選択・副選択科目から8単位の合計18単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて44単位まで卒業単位数に算入される。 |
| | | — | | | |
| 専門教育科目 (他学科) (他専修) | 専門選択科目 | — | — | — | ◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計16単位まで卒業単位数に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位数に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位数に算入されない科目は、算入することができない。 |
| 他箇所 設置科目 ※2 | 他学部科目 | — | — | — | ◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、16単位まで卒業単位数に算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部は、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。 |
| | 他大学科目 | — | — | — | |
| | 自由選択科目 (全学部対象科目) | — | — | — | 16 |
| | 教職課程科目※2 | — | — | — | 24 |
| ①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計 | | 90 | (98) | | |

| | | |
|------------|-----|--|
| ②《卒業所定単位数》 | 124 | ◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計90(98)単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。 |
|------------|-----|--|

※1. 卒業単位数に算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位数には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※2. 科目の登録方法および卒業単位数への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算

入可能な科目区分は、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

| placement test (WeTEC) 判定結果 | 判定レベル | 必要とされる科目レベルおよび単位数 |
|-----------------------------|-------|---------------------|
| 0点 ～ 429点 | 基礎充実 | 「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位 |
| 430点 ～ 599点 | 初級 | 「初級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 600点 ～ 719点 | 中級 | 「中級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 720点 ～ 1000点 | 上級 | 「上級」レベルの科目を計8単位 |

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位数非算入(随意科目)となり、上記要件を満たしたことになる。

② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
 (教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>科目登録情報
 >英語試験により卒業要件(英語)を満たす場合)



【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
 9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

| 英語力判定試験 | 学部で指定する基準 |
|--------------|-----------|
| TOEFL (iBT) | 73点以上 |
| TOEIC | 690点以上 |
| 実用英語技能検定(英検) | 1級 |

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

| 科目区分系列 | 登録科目の単位数 |
|----------|------------------------------|
| 教育学部共通科目 | 8単位～12単位 |
| 外国語科目 | 《外国語A》4単位、《外国語B》4単位 |
| 専門教育科目 | 1年配当の《必修科目》12単位及び《選択科目》から8単位 |
| 自由選択科目 | 0～4単位 |

◇ゼミ

「教育学演習Ⅰ」(3年必修)・「教育学演習Ⅱ」(4年必修)はいわゆるゼミにあたる科目であり、各クラス「教育学演習Ⅰ」と「教育学演習Ⅱ」との合併授業として2年連続で行われます。「教育学演習Ⅰ」のクラスは2年次の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「教育学演習Ⅱ」は「教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

なお、「教育学演習Ⅰ」は1～2年配当の専門必修科目12単位以上の単位を未修得の場合は、履修を許可しません。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇オンライン授業について

オンライン授業(全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの)により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位数に算入することはできません。

【教育学科・教育学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の2つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」62単位を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 履修方法 | | | |
|-----------|------------|-------|----|------|--|----|--------------------------------|
| | | 内訳 | 計 | | | | |
| 専門教育科目 | 専門 必修科目 | 1年 | 8 | 44 | ◇教育学専修設置の全必修科目を履修し、合計44単位を修得すること。 (4年配当科目は4年次に履修すること。) ◇専門必修科目のうち「教育学プレゼミⅠ～Ⅳ」は卒業要件としない。なお、当該科目を履修し、単位を修得した場合は、随意科目とする。 | | |
| | | 2年 | 10 | | | | |
| | | 3年 | 14 | | | | |
| | | 4年 | 12 | | | | |
| | 専門 選択科目 | 主選択 | 10 | 8 | | 18 | ◇所定単位数を超えて修得した単位は、卒業単位数に算入される。 |
| | | 副選択 | — | | | | |
| 《卒業所定単位数》 | | 62 | | | | | |

《履修上の注意》

◇年間履修制限単位数

- ・ 教育学専修学士入学者（2012年度以降入学者）の年間履修制限単位数は『**46単位**』です。

◇卒業論文

- ・ 卒業論文は、卒業所定単位数62単位のうち**16単位以上**を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇ゼミ

- ・ 「教育学演習Ⅰ」（3年必修）・「教育学演習Ⅱ」（4年必修）はいわゆるゼミにあたる科目であり、各クラス「教育学演習Ⅰ」と「教育学演習Ⅱ」との合併授業として2年連続で行われます。「教育学演習Ⅱ」は「教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

◇学士入学者への注意事項

- ・ 専門教育科目以外の科目を履修した場合、随意科目として取り扱い、卒業所定単位数、年間履修制限単位数に含まれません。
- ・ 学士入学者は外国語A・外国語Bを履修する必要はありませんが、履修を希望する場合は教育学部事務所にて所定の手続きをしてください。外国語に設定されている各種前提条件は学士入学者に適用されませんので、どのレベルからも履修することが可能です。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位数に算入することはできません。

1. 卒業要件の見方

2012～2018年度入学者

【教育学科・生涯教育学専修】

《卒業要件》

【科目区分・科目系列】

科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために
必要となる単位数が定められています。

【所定単位数】

その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。これらを全て満たしていない場合、卒業必要単位数（124～134単位）を修得しても卒業不可となります。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 上限 単位数 ※1 | 履修方法 |
|-----------------|--------------|-------|-----|--|--|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 4 | 12 | 20 | ◇人文系・社会系・自然位を修得す ◇所定単位数0単位まで ◇設置科目4単位まで |
| | 社会系 | 4 | | | |
| | 自然系 | 4 | | | |
| | 数理情報系 | — | | | |
| | 総合系 | — | | | |
| | 体育系 | — | 4 | | 【上限単位数】 科目区分ごとの、卒業必要単位に算入できる上限単位数。この例では、「共通科目」は20単位まで卒業単位に算入されますので、仮に共通科目で24単位修得しても、4単位分は算入されません。 体育系は4単位まで算入可能です。 |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 6 | ◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語A」を6単位を修本紙「外国語B」を満す |
| | | コミュ | 2 | | |
| | | 語演習 | — | | |
| | 外国語B (英語) | 基礎 | (8) | 22 | ◇外国語Aとして選択した単位、単位数と合計 ◇生涯教育学修し、合計 |
| | | 初級 | | | |
| | | 中級 | | | |
| | 上級 | | | | 【英語卒業要件】 卒業に必要な外国語Bの単位数。自身の英語レベル以上の科目を履修しなければなりません。 ※中級レベルの者が初級科目を履修しても卒業要件を満たしません。 |
| | その他の外国語 | — | — | | TOEIC等の外部試験で基準点以上を取得することで、英語卒業要件を満たすことも可能です。その場合英語科目の履修は必要ありませんが、卒業必要単位数（124～134単位）は変わりませんので、この分を他の科目区分から修得しなければなりません。 |
| 専門教育科目 (自専修) | 専門 必修科目 | 1年 | 10 | 44 | ◇生涯教育学修し、合計 |
| | | 2年 | 10 | | |
| 3年 | | 12 | | | |
| 4年 | | 12 | | | |
| | 専門選択科目 | — | 14 | 52 | ◇生涯教育学修し、合計 ◇所定単位数52単位まで |
| ②《卒業所定単位数》 | | 124 | | ◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計76(84)単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。 | |

卒業要件と履修方法

2. その他の注意事項

①グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合、Web科目申請時に科目区分を変更して申請する必要があります。その際、グローバルエデュケーションセンターが定めている英語レベルと、教育学部が定めている英語レベルが異なりますので、必ず**授業ガイドの「グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧」**を確認し、自身の英語レベル以上の科目を履修申請してください。（例：「General Tutorial English（中級）」は教育学部では「初級」の扱いとなります。）

②2019年度以降入学者は、科目区分別の卒業算入上限単位数はありません。しかしながら、一部の科目区分の単位を偏って履修しないよう、体系的に学ぶよう心掛けてください。

3. 成績照会画面の見方

MyWasedaの成績照会画面を開き「単位修得状況の照会」をクリックすると、これまでの単位の修得状況を確認することができます。

1E13A000 さんの成績です。

学籍状態 在学中

判定結果

外国語 クラス A1

発表開始日付 2012年10月30日 09時00分

年度分のみ 全て 表示

※この成績照会画面は印刷し、他人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

科目名 取得年度 学期 単位 成績

◎教育学部共通科目◎
【人文系】

学生検索

単位修得状況の照会
伝達事項があります
※必ず確認してください。

クリック

単位修得状況は科目登録、成績発表時には必ず確認してください。
授業ガイドより卒業要件を確認の上、卒業に必要な科目を履修してください。

【科目区分名】

科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために
必要となる単位数が定められています。

※この成績照会画面は印刷し、他人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

| 科目区分名 | 所定 | 既得 | 算入 |
|--------------|-----|-----|-----|
| 教育学部共通科目 | | | |
| 人文系・社会系 | 4 | 6 | 6 |
| 自然系 | 4 | 4 | 4 |
| 数理情報系 | | 2 | 2 |
| 総合系 | | 0 | 0 |
| 小計 | 12 | 12 | 12 |
| 体育系 | | 1 | 1 |
| 小計 | | 13 | 13 |
| 外国語科目 | | | |
| 外国語A | 6 | 6 | 6 |
| <中国語(基礎)> | 4 | 4 | 4 |
| <中国語(コミュ基礎)> | 2 | 2 | 2 |
| 外国語B | | 8 | 8 |
| 外国語その他 | | 0 | 0 |
| 小計 | 6 | 14 | 14 |
| 一年必修 | 10 | 10 | 10 |
| 二年必修 | 10 | 10 | 10 |
| 三年必修 | 12 | 12 | 12 |
| 四年必修 | 12 | 12 | 12 |
| 小計 | 44 | 44 | 44 |
| 専門教育科目(選択) | 14 | 57 | 52 |
| 自由選択科目 | | 0 | 0 |
| 教職課程科目 | | 14 | 14 |
| 小計 | | 14 | 14 |
| 小計 | | 0 | 0 |
| 小計 | | 0 | 0 |
| 小計 | | 23 | 0 |
| 小計 | | 23 | 0 |
| 教職課程科目 | | 20 | 0 |
| 小計 | | 20 | 0 |
| 【上記以外の卒業要件】 | | 0 | 0 |
| 英語卒業要件(初級以上) | 8 | 8 | 8 |
| 総合計 | 124 | 185 | 137 |

【《上記以外の卒業要件》】

学科専攻専修によって定められた卒業要件
2012年度以降入学の生涯教育学専修の場合、
以下の要件があります。
※入学年度により要件は異なります。

①英語卒業要件

【所定・既得・算入】

「所定」…その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。授業ガイドの「所定単位数」を意味します。
「既得」…科目区分・科目系列ごとの修得した総単位数。卒業所定単位に算入されない単位も含まれます。
「算入」…科目区分・科目系列ごとの修得した卒業所定単位に算入される総単位数。随意科目は含まれません。

よって、卒業要件を満たすには「所定単位数 ≤ 算入単位数」となるように単位を修得し、全体で卒業必要単位数（124～134単位）を修得しなければなりません。その際、各科目区分の算入上限単位数にご確認ください。※

※科目登録の際は、各科目区分の単位修得状況と授業ガイドの卒業要件のページを確認してください。科目区分に上限単位数が設定されている場合、上限単位数以上に履修申請をしても、上限を超えた分の単位は卒業単位に算入されません。

【教育学科・生涯教育学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 履修方法 | |
|--------------------------|---------------------|-------|-----|--|--|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 4 | 12 | ◇人文系・社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。 | |
| | 社会系 | 4 | | | |
| | 自然系 | 4 | | | |
| | 数理情報系 | — | | | |
| | 総合系 | — | | | |
| 体育系 | — | — | — | | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 6 | ◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Aとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、()内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。 |
| | | コミュ | 2 | | |
| | | 語演習 | — | | |
| | 外国語B (英語) | 基礎 | (8) | — | |
| | | 初級 | | | |
| | | 中級 | | | |
| | 上級 | — | | | |
| その他の外国語 | — | — | — | | |
| 専門教育科目 (自専修) | 専門必修科目 | 1年 | 10 | 40 | ◇生涯教育学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計40単位を修得すること。 ◇生涯教育学専修設置の専門選択科目から14単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。 |
| | | 2年 | 8 | | |
| | | 3年 | 10 | | |
| | | 4年 | 12 | | |
| | 専門選択科目 | — | 14 | — | |
| 専門教育科目 (他学科) (他専修) | 専門選択科目 | — | — | — | ◇他学科他専修科目は全て卒業単位の算入される。 |
| 他箇所 設置科目 ※ | 他学部科目 | — | — | — | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 但し、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。 |
| | 他大学科目 | — | — | — | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 |
| | 自由選択科目 (全学部対象科目) | — | — | — | ◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。 |
| 教職課程科目※ | | — | — | — | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 |
| ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計 | | 72 | 80 | — | — |
| ②《卒業所定単位数》 | | 124 | — | — | ◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計76(84)単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語8単位の修得が必要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。 |

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たすこと。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

| placement test (WeTEC) 判定結果 | 判定レベル | 必要とされる科目レベルおよび単位数 |
|-----------------------------|-------|---------------------|
| 0点 ～ 429点 | 基礎充実 | 「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位 |
| 430点 ～ 599点 | 初級 | 「初級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 600点 ～ 719点 | 中級 | 「中級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 720点 ～ 1000点 | 上級 | 「上級」レベルの科目を計8単位 |

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18

（教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>科目登録情報
>英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）



【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。

| 英語力判定試験 | 学部で指定する基準 |
|----------------------------------|-----------|
| TOEIC (Listening & Reading Test) | 690点以上 |
| TOEFL (iBT) | 73点以上 |
| 実用英語技能検定 (英検) | 1級 |

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

| 科目区分系列 | 登録科目の単位数 |
|----------|------------------------------|
| 教育学部共通科目 | 12単位～14単位 |
| 外国語科目 | 《外国語A》4単位、《外国語B》4単位 |
| 専門教育科目 | 1年配当の《必修科目》10単位及び《選択科目》から4単位 |
| 自由選択科目 | 0～8単位 |

◇ゼミ

「社会教育演習Ⅰ-1/Ⅰ-2」（3年必修）・「社会教育演習Ⅱ-1/Ⅱ-2」（4年必修）はいわゆるゼミにあたる科目です。「社会教育演習Ⅰ-1/Ⅰ-2」のクラスは2年生の秋学期、「社会教育演習Ⅱ-1/Ⅱ-2」のクラスは3年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数12.4単位のうち8.4単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇資格取得

教員志望者・生涯教育関係資格（社会教育主事、社会教育士、図書館司書、学芸員等）、社会福祉主事取得希望者は、できるだけ教育学科生涯教育学専修の専門選択科目を履修することを薦めます。

教員志望者・司法試験受験者・大学院進学希望者は、外国語科目の選択についても十分な留意をして下さい。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・生涯教育学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 履修方法 | |
|--------------------------|---------------------|-------|------|------|--|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 4 | 4 | 12 | ◇人文系・社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。 |
| | 社会系 | | | | |
| | 自然系 | | | | |
| | 数理情報系 | | | | |
| | 総合系 | | | | |
| 体育系 | — | — | — | | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 6 | ◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Aとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、()内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。 |
| | | コミュ | 2 | | |
| | | 語演習 | — | | |
| | 外国語B (英語) | 基礎 | (8) | — | |
| | | 初級 | | | |
| | | 中級 | | | |
| 上級 | — | — | | | |
| その他の外国語 | — | — | — | | |
| 専門教育科目 (自専修) | 専門 必修科 目 | 1年 | 10 | 44 | ◇生涯教育学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計44単位を修得すること。 |
| | | 2年 | 10 | | |
| 3年 | | 12 | | | |
| 4年 | | 12 | | | |
| | 専門選択科目 | — | 14 | — | ◇生涯教育学専修設置の専門選択科目から14単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。 |
| 専門教育科目 (他学科) (他専修) | 専門選択科目 | — | — | — | ◇他学科他専修科目は全て卒業単位の算入される。 |
| 他箇所 設置科目 ※ | 他学部科目 | — | — | — | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 但し、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。 |
| | 他大学科目 | — | — | — | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 |
| | 自由選択科目 (全学部対象科目) | — | — | — | ◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。 |
| 教職課程科目※ | | — | — | — | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 |
| ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計 | | 76 | (84) | — | — |
| ②《卒業所定単位数》 | | 124 | — | — | ◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計76(84)単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語8単位の修得が必要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。 |

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たすこと。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

| placement test (WeTEC) 判定結果 | 判定レベル | 必要とされる科目レベルおよび単位数 |
|-----------------------------|-------|---------------------|
| 0点 ～ 429点 | 基礎充実 | 「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位 |
| 430点 ～ 599点 | 初級 | 「初級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 600点 ～ 719点 | 中級 | 「中級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 720点 ～ 1000点 | 上級 | 「上級」レベルの科目を計8単位 |

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18

（教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>科目登録情報
>英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）



【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。

| 英語力判定試験 | 学部で指定する基準 |
|----------------------------------|-----------|
| TOEIC (Listening & Reading Test) | 690点以上 |
| TOEFL (iBT) | 73点以上 |
| 実用英語技能検定（英検） | 1級 |

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

| 科目区分系列 | 登録科目の単位数 |
|----------|------------------------------|
| 教育学部共通科目 | 12単位～14単位 |
| 外国語科目 | 《外国語A》4単位、《外国語B》4単位 |
| 専門教育科目 | 1年相当の《必修科目》10単位及び《選択科目》から4単位 |
| 自由選択科目 | 0～8単位 |

◇ゼミ

「社会教育演習Ⅰ-1/Ⅰ-2」（3年必修）・「社会教育演習Ⅱ-1/Ⅱ-2」（4年必修）はいわゆるゼミにあたる科目です。「社会教育演習Ⅰ-1/Ⅰ-2」のクラスは2年生の秋学期、「社会教育演習Ⅱ-1/Ⅱ-2」のクラスは3年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇資格取得

教員志望者・生涯教育関係資格（社会教育主事、社会教育士、図書館司書、学芸員等）、社会福祉主事取得希望者は、できるだけ教育学科生涯教育学専修の専門選択科目を履修することを薦めます。

教員志望者・司法試験受験者・大学院進学希望者は、外国語科目の選択についても十分な留意をしてください。

◇廃止された必修科目の代替について

- ・ 「社会教育実習Ⅰ/Ⅱ」（1年必修）の単位を未修得の者は、「生涯教育基礎演習」を履修し、単位を修得してください。
- ・ 「社会教育研究」（2年必修）の単位を未修得の者は、専門選択科目「社会教育課題研究Ⅰ-1」または「社会教育課題研究Ⅱ-1」のいずれか1科目を科目登録し、科目登録期間中に教育学部事務所にて科目区分変更（選択→必修）の手続きを行ってください。
- ・ 「社会教育方法論」（3年必修）の単位を未修得の者は、専門選択科目「生涯学習支援論Ⅰ」および「生涯学習支援論Ⅱ」を科目登録し、科目登録期間中に教育学部事務所にて科目区分変更（選択→必修）の手続きを行ってください。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・生涯教育学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 上限 単位数 ※1 | 履修方法 | |
|-----------------------------|---------------------|-------|--|-----------------|------|---|
| | | 内訳 | 計 | | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 4 | 4 | 12 | 20 | ◇人文系・社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて20単位まで系列に係わらず卒業単位数に算入される。 但し、体育系はグローバルエデュケーションセンター設置の対象科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り4単位までを卒業単位数に算入することができる。 |
| | 社会系 | | | | | |
| | 自然系 | | | | | |
| | 数理情報系 | | | | | |
| | 総合系 | | | | | |
| 体育系 | — | 4 | — | — | — | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 6 | 22 | ◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Aとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇外国語Aおよび外国語B（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて22単位まで卒業単位数に算入される。 |
| | | コミュニ | 2 | | | |
| | 外国語B （英語） | 基礎 | (8) | | | |
| | | 初級 | | | | |
| 中級 | | | | | | |
| その他の外国語 | — | — | — | | | |
| 専門教育科目 （自専修） | 専門 必修科目 | 1年 | 10 | 44 | — | ◇生涯教育学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計44単位を修得すること。 |
| | | 2年 | 10 | | | |
| 3年 | | 12 | | | | |
| 4年 | | 12 | | | | |
| | 専門選択科目 | — | 14 | — | 52 | ◇生涯教育学専修設置の専門選択科目から14単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて52単位まで卒業単位数に算入される。 |
| 専門教育科目 （他学科） （他専修） | 専門選択科目 | — | — | — | — | ◇他学科他専修科目は全て卒業単位数に算入される。 |
| 他箇所 設置科目 ※2 | 他学部科目 | — | — | — | — | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 但し、科目設置学部において卒業単位数に算入されない科目については、算入することができない。 |
| | 他大学科目 | — | — | — | — | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 |
| | 自由選択科目 （全学部対象科目） | — | — | — | — | ◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。 |
| 教職課程科目※2 | | — | — | — | 20 | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、20単位まで卒業単位数に算入することができる。 |
| ①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計 | | 76 | (84) | | | |
| ②《卒業所定単位数》 | | 124 | ◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計76（84）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。 | | | |

※1. 卒業単位数に算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位数には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※2. 科目の登録方法および卒業単位数への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たすこと。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

| placement test (WeTEC) 判定結果 | 判定レベル | 必要とされる科目レベルおよび単位数 |
|-----------------------------|-------|---------------------|
| 0点 ～ 429点 | 基礎充実 | 「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位 |
| 430点 ～ 599点 | 初級 | 「初級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 600点 ～ 719点 | 中級 | 「中級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 720点 ～ 1000点 | 上級 | 「上級」レベルの科目を計8単位 |

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位数非算入(随意科目)となり、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
 (教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>科目登録情報
 >英語試験により卒業要件(英語)を満たす場合)



【学部で指定する期限】

- 3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
 9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

| 英語力判定試験 | 学部で指定する基準 |
|--------------|-----------|
| TOEFL (iBT) | 73点以上 |
| TOEIC | 690点以上 |
| 実用英語技能検定(英検) | 1級 |

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

| 科目区分系列 | 登録科目の単位数 |
|----------|------------------------------|
| 教育学部共通科目 | 12単位～14単位 |
| 外国語科目 | 《外国語A》4単位、《外国語B》4単位 |
| 専門教育科目 | 1年配当の《必修科目》10単位及び《選択科目》から4単位 |
| 自由選択科目 | 0～8単位 |

◇ゼミ

「社会教育演習Ⅰ-1/Ⅰ-2」(3年必修)・「社会教育演習Ⅱ-1/Ⅱ-2」(4年必修)はいわゆるゼミにあたる科目です。「社会教育演習Ⅰ-1/Ⅰ-2」のクラスは2年生の秋学期、「社会教育演習Ⅱ-1/Ⅱ-2」のクラスは3年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇資格取得

教員志望者・生涯教育関係資格(社会教育主事、社会教育士、図書館司書、学芸員等)、社会福祉主事取得希望者は、できるだけ教育学科生涯教育学専修の専門選択科目を履修することを薦めます。

教員志望者・司法試験受験者・大学院進学希望者は、外国語科目の選択についても十分な留意をしてください。

◇廃止された必修科目の代替について

- ・ 「社会教育実習Ⅰ/Ⅱ」(1年必修)の単位を未修得の者は、「生涯教育基礎演習」を履修し、単位を修得してください。
- ・ 「社会教育研究」(2年必修)の単位を未修得の者は、専門選択科目「社会教育課題研究Ⅰ-1」または「社会教育課題研究Ⅱ-1」のいずれか1科目を科目登録し、科目登録期間中に教育学部事務所にて科目区分変更(選択→必修)の手続きを行ってください。
- ・ 「社会教育方法論」(3年必修)の単位を未修得の者は、専門選択科目「生涯学習支援論Ⅰ」および「生涯学習支援論Ⅱ」を科目登録し、科目登録期間中に教育学部事務所にて科目区分変更(選択→必修)の手続きを行ってください。

◇オンライン授業について

オンライン授業(全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの)により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位数に算入することはできません。

1. 卒業要件の見方

2011～2018年度入学者

【教育学科・教育心理学専修】

《卒業要件》

【科目区分・科目系列】

科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために必要となる単位数が定められています。

要件を満たす
4単位を満
たすこと。

【所定単位数】

その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。これら全てを満たしていない場合、卒業必要単位数(124～134単位)を修得しても卒業不可となります。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 上限単位数※1 | 履修方法 |
|-----------------|--------------|------------------------|-----|---------|--|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 4 | 12 | 20 | ◇人文系 会系・ 位を修 得 ◇所定単 位 0単位 ◇教育心理 学 2単位 |
| | 社会系 | 4 | | | |
| | 自然系 | 4 | | | |
| | 数理情報系 | — | | | |
| | 総合系 | — | | | |
| | 体育系 | — | 2 | | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 6 | ◇外国語A 位、 6単位 本紙 ◇外国語B |
| | | コミュニケーション 演習 ツール | 2 | | |
| | 外国語B (英語) | 基礎 | (8) | 24 | ◇外国語B した単 位 単位 ◇教育心理 学 6単位 |
| | | 初級 | | | |
| | | 中級 | | | |
| | 上級 | | | | |
| | その他の外国語 | — | — | | |
| 専門教育科目 (自専修) | 専門 必修科目 | 1年 | 20 | 38 | ◇教育心理 学 6単位 ◇所定単 位 62単位 |
| | | 2年 | 18 | | |
| | | 3年 | — | | |
| | | 4年 | — | | |
| | 専門 選択科目 | 主選択 | 36 | 62 | |
| 副選択 | | — | — | | |

【上限単位数】

科目区分ごとの、卒業必要単位に算入できる上限単位数。この例では、「共通科目」は20単位まで卒業単位に算入されますので、仮に共通科目で24単位修得しても、4単位分は算入されません。体育系は2単位まで算入可能です。

【英語卒業要件】

卒業に必要な外国語Bの単位数。自身の英語レベル以上の科目を履修しなければなりません。
※中級レベルの者が初級科目を履修しても卒業要件を満たしません。

TOEIC等の外部試験で基準点以上を取得することで、英語卒業要件を満たすことも可能です。その場合英語科目の履修は必要ありませんが、卒業必要単位数(124～134単位)は変わりませんので、この分を他の科目区分から修得しなければなりません。

グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合は申請方法に注意が必要です。(→「2. その他の注意事項」)

② 《卒業所定単位数》

124

◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計92(100)単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。
◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

2. その他の注意事項

①グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合、Web科目申請時に科目区分を変更して申請する必要があります。その際、グローバルエデュケーションセンターが定めている英語レベルと、教育学部が定めている英語レベルが異なりますので、必ず**授業ガイドの「グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧」**を確認し、自身の英語レベル以上の科目を履修申請してください。(例：「General Tutorial English(中級)」は教育学部では「初級」の扱いとなります。)

②2019年度以降入学者は、科目区別の卒業算入上限単位数はありません。しかしながら、一部の科目区分の単位を偏って履修しないよう、体系的に学ぶよう心掛けてください。

3. 成績照会画面の見方

MyWasedaの成績照会画面を開き「単位修得状況の照会」をクリックすると、これまでの単位の修得状況を確認することができます。

1E13A000 さんの成績です。

学生検索

単位修得状況の照会
伝達事項があります
※必ず確認してください。

クリック

| | |
|--------|--------------------|
| 学籍状態 | 在学中 |
| 判定結果 | |
| 外国語 | |
| クラス | A1 |
| 発表開始日付 | 2012年10月30日 09時00分 |

年度分のみ 全て 表示

※この成績照会画面は印刷し、他人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

| 科目名 | 取得年度 | 学期 | 単位 | 成績 |
|------------|------|----|----|----|
| ◎教育学部共通科目◎ | | | | |
| 【人文系】 | | | | |

単位修得状況は科目登録、成績発表時には必ず確認してください。
授業ガイドより卒業要件を確認の上、卒業に必要な科目を履修してください。

【科目区分名】

科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために必要となる単位数が定められています。

※この成績照会画面は印刷し、他人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

| 科目区分名 | 所定 | 既得 | 算入 |
|--------------|-----|----|----|
| 教育学部共通科目 | 4 | 8 | 8 |
| 人文系・社会系 | 4 | 4 | 4 |
| 自然系 | | 0 | 0 |
| 数理情報系 | | 0 | 0 |
| 総合系 | | 0 | 0 |
| 小計 | 12 | 12 | 12 |
| 体育系 | | 0 | 0 |
| 小計 | | 12 | 12 |
| 外国語A | 6 | 6 | 6 |
| <中国語(基礎)> | 4 | 4 | 4 |
| <中国語(コミュ基礎)> | 2 | 2 | 2 |
| 外国語B | 4 | 4 | 4 |
| 外国語その他 | | 0 | 0 |
| 小計 | 6 | 10 | 10 |
| 一年必修 | 20 | 20 | 20 |
| 二年必修 | 18 | 0 | 0 |
| 小計 | 38 | 20 | 20 |
| 主・副選択 | | 0 | 0 |
| 自由選択科目 | | 0 | 0 |
| 教職課程科目 | | 0 | 0 |
| 小計 | | 0 | 0 |
| 小計 | | 0 | 0 |
| 小計 | | 6 | 0 |
| 小計 | | 6 | 0 |
| 小計 | | 8 | 0 |
| 小計 | | 8 | 0 |
| 【上記以外の卒業要件】 | | 0 | 0 |
| 選択(主選択) | 36 | 0 | 0 |
| 英語卒業要件(初級以上) | 8 | 4 | 4 |
| 小計 | 124 | 56 | 42 |

【《上記以外の卒業要件》】

学科専攻専修によって定められた卒業要件
2011年度以降入学の教育心理学専修の場合、以下の要件があります。
※入学年度により要件は異なります。

- ①専門選択科目のうち主選択から36単位修得
(2010年度以前入学者は40単位修得)
- ②英語卒業要件

【所定・既得・算入】

「所定」…その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。授業ガイドの「所定単位数」を意味します。
「既得」…科目区分・科目系列ごとの修得した総単位数。卒業所定単位に算入されない単位も含まれます。
「算入」…科目区分・科目系列ごとの修得した卒業所定単位に算入される総単位数。随意科目は含まれません。

よって、卒業要件を満たすには「所定単位数 ≤ 算入単位数」となるように単位を修得し、全体で卒業必要単位数(124~134単位)を修得しなければなりません。その際、各科目区分の算入上限単位数にご注意ください。※

※科目登録の際は、各科目区分の単位修得状況と授業ガイドの卒業要件のページを確認してください。科目区分に上限単位数が設定されている場合、上限単位数以上に履修申請をしても、上限を超えた分の単位は卒業単位に算入されません。

【教育学科・教育心理学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 履修方法 | |
|--------------------------|---------------------|-------|-------|---|---|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 4 | 4 | 12 | ◇人文系・社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位数に算入される。 但し、体育系については、グローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り卒業単位数に算入することができる。 |
| | 社会系 | | | | |
| | 自然系 | 4 | | | |
| | 数理情報系 | — | | | |
| | 総合系 | — | | | |
| | 体育系 | — | | | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 6 | ◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Aとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位数に算入される。 |
| | | コミニ | 2 | | |
| | | 語演習 | — | | |
| | 外国語B (英語) | 基礎 | (8) | — | |
| | | 初級 | | | |
| 中級 | | | | | |
| | 上級 | | | | |
| | その他の外国語 | — | | | |
| 専門教育科目 (自専修) | 専門 必修科目 | 1年 | 20 | 38 | ◇教育心理学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計38単位を修得すること。 |
| | | 2年 | 18 | | |
| | | 3年 | — | | |
| | | 4年 | — | | |
| 専門 選択科目 | 主選択 | 36 | — | ◇教育心理学専修設置の主選択科目から36単位を修得すること。 | |
| | 副選択 | — | — | ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位数に算入される。 | |
| 専門教育科目 (他学科) (他専修) | 専門選択科目 | — | — | ◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は卒業単位数に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位数に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位数に算入されない科目については、算入することができない。 | |
| 他箇所 設置科目 ※ | 他学部科目 | — | — | ◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。 | |
| | 他大学科目 | — | — | | |
| | 自由選択科目 (全学部対象科目) | — | — | | |
| 教職課程科目※ | | — | — | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 | |
| ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計 | | 92 | (100) | | |
| ②《卒業所定単位数》 | | 124 | | ◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計92(100)単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。 | |

※科目の登録方法および卒業単位数への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たすこと。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

| placement test (WeTEC) 判定結果 | 判定レベル | 必要とされる科目レベルおよび単位数 |
|-----------------------------|-------|---------------------|
| 0点 ～ 429点 | 基礎充実 | 「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位 |
| 430点 ～ 599点 | 初級 | 「初級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 600点 ～ 719点 | 中級 | 「中級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 720点 ～ 1000点 | 上級 | 「上級」レベルの科目を計8単位 |

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位数非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことになる。

② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
 (教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>科目登録情報
 >英語試験により卒業要件(英語)を満たす場合)



【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
 9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。

| 英語力判定試験 | 学部で指定する基準 |
|----------------------------------|-----------|
| TOEIC (Listening & Reading Test) | 690点以上 |
| TOEFL (iBT) | 73点以上 |
| 実用英語技能検定(英検) | 1級 |

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

| 科目区分系列 | 登録科目の単位数 |
|----------|-------------------------------------|
| 教育学部共通科目 | 0～8単位 |
| 外国語科目 | 《外国語A》4単位、《外国語B》4単位 |
| 専門教育科目 | 1年配当の《必修科目》20単位及び《主選択・副選択科目》から0～4単位 |
| 自由選択科目 | 0～4単位 |

◇卒業論文

・卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。
 卒業論文の内容に近い実験演習、演習(ゼミ)を履修しておくことを勧めます。

◇進学

大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇資格取得

・認定心理士の資格取得を希望する者は「卒業論文」を履修してください。
 ・公認心理士の資格取得を希望する者は公認心理師法で定める25科目を履修しなければなりません。履修科目・履修方法についてはガイダンス及び公認心理師コンソーシアムのホームページを参考にして下さい。この資格の取得には原則として大学院進学が必要となります。

◇オンライン授業について

オンライン授業(全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの)により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位数に算入することはできません。

【教育学科・教育心理学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

卒業要件と履修方法

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 上限単位数 ※1 | 履修方法 |
|--------------------------|---------------------|------------|-------|---|--|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 4 | 12 | 20 | ◇人文系・社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて20単位まで系列に係わらず卒業単位の算入される。 但し、体育系はグローバルエデュケーションセンター設置の対象科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り2単位までを卒業単位の算入することができる。 |
| | 社会系 | 4 | | | |
| | 自然系 | 4 | | | |
| | 数理情報系 | — | | | |
| | 総合系 | — | | | |
| | 体育系 | — | 2 | | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 コミュ | 4 | 6 | ◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Aとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇外国語Aおよび外国語B（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて24単位まで卒業単位の算入される。 |
| | | 語演習 ツール | 2 | | |
| | | 基礎 | — | | |
| | 外国語B (英語) | 初級 | (8) | 24 | |
| | | 中級 | | | |
| 上級 | | | | | |
| | その他の外国語 | — | | | |
| 専門教育科目 (自専修) | 専門 必修科目 | 1年 | 20 | 38 | ◇教育心理学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計38単位を修得すること。 |
| | | 2年 | 18 | | |
| | | 3年 | — | | |
| | | 4年 | — | | |
| | 専門 選択科目 | 主選択 | 36 | 62 | |
| 副選択 | | — | | | |
| 専門教育科目 (他学科) (他専修) | 専門選択科目 | — | 16 | ◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計16単位まで卒業単位の算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位の算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。 | |
| 他学部科目 | — | | | | |
| 他大学科目 | — | | | | |
| 他箇所 設置科目 ※2 | 自由選択科目 (全学部対象科目) | — | 16 | ◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、16単位まで卒業単位の算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。 | |
| 教職課程科目※2 | | — | 20 | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、20単位まで卒業単位の算入することができる。 | |
| ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計 | | 92 | (100) | | |

| | | |
|------------|-----|---|
| ②《卒業所定単位数》 | 124 | ◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計92（100）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。 |
|------------|-----|---|

※1. 卒業単位の算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。
 ※2. 科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たすこと。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

| placement test (WeTEC) 判定結果 | 判定レベル | 必要とされる科目レベルおよび単位数 |
|-----------------------------|-------|---------------------|
| 0点 ～ 429点 | 基礎充実 | 「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位 |
| 430点 ～ 599点 | 初級 | 「初級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 600点 ～ 719点 | 中級 | 「中級」レベル以上の科目を計8単位 |
| 720点 ～ 1000点 | 上級 | 「上級」レベルの科目を計8単位 |

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入(随意科目)となり、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18

(教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>科目登録情報

>英語試験により卒業要件(英語)を満たす場合)



【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

| 英語力判定試験 | 学部で指定する基準 |
|--------------|-----------|
| TOEFL (iBT) | 73点以上 |
| TOEIC | 690点以上 |
| 実用英語技能検定(英検) | 1級 |

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

| 科目区分系列 | 登録科目の単位数 |
|----------|------------------------------------|
| 教育学部共通科目 | 0～8単位 |
| 外国語科目 | 《外国語A》4単位、《外国語B》4単位 |
| 専門教育科目 | 1年配当の《必修科目》20単位及び《選択・副選択科目》から0～4単位 |
| 自由選択科目 | 0～4単位 |

◇卒業論文

- 卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。卒業論文の内容に近い実験演習、演習(ゼミ)を履修しておくことを勧めます。

◇進学

大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇資格取得

- 認定心理士の資格取得を希望する者は「卒業論文」を履修してください。
- 公認心理師の資格取得を希望する者は公認心理師法で定める25科目を履修しなければなりません。履修科目・履修方法についてはガイダンス及び公認心理師コンソーシアムのホームページを参考にしてください。この資格の取得には原則として大学院進学が必要となります。

◇オンライン授業について

オンライン授業(全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの)により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・教育心理学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の2つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「**所定単位数**」を満たすこと。
- ②**卒業単位の合計で「卒業所定単位数」 74単位**を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 履修方法 | |
|-----------|------------|-------|----|------|---|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 専門教育科目 | 専門 必修科目 | 1年 | 20 | 38 | ◇教育心理学専修設置の全必修科目を履修し、合計38単位を修得すること。（4年配当科目は4年次に履修すること。） |
| | | 2年 | 18 | | |
| | | 3年 | — | | |
| | | 4年 | — | | |
| | 専門 選択科目 | 主選択 | 36 | | |
| 副選択 | | — | | | |
| 《卒業所定単位数》 | | 74 | | | |

《履修上の注意》

◇年間履修制限単位数

- ・ 教育心理学専修学士入学者（2012年度以降入学者）の年間履修制限単位数は『**46単位**』です。

◇卒業論文

- ・ 卒業論文は、卒業所定単位数74単位のうち**28単位以上**を修得していなければ、科目登録をすることができません。卒業論文の内容に近い実験演習、演習（ゼミ）を履修しておくことを勧めます。

◇進学

- ・ 大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇資格取得

- ・ 認定心理士の資格取得を希望する者は「卒業論文」を履修してください。
- ・ 公認心理師の資格取得を希望する者は公認心理師法で定める25科目を履修しなければなりません。履修科目・履修方法についてはガイダンス及び公認心理師コンソーシアムのホームページを参考にして下さい。この資格の取得には原則として大学院進学が必要となります。

◇学士入学者への注意事項

- ・ 専門教育科目以外の科目を履修した場合、随意科目として取り扱い、卒業所定単位数、年間履修制限単位数に含まれません。
- ・ 学士入学者は外国語A・外国語Bを履修する必要はありませんが履修を希望される場合は、教育学部事務所に所定の手続きが必要です。外国語に設定されている各種前提条件は学士入学者に適用されませんので、どのレベルからも履修することが可能です。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位数に算入することはできません。

1. 卒業要件の見方

2014～2018年度入学者

【教育学科・初等教育学専攻】

【科目区分・科目系列】

科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために必要となる単位数が定められています。

【所定単位数】

その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。これらを全て満たしていない場合、卒業必要単位数（124～134単位）を修得しても卒業不可となります。

③別表「英語」の要件を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 上限単位数※1 | 履修方法 |
|-----------------|--------------|-------|----|--|--|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 2 | 8 | 16 | ◇人文系・会系・自を修得す ◇所定単 【上限単位数】 科目区分ごとの、卒業必要単位数に算入できる上限単位数。この例では、「共通科目」は16単位まで卒業単位数に算入されますので、仮に共通科目で20単位修得しても、4単位分は算入されません。 但し、体育系は2単位まで算入可能です。 ◇一般置科目は科目系列・科目系列ごとの所定単位数を2単位までを卒業単位数に算入することができる。 |
| | 社会系 | — | | | |
| | 自然系 | 2 | | | |
| | 数理情報系 | — | | | |
| | 総合系 | — | | | |
| 体育系 | — | 2 | | | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 6 | ◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外6単位を本紙「外6」で履修し、合計6単位を修得すること。 |
| | | コミュニ | 2 | | |
| | 外国語B (英語) | 語演習 | — | (4) | ◇外国語Bとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外6単位を本紙「外6」で履修し、合計6単位を修得すること。 ※中級レベルの者が初級科目を履修しても卒業要件を満たしません。 |
| | | 基礎 | — | | |
| | | 初級 | — | | |
| 中級 | — | — | — | ◇外国語Aとして選択した単位単位数と ◇初等教育修し、合 | |
| 上級 | — | — | — | TOEIC等の外部試験で基準点以上を取得することで、英語卒業要件を満たすことも可能です。その場合英語科目の履修は必要なくなりますが、卒業必要単位数(124～134単位)は変わりませんので、この分を他の科目区分から修得しなければなりません。 | |
| 専門教育科目 (自専攻) | 専門 必修科目 | 1年 | 20 | 50 | ◇初等教育修し、合 |
| | | 2年 | 20 | | |
| | | 3年 | 10 | | |
| | | 4年 | — | | |
| 専門 選択科目 | 主選択 | 4 | 6 | 58 | ◇初等教育選択科目 ◇A群以上単位以上域を選択こと。 |
| | | 副選択 | | | |
| ②《卒業所定単位数》 | | 134 | | ◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計122(126)単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。 | |

2. その他の注意事項

①グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合、Web科目申請時に科目区分を変更して申請する必要があります。その際、グローバルエデュケーションセンターが定めている英語レベルと、教育学部が定めている英語レベルが異なりますので、必ず授業ガイドの「グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧」を確認し、自身の英語レベル以上の科目を履修申請してください。(例:「General Tutorial English (中級)」は教育学部では「初級」の扱いとなります。)

②2019年度以降入学者は、科目区分別の卒業算入上限単位数はありません。しかしながら、一部の科目区分の単位を偏って履修しないよう、体系的に学ぶよう心掛けてください。

3. 成績照会画面の見方

MyWasedaの成績照会画面を開き「単位修得状況の照会」をクリックすると、これまでの単位の修得状況を確認することができます。

単位修得状況の照会
伝達事項があります
※必ず確認してください。

クリック

| 科目名 | 取得年度 | 学期 | 単位 | 成績 |
|------------|------|----|----|----|
| ◎教育学部共通科目◎ | | | | |
| 【人文系】 | | | | |

単位修得状況は科目登録、成績発表時には必ず確認してください。
授業ガイドより卒業要件を確認の上、卒業に必要な科目を履修してください。

【科目区分名】
科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために
必要となる単位数が定められています。

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

【《上記以外の卒業要件》】
学科専攻専修によって定められた卒業要件
2014～2018年度入学の初等教育学専攻の場合、
以下の要件があります。
※入学年度により要件は異なります。

① 専門選択科目のうち主選択から46単位修得
② 専門選択科目A群1～4領域から2領域以上
にわたり8単位修得（1領域のみは不可）
③ 専門選択科目B群のうち、自身で選択した
領域から4単位修得
（1年終了時に領域を選択します。）
④ 英語卒業要件

| 科目区分名 | 所定 | 既得 | 算入 |
|------------------|-----|-----|-----|
| 教育学部共通科目 | | | |
| 人文系・社会系 | 2 | 4 | 4 |
| 自然系 | 2 | 2 | 2 |
| 数理情報系 | | 2 | 2 |
| 総合系 | | 0 | 0 |
| 小計 | 8 | 8 | 8 |
| 体育系 | | 2 | 2 |
| 小計 | | 10 | 10 |
| 外国語A | 6 | 6 | 6 |
| < 仏語(基礎) > | 4 | 4 | 4 |
| < 仏語(コミュ基礎) > | 2 | 2 | 2 |
| 外国語B | | 4 | 4 |
| 外国語その他 | | 0 | 0 |
| 小計 | 6 | 10 | 10 |
| 一年必修 | 20 | 20 | 20 |
| 二年必修 | 20 | 20 | 20 |
| 三年必修 | 14 | 14 | 14 |
| 四年必修 | 12 | 12 | 12 |
| 小計 | 66 | 66 | 66 |
| 専門教育科目(選択) | 42 | 52 | 50 |
| 自由選択科目 | | 0 | 0 |
| 教職課程科目 | | 7 | 7 |
| 小計 | | 0 | 0 |
| 小計 | | 0 | 0 |
| 小計 | | 0 | 0 |
| 小計 | | 4 | 0 |
| 小計 | | 4 | 0 |
| 《上記以外の卒業要件》 | | 0 | 0 |
| 選択(主選択) | 30 | 46 | 46 |
| 専門教育科目(主選択A群) | 8 | 12 | 12 |
| 教育学部初等教育学専攻B群5領域 | 4 | 22 | 22 |
| 英語卒業要件(中級以上) | 4 | 4 | 4 |
| 小計 | 134 | 149 | 143 |

【所定・既得・算入】
「所定」…その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。授業ガイドの「所定単位数」を意味します。
「既得」…科目区分・科目系列ごとの修得した総単位数。卒業所定単位に算入されない単位も含まれます。
「算入」…科目区分・科目系列ごとの修得した卒業所定単位に算入される総単位数。随意科目は含まれません。

よって、卒業要件を満たすには「所定単位数 ≤ 算入単位数」となるように単位を修得し、全体で卒業必要単位数（124～134単位）を修得しなければなりません。その際、各科目区分の算入上限単位数にご注意ください。※

※科目登録の際は、各科目区分の単位修得状況と授業ガイドの卒業要件のページを確認してください。科目区分に上限単位数が設定されている場合、上限単位数以上に履修申請をしても、上限を超えた分の単位は卒業単位に算入されません。

卒業要件と履修方法

【教育学科・初等教育学専攻】

《卒業要件》

本専攻を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」134単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 履修方法 | |
|-----------------------------|---------------------|-----------|-------|------|---|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 2 | 4 | 8 | ◇人文系・社会系から2単位、自然系から2単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計8単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位数に算入される。 |
| | 社会系 | | | | |
| | 自然系 | | | | |
| | 数理情報系 | | | | |
| | 総合系 | | | | |
| 体育系 | — | — | — | — | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 6 | ◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Aとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、()内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位数に算入される。 |
| | | コミュニケーション | 2 | | |
| | | 語演習 | — | | |
| | 外国語B (英語) | 基礎 | (4) | — | |
| | | 初級 | | | |
| 中級 | | | | | |
| 上級 | — | | | | |
| その他の外国語 | — | — | — | | |
| 専門教育科目 (自専攻) | 専門 必修科目 | 1年 | 20 | 51 | ◇初等教育学専攻設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計51単位を修得すること。 |
| | | 2年 | 21 | | |
| | | 3年 | 10 | | |
| | | 4年 | — | | |
| 専門 選択科目 | 主選択 | 46 | 12 | 58 | ◇初等教育学専攻設置の主選択科目から46単位、主選択・副選択科目から12単位の合計58単位を修得すること。 ◇A群については1～4領域から2領域以上にわたり、合計8単位以上を修得すること。B群については1～5群から1領域を選択し、選択した領域について、4単位以上を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位数に算入される。 |
| | | 副選択 | | | |
| 専門教育科目 (他学科) (他専修) | 専門選択科目 | — | — | — | ◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は卒業単位数に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位数に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位数に算入されない科目については、算入することができない。 |
| 他箇所 設置科目 ※ | 他学部科目 | — | — | — | ◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。 |
| | 他大学科目 | — | — | — | |
| | 自由選択科目 (全学部対象科目) | — | — | — | |
| 教職課程科目※ | | — | — | — | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 |
| ①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計 | | 123 | (127) | — | — |

| | | |
|------------|-----|---|
| ②《卒業所定単位数》 | 134 | ◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計122(126)単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。 |
|------------|-----|---|

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

| placement test (WeTEC) 判定結果 | 判定レベル | 必要とされる科目レベルおよび単位数 |
|-----------------------------|-------|---------------------|
| 0点 ～ 429点 | 基礎充実 | 「基礎充実」レベル以上の科目を計4単位 |
| 430点 ～ 599点 | 初級 | 「初級」レベル以上の科目を計4単位 |
| 600点 ～ 719点 | 中級 | 「中級」レベル以上の科目を計4単位 |
| 720点 ～ 1000点 | 上級 | 「上級」レベルの科目を計4単位 |

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
 (教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>科目登録情報
 >英語試験により卒業要件(英語)を満たす場合)



【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。

| 英語力判定試験 | 学部で指定する基準 |
|----------------------------------|-----------|
| TOEIC (Listening & Reading Test) | 690点以上 |
| TOEFL (iBT) | 73点以上 |
| 実用英語技能検定(英検) | 1級 |

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

| 科目区分系列 | 登録科目の単位数 |
|----------|--------------------------------------|
| 教育学部共通科目 | 4～8単位 |
| 外国語科目 | 《外国語A》4単位、《外国語B》4単位 |
| 専門教育科目 | 1年配当の《必修科目》20単位及び《主選択・副選択科目》から4～10単位 |
| 自由選択科目 | 0～4単位 |

◇B群の選択

B群科目は教育学部の他学科他専修設置科目です。

B群の選択については1年次秋学期に選択し、2年次から履修を開始します。自分の専門性を踏まえて選択してください。

◇ゼミ

「初等教育学演習Ⅰ」（3年専門選択）・「初等教育学演習Ⅱ」（4年専門選択）はいわゆるゼミにあたる科目です。各クラスごとに「初等教育学演習Ⅰ」と「初等教育学演習Ⅱ」との合併授業として2年連続で行われます。「初等教育学演習Ⅰ」のクラスは2年次の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「初等教育学演習Ⅱ」は「初等教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き担当教員のクラスを履修することになります。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数134単位のうち90単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇進学

大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・初等教育学専攻】

《卒業要件》

本専攻を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」134単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 履修方法 | |
|-----------------------------|---------------------|-------------|-------|---|---|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 2 | 4 | 8 | ◇人文系・社会系から2単位、自然系から2単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計8単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位数に算入される。 |
| | 社会系 | | | | |
| | 自然系 | | | | |
| | 数理情報系 | | | | |
| | 総合系 | | | | |
| 体育系 | — | | | | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 6 | ◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Aとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、()内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位数に算入される。 |
| | | コミュニ 語演習 | 2 | | |
| | | ツール | — | | |
| | 外国語B (英語) | 基礎 | (4) | — | |
| | | 初級 | | | |
| 中級 | | | | | |
| 上級 | — | | | | |
| その他の外国語 | — | | | | |
| 専門教育科目 (自専攻) | 専門 必修科目 | 1年 | 20 | 50 | ◇初等教育学専攻設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計50単位を修得すること。 |
| | | 2年 | 20 | | |
| | | 3年 | 10 | | |
| | | 4年 | — | | |
| | 専門 選択科目 | 主選択 | 46 | 12 | |
| 副選択 | | — | | | |
| 専門教育科目 (他学科) (他専修) | 専門選択科目 | — | | ◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は卒業単位数に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位数に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位数に算入されない科目については、算入することができない。 | |
| 他箇所 設置科目 ※ | 他学部科目 | — | | ◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。 | |
| | 他大学科目 | — | | | |
| | 自由選択科目 (全学部対象科目) | — | | | |
| 教職課程科目※ | | — | | ◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位数に算入することができる。 | |
| ①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計 | | 122 | (126) | | |

| | | |
|------------|-----|---|
| ②《卒業所定単位数》 | 134 | ◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計122(126)単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。 |
|------------|-----|---|

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

| placement test (WeTEC) 判定結果 | 判定レベル | 必要とされる科目レベルおよび単位数 |
|-----------------------------|-------|---------------------|
| 0点 ～ 429点 | 基礎充実 | 「基礎充実」レベル以上の科目を計4単位 |
| 430点 ～ 599点 | 初級 | 「初級」レベル以上の科目を計4単位 |
| 600点 ～ 719点 | 中級 | 「中級」レベル以上の科目を計4単位 |
| 720点 ～ 1000点 | 上級 | 「上級」レベルの科目を計4単位 |

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
 (教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>科目登録情報
 >英語試験により卒業要件(英語)を満たす場合)



【学部で指定する期限】

- 3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
 9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。

| 英語力判定試験 | 学部で指定する基準 |
|----------------------------------|-----------|
| TOEIC (Listening & Reading Test) | 690点以上 |
| TOEFL (iBT) | 73点以上 |
| 実用英語技能検定 (英検) | 1級 |

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

| 科目区分系列 | 登録科目の単位数 |
|----------|--------------------------------------|
| 教育学部共通科目 | 4～8単位 |
| 外国語科目 | 《外国語A》4単位、《外国語B》4単位 |
| 専門教育科目 | 1年配当の《必修科目》20単位及び《主選択・副選択科目》から4～10単位 |
| 自由選択科目 | 0～4単位 |

◇B群の選択

B群科目は教育学部の他学科他専修設置科目です。

B群の選択については1年次秋学期に選択し、2年次から履修を開始します。自分の専門性を踏まえて選択してください。

◇ゼミ

「初等教育学演習Ⅰ」（3年専門選択）・「初等教育学演習Ⅱ」（4年専門選択）はいわゆるゼミにあたる科目です。各クラスごとに「初等教育学演習Ⅰ」と「初等教育学演習Ⅱ」との合併授業として2年連続で行われます。「初等教育学演習Ⅰ」のクラスは2年次の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「初等教育学演習Ⅱ」は「初等教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き担当教員のクラスを履修することになります。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数134単位のうち90単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇進学

大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・初等教育学専攻】

《卒業要件》

本専攻を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」134単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 上限 単位数 ※1 | 履修方法 |
|-----------------------------|---------------------|-------|-----|-----------------|-------|
| | | 内訳 | 計 | | |
| 教育学部 共通科目 | 人文系 | 2 | 4 | 8 | 16 |
| | 社会系 | — | | | |
| | 自然系 | 2 | | | |
| | 数理情報系 | — | | | |
| | 総合系 | — | | | |
| | 体育系 | — | — | 2 | |
| 外国語科目 | 外国語A | 基礎 | 4 | 6 | 18 |
| | | コミュニ | 2 | | |
| | | 語演習 | — | | |
| | 外国語B (英語) | 基礎 | (4) | — | |
| | | 初級 | | | |
| 中級 | | | | | |
| | 上級 | — | — | | |
| | その他の外国語 | — | — | — | |
| 専門教育科目 (自専攻) | 専門 必修科目 | 1年 | 20 | 50 | — |
| | | 2年 | 20 | | |
| | | 3年 | 10 | | |
| | | 4年 | — | | |
| 専門 選択科目 | 主選択 | 46 | 12 | 58 | — |
| | | 副選択 | | | |
| 専門教育科目 (他学科) (他専修) | 専門選択科目 | — | — | — | 12 |
| 他箇所 設置科目 ※2 | 他学部科目 | — | — | — | 12 |
| | 他大学科目 | — | — | — | 12 |
| | 自由選択科目 (全学部対象科目) | — | — | — | 12 |
| 教職課程科目※2 | | — | — | — | 12 |
| ①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計 | | 122 | — | — | (126) |
| ②《卒業所定単位数》 | | 134 | — | — | — |

※1. 卒業単位数に算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※2. 科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

| placement test (WeTEC) 判定結果 | 判定レベル | 必要とされる科目レベルおよび単位数 |
|-----------------------------|-------|---------------------|
| 0点 ～ 429点 | 基礎充実 | 「基礎充実」レベル以上の科目を計4単位 |
| 430点 ～ 599点 | 初級 | 「初級」レベル以上の科目を計4単位 |
| 600点 ～ 719点 | 中級 | 「中級」レベル以上の科目を計4単位 |
| 720点 ～ 1000点 | 上級 | 「上級」レベルの科目を計4単位 |

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位数非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18

（教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>科目登録情報
>英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）



【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験（ITP・IP）も可。

| 英語力判定試験 | 学部で指定する基準 |
|--------------|-----------|
| TOEFL (iBT) | 73点以上 |
| TOEIC | 690点以上 |
| 実用英語技能検定（英検） | 1級 |

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

| 科目区分系列 | 登録科目の単位数 |
|----------|--------------------------------------|
| 教育学部共通科目 | 4～8単位 |
| 外国語科目 | 《外国語A》4単位、《外国語B》4単位 |
| 専門教育科目 | 1年配当の《必修科目》20単位及び《主選択・副選択科目》から4～10単位 |
| 自由選択科目 | 0～4単位 |

◇B群の選択

B群科目は教育学部の他学科他専修設置科目です。

B群の選択については1年次秋学期に選択し、2年次から履修を開始します。自分の専門性を踏まえて選択してください。

◇ゼミ

「初等教育学演習Ⅰ」（3年専門選択）・「初等教育学演習Ⅱ」（4年専門選択）はいわゆるゼミにあたる科目です。各クラスごとに「初等教育学演習Ⅰ」と「初等教育学演習Ⅱ」との合併授業として2年連続で行われます。「初等教育学演習Ⅰ」のクラスは2年次の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「初等教育学演習Ⅱ」は「初等教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き担当教員のクラスを履修することになります。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数134単位のうち90単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇進学

大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位数に算入することはできません。

【教育学科・初等教育学専攻】

《卒業要件》

本専攻を卒業するためには、以下の2つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「**所定単位数**」を満たすこと。
- ②**卒業単位の合計で「卒業所定単位数」 88単位**を満たすこと。

| 科目区分 | 科目系列 | 所定単位数 | | 履修方法 | | | |
|-----------|------------|-------|----|------|--|----|--|
| | | 内訳 | 計 | | | | |
| 専門教育科目 | 専門 必修科目 | 1年 | 14 | 38 | ◇初等教育学専攻設置の2014年度以降入学者の必修科目の内、指定された科目を履修し、合計38単位を修得すること。 ◇専門必修科目のうち、「子ども理解と授業」「初等教育学基礎演習Ⅰ」「初等教育学基礎演習Ⅱ」「子どもの生活と福祉」「初等教育学基礎演習Ⅲ」「初等教育学基礎演習Ⅳ」は卒業要件としない。なお、当該科目を履修し単位を修得した場合は、随意科目とする。 | | |
| | | 2年 | 14 | | | | |
| | | 3年 | 10 | | | | |
| | | 4年 | — | | | | |
| | 専門 選択科目 | 主選択 | 38 | 12 | | 50 | ◇A群については1～4領域から2領域以上にわたり、合計8単位以上を修得すること。B群については1～5群から1領域を選択し、選択した領域について4単位以上を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、卒業単位数に算入される。 |
| | | 副選択 | — | | | | |
| 《卒業所定単位数》 | | 88 | | | | | |

《履修上の注意》

◇年間履修制限単位数

- ・ 初等教育学専攻学士入学者の年間履修制限単位数は『**50単位**』です。

◇卒業論文

- ・ 卒業論文は、卒業所定単位数88単位のうち**38単位以上**を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇B群の選択

- ・ 入学時に選択します。B群の選択については自分の専門性を踏まえて選択してください。

◇ゼミ

- ・ 「初等教育学演習Ⅰ」（3年選択）・「初等教育学演習Ⅱ」（4年選択）はいわゆるゼミにあたる科目です。各クラスごとに「初等教育学演習Ⅰ」と「初等教育学演習Ⅱ」との合併授業として2年連続で行われます。「初等教育学演習Ⅱ」は「初等教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き担当教員のクラスを履修することになります。

◇進学

- ・ 大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇学士入学者への注意事項

- ・ 専門教育科目以外の科目を履修した場合、随意科目として取り扱い、卒業所定単位数、年間履修制限単位数に含まれません。
- ・ 学士入学者は外国語A・外国語Bを履修する必要はありませんが履修を希望される場合は、教育学部事務所に所定の手続きが必要です。外国語に設定されている各種前提条件は学士入学者に適用されませんので、どのレベルからも履修することが可能です。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60単位を超えて卒業所定単位数に算入することはできません。

2. 外国語科目の履修方法

2-1. 設置科目と科目区分

本学部では、外国語として英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語（グローバルエデュケーションセンター設置科目）を設定しています。また、科目の区分として《外国語A（英語以外の外国語）》と《外国語B（英語）》の2種類に分けています。

2-2. 外国語Aについて

(1) 外国語Aの登録

入学手続き時にドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語のうちいずれか一つを外国語Aとして選択します。**登録した外国語の変更は原則認めません。**複合文化学科の学生は、朝鮮語を除く5つの言語のうちのいずれかを既修でなければ、朝鮮語を選択できません。

外国語Aとして選択した外国語以外の教育学部設置外国語科目を履修した場合、「その他の外国語」区分になります。また、外国語Aとして選択していないグローバルエデュケーションセンター設置外国語科目を履修した場合、随意科目として扱います。

(2) 卒業するために必要な履修科目・単位数

「授業ガイド > I 卒業要件と履修方法」を参照のこと。

(3) 履修方法

「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「ロシア語」「スペイン語」

教育学部には、外国語A科目として朝鮮語を除く5言語について、以下を設置しています。

- 「外国語の基礎」
- 「外国語のコミュニケーションの基礎」
- 「外国語演習（I1・I2・II1・II2・III・IV）」
- 「ツールとしての外国語（I・II・III・IV・V）」

正式な科目名称は上記科目名の「外国語」がそれぞれ「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「ロシア語」「スペイン語」に置き換わります。なお、複合文化学科の学生は、上記「外国語演習」、「ツールとしての外国語」を専門科目として履修するため、これらの科目を外国語A科目として履修することはできません。

①履修の順番

| 外国語の基礎 | 原則として初年度に履修します。1年次は自動登録します。 | | | | | | | | | | |
|------------------|--|-----------------------|-----------------------|-----------|----------|-----------|----------|----------|-----------------------|---------|----------|
| 外国語のコミュニケーションの基礎 | 初年度に「外国語の基礎」と並行して履修することも、翌年度以降に履修することもできます。各自で科目登録が必要です。 | | | | | | | | | | |
| 外国語演習 | <p>【複合文化学科以外】 履修には「外国語の基礎」を修得済である必要があります。ローマ数字IからIVへと順次レベルが高くなります。各自の能力と興味に応じて科目を選択のこと。</p> <p>【複合文化学科】 履修には「外国語の基礎」の単位を修得済である必要があります。履修はローマ数字の順（I→II→III→IV）にしてください。履修には下記の前提科目があります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>左記科目履修のために単位の修得が必要な科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外国語演習II 1</td> <td>外国語演習I 1</td> </tr> <tr> <td>外国語演習II 2</td> <td>外国語演習I 2</td> </tr> <tr> <td>外国語演習III</td> <td>外国語演習II 1または外国語演習II 2</td> </tr> <tr> <td>外国語演習IV</td> <td>外国語演習III</td> </tr> </tbody> </table> | 科目 | 左記科目履修のために単位の修得が必要な科目 | 外国語演習II 1 | 外国語演習I 1 | 外国語演習II 2 | 外国語演習I 2 | 外国語演習III | 外国語演習II 1または外国語演習II 2 | 外国語演習IV | 外国語演習III |
| | 科目 | 左記科目履修のために単位の修得が必要な科目 | | | | | | | | | |
| | 外国語演習II 1 | 外国語演習I 1 | | | | | | | | | |
| | 外国語演習II 2 | 外国語演習I 2 | | | | | | | | | |
| | 外国語演習III | 外国語演習II 1または外国語演習II 2 | | | | | | | | | |
| 外国語演習IV | 外国語演習III | | | | | | | | | | |
| ツールとしての外国語 | <p>【複合文化学科以外】 履修には「外国語の基礎」と「外国語のコミュニケーションの基礎」を修得済である必要があります。ローマ数字IからVへと順次レベルが高くなります。各自の能力と興味に応じて選択してください。</p> <p>【複合文化学科】 履修には「外国語の基礎」と「外国語のコミュニケーションの基礎」を修得済である必要があります。履修はローマ数字の順（I→II→III→IV→V）にしてください。</p> | | | | | | | | | | |

②科目登録

初年度の「外国語の基礎」は、受講曜日・時限・クラスが自動登録されます。その他の科目は各自が組(クラス)を選択し科目登録してください。

③統一到達度テスト

「外国語の基礎」は年度末に統一到達度テストを実施します。未受験の場合「外国語の基礎」の単位を修得できません。

※朝鮮語は統一到達度テストを実施しません。

④既修者の履修方法

本制度は外国語科目の上位レベルからスタートするものであり、**単位を付与するものではありません。**

既修者登録を希望する場合、「英語以外の外国語を学ぼう」に掲載されている「外国語A基礎科目履修免除」の申請をしてください

[複合文化学科以外]

次のA・Bに該当する学生は「外国語演習 (I1・I2・II1・II2・III・IV)」、「ツールとしての外国語 (I・II・III・IV・V)」(これらに相当するグローバルエデュケーションセンター設置科目を含む) から必要単位を履修してください。なお、基礎の免除が認められても、外国語Aの卒業必要単位数は変わりません。

A:ドイツ語・フランス語で受験した学生が、受験時と同一の外国語を履修する場合

B:外国語の既修者(「外国語A基礎科目履修免除」申請をして、承認された者)

[複合文化学科]

ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語の既修者は、「外国語A基礎科目履修免除」を申請し、免除が認められた場合は、専門科目としての「外国語演習I1」「外国語演習I2」「ツールとしての外国語I」からのスタートとなります。なお、基礎の免除が認められても卒業必要単位数は変わりません。履修を免除された6単位分については、他の科目で補う必要があります。

「朝鮮語」

「朝鮮語」(グローバルエデュケーションセンター設置科目)を外国語Aとして履修する場合は、授業ガイド「科目登録の手引き」、グローバルエデュケーションセンター発行の「全学オープン科目履修の手引き」を参照してください。

卒業するために必要な履修科目・単位数は下表の通りです。

| 外国語A所定単位数 | 卒業に必要な履修科目・単位数 | |
|--|------------------------------|---|
| | ～2010年度配当科目 | 2011年度～配当科目 |
| 4単位 (外国語の基礎4単位) | 「朝鮮語(初級)」4単位 | 「朝鮮語(入門)」2単位 「朝鮮語(初級)」2単位 |
| 6単位 (外国語の基礎4単位、外国語のコミュニケーションの基礎2単位) | 「朝鮮語(初級)」4単位 「朝鮮語(中級)」2単位 | 「朝鮮語(入門)」2単位 「朝鮮語(初級)」2単位 「朝鮮語(準中級)」1単位 「朝鮮語(中級)」1単位 |
| 8単位 (外国語の基礎4単位、外国語のコミュニケーションの基礎2単位、外国語演習またはツールとしての外国語から2単位) | 「朝鮮語(初級)」4単位 「朝鮮語(中級)」4単位 | 「朝鮮語(入門)」2単位 「朝鮮語(初級)」2単位 「朝鮮語(準中級)」2単位 「朝鮮語(中級)」2単位 |

入学時の「朝鮮語(入門)」及び「朝鮮語(初級)」については、受講曜日・時限・クラスが自動登録されますので、科目登録する必要はありません。また、朝鮮語を外国語Aとして選択しなかった学生は、随意科目として履修できます。その場合、卒業単位数に算入できません。

2-3. 外国語Bについて

(1)履修する英語レベルについて

新入生は全員、入学年度の科目登録前に placement test (WeTEC) を受験しなければなりません。その WeTEC スコアをもとに履修する英語レベルを判定します。WeTEC スコアと履修する英語レベルの対応表は授業ガイド「卒業要件と履修方法」>《卒業条件・英語》を参照してください。

この判定レベルに応じて、教育学部設置の英語科目を以下のように履修してください。

「基礎充実」レベルと判定された場合

初年度に「基礎充実英語 1」または「基礎充実英語 2」（いずれも 2 単位）を履修してください。これらの科目は、1 週 2 コマを履修し合格することで 2 単位を修得できます。片方の時限だけ履修しても半分の 1 単位を修得したことはありません。初級レベルの科目を履修するためには、「基礎充実英語 1」または「基礎充実英語 2」のいずれかの単位を修得している必要があります。

- * 「基礎充実英語 1」または「基礎充実英語 2」の単位を修得した学生は、初級レベルの科目を履修してください。
- * 初級レベルの科目を 2 単位以上修得した学生は中級レベルの科目を、中級レベルの科目を 2 単位以上修得した学生は上級レベルの科目を履修することをお勧めします。

「初級」レベルと判定された場合

初級レベルの科目を履修してください。中級レベルの科目を履修するためには初級レベルの科目を 2 単位以上修得している必要があります。更に、上級レベルの科目を履修するためには中級レベルの科目を 2 単位以上修得している必要があります。

- * 初級レベルの科目を 2 単位以上修得した学生は中級レベルの科目を、中級レベルの科目を 2 単位以上修得した学生は上級レベルの科目を履修することをお勧めします。
- * 初級レベルの科目を 2 単位以上修得した学生の中で、引き続き初級レベルの科目を履修する傾向が見受けられます。成績評価は各レベルにてバランスをとっているため、初級レベルは中・上級レベルに比べて成績評価が極めて低くなる可能性があります。適性レベルでの科目登録、受講を行うようにしてください。

「中級」レベルと判定された場合

中級レベルの科目を履修してください。上級レベルの科目を履修するためには中級レベルの科目を 2 単位以上修得している必要があります。

- * 中級レベルの科目を 2 単位以上修得した学生は上級レベルの科目を履修することをお勧めします。

「上級」レベルと判定された場合

初年度も次年度以降も上級レベルの科目を履修してください。

判定されたレベルより下のレベルの科目は履修できません。あるレベルの科目を 2 単位以上修得すれば、次学期以降に 1 つ上のレベルの科目を履修できます。

(2)科目の内容について

英語科目として、初級・中級は「コンプリヘンション（文化）」「コンプリヘンション（時事）」「コンプリヘンション（サイエンス）」「TOEIC」「コミュニケーション」の 5 つの分野に分かれて科目が設定されています。また、上級はトピック別に複数の科目が設定されています。WeTEC 結果の判定レベルに応じて、各自の希望により履修する分野・トピックを選択してください。

※教員免許状の修得に必要な「外国語コミュニケーション」の履修方法については、授業ガイド「教員免許状取得のための履修方法」を確認してください。

(3)履修方法

①教育学科・国語国文学科・社会科・理学科・数学科(2013年度以降入学者)・複合文化学科

各学科専攻専修の「履修方法と卒業要件」に記載されている<<卒業要件・英語>>を満たさなければなりません。各学科専修の「履修方法と卒業要件」のページを参照してください。同じ学科専攻専修でも、入学年度により要件内容が異なりますので、注意してください。

③英語英文学科

- ・「履修方法と卒業要件」に記載されている<<卒業要件・英語>>を満たさなければなりません。
- ・<<卒業要件・英語>>を修得単位で満たす場合、判定されたレベル以上の教育学部設置英語科目、またはそのレベル以上に相当するTutorial Englishほか学内の英語関連科目を計12単位（2015年以前入学者は計10単位）修得してください。ただし**12単位（2015年以前入学者は計10単位）には「上級」が4単位以上含まれていなければなりません。**
- ・下表に推奨履修モデルを示します。

【2016年度以降入学者】

| 判定レベル | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 計 |
|-------|-------------------------|--------------------------|------------|------------|----|
| 上級 | 上級 4科目 4単位 | 上級 4科目 4単位 | 上級 4科目 4単位 | — | 12 |
| 中級 | 中級 4科目 4単位 | 上級 4科目 4単位 | 上級 4科目 4単位 | — | 12 |
| | | 中級 2科目 2単位 上級 2科目 2単位 | | | |
| 初級 | 初級 4科目 4単位 | 中級 4科目 4単位 | 上級 4科目 4単位 | — | 12 |
| 基礎充実 | 基充1科目 2単位 初級 2科目 2単位 | 初級 4科目 4単位 | 中級 4科目 4単位 | 上級 4科目 4単位 | 16 |

【2015年度以前入学者】

| 判定レベル | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 計 |
|-------|-------------------------|--------------------------|------------|------------|----|
| 上級 | 上級 4科目 4単位 | 上級 4科目 4単位 | 上級 2科目 2単位 | — | 10 |
| 中級 | 中級 4科目 4単位 | 上級 4科目 4単位 | 上級 2科目 2単位 | — | 10 |
| | | 中級 2科目 2単位 上級 2科目 2単位 | | | |
| 初級 | 初級 4科目 4単位 | 中級 4科目 4単位 | 上級 4科目 4単位 | — | 12 |
| 基礎充実 | 基充1科目 2単位 初級 2科目 2単位 | 初級 4科目 4単位 | 中級 4科目 4単位 | 上級 4科目 4単位 | 16 |

2-4. グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の振替

グローバルエデュケーションセンター設置の外国語科目のうち、教育学部が指定する科目を履修した場合は、科目登録申請時に科目区分を変更することで「外国語A」「外国語B」へ振替えることができます。詳細は授業ガイド「科目登録の手引き」および「教育学部での単位取扱いについて」を参照してください。なお、オープン科目の外国語科目を履修する場合は、前述の「履修の順番」は適用されません。

2-5. 3か国語目の外国語の履修

本学部設置されている外国語を履修する場合、修得した単位については《その他の外国語区分》として、卒業所定単位に算入されます。算入単位数については、各学科の「履修方法と卒業要件」のページを参照してください。

なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の外国語科目は随意科目として扱います。

2-6. 外国学生の履修

外国学生が履修する日本語教育研究センター設置の日本語科目は外国語A区分として卒業所定単位に算入されます。修得しなければならない最低単位数は、各学科専攻専修で定められた外国語A区分の最低単位数です。

3. 他箇所・他機関の設置科目（オープン科目含む）の履修方法

(1) 全学オープン科目

早稲田大学には、学部・学年を問わず全学生が履修できる科目が数多くあります。これらの科目を総称して「全学オープン科目」と呼びます。全学オープン科目は、グローバルエデュケーションセンター（GEC）、留学センターをはじめ、学部や研究科、協定を結んでいる他大学などから幅広い分野にわたって提供されています。

学生の皆さんは、所属学部独自のカリキュラムに加えて「全学オープン科目」を選択履修し、修得した単位を所属学部の規定にしたがって卒業単位に算入することができます。所属学部の授業と学部の垣根を越えた総合大学ならではのスケールで学ぶことのできる全学オープン科目を上手に組み合わせて、自分の世界を広げ、学ぶことの楽しさを実感してください。

全学オープン科目の提供箇所と履修方法について

| 項目 科目提供箇所 | 科目、講義内容、科目登録関連の参照先 | 授業・試験関連の参照先 |
|----------------------------|---|--|
| 学部・研究科 | | |
| グローバルエデュケーションセンター（GEC） | <ul style="list-style-type: none"> 科目提供箇所の Web ページ シラバスシステム(Web) 「全学オープン科目履修ガイド」 | <ul style="list-style-type: none"> 科目提供箇所の Web ページ |
| 留学センター | | |
| 協定他大学 (2年生以上対象・一部1年生も可) | <ul style="list-style-type: none"> グローバルエデュケーションセンターWeb ページ 他大学交流システム(*1) | <ul style="list-style-type: none"> 科目を提供している大学の Web ページ(*2) |

※全学オープン科目の単位の取り扱いについては、所属学部が発行する「学部要項」および「科目登録の手引き」、マニュアル等で確認してください。

*1...協定他大学提供科目を検索、登録するためのサイトです。サイトへのアクセス方法は、グローバルエデュケーションセンター Web ページで確認できます。

*2...各大学 Web ページは、「全学オープン科目履修ガイド」およびグローバルエデュケーションセンターWeb ページで確認できます。

(2) 学部・研究科以外の全学オープン科目提供箇所

2.1 グローバルエデュケーションセンター（GEC）（URL：<https://www.waseda.jp/inst/gec/>）

GECでは、全学部・全研究科の学生が、専門分野に限らず全く異なる分野も学習できる多種多様な科目を展開しています。

すべての学問の基礎となる大学生の必須スキルとして、アカデミック・ライティング科目（「学術的文章の作成」ほか）、数学科目（「数学基礎プラスα（金利編）」ほか）、データ科学科目（「統計リテラシーα」「データ科学入門α」ほか）、情報科目（「プログラミング初級」ほか）、英語科目（「Tutorial English」「Academic Writing and Discussion in English」ほか）を提供します。また、早稲田大学以外では学ぶ機会の少ない言語科目や、多数の特色あるスポーツ実習科目（「ラグビー」「弓道」ほか）、日本語教育科目（「日本語教育学入門」ほか）等も提供しています。

人間的力量と呼ばれる科目群には、国内・海外での実習や企業等と協同で実施するワークショップといった問題解決型・体験型の実践的な学びを多く取り入れています。

科目の提供に加えて、GECでは「全学副専攻制度」を設けています。所属している学部で重点的に学ぶ「主専攻」のほかに、その他の学問分野を「副専攻」として体系的に学び、主専攻の補強、第二の強みの獲得、主専攻の応用領域の獲得などを目指します。全学副専攻の修了者には、卒業時に修了証明書が発行されます。

2.2 留学センター（URL：<https://www.waseda.jp/inst/cie/>）

留学センターは、海外からの留学生受入れや早大生の海外留学支援はもちろん、国際教育プログラムの実施拠点として、留学プログラムと連動し留学先で履修できる科目、外国語学習・テーマ研究・異文化体験を中心とした短期留学科目のほか、海外の学生とともに授業を本学で履修するサマーセッション科目、海外大学からの教員を招へいして実施する「International Japanese Studies」の科目など、独自の科目を学部生に提供しています。

なお、短期留学については、「海外語学・文化研修プログラム」として、春季および夏季の両方が科目登録の対象となっています。この制度により、長期留学が難しい方にも、短期で海外経験を積み、かつ単位を修得できる機会を提供しています。

2.3 協定他大学（URL：https://www.waseda.jp/inst/gec/undergraduate/other_univ/）

早稲田大学は協定を結んでいる他大学と互いに科目を提供しあっています。早稲田大学には設置されていない各大学特有の科目も多くラインナップされており、登録の選択肢も広がります。他大学からの提供科目も所属学部の規定に従い卒業単位に算入することが可能です。ただし、履修は2年生以上が対象（一部科目については、1年生も履修可能）です。

（3）他学部提供科目

全学オープン科目以外の科目でも、各学部では特定の科目のうち定員に余裕のある一部の科目を他学部生に提供しています。対象科目は、科目設置学部のWebサイトで確認してください。

教育学部における単位取り扱いについて

他箇所・他機関設置科目（オープン科目含む）は原則として随意科目として取り扱います。「卒業所定単位」に算入するには、**科目申請時または登録決定した科目登録機会における決定科目変更期間（3次登録）**に科目区分を変更する必要があります。
期間外の変更は一切できませんので、自身の履修状況を考慮の上、申請を行ってください。

| | | 教育学部 での 単位取扱 | 卒業所定単位に算入した場合の単位取扱い | | |
|--|-----------------------|-----------------------|-------------------------|---------------|---------------|
| | | | 科目区分 | 年間履修 制限単位数 | 卒業所定 単位数※1 |
| 他学部（オープン科目を含む） | | 随意科目 | 他学部科目 （一部、算入不可）※2 | 含む | 含む |
| 協定他大学 ※3 | | 随意科目 | 他大学科目 | 含む | 含む |
| グローバル エデュケーショ ン センター （GEC） | 保健体育科目 | 随意科目 | 共通科目体育系 （一部、算入不可）※4 | 含む | 含む |
| | 英語科目 外国語科目 | 随意科目 | 外国語AまたはB （一部、算入不可）※5 | 含む | 含む |
| | アカデミック・ライ ティング科目 | 随意科目 | 自由選択科目 または共通科目人文系 | 含む | 含む |
| | 人文・社会科学科目 | 随意科目 | 一部、自由選択科目 または共通科目※6 | 含む | 含む |
| | 自然科学科目 | 随意科目 | | | |
| | 数学科目、データ科 学科目、情報科目 | 随意科目 | | | |
| | 人間的力量科目 | 随意科目 | | | |
| インターンシップ 国際教育科目 日本語教育科目 | 随意科目 | 自由選択科目 （一部、算入不可）※7 | 含む | 含む | |
| 留学センター | | 随意科目 | 自由選択科目 | 含む | 含む |

- ※1. 入学年度や学科専攻専修によっては、算入上限単位数が定められている場合がありますのでご注意ください。
- ※2. 算入不可科目：設置学部で卒業所定単位に算入されない科目（例、政治経済学部「発展科目」）に該当する科目
- ※3. 年間履修制限単位数が決まられています。GEC発行の「全学オープン科目履修ガイド」を参照してください。
- ※4. 算入不可科目：提携講座「レスリング発祥の地（早稲田）で強くなるう 基礎／応用」（2017年度まで）
- ※5. 対象科目は「グローバルエデュケーションセンター設置の外国語科目の単位取扱一覧」を参照してください。
また、外国語Aとして朝鮮語を選択した学生は、朝鮮語の申請方法を「科目登録の手引き」で確認してください。
- ※6. 対象科目は「グローバルエデュケーションセンター設置科目で共通科目に区分変更可能な科目一覧」を参照してください。
- ※7. 算入不可科目 2012年度～2016年度：「日本語教育学入門」、2017年度以降「日本語教育学入門1」「日本語教育学入門2」

グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧

下記科目は随意科目として取り扱います。ただし、科目登録申請時または登録決定した学期における決定科目変更期間中に科目区分を変更することで、下表のとおり卒業所定単位に算入されます。

| 科目名 | 算入した場合の単位の取扱 | 科目名 | 算入した場合の単位の取扱 |
|---|--------------------|---------------------------------|--------------|
| Tutorial English (Basic) | 英語「初級」 | イタリア語(上級) 表現 | 自由選択科目 |
| Tutorial English (Intermediate) | 英語「中級」 | イタリア語(中級) 理解 | |
| Tutorial English (Upper Intermediate) | 英語「上級」 | イタリア語(中級) 表現 | |
| Tutorial English (Advanced) | | イタリア語(入門) 理解 | |
| Academic Writing and Discussion in English | 英語「中級」 | イタリア語(入門) 表現 | |
| Advanced Academic Writing and Discussion in English | 英語「上級」 | イタリア語(入門) <アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語> | |
| Listening and Reading (Essentials for Beginners) α | 英語「初級」 | イタリア語(入門) <英語で学ぶイタリア語> | |
| Listening and Reading (Essentials for Beginners) β | 英語「初級」 | イタリア語(初級) 理解 | |
| Listening and Reading (Academic skills for Intermediate learners) α | 英語「中級」 | イタリア語(初級) 表現 | |
| Listening and Reading (Academic skills for Intermediate learners) β | 英語「中級」 | イタリア語(初級) <アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語> | |
| Listening and Reading (Critical thinking for Advanced learners) α | 英語「上級」 | イタリア語(初級) <英語で学ぶイタリア語> | |
| Listening and Reading (Critical thinking for Advanced learners) β | 英語「上級」 | イタリア語(準上級) 理解 | |
| Writing Scientific Papers 1 | 英語「初級」 | イタリア語(準上級) 表現 | |
| Writing Scientific Papers 2 | 英語「初級」 | イタリア語(準中級) 理解 | |
| ドイツ語総合基礎A1-1 | 算入不可(随意科目) | イタリア語(準中級) 表現 | |
| ドイツ語総合基礎A1-2 | | インドネシア語(中級) | |
| ドイツ語総合基礎A2-1 | ドイツ語 I レベル ※1 | インドネシア語(入門) | |
| ドイツ語総合基礎A2-2 | ドイツ語 I ～II レベル ※1 | インドネシア語(初級) | |
| ドイツ語文法(入門) | 算入不可(随意科目) | インドネシア語(準中級) | |
| ドイツ語文法(初級) | | スワヒリ語(入門) | |
| ドイツ語コミュニケーション(基礎) | | スワヒリ語(初級) | |
| ドイツ語コミュニケーション(統基礎) | | タイ語(中級) | |
| ドイツ語コミュニケーション(応用) | | タイ語(入門) | |
| ドイツ語コミュニケーション(上級) | | タイ語(初級) | |
| フランス語総合基礎A1-1 | 算入不可(随意科目) | タイ語(準中級) | |
| フランス語総合基礎A1-2 | | デンマーク語(中級) | |
| フランス語総合基礎A2-1 | フランス語 I レベル ※1 | デンマーク語(入門) | |
| フランス語総合基礎A2-2 | フランス語 I ～II レベル ※1 | デンマーク語(初級) | |
| フランス語総合上級 | フランス語 I ～IV レベル ※1 | デンマーク語(準中級) | |
| 中国語実践会話(中国を知る) | 中国語 I ～IV レベル ※1 | バスク語(中級) | |
| 中国語ビジネス会話(上級) | 中国語 I ～IV レベル ※1 | バスク語(入門) | |
| 中国語コミュニケーション 初中級 | 中国語 I レベル ※1 | バスク語(初級) | |
| 中国語コミュニケーション 準中級 | 中国語 I ～II レベル ※1 | バスク語(準中級) | |
| 中国語コミュニケーション 中級 | 中国語 I ～III レベル ※1 | フィリピン語 | |
| 中国語コミュニケーション 中上級 | 中国語 I ～IV レベル ※1 | ベトナム語(中級) | |
| 中国語コミュニケーション 準上級 | 中国語 I ～IV レベル ※1 | ベトナム語(入門) | |
| 中国語コミュニケーション 上級 | | ベトナム語(初級) | |
| 広東語(入門) | 自由選択科目 | ベトナム語(準中級) | |
| 広東語(初級) | | ベルシア語(入門) | |
| 朝鮮語(入門) | 算入不可(随意科目)※2 | ベルシア語(初級) | |
| 朝鮮語(初級) | | ポルトガル語(ブラジル)(中級) | |
| 朝鮮語(準中級) | | ポルトガル語(ブラジル)(入門) | |
| 朝鮮語(中級) | | ポルトガル語(ブラジル)(初級) | |
| 朝鮮語(上級) | | ポルトガル語(ブラジル)(準中級) | |
| 現代韓国を理解する朝鮮語読解(中上級) | | ポルトガル語(ポルトガル)(中級) | |
| 現代韓国を理解する朝鮮語会話(中上級) | | ポルトガル語(ポルトガル)(入門) | |
| アイヌ語(中級) | | ポルトガル語(ポルトガル)(初級) | |
| アイヌ語(入門会話) | | ポルトガル語(ポルトガル)(準中級) | |
| アイヌ語(初級会話) | | ポーランド語(中級) | |
| アイヌ語(準中級) | ポーランド語(入門) | | |
| アイヌ語<口承文芸>(入門) | ポーランド語(初級) | | |
| アイヌ語<口承文芸>(初級) | ポーランド語(準中級) | | |
| アイヌ語<言語文化>(入門) | マレー語(入門) | | |
| アイヌ語<言語文化>(初級) | マレー語(初級) | | |
| アイルランド語(入門) | モンゴル語(中級) | | |
| アイルランド語(初級) | モンゴル語(入門) | | |
| アラビア語(ネイティブによるアラビア語) | モンゴル語(初級) | | |
| アラビア語(中級) | モンゴル語(準中級) | | |
| アラビア語(入門) | ルーマニア語(中級) | | |
| アラビア語(初級) | ルーマニア語(入門) | | |
| アラビア語(準中級) | ルーマニア語(初級) | | |
| イタリア語(上級) 理解 | | ルーマニア語(準中級) | |

◆ドイツ語・フランス語・中国語については、外国語Aとして選択した外国語に該当する場合のみ、算入可能となります。

(例)外国語A「中国語」選択者：中国語のみ算入対象となります。ドイツ語やフランス語などは算入できず随意科目となります(その他外国語としても算入不可)。

※1 外国語A(英語以外の外国語)の I レベル・II レベル・III レベル・IV レベルとは、それぞれ下記の科目群に該当します。

- ・I レベル = 演 I・ツール I [〇〇語演習 I 1/〇〇語演習 I 2/ツールとしての〇〇語 I] の科目群
- ・II レベル = 演 II・ツール II [〇〇語演習 II 1/〇〇語演習 II 2/ツールとしての〇〇語 II] の科目群
- ・III レベル = 演 III・ツール III [〇〇語演習 III/ツールとしての〇〇語 III] の科目群
- ・IV レベル = 演 IV・ツール IV [〇〇語演習 IV/ツールとしての〇〇語 IV] の科目群

【複合文化の学生、要注意】これらの科目の科目区分を変更した場合、「専門必修」ではなく、「外国語A」として取り扱います。

※2 外国語Aとして朝鮮語を選択した学生は、朝鮮語の申請方法を「科目登録の手引き」で確認してください。

■提供科目の情報は変更となることがあります。最新の提供科目情報・教室は、グローバルエデュケーションセンターのホームページで確認してください。

他箇所設置科目等

グローバルエデュケーションセンター設置科目で共通科目に区分変更可能な科目一覧
(あいうえお順)

下記科目は随意科目として取り扱います。ただし、科目登録申請時または登録決定した学期における定科目変更期間中に科目区分を変更することで、「自由選択科目」または下表の「共通科目」の区分に変更可能です。

| 科目名 | 算入時の科目区分 | 科目名 | 算入時の科目区分 |
|---|----------|-------------------------------------|----------|
| 「たくましい知性を鍛える」演習 1 | 社会系 | オーストラリアのマイノリティ文化と教育 | 社会系 |
| 「たくましい知性を鍛える」演習 2 | 社会系 | オープン・ソース・ソフトウェア概論 | 数理情報系 |
| 「たくましい知性を鍛える」演習 3 | 社会系 | カーボンニュートラルと社会(学部生用) | 社会系 |
| 「たくましい知性を鍛える」演習 4 | 社会系 | カーボンニュートラル技術概論α(学部生用) | 自然系 |
| 「新結合の遂行」を企業の実践に見る | 社会系 | カーボンニュートラル技術概論β(学部生用) | 自然系 |
| I「早稲田学」人物編α(「創設者」大隈重信の生涯) | 人文系 | カナダから見るグローバル市民学 | 社会系 |
| I「早稲田学」人物編β(建学者の思想と学生へのまなざし) | 人文系 | キャリアデザイン学 | 社会系 |
| I「早稲田学」通史編α(近代史のなかの早稲田大学) | 人文系 | キリスト教の世界 | 人文系 |
| I「早稲田学」通史編β(現代史のなかの早稲田大学) | 人文系 | クライアントサイドWebプログラミング初級 | 数理情報系 |
| Advanced Course on Entrepreneurship D(学部生用) | 社会系 | クライアントサイドWebプログラミング中級 | 数理情報系 |
| AI Business Creation β (for undergraduates) | 社会系 | グローバルヘルス | 社会系 |
| AIビジネスクリエーション α(学部生用) | 社会系 | グローバルリーダー演習応用 | 人文系 |
| Amida-Kuji Game and Mathematics | 数理情報系 | グローバルリーダー演習基礎 | 人文系 |
| Business Model Creation with AI Technologies β (for undergraduates) | 人文系 | グローバル社会貢献論 | 社会系 |
| CGエンジニア入門 | 数理情報系 | グローバル文化論 1 | 人文系 |
| Contextualizing Self in Society | 社会系 | グローバル文化論 2 | 人文系 |
| CSRマネジメント実践(学部生用) | 社会系 | コーディネーターという役割を実践する(アドバンス) | 社会系 |
| EUにおける人の移動と保健医療政策 | 社会系 | こことからの健康 1 | 人文系 |
| EU科学技術政策 | 社会系 | こことからの健康 2 | 人文系 |
| EU共通外交・安全保障・防衛政策と人間の安全保障 | 社会系 | こぼりのリサーチ | 人文系 |
| Global Politics: Historical Perspective 1 | 社会系 | コントラクトブリッジで学ぶ数理科学入門 | 数理情報系 |
| Global Politics: Historical Perspective 2 | 社会系 | サーバサイドWebプログラミング初級 | 数理情報系 |
| Innovation and Technology Fundamentals β (for undergraduates) | 社会系 | サーバサイドWebプログラミング中級 | 数理情報系 |
| Innovation and Technology Practice β (for undergraduates) | 社会系 | シェイクスピアと映像(学部生用) | 人文系 |
| International Interaction for Global Leadership (Common Issues Among Asian Countries) | 人文系 | ジェンダーと教育 1 | 人文系 |
| International Interaction for Global Leadership (Local Issues) | 人文系 | ジェンダーと教育 2 | 人文系 |
| Introduction to Data Science α | 数理情報系 | ジェンダーを考える 1 | 社会系 |
| Introduction to Data Science β | 数理情報系 | ジェンダーを考える 2 | 社会系 |
| Introduction to Programming β | 数理情報系 | ジオパーク | 自然系 |
| Introduction to University Mathematics (Calculating Interest) A | 数理情報系 | ジャーナリズムの現在(石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞記念講座) | 社会系 |
| Introduction to University Mathematics (Calculating Interest) B | 数理情報系 | ジャーナリズム演習 アドバンス | 社会系 |
| Introduction to University Mathematics (Optimization Problem) A | 数理情報系 | ジャーナリズム演習 ベーシック 1 | 社会系 |
| Introduction to University Mathematics (Optimization Problem) B | 数理情報系 | ジャーナリズム演習 ベーシック 2 | 社会系 |
| ITとビジネス | 数理情報系 | スポーツジャーナリズム論 1(大久保建男スポーツジャーナリズム講座) | 社会系 |
| LGBTをめぐる法と社会(WSCメンバーズ基金講座) | 社会系 | スポーツジャーナリズム論 2(大久保建男スポーツジャーナリズム講座) | 社会系 |
| RIによる統計解析 | 数理情報系 | スラムから学ぶコミュニティー支援論 α | 社会系 |
| SDGsと社会貢献 1 | 社会系 | スラムから学ぶコミュニティー支援論 β | 社会系 |
| SDGsと社会貢献 2 | 社会系 | ソーシャルコミュニケーションの基礎と実践 | 数理情報系 |
| Statistics Literacy α | 数理情報系 | ソフトウェア開発技術α | 数理情報系 |
| Statistics Literacy β | 数理情報系 | ソフトウェア開発技術β | 数理情報系 |
| Statistics Literacy γ | 数理情報系 | ダイバーシティを学ぶα(基礎講義編)(WSCメンバーズ基金講座) | 社会系 |
| The European Union and the Asia-Pacific | 社会系 | たくましい知性を鍛える 1 | 社会系 |
| UNIX入門 | 数理情報系 | たくましい知性を鍛える 2 | 社会系 |
| Webデザイン実践 | 数理情報系 | たくましい知性を鍛える 3 | 社会系 |
| アイスランドの文化と言語(初歩) | 人文系 | たくましい知性を鍛える 4 | 社会系 |
| アイスランドの文化と言語(入門) | 人文系 | データビジネスクリエーション α(学部生用) | 社会系 |
| アセット・マネジメント(資産運用)の世界 | 社会系 | データビジネスクリエーション β(学部生用) | 社会系 |
| アナウンス実践講座(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 | データベース(管理と運用) | 数理情報系 |
| アナウンス入門講座(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 | データ科学のためのモデリング | 数理情報系 |
| イスラームの歴史と文化入門(イスラームと歴史的諸文明) α | 人文系 | データ科学のための数学 | 数理情報系 |
| イスラームの歴史と文化入門(イスラームと歴史的諸文明) β | 人文系 | データ科学実践 | 数理情報系 |
| イスラーム地域の歴史と社会応用(少数民族問題) 1 | 社会系 | データ科学入門1(統計学既習者用) | 数理情報系 |
| イスラーム地域の歴史と社会応用(少数民族問題) 2 | 社会系 | データ科学入門2(統計学既習者用) | 数理情報系 |
| イスラーム地域の歴史と社会入門(多民族共存) 1 | 社会系 | データ科学入門α | 数理情報系 |
| イスラーム地域の歴史と社会入門(多民族共存) 2 | 社会系 | データ科学入門β | 数理情報系 |
| イノベーションとテクノロジー基礎 α:人工知能・先端ロボットテクノロジーの基礎とスタートアップを学ぶ(学部生用) | 社会系 | データ科学入門γ | 数理情報系 |
| イノベーションとテクノロジー実践 α:人工知能・先端ロボットテクノロジー実践(学部生用) | 社会系 | データ科学入門δ | 数理情報系 |
| イノベーション概論 α:次世代イノベーターのためのエッセンシャルズ(学部生用) | 社会系 | データ分析の基礎 | 社会系 |
| イノベーション概論 β:次世代イノベーターのためのエッセンシャルズ(学部生用) | 社会系 | デザインシンキング(学部生用) | 社会系 |
| イノベーション人材になるためのコーチング研修(ベーシック)(学部生用) | 社会系 | ドイツ語テレビ会議(言語・文化) | 人文系 |
| イノベーション創出思考法 1(学部生用) | 社会系 | ドイツ語テレビ会議(生活・社会) | 人文系 |
| イノベーション創出思考法 2(学部生用) | 社会系 | ドキュメンタリー論(テレビ) | 人文系 |
| インターンシップ講義 | 数理情報系 | ドキュメンタリー論(映画) | 人文系 |
| インターンシップ実習(WIN) | 数理情報系 | トップスポーツビジネスの最前線(大久保建男スポーツジャーナリズム講座) | 社会系 |
| インターンシップ実習(個人申請・秋) | 数理情報系 | トップスポーツビジネス入門 | 社会系 |
| インターンシップ実習(個人申請・春) | 数理情報系 | ナチスの全体像を探る試み 1 | 人文系 |
| インターンシップ実習(提携・秋) | 数理情報系 | ナチスの全体像を探る試み 2 | 人文系 |
| ウーマン・キャリアアクリエイト講座 | 社会系 | ネットワーク技術初級 | 数理情報系 |
| エネルギーと原子力を考える「サステナビリティとレジリエンス | 社会系 | パブリック・リレーションズ概論 1 | 社会系 |
| | | パブリック・リレーションズ概論 2 | 社会系 |

■提供科目の情報は変更となる場合があります。最新の提供科目情報・教室は、グローバルエデュケーションセンターのホームページで確認してください。
■旧オープン教育センター、旧メディアネットワークセンター設置科目と同科目(または同等科目)の単位を修得済みの場合は、科目を履修することはできません。

| 科目名 | 算入時の科目区分 | 科目名 | 算入時の科目区分 |
|----------------------------------|----------|---|----------|
| パブリック・リレーションズ特論 1 | 社会系 | 学習者言語の分析(基礎) 2 | 人文系 |
| パブリック・リレーションズ特論 2 | 社会系 | 学術・研究公正概論(人文・社会科学系)(学部生用) | 人文系 |
| ハラスメントとボランティア | 社会系 | 学術・研究公正概論(生命・理工系)(学部生用) | 自然系 |
| ビジネスアイデア創出法(学部生用) | 社会系 | 学術的文章の作成 | 人文系 |
| ビジネスモデル仮説検証(エッセンシャル)(学部生用) | 社会系 | 感性の科学 α | 社会系 |
| ビジネスモデル仮説検証(プレミアム)(学部生用) | 社会系 | 感性の科学 β | 社会系 |
| ファンリレーションとボランティア | 社会系 | 感性の科学的研究法 α | 社会系 |
| フィールド・ワークと社会貢献 α | 社会系 | 感性の科学的研究法 β | 社会系 |
| フィールド・ワークと社会貢献 β | 社会系 | 環境 이슈を再編集する | 社会系 |
| フィールド実習とメディア発表 | 社会系 | 環境 이슈を深く読み解く | 社会系 |
| プログラミング初級(C/C++) | 数理情報系 | 環境を経営する | 社会系 |
| プログラミング初級(Java) | 数理情報系 | 環境科学基礎講座 1 | 自然系 |
| プログラミング初級(Python) | 数理情報系 | 環境科学基礎講座 2 | 自然系 |
| プログラミング中級(C/C++) | 数理情報系 | 環境問題と持続可能な社会 | 社会系 |
| プログラミング中級(Java) | 数理情報系 | 企業経営・コンサルティング実務概論(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 |
| プログラミング中級(Python) | 数理情報系 | 企業実務概論:ビジネス思考の基礎(問題解決力編) 1 | 社会系 |
| プログラミング入門 | 数理情報系 | 企業実務概論:ビジネス思考の基礎(問題解決力編) 2 | 社会系 |
| プロデュース概論 | 人文系 | 企業実務概論:ビジネス思考の基礎(論理思考編) 1 | 社会系 |
| ボランティアから見る世界 1 | 社会系 | 企業実務概論:ビジネス思考の基礎(論理思考編) 2 | 社会系 |
| ボランティアから見る世界 2 | 社会系 | 企業実務特論:マーケティング・ベーシック 1 | 社会系 |
| ボランティアの現場と社会学 α | 社会系 | 企業実務特論:マーケティング・ベーシック 2 | 社会系 |
| ボランティアの現場と社会学 β | 社会系 | 起業特論A:トッパーリーダーマネジメント(学部生用) | 社会系 |
| ボランティア論 1 | 社会系 | 起業特論B:企業内新規事業開発(学部生用) | 社会系 |
| ボランティア論 2 | 社会系 | 協同組合論 | 社会系 |
| マルチメディア初級(画像処理とアニメーション) α | 数理情報系 | 教育データ分析入門 1 | 人文系 |
| マルチメディア初級(画像処理とアニメーション) β | 数理情報系 | 教育データ分析入門 2 | 人文系 |
| マルチメディア中級(画像処理とアニメーション) α | 数理情報系 | 空間構造のデータ科学 | 数理情報系 |
| マルチメディア中級(画像処理とアニメーション) β | 数理情報系 | 熊野の歴史と文化 | 人文系 |
| ミュージック・プログラミング | 数理情報系 | 経験の地平から学ぶ東日本大震災と社会貢献 1 | 社会系 |
| メディア文化研究 1 | 人文系 | 経験の地平から学ぶ東日本大震災と社会貢献 2 | 社会系 |
| メディア文化研究 2 | 人文系 | 経済と社会と文化 1 | 社会系 |
| メンタルヘルスマネジメント概論 | 社会系 | 経済と社会と文化 2 | 社会系 |
| リーダーシップの軌跡 | 社会系 | 経済と倫理 1 | 社会系 |
| リーダーシップ開発:社会人へのトランジション | 社会系 | 経済と倫理 2 | 社会系 |
| リーダーシップ開発:授業外への適用 | 社会系 | 激動する世界の資源エネルギーを俯瞰する | 社会系 |
| リーダーシップ開発:問題解決プロジェクト | 社会系 | 結び目で見る数学の世界 ~トポロジーへの招待~ | 数理情報系 |
| リーダーシップ開発:理論とスキル | 社会系 | 現代韓国・北朝鮮研究入門 1 | 人文系 |
| リーダーシップ開発と組織開発 1(LOD1) | 社会系 | 現代韓国・北朝鮮研究入門 2 | 人文系 |
| リーダーシップ開発と組織開発 2(LOD2) | 社会系 | 言語学(形式意味論入門) | 人文系 |
| リーダーシップ開発環境設計実習 1 | 社会系 | 言語学(形態論) | 人文系 |
| リーダーシップ開発環境設計実習 2 | 社会系 | 言語学(言語類型論) | 人文系 |
| ロジカルシンキング入門 | 社会系 | 言語学(語用論・応用) | 人文系 |
| 医療×AI・ビッグデータ・IoT(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 | 言語学(語用論・基礎概念) | 人文系 |
| 医療×ビジネス・経営(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 | 言語学(統語論・入門) | 人文系 |
| 医療×行政・法・倫理(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 | 言語学(統語論の基礎的概念とその応用) | 人文系 |
| 医療×超高齢化社会・キャリアデザイン(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 | 会計入門講座 α (基礎課程) | 社会系 |
| 因果構造のデータ科学 | 数理情報系 | 会計入門講座 β (応用課程) | 社会系 |
| 宇宙を考える 1 ~自然科学、社会科学を結びつける宇宙への視点~ | 自然系 | 公共経営改革入門 | 社会系 |
| 映画のすべて マスターズ・オブ・シネマ 1 | 人文系 | 公共経営入門 | 社会系 |
| 映画のすべて マスターズ・オブ・シネマ 2 | 人文系 | 高野山の歴史と文化 | 人文系 |
| 映画監督と学ぶ映像表現 | 人文系 | 国際政治学と平和 1 | 社会系 |
| 映像・芸術表現 | 社会系 | 国際政治学と平和 2 | 社会系 |
| 映像制作技術基礎 | 人文系 | 再生可能エネルギーを地域から考える。 | 社会系 |
| 英語と数学の読み方 α | 社会系 | 災害ボランティアの基礎と実践 1 | 社会系 |
| 英語と数学の読み方 β | 社会系 | 災害ボランティアの基礎と実践 2 | 社会系 |
| 英米文学とジェンダー 1 | 人文系 | 司法書士と学ぶ家族・地域・企業をめぐる法律問題 α (早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 |
| 英米文学とジェンダー 2 | 人文系 | 司法書士と学ぶ家族・地域・企業をめぐる法律問題 β (早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 |
| 演劇の鑑賞と理解・演習(入門) | 人文系 | 視覚芸術と身体性 | 人文系 |
| 欧州統合の歴史 1 | 社会系 | 視覚的に捉える群論入門 | 数理情報系 |
| 欧州統合の歴史 2 | 社会系 | 資源エネルギーと地球環境問題を考える | 社会系 |
| 音楽をもっと知ろう(理論入門) | 人文系 | 時系列構造のデータ科学 | 数理情報系 |
| 会計監査入門 | 人文系 | 自分のプロジェクトを経営する | 社会系 |
| 帰帰と分類のデータ科学 | 数理情報系 | 実践スポーツジャーナリズム演習 1(大久保建男スポーツジャーナリズム講座) | 社会系 |
| 海への誘い α | 自然系 | 実践スポーツジャーナリズム演習 2(大久保建男スポーツジャーナリズム講座) | 社会系 |
| 海への誘い β | 自然系 | 手話の社会言語学 ~手話とろう者の社会~ | 社会系 |
| 海外・在目コリアンを考える | 人文系 | 手話の社会言語学 ~世界の手話と地域のろう社会~ | 社会系 |
| 学習者言語の分析(応用) 1 | 人文系 | 手話言語学 ~日本手話の構造:手話の音と語の仕組み~ | 社会系 |
| 学習者言語の分析(応用) 2 | 人文系 | 手話言語学 ~日本手話の文法・意味・語用~ | 社会系 |
| 学習者言語の分析(基礎) 1 | 人文系 | 狩猟と獣害対策論1 | 社会系 |
| | | 狩猟と獣害対策論2 | 社会系 |

- 提供科目の情報は変更となることがあります。最新の提供科目情報・教室は、グローバルエデュケーションセンターのホームページで確認してください。
- 旧オープン教育センター、旧メディアネットワークセンター設置科目と同科目(または同等科目)の単位を修得済みの場合は、科目を履修することはできません。
- 共通科目(体育系)は記載していません。

他箇所設置科目等

| 科目名 | 算入時の科目区分 | 科目名 | 算入時の科目区分 |
|-----------------------------------|----------|-------------------------------|----------|
| 狩猟と地域おこしボランティア | 社会系 | 地域連携演習:実践演習 α | 社会系 |
| 初めて学ぶ『計算言語学』 | 人文系 | 地域連携演習:実践演習 β | 社会系 |
| 初めて学ぶ『言語と情報』 | 人文系 | 地域連携学 1 | 社会系 |
| 女性・しごと・ライフデザイン | 社会系 | 地域連携学 2 | 社会系 |
| 障がいの理解と支援 | 社会系 | 地中海世界に生きた人々(遺産編) | 人文系 |
| 情報セキュリティ技術 | 数値情報系 | 地中海世界に生きた人々(芸術編) | 人文系 |
| 情報ネットワークセキュリティ | 数値情報系 | 地中海世界に生きた人々(民族編) | 人文系 |
| 情報科学の基礎 | 数値情報系 | 地中海世界に生きた人々(歴史編) | 人文系 |
| 身近な化学への招待(導入) | 自然系 | 中国の社会 α | 社会系 |
| 身近な化学への招待(発展) | 自然系 | 中国の社会 β | 社会系 |
| 身近な物理 | 自然系 | 中国の文化 α | 人文系 |
| 震災後を考える | 社会系 | 中国の文化 β | 人文系 |
| 人間の力量ファンダメンタル | 社会系 | 中国の歴史と社会 1 | 人文系 |
| 人間の力量学 1 | 社会系 | 中国の歴史と社会 2 | 人文系 |
| 人間の力量学 2 | 社会系 | 中国語会話を学ぶ:基礎編 | 人文系 |
| 人工知能とビジネスモデル創出 α(学部生用) | 人文系 | 中国語会話を学ぶ:入門編 | 人文系 |
| 人工知能入門-探索による人工知能- | 数値情報系 | 中国総合講座(入門) | 社会系 |
| 人類と言語の起源 | 人文系 | 中国総合講座(発展) | 社会系 |
| 数学基礎プラスα(金利編) | 数値情報系 | 朝鮮古代の社会と文化(応用) 1 | 人文系 |
| 数学基礎プラスα(最適化編) | 数値情報系 | 朝鮮古代の社会と文化(応用) 2 | 人文系 |
| 数学基礎プラスβ(金利編) | 数値情報系 | 朝鮮古代の社会と文化(入門) 1 | 人文系 |
| 数学基礎プラスβ(最適化編) | 数値情報系 | 朝鮮古代の社会と文化(入門) 2 | 人文系 |
| 数学基礎プラスγ(解析学編) | 数値情報系 | 朝鮮半島の文化と社会(入門) | 社会系 |
| 数学基礎プラスγ(線形代数学編) | 数値情報系 | 帝国思想と台湾 1 | 社会系 |
| 数理と社会 α | 社会系 | 帝国思想と台湾 2 | 社会系 |
| 数理と社会 β | 社会系 | 東日本大震災のフィールドワーク 1 | 社会系 |
| 制作プロジェクト研究 | 人文系 | 東日本大震災のフィールドワーク 2 | 社会系 |
| 生物と環境 | 自然系 | 統計リテラシーα | 数値情報系 |
| 生命科学概論 | 自然系 | 統計リテラシーβ | 数値情報系 |
| 精神医学概論 1 | 人文系 | 統計リテラシーγ | 数値情報系 |
| 精神医学概論 2 | 人文系 | 統計リテラシーδ | 数値情報系 |
| 税理士実務概論(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 | 日本のことばと文学(応用) 1 | 人文系 |
| 先端ロボティクスと医療 | 自然系 | 日本のことばと文学(応用) 2 | 人文系 |
| 潜在構造のデータ科学 | 数値情報系 | 日本のことばと文学(基礎) 1 | 人文系 |
| 素数の魅力と暗号理論 | 数値情報系 | 日本のことばと文学(基礎) 2 | 人文系 |
| 早稲田スポーツを学ぶ 1(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 | 日本語文化論 1 | 人文系 |
| 早稲田スポーツを学ぶ 2(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 | 日本語文化論 2 | 人文系 |
| 早稲田を知る 1(早稲田大学校友会支援講座) | 人文系 | 日本語初級 1 | 社会系 |
| 早稲田を知る 2(早稲田大学校友会支援講座) | 人文系 | 日本語初級 2 | 社会系 |
| 他者のリーダーシップ開発 1(OD1) | 社会系 | 日本語入門 1 | 社会系 |
| 他者のリーダーシップ開発 2(OD2) | 社会系 | 日本語入門 2 | 社会系 |
| 多様性社会を支える行政書士実務概論 1(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 | 農村体験実習 | 社会系 |
| 多様性社会を支える行政書士実務概論 2(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 | 比較文章論 1 | 人文系 |
| 体験の言語化-ボランティア体験から | 社会系 | 比較文章論 2 | 人文系 |
| 体験の言語化-世界と自分 | 社会系 | 表現で学ぶ意思決定論 | 人文系 |
| 台湾をめぐる戦後東アジア国際関係史 | 社会系 | 不動産鑑定士による不動産学 1(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 |
| 台湾を知る(入門) | 社会系 | 不動産鑑定士による不動産学 2(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 |
| 台湾を知る(発展) | 社会系 | 文化遺産と保全 1 | 人文系 |
| 台湾経済概論 1 | 社会系 | 文化遺産と保全 2 | 人文系 |
| 台湾経済概論 2 | 社会系 | 文法理論入門 1 | 人文系 |
| 台湾現代文化研究 1 | 社会系 | 文法理論入門 2 | 人文系 |
| 台湾現代文化研究 2 | 社会系 | 平和構築入門 | 社会系 |
| 台湾政治研究 1 | 社会系 | 簿記・会計 | 人文系 |
| 台湾政治研究 2 | 社会系 | 未来社会を創るセキュリティ最前線(学部生用) | 社会系 |
| 台湾通史(近現代) 1 | 社会系 | 労働・社会保障実務概論(早稲田大学校友会支援講座) | 社会系 |
| 台湾通史(近現代) 2 | 社会系 | | |
| 台湾通史(近世) 1 | 社会系 | | |
| 台湾通史(近世) 2 | 社会系 | | |
| 大学における教育と学習(学部生用) | 社会系 | | |
| 大川ドリーム基金寄附講座 グローバル・ベンチャー企業の創出と経営 | 社会系 | | |
| 一起業家の価値創造戦略 | 社会系 | | |
| 地域、環境、エネルギーを考える | 社会系 | | |
| 地域コーディネータという役割を実践する(アドバンスト) | 社会系 | | |
| 地域を経営する | 社会系 | | |
| 地域連携演習:ケーススタディ 1 | 社会系 | | |
| 地域連携演習:ケーススタディ 2 | 社会系 | | |
| 地域連携演習:プレゼンテーション演習 | 社会系 | | |
| 地域連携演習:レポート演習 | 社会系 | | |
| 地域連携演習:基礎演習 1 | 社会系 | | |
| 地域連携演習:基礎演習 2 | 社会系 | | |

■提供科目の情報は変更となることがあります。最新の提供科目情報・教室は、グローバルエデュケーションセンターのホームページで確認してください。
 ■旧オープン教育センター、旧メディアネットワークセンター設置科目と同科目(または同等科目)の単位を修得済みの場合は、科目を履修することはできません。
 ■共通科目(体育系)は記載していません。

4. 総合科学プログラム (Integrated Arts and Sciences Program)

I. 総合科学プログラムについて

1. 本プログラムについて

複数の多様な学科専修で構成されている教育学部の豊富なリソースを集中的・横断的に生かし、深く幅広い教養を身につけることを目的とした、2019年度から運用を開始した副専攻制度です。

2. 対象

総合科学プログラムの対象は学部学生のみです。大学院進学後や科目等履修生として、修了を目指すことはできません。

3. 修了要件

コース毎に修了要件が異なりますので、II. 設置コースをご確認ください。また、修了には学部で卒業が認定されていることが必要です。

4. 履修開始および修了証の発行

履修開始に際して、申請等は必要ありません。各自で履修計画を立て、修了要件を満たすようにしてください。

また、要件を満たし「修了証」の発行を希望する場合には、卒業年度の秋学期(9月卒業者の場合には、卒業年度の春学期)に、修了申請を行ってください。

要件を満たしていれば、卒業年度の卒業発表以降、学部より「修了証」を発行します。

※申請期間については、教育学部 HP をご確認ください。

5. 単位の取り扱いについて

本プログラムの修了単位と、教育学部における卒業単位への「算入」・「非算入」は関係ありません。卒業単位へ非算入とした場合でも、指定科目であれば本プログラムの修了単位として認められます。

指定科目として定められる以前に取得した単位も、修了所定単位に算入することができます。

また、指定科目が廃止となった場合、または指定から外れた場合でも、以前にその科目の単位を修得していれば、総合科学プログラムの修了所定単位に算入します。

6. 科目登録について

科目登録は、すべて学部やセンターで決められた方法で、所定の期間に行ってください。

総合科学プログラム用の特別な登録期間、登録方法はなりません。

また、科目登録において、総合科学プログラム履修者が優先的に登録されることは一切ありません。

選外になることもありますので、余裕を持った履修計画を立てるようにしましょう。

7. 設置コース、対象科目について

次ページ以降を参照ください。

Ⅱ.設置コース

①地球システムコース

1. コース概要

地球システムと環境問題を、領域横断的に修学するためのコースです。

2. 対象

教育学部所属の正規生。ただし、生物学専修・地球科学専修の学生は対象外です。

3. 修了要件

【修了所定単位数】

指定科目を**16単位以上**修得すること。

4. その他の注意点

生物学専修・地球科学専修設置科目は、理系学生対象のレベルになっています。

Webシラバス等で授業内容を確認の上、履修申請を行ってください。

科目登録において、総合科学プログラム履修者が優先的に登録されることは一切ありません。

選外になることもありますので、余裕を持った履修計画を立てるようにしましょう。

指定科目一覧

| 共通科目 | | | 地球科学専修 | | |
|------------------|------|-----|--------------|------|-----|
| 科目名 | 配当年次 | 単位数 | 科目名 | 配当年次 | 単位数 |
| 地球の起源 | 1～4 | 2 | 地質学入門-地球の物質 | 1～4 | 2 |
| 地球システムと環境問題 | 1～4 | 2 | 地質学入門-地球の歴史 | 1～4 | 2 |
| 地球生命史 | 1～4 | 2 | 惑星地球の変動と進化 | 1～4 | 2 |
| 太陽系の起源と地球のテクトニクス | 1～4 | 2 | 惑星地球科学入門 | 1～4 | 2 |
| 環境の生物学 | 1～4 | 2 | 生物学通論II | 1～4 | 2 |
| 自然人類学I A | 1～4 | 2 | 生物学通論実験II ※4 | 2～4 | 1 |
| 自然人類学I B | 1～4 | 2 | | | |
| 自然人類学II A | 1～4 | 2 | 複合文化学科 | | |
| 自然人類学II B | 1～4 | 2 | 科目名 | 配当年次 | 単位数 |
| 地理学III(自然環境と風土) | 1～4 | 2 | 複合文化化学特論16 | 2～4 | 2 |
| 地理学IV(風景の科学) | 1～4 | 2 | | | |

| 生物学専修 | | | 他箇所設置科目 【グローバルエデュケーションセンター(GEC)】 | | |
|-------------|------|-----|-------------------------------------|------|-----|
| 科目名 | 配当年次 | 単位数 | 科目名 | 配当年次 | 単位数 |
| 生態学I | 2～4 | 2 | 環境科学基礎講座1 | 1～4 | 1 |
| 進化学 | 2～4 | 2 | 環境科学基礎講座2 | 1～4 | 1 |
| 生命科学探索法 ※1 | 2～4 | 2 | 環境問題と持続可能な社会 | 1～4 | 2 |
| 植物生理学I | 3～4 | 2 | 再生可能エネルギーを地域から考える | 1～4 | 2 |
| 生態学・実習 ※2 | 2～4 | 2 | 地域、環境、エネルギーを考える | 1～4 | 2 |
| 地学通論I | 1～4 | 2 | 資源エネルギーと地球環境問題を考える1 | 1～4 | 2 |
| 地学通論II | 1～4 | 2 | 資源エネルギーと地球環境問題を考える2 | 1～4 | 2 |
| 地学通論実験I ※3 | 2～4 | 1 | 環境 이슈を深く読み解く | 1～4 | 2 |
| 地学通論実験II ※3 | 2～4 | 1 | | | |

※1 副専攻履修者が履修する場合には、生物学通論IIを履修済みであるか科目登録していること。

※2 副専攻履修者が履修する場合には、生態学Iを履修済みであるか科目登録していること。

※3 理学科生物学専修以外の学生が履修する場合、聴講料・実験実習料・実習費が必要な科目です。

※4 理学科地球科学専修以外の学生が履修する場合、聴講料・実験実習料・実習費が必要な科目です。

②外国語A発展履修コース

1. コース概要

「外国語の基礎」「外国語のコミュニケーションの基礎」を履修したのち、選択外国語の学習をさらに深めるためのコースです。

2. 対象

教育学部所属の正規生。ただし、複合文化学科の学生は対象外です。

3. 修了要件

【前提】

「外国語の基礎」「外国語のコミュニケーションの基礎」が履修済であることが前提です。

・「外国語演習」は、“外国語の基礎”を履修済である必要があります。

・「ツールとしての外国語」は、“外国語の基礎”“外国語のコミュニケーションの基礎”を履修済である必要があります。

【修了所定単位数】

同一言語の指定科目を**16単位以上**修得すること。レベルごとの所定単位数は以下の表を参照してください。

| | 所定単位数 | |
|-----------|-------|----|
| | 内訳 | 計 |
| レベルⅢ～レベルⅣ | 4 | 16 |
| レベルⅠ～レベルⅡ | 4 ※1 | |

※1「レベルⅠ～レベルⅡ」については、教育学部設置科目である、以下の科目から4単位以上履修すること。

外国語演習Ⅰ/外国語演習Ⅱ/外国語演習ⅡⅠ/外国語演習ⅡⅡ/ツールとしての外国語Ⅰ/ツールとしての外国語Ⅱ
(すべて1科目2単位)

4. その他の注意点

授業の理解度を深めるためにも、レベル順(Ⅰ～Ⅳ)に履修するようにしてください。

科目登録において、総合科学プログラム履修者が優先的に登録されることは一切ありません。

選外になることもありますので、余裕を持った履修計画を立てるようにしましょう。

指定科目一覧

| 教育学部設置科目 | | | | 総合科学プログラム | | | |
|---------------------|------|-----|-----|---------------|------|-----|-----|
| 科目名 | 配当年次 | 単位数 | レベル | 科目名 | 配当年次 | 単位数 | レベル |
| ドイツ語演習Ⅰ(文化の諸相) | 2～4 | 2 | I | ツールとしてのフランス語Ⅱ | 2～4 | 2 | Ⅱ |
| ドイツ語演習Ⅱ(文学テキストを読む) | 2～4 | 2 | I | ツールとしての中国語Ⅰ | 2～4 | 2 | I |
| ドイツ語演習Ⅲ(文化の諸相) | 2～4 | 2 | Ⅱ | ツールとしての中国語Ⅱ | 2～4 | 2 | Ⅱ |
| ドイツ語演習Ⅳ(文化の諸相) | 2～4 | 2 | Ⅱ | ツールとしてのロシア語Ⅰ | 2～4 | 2 | I |
| フランス語演習Ⅰ(文化の諸相) | 2～4 | 2 | I | ツールとしてのロシア語Ⅱ | 2～4 | 2 | Ⅱ |
| フランス語演習Ⅱ(文学テキストを読む) | 2～4 | 2 | I | ツールとしてのスペイン語Ⅰ | 2～4 | 2 | I |
| フランス語演習Ⅲ(文化の諸相) | 2～4 | 2 | Ⅱ | ツールとしての中国語Ⅲ | 2～4 | 2 | Ⅱ |
| フランス語演習Ⅳ(文学テキストを読む) | 2～4 | 2 | Ⅱ | ツールとしてのドイツ語Ⅴ | 4 | 2 | Ⅳ |
| 中国語演習Ⅰ(言語を知る) | 2～4 | 2 | I | ツールとしてのフランス語Ⅴ | 4 | 2 | Ⅳ |
| 中国語演習Ⅱ(文学テキストを読む) | 2～4 | 2 | I | ツールとしての中国語Ⅳ | 4 | 2 | Ⅳ |
| 中国語演習Ⅲ(言語を知る) | 2～4 | 2 | Ⅱ | ツールとしてのロシア語Ⅴ | 4 | 2 | Ⅳ |
| 中国語演習Ⅳ(文学テキストを読む) | 2～4 | 2 | Ⅱ | ツールとしてのスペイン語Ⅴ | 4 | 2 | Ⅳ |
| ロシア語演習Ⅰ(文化の諸相) | 2～4 | 2 | I | ツールとしてのドイツ語Ⅲ | 3～4 | 2 | Ⅲ |
| ロシア語演習Ⅱ(言語を知る) | 2～4 | 2 | I | ツールとしてのフランス語Ⅲ | 3～4 | 2 | Ⅲ |
| ロシア語演習Ⅲ(文化の諸相) | 2～4 | 2 | Ⅱ | ツールとしての中国語Ⅲ | 3～4 | 2 | Ⅲ |
| ロシア語演習Ⅳ(文化の諸相) | 2～4 | 2 | Ⅱ | ツールとしてのロシア語Ⅲ | 3～4 | 2 | Ⅲ |
| スペイン語演習Ⅰ(文化の諸相) | 2～4 | 2 | I | ツールとしてのスペイン語Ⅲ | 3～4 | 2 | Ⅲ |
| スペイン語演習Ⅱ(言語を知る) | 2～4 | 2 | I | ツールとしてのドイツ語Ⅳ | 3～4 | 2 | Ⅳ |
| スペイン語演習Ⅲ(文化の諸相) | 2～4 | 2 | Ⅱ | ツールとしてのフランス語Ⅳ | 3～4 | 2 | Ⅳ |
| スペイン語演習Ⅳ(言語を知る) | 2～4 | 2 | Ⅱ | ツールとしての中国語Ⅳ | 3～4 | 2 | Ⅳ |
| ドイツ語演習Ⅲ(言語を知る) | 3～4 | 2 | Ⅲ | ツールとしてのロシア語Ⅳ | 3～4 | 2 | Ⅳ |
| ドイツ語演習Ⅳ(文化の諸相) | 3～4 | 2 | Ⅳ | ツールとしてのスペイン語Ⅳ | 3～4 | 2 | Ⅳ |
| フランス語演習Ⅲ(文化の諸相) | 3～4 | 2 | Ⅲ | 海外でのドイツ語研修Ⅰ | 2～4 | 2 | I～Ⅱ |
| フランス語演習Ⅳ(言語を知る) | 3～4 | 2 | Ⅳ | 海外でのドイツ語研修Ⅱ | 2～4 | 2 | I～Ⅱ |
| 中国語演習Ⅲ(文化の諸相) | 3～4 | 2 | Ⅲ | 海外でのフランス語研修Ⅰ | 2～4 | 2 | I～Ⅱ |
| 中国語演習Ⅳ(文化の諸相) | 3～4 | 2 | Ⅳ | 海外でのフランス語研修Ⅱ | 2～4 | 2 | I～Ⅱ |
| ロシア語演習Ⅲ(文化の諸相) | 3～4 | 2 | Ⅲ | 海外での中国語研修Ⅰ | 2～4 | 2 | I～Ⅱ |
| ロシア語演習Ⅳ(文学テキストを読む) | 3～4 | 2 | Ⅳ | 海外での中国語研修Ⅱ | 2～4 | 2 | I～Ⅱ |
| スペイン語演習Ⅲ(文学テキストを読む) | 3～4 | 2 | Ⅲ | 海外でのロシア語研修Ⅰ | 2～4 | 2 | I～Ⅱ |
| スペイン語演習Ⅳ(文学テキストを読む) | 3～4 | 2 | Ⅳ | 海外でのロシア語研修Ⅱ | 2～4 | 2 | I～Ⅱ |
| ツールとしてのドイツ語Ⅰ | 2～4 | 2 | I | 海外でのスペイン語研修Ⅰ | 2～4 | 2 | I～Ⅱ |
| ツールとしてのドイツ語Ⅱ | 2～4 | 2 | Ⅱ | 海外でのスペイン語研修Ⅱ | 2～4 | 2 | I～Ⅱ |
| ツールとしてのフランス語Ⅰ | 2～4 | 2 | I | | | | |

指定科目一覧

他箇所設置科目

他箇所設置科目にも、対象科目があります。全学オープン科目履修ガイドに記載されている、「全学オープン科目マップ」をご確認ください。ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語のマップに記載されている科目はすべて対象科目になります。修得した際に、副専攻の修了単位と算入されるレベルについては、下記の対応表をご確認ください。

※複数にまたがる科目は、上位レベルを当該科目のレベルとします。

＜全学オープン科目マップとのレベル対応表＞

| | ドイツ語 | フランス語 | 中国語 | スペイン語 | ロシア語 |
|------|--------------|-------------|------------|-----------|-----------|
| レベルⅣ | 「A2→B1」～「C1」 | 「B-1」～「B-2」 | 「中上級」～「上級」 | 「上級1・2」 | 「中・上級」 |
| レベルⅢ | | | | | |
| レベルⅡ | 「A1-1」～「A2」 | 「A-1」～「A-2」 | 「初級」～「中級」 | 「初級」～「中級」 | 「初級」～「中級」 |
| レベルⅠ | | | | | |

5. 教育職員免許状取得のための履修方法

※2019年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

『学部要項』に掲載した教育職員免許状取得のための履修方法：
科目の新設、廃止、名称変更、単位数変更等は以下の通りです。

『学部要項』の教職課程に関する訂正/変更事項一覧

| 学部要項年度 | 該当ページ | 変更事項 | 変更前 | 変更後 |
|------------------|---|-----------------------------|-----------------------|---|
| 2019年度 | 80ページ | 科目名称の誤記載 | 「アメリカ文学史」 | 「アメリカ文化史」 |
| 2020年度 | 79ページ | 科目名称の誤記載 | 「アメリカ文学史」 | 「アメリカ文化史」 |
| 2019年度 | 112ページ | 情報社会・情報倫理【複合文化学科】の単位数の誤記載 | 4単位 | 2単位 |
| 2020年度 | 111ページ | 情報社会・情報倫理【複合文化学科】の単位数の誤記載 | 4単位 | 2単位 |
| 2019年度 | 75ページ | 科目区分の記号の誤記載(専門必修科目→専門選択科目) | 「●特別支援教育原論」 | 「○特別支援教育原論」 |
| 2020年度 | 75ページ | 科目区分の記号の誤記載(専門必修科目→専門選択科目) | 「●特別支援教育原論」 | 「○特別支援教育原論」 |
| 2019年度 | 112ページ | 科目名称の変更 | キャリアと情報(情報マネジメントの実際) | ITとビジネス |
| 2020年度 | 111ページ | 科目名称の変更 | キャリアと情報(情報マネジメントの実際) | ITとビジネス |
| 2019年度 | 48,51,54,57,60,63,66,69,72,76,79,82,85,88,91,94,97,100,104,108,111,114,117,120,123,126ページ | 科目名称の変更 | 学校経営インターンシップ | 学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) |
| | | | 人間理解基盤講座 | 人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践) |
| 2020年度 | 47,50,53,56,59,62,65,68,71,75,78,81,84,87,90,93,96,99,103,107,110,113,116,119,122,125ページ | 科目名称の変更 | 学校経営インターンシップ | 学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) |
| | | | 人間理解基盤講座 | 人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践) |
| 2019年度 | 73ページ | 科目名称の変更 | 発達障害者教育 | 発達障害者教育(障害者・障害児心理学) |
| 2020年度 | 72ページ | 科目名称の変更 | 発達障害者教育 | 発達障害者教育(障害者・障害児心理学) |
| 2019年度 | 112ページ | 教育職員免許法施行規則に規定された科目の区分名称の誤り | 情報社会および情報倫理 | 情報社会・情報倫理 |
| 2020年度 | 111ページ | 教育職員免許法施行規則に規定された科目の区分名称の誤り | 情報社会および情報倫理 | 情報社会・情報倫理 |
| 2019年度 | 112ページ | 教育職員免許法施行規則に規定された科目の区分名称の誤り | コンピュータ及び情報処理(実習を含む) | コンピュータ・情報処理(実習を含む。) |
| 2020年度 | 111ページ | 教育職員免許法施行規則に規定された科目の区分名称の誤り | コンピュータ及び情報処理(実習を含む) | コンピュータ・情報処理(実習を含む。) |
| 2019年度 | 112ページ | 教育職員免許法施行規則に規定された科目の区分名称の誤り | マルチメディア表現及び技術(実習を含む。) | マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。) |
| 2020年度 | 111ページ | 教育職員免許法施行規則に規定された科目の区分名称の誤り | マルチメディア表現及び技術(実習を含む。) | マルチメディア表現・マルチメディア技術(実習を含む。) |
| 2020、2021年度 | 111ページ | 科目名の変更 | キャリアと情報(情報マネジメントの実際) | ITとビジネス |
| 2020、2021年度 | 105ページ | 科目名の訂正 | 地球科学演習 | 地球科学実習 |
| 2019、2020、2021年度 | 2019年度:P.73 2020、2021年度:P.72 | 科目名の訂正 | 知的障害者教育論Ⅰ、Ⅱ | 知的障害教育論Ⅰ、Ⅱ |
| 2019、2020、2021年度 | 2019年度:P.70 2020、2021年度:P.69 | 科目区分の記号の誤記載(専門必修科目→専門選択科目) | ●臨床心理学特論Ⅰ(精神疾患とその治療) | ○臨床心理学特論Ⅰ(精神疾患とその治療) |

| | | | | |
|------------------|--|--|---|--|
| 2019、2020、2021年度 | 2019年度:P.71 2020、2021年度:P.70 | 科目区分の記号の誤記載(専門必修科目→専門選択科目) | ●教育学概論 I ●教育制度概論 | ○教育学概論 I ○教育制度概論 |
| 2019、2020、2021年度 | 2019年度:P.65 2020、2021年度:P.64 | 科目区分の記号の誤記載(専門必修科目→専門選択科目) | ●教育学概論 I ●教育制度概論 | ○教育学概論 I ○教育制度概論 |
| 2019、2020、2021年度 | 2019年度:P.68 2020、2021年度:P.67 | 科目区分の記号の誤記載(専門必修科目→専門選択科目) | ●教育学概論 I ●教育制度概論 | ○教育学概論 I ○教育制度概論 |
| 2019年度 | 84、87、90、93、96、99 | 科目名の訂正 | 特別支援教育 | 特別支援教育(中・高) |
| 2019年度 | 47、50、53、56、59、62、65、68、71、78、81、84、87、90、93、96、99、103、107、110、113、116、119、122、125 | 科目名の訂正 | 生徒理論と教育相談 | 生徒理解と教育相談 |
| 2020、2021年度 | 46、49、52、55、58、61、64、67、70、77、80、83、86、89、92、95、98、102、106、109、112、115、118、121、124 | 科目名の訂正 | 生徒理論と教育相談 | 生徒理解と教育相談 |
| 2019年度 | 84、87、90、93、96、99 | 科目名の訂正 | 特別支援教育 | 特別支援教育(中・高) |
| 2020年度 | 83、86、89、92、95、98 | 科目名の訂正 | 特別支援教育 | 特別支援教育(中・高) |
| 2019、2020、2021年度 | 2019年度:P.77 2020、2021年度:P.76 | 科目名の訂正 | 東アジアの思想と文化 I (近代) | 東アジアの思想と文化 I (古代) |
| 2019、2020、2021年度 | 2019年度:P.109 2020、2021年度:P.108 | 科目名の訂正 | 線形代数 I 代数 I | 線形代数 1 代数 1 |
| 2022年度 | 113 | 「コンピュータ中級」の単位数の誤記載 | 2単位 | 4単位 |
| 2022年度 | 116 | 科目の削除 | 時事ドイツ語 A1【商学部】 | 削除 |
| 2019、2020、2021年度 | 2019年度:P.73、 2020、2021年度:P.72 | 教育学科・教育学専攻…免許教科 特別支援学校教諭1種の「特別支援教育に関する科目」の表の差し替え | 2019～2021年度版に掲載の「特別支援教育に関する科目」の表の一部に誤りがあるため、右記に掲載の表を参照してください。 | https://waseda.box.com/s/dqy355wh37098nfvlo4icxfcj0v8fwxe  |
| 2019、2020、2021年度 | 2019年度:P.80、 2020、2021年度:P.79 | 教科に関する専門的事項「英語学」の「②選択科目」に科目を追加 | — | Advanced Communicative Grammar of English |
| 2022年度 | 2022年度:P.81 | 科目名の訂正 | Advanced Communication Grammar of English | Advanced Communicative Grammar of English |

◎教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定められた教育職員免許状取得に必要な科目：「日本国憲法」「体育（実技）」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作※」の履修について

「日本国憲法」「体育（実技）」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作※」について、それぞれ2単位以上を修得する必要があります。

※2022 年度より対象科目区分が追加されました。詳細は 4. 「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」を確認してください。

1. 「日本国憲法」

《教育学部共通科目・社会系》「憲法」で充当されます。

※社会科・社会科学専修、公共市民学専修設置の「法学概論Ⅰ」「法学概論Ⅱ」の両方の単位を修得した場合でも充当されます。

なお、「法学概論Ⅰ」「法学概論Ⅱ」は同時に中学社会および高校公民の 2018 年度以前入学者：「教科に関する科目」、2019 年度以降入学者：「教科に関する専門的事項に関する科目」にも充当されます。

※社会科・地理歴史専修、社会科学専修、公共市民学専修設置の「憲法概論」でも充当されます。

※共通科目社会系の「法学Ⅰ」「法学Ⅱ」は、該当しませんのでご注意ください。

2. 「体育（実技）」

《体育系》

グローバルエデュケーションセンター設置の「スポーツ実習Ⅰ」、「スポーツ実習Ⅰ（体育各部）」、「スポーツ実習Ⅱ」「スポーツ実習Ⅱ（体育各部）」から、2 単位以上を修得してください。

また、教員免許状取得のために「スポーツ実習」の単位修得が必要で、身体虚弱または慢性的な疾病および身体に障がいがある等の理由で、在学中を通じてスポーツ実習の履修が困難であると思われる方は、春学期 1 次登録前にグローバルエデュケーションセンターにご相談ください。

3. 「外国語コミュニケーション」

以下の科目で充当されます。

| 設置箇所 | 開設科目名 | 廃止科目名 |
|------|--|-------|
| 教育学部 | 英語初級コミュニケーション 1, 2 (旧：英語初級コミュニケーション) 英語中級コミュニケーション 1, 2 (旧：英語中級コミュニケーション) 英語上級コミュニケーション※NN α , β (旧：英語上級コミュニケーション) ドイツ語の基礎 ドイツ語のコミュニケーションの基礎 フランス語の基礎 フランス語のコミュニケーションの基礎 中国語の基礎 中国語のコミュニケーションの基礎 ロシア語の基礎 ロシア語のコミュニケーションの基礎 スペイン語の基礎 スペイン語のコミュニケーションの基礎 | |

※NN は数字

| 設置 箇所 | 開設科目名 | 廃止科目名 |
|-------------------------|---|---|
| グローバルエデュケーションセンター (GEC) | イタリア語 (入門) 理解 | (2017年度廃止) |
| | イタリア語 (入門) 表現 | Tutorial English Training Camp |
| | イタリア語 (入門) <アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語> | イタリア語 (入門) |
| | イタリア語 (入門) <英語で学ぶイタリア語> | イタリア語 (初級) |
| | イタリア語 (初級) 理解 | イタリア語 (準中級) |
| | イタリア語 (初級) 表現 | イタリア語 (中級) |
| | イタリア語 (初級) <アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語> | Business Tutorial English (アデレード大学) (超上級) |
| | イタリア語 (初級) <英語で学ぶイタリア語> | Cross-cultural Distance Learning (CCDL) (International Career Path) |
| | イタリア語 (準中級) 理解 | チュートリアル中国語 初中級 |
| | イタリア語 (準中級) 表現 | チュートリアル中国語 準中級 |
| | イタリア語 (中級) 理解 | チュートリアル中国語 中級 |
| | イタリア語 (中級) 表現 | チュートリアル中国語 中上級 |
| | 朝鮮語 (入門) | チュートリアル中国語 準上級 |
| | 朝鮮語 (初級) | チュートリアル中国語 上級 |
| | 朝鮮語 (準中級) | |
| | 朝鮮語 (中級) | (2018年度廃止) |
| | 朝鮮語 (上級) | イタリア語 (準中級) 理解・表現 |
| | | イタリア語 (中級) 理解・表現 |
| | Tutorial English (Beginners) A | Business Tutorial English (ビジネス実践編) (中級) |
| | Tutorial English (Beginners) B | Business Tutorial English (ビジネス実践編) (上級) |
| | Tutorial English (Basic) A | Cross-cultural Distance Learning (CCDL) (Media) |
| | Tutorial English (Basic) B | Cross-cultural Distance Learning (CCDL) (Social and Global Issues) |
| | Tutorial English (Basic) C | |
| | Tutorial English (Basic) D | (2019年度廃止) |
| | Tutorial English (Intermediate) A | チュートリアル中国語 初中級 α |
| | Tutorial English (Intermediate) B | チュートリアル中国語 初中級 β |
| | Tutorial English (Intermediate) C | チュートリアル中国語 準中級 α |
| | Tutorial English (Intermediate) D | チュートリアル中国語 準中級 β |
| | Tutorial English (Upper Intermediate) A | チュートリアル中国語 中級 α |
| | Tutorial English (Upper Intermediate) B | チュートリアル中国語 中級 β |
| | Tutorial English (Upper Intermediate) C | チュートリアル中国語 中上級 α |
| | Tutorial English (Upper Intermediate) D | チュートリアル中国語 中上級 β |
| | Tutorial English (Advanced) A | チュートリアル中国語 準上級 α |
| | Tutorial English (Advanced) B | チュートリアル中国語 準上級 β |
| | | チュートリアル中国語 上級 α |
| | | チュートリアル中国語 上級 β |
| | | (2021年度廃止) |
| | | General Tutorial English (初級) α |
| | | General Tutorial English (初級) β |
| | | General Tutorial English (準中級) α |
| | | General Tutorial English (準中級) β |
| | | General Tutorial English (中級) α |
| | | General Tutorial English (中級) β |
| | | General Tutorial English (準上級) α |
| | | General Tutorial English (準上級) β |
| | | General Tutorial English (上級) α |
| | | General Tutorial English (上級) β |
| | General Tutorial English (上級プラス) α | |
| | General Tutorial English (上級プラス) β | |
| | General Tutorial English (初級) | |
| | General Tutorial English (準中級) | |
| | General Tutorial English (中級) | |
| | General Tutorial English (準上級) | |
| | General Tutorial English (上級) | |
| | General Tutorial English (上級プラス) | |
| | (2022年度廃止) | |
| | イタリア語 (入門) 理解・表現 | |
| | イタリア語 (初級) 理解・表現 | |
| | (2023年度廃止) | |
| | Tutorial English (Beginners) A & B Intensive | |
| | Tutorial English (Basic) A & B Intensive | |
| | Tutorial English (Basic) C & D Intensive | |
| | Tutorial English (Intermediate) A & B Intensive | |
| | Tutorial English (Intermediate) C & D Intensive | |
| | Tutorial English (Upper Intermediate) A & B Intensive | |
| | Tutorial English (Upper Intermediate) C & D Intensive | |
| | Tutorial English (Advanced) A & B Intensive | |

※廃止科目：廃止年度の前年度までに修得した科目の単位は教員免許状の単位として使用できます。

4. 「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」

以下の科目で充当されます。

2022年度より「情報機器の操作」の領域に「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」が追加されました。2022年度以降に開講される対象科目を履修した場合は第66条の6に定める科目として使用できます。

2単位の履修方法については必ず「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」2単位、もしくは「情報機器の操作」2単位のいずれかを選択してください。「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」1単位と「情報機器の操作」1単位の組み合わせでは要件を満たせませんので、十分に注意してください。

【数理、データ活用及び人工知能に関する科目】(2019年度以降入学者)

| 設置箇所 | 開設科目名 | 廃止科目名 |
|-------------------|--|-------|
| グローバルエデュケーター(CEC) | 統計リテラシーα 統計リテラシーβ データ科学入門α データ科学入門β Statistics Literacyα Statistics Literacyβ Introduction to Data Scienceα Introduction to Data Scienceβ | なし |

【情報機器の操作】(2019年度以降入学者、2018年度以前入学者)

| 設置箇所 | 開設科目名 | 廃止科目名 |
|-------------------|---|---|
| グローバルエデュケーター(CEC) | プログラミング入門(2018年度開設) プログラミング初級(Python) プログラミング初級(C/C++) プログラミング初級(Java) プログラミング中級(Python) プログラミング中級(C/C++) プログラミング中級(Java) ソフトウェア開発技術α ソフトウェア開発技術β 情報セキュリティ技術 Webデザイン実践 サーバサイドWebプログラミング初級 クライアントサイドWebプログラミング初級 サーバサイドWebプログラミング中級 クライアントサイドWebプログラミング中級 データベース(SQL入門) データベース(管理と運用) マルチメディア初級(画像処理とアニメーション)α マルチメディア初級(画像処理とアニメーション)β マルチメディア中級(画像処理とアニメーション)α マルチメディア中級(画像処理とアニメーション)β ミュージック・プログラミング CGエンジニア入門 | (2017年度廃止) データベースα データベースβ マルチメディア入門(映像)α マルチメディア入門(映像)β マルチメディア中級(映像)α マルチメディア中級(映像)β (2018年度廃止) 情報表現の基礎α 情報表現の基礎β (2019年度廃止) プレゼンテーションスキル実践 (2020年度廃止) 情報表現の実践 プログラミング初級(Visual Basic) プログラミング中級(Visual basic) プログラミング初級(Ruby) プログラミング中級(Ruby)※ マルチメディア入門(デジタルサウンド) (2022年度廃止) アルゴリズムとデータ構造α アルゴリズムとデータ構造β |

※プログラミング中級(Ruby)は2018・2019年度修得に限りです。2016・2017年度に修得した場合、教員免許状の単位として使用できませんのでご注意ください。

※廃止科目：廃止年度の前年度までに修得した科目の単位は教員免許状の単位として使用できます。

| 設置箇所 | 開設科目名 | 廃止科目名 |
|------|---|--|
| 教育学部 | 《教育学部共通科目》 コンピュータ入門 コンピュータ初級 コンピュータ中級 《複合文化学科設置科目》 ツールとしてのICT1 | 《複合文化学科設置科目》 ツールとしての情報通信ネットワークⅠ(情報化アカデミックリテラシー) |

※廃止科目：廃止年度の前年度までに修得した科目の単位は教員免許状の単位として使用できます。

● 「日本国憲法」「体育(実技)」「外国語コミュニケーション」「データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」に該当する科目は、1年次から計画的に履修を開始してください。

教員取得の履修方法

教育職員免許状取得のための履修方法

教育学科（教育学専修・生涯教育学専修・教育心理学専修）

初等教育学専攻：課程認定は受けていませんが、該当科目を履修することで要件を満たせます。

……免許教科

特別支援学校教諭 1種

2007年度より養護学校教諭免許が、特別支援学校免許へと変わりました。新しい制度では、5つの教育領域（視覚障害者に関する教育、聴覚障害者に関する教育、知的障害者に関する教育、肢体不自由者に関する教育、病弱者に関する教育）が設定されており、領域ごとに必要な単位を修得した領域のみ有効になります。早稲田大学では、「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の3領域について修得することが可能です。それ以外の領域については、免許授与後、認定講習などで単位を修得することにより、追加が可能になります。（詳細については、次ページを参照のこと）

基礎資格として、小学校、中学校、高等学校または幼稚園の教諭の普通免許を持っていること。

○は専門選択科目、◇は教職課程科目

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 領域 | |
|-----------------------------------|---|-----------------------------------|-----------------------------|--------|----------|--------|
| 特別支援教育に関する科目 | 第一欄： 特別支援教育の基礎理論に関する科目 | ○障害者教育原論（障害者・障害児心理学） | 2 | 必修 | | |
| | 第二欄： 特別支援教育領域に関する科目 | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 | ○発達障害者の心理・生理・病理（障害者・障害児心理学） | 2 | 1科目選択必修 | 知的障害者 |
| | | | ○肢体不自由者の心理・生理・病理Ⅰ | 2 | | 肢体不自由者 |
| | | ○肢体不自由者の心理・生理・病理Ⅱ | 2 | 肢体不自由者 | | |
| | | ○病弱者の心理・生理・病理 | 2 | 病弱者 | | |
| | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 | ○肢体不自由者教育 | 2 | 全科目必修 | 肢体不自由者 | |
| | | ○病弱者教育 | 2 | | 病弱者 | |
| | | ○発達障害者教育（障害者・障害児心理学）（旧：発達障害者教育） | 2 | | 知的障害者 | |
| | | ○知的障害教育論Ⅰ | 2 | | 知的障害者 | |
| | 第三欄： 免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 | ○知的障害教育論Ⅱ | 2 | 全科目必修 | 知的障害者 |
| | | | ○特別支援教育総論Ⅱ（旧：障害児教育総論Ⅱ） | 1 | | 視覚障害者 |
| | | ○特別支援教育総論Ⅲ（旧：障害児教育総論Ⅲ） | 1 | 聴覚障害者 | | |
| ○重複障害・LD等教育総論 | | 2 | 重複・LD等領域 | | | |
| 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 | 心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 | ○特別支援教育総論Ⅰ（旧：障害児教育総論Ⅰ） | 2 (2) | 全科目必修 | 重複・LD等領域 | |
| | | ○特別支援学校実習※ | 3 | | | |
| | | 〔①必修科目〕合計単位数 27単位 | | | | |

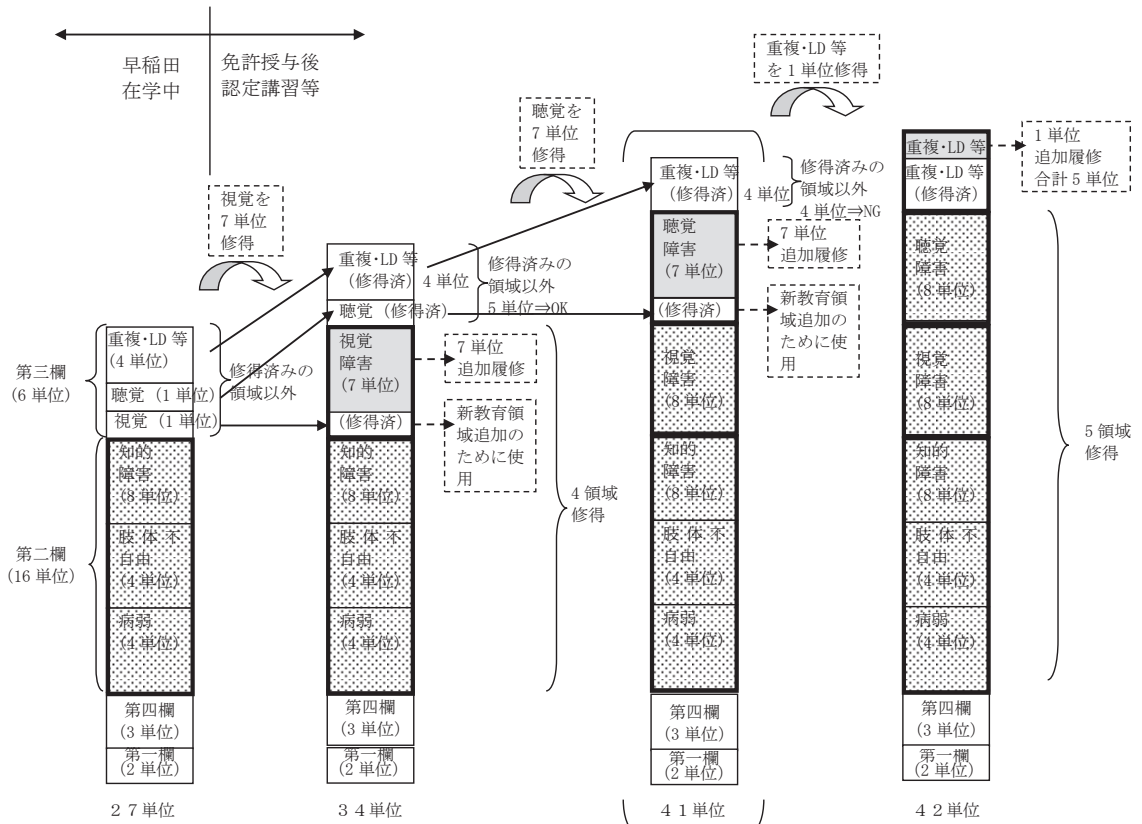
「◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）」は、2018年度で廃止されましたが、それ以前に単位を修得している場合は、選択科目として合計単位数に加算されます。

※「特別支援学校実習」は特別支援学校での教育実習（2週間）となります。実習先は大学から東京都教育委員会に受け入れ申請することで決定します。

特別支援学校での教育実習実施希望者は、2023年7月初旬～8月中旬の期間に事前登録をしてください。URLにアクセスできない場合は8月初旬までに <https://www.waseda.jp/fedu/edu/contact/> よりご連絡ください。なお、実習先は12月中旬にMyWasedaで通知する予定です。

【特別支援学校免許状 他領域（視覚障害、聴覚障害領域）の修得方法について】

早稲田大学では、「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の3領域について修得することが可能です。それ以外の「視覚障害」「聴覚障害」の領域については、免許授与後、認定講習などを利用して、各領域の単位数を8単位にする（7単位追加）ことにより、その他教育領域を修得できます。ただし、修得済の領域以外の単位については、最低5単位を修得する必要があります。



早稲田大学では、カリキュラムに従って科目を履修すると、知的障害、肢体不自由、病弱の3領域について修得が可能です。

視覚（聴覚）障害の領域についても修得を希望する場合、他大学で行われる認定講習などで不足分の7単位を履修します。その際、修得済みの領域以外の部分で最低5単位が必要です（今回、重複・LD等領域と聴覚（視覚）領域を合わせると5単位のため、条件をクリアしています）

さらに、聴覚（視覚）障害の領域についても修得を希望する場合、同様に他大学で行われる認定講習などで不足分の7単位を履修します。その際、修得済みの領域以外の部分で最低5単位が必要です。不足する1単位を重複・LD等領域から履修する必要があります。（既に履修し終わった4領域の科目を新たに履修しても、その領域の単位に加算されることになり、「修得した領域以外で5単位が必要」との条件は満たしません）

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法

教育学科・教育学専修……免許教科

中学 1 種「社会」

- ※●：専門必修科目 ○：専門選択科目 ◇：教職課程科目 ▼：教育学部共通科目
 □：教育学専修 専門選択科目（副選択）
 ■：生涯教育学専修 専門選択科目（選択）

＜教科に関する科目＞

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選択科目〕 | 単位数 | |
|--------------------|----------------------------|---|------------------|--------------|---|------------------------------|
| 教科に関する科目 | 日本史及び外国史 | ■日本史Ⅰ ■日本史Ⅱ ■外国史Ⅰ ■外国史Ⅱ | 2 2 2 2 | 全科目必修 | ●日本教育史Ⅱ ●西洋教育史Ⅱ ○日本教育史研究Ⅰ ○日本教育史研究Ⅱ ■外国史Ⅲ | 2 2 2 2 2 |
| | 地理学(地誌を含む。) | ■地理Ⅰ ■地理Ⅱ ■地誌Ⅰ | 2 2 2 | | ■地理Ⅲ ■地誌Ⅱ | 2 2 |
| | 「法学、政治学」 | □法律学 □政治学Ⅰ □政治学Ⅱ | 2 2 2 | 1科目必修 | | |
| | 「社会学、経済学」 | □社会学(教職) □経済学Ⅰ □経済学Ⅱ | 2 2 2 | 1科目必修 | ●教育社会学 ○教育社会学テーマ研究 ○学校教育活動論 ○社会教育課題研究Ⅰ-1 ○社会教育課題研究Ⅰ-2 | 2 2 2 2 2 |
| | 「哲学、倫理学、宗教学」 | A ○哲学研究 B ○倫理学概論 C ○宗教研究Ⅰ ○宗教研究Ⅱ | 4 4 2 2 | A～C群から1科目群必修 | ●教育哲学 ○教育哲学研究1 ○教育哲学研究2 ○教育思想研究1 (旧：教育思想研究) ○教育思想研究2 | 2 2 2 2 (2) 2 |
| 〔①必修科目〕合計単位数 22 単位 | | | | | | |

＜教職に関する科目（必修）＞

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔③必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | |
|----------------------------|---|--|---------------------------|--|
| 第二欄 教育の意義等に関する科目 | ◇教職概論(中・高) | 2 | 全科目必修 ※1～6を合わせて参照すること。 | |
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | ●教育学概論Ⅰ ※1 ●教育制度概論(旧：教育学概論Ⅱ) ※1 ●教育心理学概説Ⅰ ※2 ●教育心理学概説Ⅱ ※2 | 2 2 2 2 | | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | ●教育課程論 ※3 ◇社会科教育法1 ◇社会科教育法2 ◇社会科教育法3 ◇道徳教育論(中・高) ◇特別活動論(中・高) 2019年度以降修得 ※4 (◇特別活動論(中・高)) 2018年度以前修得 ※4 ●教育方法学 ※5 | 2 2 2 2 2 1 (2) 2 | | |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | ◇生徒理解と教育相談(中・高) ◇生徒指導・進路指導論(中・高) | 2 2 | | |
| 第五欄 教育実習 | ◇教育実習演習(3週間) ※6 | 5 | | |
| 第六欄 教職実践演習 | ◇教職実践演習(中・高) | 2 | | |
| 〔③必修科目〕合計単位数 34 単位又は 35 単位 | | | | |

※1「教育学概論Ⅰ」「教育制度概論(旧：教育学概論Ⅱ)」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論1」「教育制度総論(旧：教育基礎総論2)」の履修は不要です。

※2「教育心理学概説Ⅰ」「教育心理学概説Ⅱ」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。

※3 2014年度より「教育課程論」が教員免許状取得の要件として「教育課程編成論」と同等に扱われることになりました。

2014年度以降に「教育課程論」の単位を修得した場合、教職課程科目「教育課程編成論」の履修は不要です。

※4 特別活動論（中・高）は2019年度より、単位数が2単位から1単位に変更になりました。

※5 「教育方法学」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育方法・技術論（旧：教育方法研究）」の履修は不要です。

※6 3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（3週間）」を、2週間実習を行う場合は、「教育実習演習（2週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（3週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許〔③必修科目〕の合計単位数に2単位加算されます。）

<教職に関する科目（選択）>

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | | [④選 択 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 |
|--------------------------|---|--|------|
| 第三欄 教育の基礎理論 に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | ◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止 | 各2単位 |
| | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | ◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（学校外教育） ◇教職研究Ⅹ（教育経営） ◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク） | |
| | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） | ◇特別支援教育（中・高）※ | 1単位 |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | 各教科の指導法 | ◇社会科教育法4 | 2単位 |
| | 特別活動の指導法 | ◇総合的な学習・探究論（中・高）※ | 1単位 |
| | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | ◇授業技術演習 | 2単位 |
| | | ◇教育におけるICT活用（中・高） | 1単位 |

※ 教育職員免許法改正による新設科目

<教科又は教職に関する科目>

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | [⑤必 修 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 履修方法 | 単位数 | [⑥選 択 科 目] | 単位数 |
|------------------------|-------------------------------|--------------|-----|--|---|
| 教科又は教職に関する科目 | ◇介護体験実習講義 | 中学校の免許取得には必修 | 2 | ◇教職研究Ⅵ（生涯教育） ◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018年度廃止 ◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究） ◇教職特講Ⅲ（部活動論） ◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座） ◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ） ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ | 2 (2) 2 1 2 4 4 4 4 |
| 中学校免許：〔⑤必修科目〕合計単位数 2単位 | | | | | |

〔必修科目〕①・③・⑤ 及び 〔選択科目〕②・④・⑥ 合計で59単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法 教育学専修・教育学専修……免許教科

高校 1 種「地理歴史」

- ※●：専門必修科目 ○：専門選択科目 ◇：教職課程科目 ▽：教育学部共通科目
□：教育学専修 専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修 専門選択科目（選択） △：社会科設置科目

<教科に関する科目>

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選択科目〕 | 単位数 | |
|-----------------|----------------------------|-------------------------|-------------|-----------|--|--------------------------------------|
| 教科に関する科目 | 日本史 | ■日本史Ⅰ ■日本史Ⅱ | 2 2 | 全科目 必修 | ●日本教育史Ⅰ ●日本教育史Ⅱ ○日本教育史研究Ⅰ ○日本教育史研究Ⅱ ○青少年教育論 | 2 2 2 2 2 |
| | 外国史 | ■外国史Ⅰ ■外国史Ⅱ ■外国史Ⅲ | 2 2 2 | | ●西洋教育史Ⅰ ●西洋教育史Ⅱ ○科学思想Ⅰ ○科学思想Ⅱ △東洋史研究（中世）Ⅰ △東洋史研究（中世）Ⅱ △東洋史研究（近代）Ⅰ △東洋史研究（近代）Ⅱ | 2 2 2 2 2 2 2 2 |
| | 人文地理学及び自然地理学 | ■地理Ⅰ ■地理Ⅱ ■地理Ⅲ | 2 2 2 | | ○文化人類学研究Ⅰ ○文化人類学研究Ⅱ (旧：文化人類学) | 2 2 (4) |
| | 地誌 | ■地誌Ⅰ ■地誌Ⅱ | 2 2 | | | |
| | 〔①必修科目〕合計単位数 20 単位 | | | | | |

<教職に関する科目（必修）>

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔③必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 |
|----------------------------|--|------------------|---|
| 第二欄 教職の意義等に関する科目 | ◇教職概論（中・高） | 2 | 全科目 必修 ※1～6を 合わせて 参照する こと。 |
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | ●教育学概論Ⅰ ※1 ●教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ） ※1 ●教育心理学概説Ⅰ ※2 ●教育心理学概説Ⅱ ※2 | 2 2 2 2 | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | ●教育課程論 ※3 | 2 | |
| | ◇地理歴史科教育法 1 | 2 | |
| | ◇地理歴史科教育法 2 | 2 | |
| | ◇特別活動論（中・高）2019 年度以降修得※4 (◇特別活動論（中・高）) 2018 年度以前修得※4 | 1 (2) | |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | ●教育方法学 ※5 | 2 | |
| | ◇生徒理解と教育相談（中・高） ◇生徒指導・進路指導論（中・高） | 2 2 | |
| 第五欄 教育実習 | ◇教育実習演習（2 週間） ※6 | 3 | |
| 第六欄 教職実践演習 | ◇教職実践演習（中・高） | 2 | |
| 〔③必修科目〕合計単位数 28 単位又は 29 単位 | | | |

※1「教育学概論Ⅰ」「教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論Ⅰ」「教育制度総論（旧：教育基礎総論Ⅱ）」の履修は不要です。

※2「教育心理学概説Ⅰ」「教育心理学概説Ⅱ」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。

※3 2014 年度より「教育課程論」が教員免許状取得の要件として「教育課程編成論」と同等に扱われることになりました。2014 年度以降に「教育課程論」の単位を修得した場合、教職課程科目「教育課程編成論」の履修は不要です。

※4 特別活動論（中・高）は 2019 年度より、単位数が 2 単位から 1 単位に変更になりました。

※5「教育方法学」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育方法・技術論（旧：教育方法研究）」の履修は不要です。

※6 3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（3週間）」を、2週間実習を行う場合は、「教育実習演習（2週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（3週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に2単位加算されます。）

<教職に関する科目（選択）>

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | | [④選 択 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 |
|--------------------------|---|--|------------|
| 第三欄 教育の基礎理論 に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | ◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止 | 各2単位 |
| | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | ◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（学校外教育） ◇教職研究Ⅹ（教育経営） ◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク） | |
| | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） | ◇特別支援教育（中・高）※1 | 1単位 |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | 各教科の指導法 | ◇社会科教育法3※2：2018年度以前修得 ◇社会科教育法4※2：2018年度以前修得 | 各2単位 |
| | 特別活動の指導法 | ◇総合的な学習・探究論（中・高）※1 | 1単位 |
| | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | ◇授業技術演習 ◇教育におけるICT活用（中・高） | 2単位 1単位 |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | 道徳の指導法 | ◇道徳教育論（中・高） | 2単位 |

※1 教育職員免許法改正による新設科目

※2 2018年度までの単位修得に限り、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019年度以降の修得単位は文部科学省の指導により、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

<教科又は教職に関する科目>

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | [⑤必 修 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 履修方法 | 単位数 | [⑥選 択 科 目] | 単位数 |
|-----------------|-------------------------------|------|-----|---|--|
| 教科又は教職に関する科目 | / | | | ◇教職研究Ⅵ（生涯教育） ◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018年度廃止 ◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究） ◇教職特講Ⅲ（部活動論） ◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座） ◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ） ◇介護体験実習講義 ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ | 2 (2) 2 1 2 4 2 4 4 4 |

[必修科目] ①・③・⑤ 及び [選択科目] ②・④・⑥ 合計で59単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法 教育学科・教育学専修……免許教科

高校 1 種「公民」

- ※●：専門必修科目 ○：専門選択科目 ◇：教職課程科目 ▽：教育学部共通科目
□：教育学専修 専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修 専門選択科目（選択）

<教科に関する科目>

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選択科目〕 | 単位数 | |
|--------------------------|-----------------------------|------------|------------------|--|---|------------------|
| 教科に関する科目 | 「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」 | A □法学 | 2 | A～B群から 1科目群必修 | ○教育法研究 | 2 |
| | | B □政治学Ⅰ | 2 | | | |
| | | □政治学Ⅱ | 2 | | | |
| | 「社会学、経済学(国際経済を含む。)」 | A □社会学(教職) | 2 | A～B群から 1科目群必修 | ●教育社会学 ○教育社会学テーマ研究 ○学校教育活動論 ○社会教育課題研究Ⅰ-1 ○社会教育課題研究Ⅰ-2 | 2 2 2 2 |
| | | B □経済学Ⅰ | 2 | | | |
| | □経済学Ⅱ | 2 | | | | |
| 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 | A ○哲学研究 | 4 | A～C群から 1科目群必修 | ●教育哲学 ○教育哲学研究1 ○教育哲学研究2 ○教育思想研究1 (旧：教育思想研究) ○教育思想研究2 ○社会心理学特論Ⅰ(産業・組織心理学) ※ (旧：社会心理学特論Ⅰ) ○臨床心理学特論Ⅰ(精神疾患とその治療) (旧：臨床心理学特論Ⅰ) | 2 2 2 2 2 2 4 | |
| | B ○倫理学概論 | 4 | | | | |
| | C ○宗教研究Ⅰ | 2 | | | | |
| | ○宗教研究Ⅱ | 2 | | | | |
| 〔①必修科目〕 合計単位数 8～12 単位 | | | | | | |
| 〔①必修科目〕と〔②選択科目〕合計で20単位以上 | | | | | | |

※ 「社会心理学特論Ⅰ(産業・組織心理学)」は、2018年度までの修得に限ります。2019年度以降に修得した単位は、教員免許の単位として使用できません。

<教職に関する科目(必修)>

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔③必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 |
|--------------------------|--|----------|---------------------------|
| 第二欄 教職の意義等に関する科目 | ◇教職概論(中・高) | 2 | 全科目必修 ※1～6を合わせて参照すること。 |
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | ●教育学概論Ⅰ ※1 | 2 | |
| | ●教育制度概論(旧：教育学概論Ⅱ) ※1 | 2 | |
| | ●教育心理学概説Ⅰ ※2 | 2 | |
| | ●教育心理学概説Ⅱ ※2 | 2 | |
| | ●教育課程論 ※3 | 2 | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | ◇公民科教育法1 | 2 | |
| | ◇公民科教育法2 | 2 | |
| | ◇特別活動論(中・高)2019年度以降修得※4 (◇特別活動論(中・高))2018年度以前修得※4 | 1 (2) | |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | ●教育方法学 ※5 | 2 | |
| | ◇生徒理解と教育相談(中・高) ◇生徒指導・進路指導論(中・高) | 2 2 | |
| 第五欄 教育実習 | ◇教育実習演習(2週間) ※6 | 3 | |
| 第六欄 教職実践演習 | ◇教職実践演習(中・高) | 2 | |
| 〔③必修科目〕 合計単位数 28単位又は29単位 | | | |

※1「教育学概論Ⅰ」「教育制度概論(旧：教育学概論Ⅱ)」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論1」「教育制度総論(旧：教育基礎総論2)」の履修は不要です。

※2「教育心理学概説Ⅰ」「教育心理学概説Ⅱ」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。

- ※3 2014年度より「教育課程論」が教員免許状取得の要件として「教育課程編成論」と同等に扱われることになりました。2014年度以降に「教育課程論」の単位を修得した場合、教職課程科目「教育課程編成論」の履修は不要です。
- ※4 特別活動論（中・高）は2019年度より、単位数が2単位から1単位に変更になりました。
- ※5 「教育方法学」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育方法・技術論（旧：教育方法研究）」の履修は不要です。
- ※6 3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（3週間）」を、2週間実習を行う場合は、「教育実習演習（2週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（3週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に2単位加算されます。）

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | | [④選 択 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | | 単位数 | |
|-----------------|------------------------|---|--|------------|------|
| 第三欄 | 教育の基礎理論に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | ◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止 | 各2単位 | |
| | | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | ◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（学校外教育） ◇教職研究Ⅷ（教育経営） ◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク） | | 各1単位 |
| | | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） | ◇特別支援教育（中・高）※1 | | 1単位 |
| 第四欄 | 教育課程及び指導法に関する科目 | 各教科の指導法 | ◇社会科教育法3 ※2：2018年度以前修得 ◇社会科教育法4 ※2：2018年度以前修得 | 各2単位 | |
| | | 特別活動の指導法 | ◇総合的な学習・探究論（中・高）※1 | 1単位 | |
| | | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | ◇授業技術演習 ◇教育におけるICT活用（中・高） | 2単位 1単位 | |
| | 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | 道徳の指導法 | ◇道徳教育論（中・高） | 2単位 | |

※1 教育職員免許法改正による新設科目

※2 2018年度までの単位修得に限り、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019年度以降の修得単位は文部科学省の指導により、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

＜教科又は教職に関する科目＞

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | [⑤必 修 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 履修方法 | 単位数 | [⑥選 択 科 目] | 単位数 |
|-----------------|-------------------------------|------|-----|---|--|
| 教科又は教職に関する科目 | / | | | ◇教職研究Ⅵ（生涯教育） ◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018年度廃止 ◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究） ◇教職特講Ⅲ（部活動論） ◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座） ◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ） ◇介護体験実習講義 ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ | 2 (2) 2 1 2 4 2 4 4 4 |

【必修科目】①・③・⑤ 及び 【選択科目】②・④・⑥ 合計で59単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・生涯教育学専修……免許教科

中学 1 種「社会」

- ※●：専門必修科目 ○：専門選択科目 ◇：教職課程科目 ▽：教育学部共通科目
□：教育学専修 専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修 専門選択科目（選択）

<教科に関する科目>

| 免許法施行規則に規定された科目 | 【①必修科目】 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 【②選択科目】 | 単位数 | |
|--------------------|----------------------------|---|-------------------------|-------------|---|---------------|
| 教科に関する科目 | 日本史及び外国史 | ■日本史Ⅰ ■日本史Ⅱ ■外国史Ⅰ ■外国史Ⅱ | 2 2 2 2 | 全科目必修 | ●社会教育史Ⅰ(旧:社会教育史) ●社会教育史Ⅱ(旧:社会教育史) ■外国史Ⅲ | 2 2 2 |
| | 地理学(地誌を含む。) | ■地理Ⅰ ■地理Ⅱ ■地誌Ⅰ | 2 2 2 | | ■地理Ⅲ ■地誌Ⅱ | 2 2 |
| | 「法学、政治学」 | □法律学 □政治学Ⅰ □政治学Ⅱ | 2 2 2 | 1科目必修 | | |
| | 「社会学、経済学」 | □社会学(教職) □経済学Ⅰ □経済学Ⅱ | 2 2 2 | 1科目必修 | ●教育社会学 ○社会教育課題研究Ⅰ-1 ○社会教育課題研究Ⅰ-2 | 2 2 2 |
| | 「哲学、倫理学、宗教学」 | A ○哲学研究 B ○倫理学概論 C ○宗教研究Ⅰ ○宗教研究Ⅱ(旧:宗教研究) | 4 4 2 2 (4) | A~C群から1科目必修 | ○教育思想研究Ⅰ(旧:教育思想研究) ○教育思想研究Ⅱ | 2 (2) 2 |
| 【①必修科目】合計単位数 22 単位 | | | | | | |

<教職に関する科目(必修)>

| 免許法施行規則に規定された科目 | 【③必修科目】 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 |
|----------------------------|--|--|---------------------------|
| 第二欄 教職の意義等に関する科目 | ◇教職概論(中・高) | 2 | 全科目必修 ※1~5を合わせて参照すること。 |
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | ●教育学概論Ⅰ ※1 ●教育の制度と経営(旧:教育学概論Ⅱ) ※1 ○教育心理学概説Ⅰ ※2 ○教育心理学概説Ⅱ ※2 | 2 2 2 2 | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | ◇教育課程編成論(中・高) ◇社会科教育法1 ◇社会科教育法2 ◇社会科教育法3 ◇道徳教育の理論と実践(旧:道徳教育研究) ※3 ◇特別活動論(中・高) 2019年度以降修得 ※4 (◇特別活動論(中・高)) 2018年度以前修得 ※4 ◇教育方法・技術論(中・高) (旧:教育方法研究(中・高)) | 1 2 2 2 2 1 (2) 2 | |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | ◇生徒理解と教育相談(中・高) ◇生徒指導・進路指導論(中・高) | 2 2 | |
| 第五欄 教育実習 | ◇教育実習演習(3週間) ※5 | 5 | |
| 第六欄 教職実践演習 | ◇教職実践演習(中・高) | 2 | |
| 【③必修科目】合計単位数 33 単位又は 34 単位 | | | |

※1 「教育学概論Ⅰ」「教育の制度と経営(旧:教育学概論Ⅱ)」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論1」「教育制度総論(旧:教育基礎総論2)」の履修は不要です。

※2 「教育心理学概説Ⅰ」「教育心理学概説Ⅱ」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。

- ※3 「道徳教育の理論と実践（旧：道徳教育研究）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「道徳教育論」の履修は不要です。
- ※4 特別活動論（中・高）は2019年度より、単位数が2単位から1単位に変更になりました。
- ※5 3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（3週間）」を、2週間実習を行う場合は、「教育実習演習（2週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（3週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に2単位加算されます。）

<教職に関する科目（選択）>

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 〔④選 択 科 目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 |
|---|----------------------|---|------|
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | ◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 | 各2単位 |
| | | ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止 | |
| | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | ◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 | |
| | | ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（学校外教育） ◇教職研究Ⅹ（教育経営） ◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク） | |
| 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） | ◇特別支援教育（中・高）※ | 1単位 | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | 各教科の指導法 | ◇社会科教育法4 | 2単位 |
| | | ◇総合的な学習・探究論（中・高）※ | 1単位 |
| | 特別活動の指導法 | ◇授業技術演習 | 2単位 |
| | | ◇教育におけるICT活用（中・高） | 1単位 |
| 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | | | |

※ 教育職員免許法改正による新設科目

<教科又は教職に関する科目>

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔⑤必 修 科 目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 履修方法 | 単位数 | 〔⑥選 択 科 目〕 | 単位数 |
|------------------------|-------------------------------|--------------|-----|--|---|
| 教科又は教職に関する科目 | ◇介護体験実習講義 | 中学校の免許取得には必修 | 2 | ◇教職研究Ⅵ（生涯教育） ◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018年度廃止 ◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究） ◇教職特講Ⅲ（部活動論） ◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座） ◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ） ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ | 2 (2) 2 1 2 4 4 4 4 |
| 中学校免許：〔⑤必修科目〕合計単位数 2単位 | | | | | |

〔必修科目〕①・③・⑤ 及び 〔選択科目〕②・④・⑥ 合計で59単位以上

教免取得の履修方法

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法 教育学科・生涯教育学専修……免許教科

高校 1 種「地理歴史」

※●：専門必修科目 ○：専門選択科目 ◇：教職課程科目 ▼：教育学部共通科目
□：教育学専修 専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修 専門選択科目（選択） △：社会科設置科目

<教科に関する科目>

| 免許法施行規則に規定された科目 | [①必修科目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | [②選択科目] | 単位数 | |
|-----------------|----------------------------|-------------------------|-------------|-----------|--|----------------------------|
| 教科に関する科目 | 日本史 | ■日本史Ⅰ ■日本史Ⅱ | 2 2 | 全科目 必修 | ●社会教育史Ⅰ(旧:社会教育史) ●社会教育史Ⅱ(旧:社会教育史) ○女性史 ○青少年教育論 | 2 2 2 2 |
| | 外国史 | ■外国史Ⅰ ■外国史Ⅱ ■外国史Ⅲ | 2 2 2 | | ○科学思想史Ⅰ ○科学思想史Ⅱ △東洋史研究(中世)Ⅰ △東洋史研究(中世)Ⅱ △東洋史研究(近代)Ⅰ △東洋史研究(近代)Ⅱ | 2 2 2 2 2 2 |
| | 人文地理学及び自然地理学 | ■地理Ⅰ ■地理Ⅱ ■地理Ⅲ | 2 2 2 | | ○文化人類学研究Ⅰ ○文化人類学研究Ⅱ (旧:文化人類学) | 2 2 (4) |
| | 地誌 | ■地誌Ⅰ ■地誌Ⅱ | 2 2 | | | |
| | | [①必修科目] 合計単位数 20 単位 | | | | |

<教職に関する科目(必修)>

| 免許法施行規則に規定された科目 | [③必修科目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 |
|------------------------|--|------------------------------|---|
| 第二欄 教職の意義等に関する科目 | ◇教職概論(中・高) | 2 | 全科目 必修 ※1~4を 合わせて 参照する こと。 |
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | ●教育学概論Ⅰ ※1 ●教育の制度と経営(旧:教育学概論Ⅱ) ※1 ○教育心理学概説Ⅰ ※2 ○教育心理学概説Ⅱ ※2 | 2 2 2 2 | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | ◇教育課程編成論(中・高) ◇地理歴史科教育法1 ◇地理歴史科教育法2 ◇特別活動論(中・高)2019年度以降修得※3 (◇特別活動論(中・高))2018年度以前修得※3 ◇教育方法・技術論(中・高) (旧:教育方法研究(中・高)) | 1 2 2 1 (2) 2 | |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | ◇生徒理解と教育相談(中・高) ◇生徒指導・進路指導論(中・高) | 2 2 | |
| 第五欄 教育実習 | ◇教育実習演習(2週間) ※4 | 3 | |
| 第六欄 教職実践演習 | ◇教職実践演習(中・高) | 2 | |
| | | [③必修科目] 合計単位数 27 単位又は 28 単位 | |

※1 「教育学概論Ⅰ」「教育の制度と経営(旧:教育学概論Ⅱ)」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論1」「教育制度総論(旧:教育基礎総論2)」の履修は不要です。

※2 「教育心理学概説Ⅰ」「教育心理学概説Ⅱ」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。

※3 特別活動論(中・高)は2019年度より、単位数が2単位から1単位に変更になりました。

※4 3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習(3週間)」を、2週間実習を行う場合は、「教育実習演習(2週間)」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習(3週間)」のみを登録(履修)してください。(この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に2単位加算されます。)

<教職に関する科目（選択）>

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | | [④選 択 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 |
|---|----------------------------|-------------------------------|------|
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | ◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 | 各2単位 |
| | | ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止 | |
| | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | ◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 | |
| | | ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 | |
| 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） | ◇教職研究Ⅴ（学校外教育） | 各1単位 | |
| | ◇教職研究Ⅸ（教育経営） | | |
| | ◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） | | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | 各教科の指導法 | ◇社会科教育法3 ※2：2018年度以前修得 | 各2単位 |
| | | ◇社会科教育法4 ※2：2018年度以前修得 | |
| | 特別活動の指導法 | ◇総合的な学習・探究論（中・高）※1 | 1単位 |
| | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | ◇授業技術演習 | 2単位 |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | 道徳の指導法 | ◇教育におけるICT活用（中・高） | 1単位 |
| | | ○道徳教育の理論と実践（旧：道徳教育研究） | 2単位 |

※1 教育職員免許法改正による新設科目

※2 2018年度までの単位修得に限り、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019年度以降の修得単位は文部科学省の指導により、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

<教科又は教職に関する科目>

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | [⑤必 修 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 履修方法 | 単位数 | [⑥選 択 科 目] | 単位数 |
|-----------------|-------------------------------|------|-----|---|--|
| 教科又は教職に関する科目 | / | | | ◇教職研究Ⅵ（生涯教育） ◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018年度廃止 ◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究） ◇教職特講Ⅲ（部活動論） ◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座） ◇介護体験実習講義 ◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ） ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ | 2 (2) 2 1 2 2 4 4 4 4 |

[必修科目] ①・③・⑤ 及び [選択科目] ②・④・⑥ 合計で59単位以上

教員取得の履修方法

2019 年度入学者は『学部要項』と併せて確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法

教育学科・生涯教育学専修……免許教科

高校 1 種「公民」

※●：専門必修科目 ○：専門選択科目 ◇：教職課程科目 ▽：教育学部共通科目

□：教育学専修 専門選択科目（副選択）

■：生涯教育学専修 専門選択科目（選択）

<教科に関する専門的事項>

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔②選 択 科 目〕 | 単位数 |
|--|--|------------------------------------|
| 教科に関する専門的事項 「法律学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む。）」 | ○現代社会と行政 （旧：行政学Ⅰ） ○行政活動と行政改革 （旧：行政学Ⅱ） ○社会教育行財政Ⅱ ※2020 年度より廃止 ○社会教育行財政Ⅰ ※2021 年度より廃止 | 2 (2) 2 (2) (2) (2) |

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法

教育学科・生涯教育学専修……免許教科

高校 1 種「公民」

※●：専門必修科目 ○：専門選択科目 ◇：教職課程科目 ▽：教育学部共通科目

□：教育学専修 専門選択科目（副選択）

■：生涯教育学専修 専門選択科目（選択）

<教科に関する科目>

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔①必 修 科 目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選 択 科 目〕 | 単位数 |
|---|--------------------------------|---------------|------------------|--|-------------------------------|
| 教科に関する科目 「法律学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む。）」 | A □法律学 | 2 | A～B群から 1科目群必修 | ○現代社会と行政 （旧：行政学Ⅰ） ○行政活動と行政改革 （旧：行政学Ⅱ） ○社会教育行財政Ⅰ ※2021 年度より廃止 ○社会教育行財政Ⅱ ※2020 年度より廃止 | 2 (2) 2 (2) (2) |
| | B □政治学Ⅰ | 2 | | | |
| | □政治学Ⅱ | 2 | | | |
| 「社会学、経済学 （国際経済を含む。）」 | A □社会学（教職） | 2 | A～B群から 1科目群必修 | ●教育社会学 ○社会教育課題研究Ⅰ-1 ○社会教育課題研究Ⅰ-2 | 2 2 2 |
| | B □経済学Ⅰ | 2 | | | |
| | □経済学Ⅱ | 2 | | | |
| 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 | A ○哲学研究 | 4 | A～C群から 1科目群必修 | ○教育思想研究Ⅰ （旧：教育思想研究） ○教育思想研究Ⅱ ○臨床心理学特論Ⅰ（精神疾患とその治療） （旧：臨床心理学特論Ⅰ） | 2 (2) 2 4 (4) |
| | B ○倫理学概論 | 4 | | | |
| | C ○宗教研究Ⅰ ○宗教研究Ⅱ （旧：宗教研究） | 2 2 (4) | | | |
| 〔①必修科目〕 合計単位数 8～12 単位 | | | | | |
| 〔①必修科目〕 と 〔②選択科目〕 合計で 20 単位以上 | | | | | |

<教職に関する科目（必修）>

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 〔③必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 |
|-------------------------|--|----------------------------|-----|---------------------------|
| 教職に関する科目（必修） | 第二欄 教職の意義等に関する科目 | ◇教職概論（中・高） | 2 | 全科目必修 ※1～4を合わせて参照すること。 |
| | 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | ●教育学概論Ⅰ ※1 | 2 | |
| | | ●教育の制度と経営（旧：教育学概論Ⅱ） ※1 | 2 | |
| | | ○教育心理学概説Ⅰ ※2 | 2 | |
| | | ○教育心理学概説Ⅱ ※2 | 2 | |
| | 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | ◇教育課程編成論（中・高） | 1 | |
| | | ◇公民科教育法1 | 2 | |
| | ◇公民科教育法2 | 2 | | |
| | ◇特別活動論（中・高）2019年度以降修得※3 (◇特別活動論（中・高）2018年度以前修得※3) | 1 | | |
| | ◇教育方法・技術論（中・高） (旧：教育方法研究（中・高）) | 2 | | |
| | 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | ◇生徒理解と教育相談（中・高） | 2 | |
| | | ◇生徒指導・進路指導論（中・高） | 2 | |
| 第五欄 教育実習 | | ◇教育実習演習（2週間） ※4 | 3 | |
| 第六欄 教職実践演習 | | ◇教職実践演習（中・高） | 2 | |
| 〔③必修科目〕合計単位数 27単位又は28単位 | | | | |

- ※1 「教育学概論Ⅰ」「教育の制度と経営（旧：教育学概論Ⅱ）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論1」「教育制度総論（旧：教育基礎総論2）」の履修は不要です。
- ※2 「教育心理学概説Ⅰ」「教育心理学概説Ⅱ」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。
- ※3 特別活動論（中・高）は2019年度より、単位数が2単位から1単位に変更になりました。
- ※4 3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（3週間）」を、2週間実習を行う場合は、「教育実習演習（2週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（3週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許〔③必修科目〕の合計単位数に2単位加算されます。）

<教職に関する科目（選択）>

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 〔④選択科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 |
|------------------------|---|----------------------------|------|
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | ◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 | 各2単位 |
| | | ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止 | |
| | | ◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 | |
| | | ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 | |
| | | ◇教職研究Ⅴ（学校外教育） | 各1単位 |
| | | ◇教職研究Ⅷ（教育経営） | |
| | | ◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） | |
| | | ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） | 各1単位 |
| | | ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク） | |
| | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） | ◇特別支援教育（中・高）※1 | 1単位 |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | 各教科の指導法 | ◇社会科教育法3 ※2：2018年度以前修得 | 各2単位 |
| | | ◇社会科教育法4 ※2：2018年度以前修得 | |
| | 特別活動の指導法 | ◇総合的な学習・探究論（中・高）※1 | 1単位 |
| | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | ◇授業技術演習 | 2単位 |
| | | ◇教育におけるICT活用（中・高） | 1単位 |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | 道徳の指導法 | ○道徳教育の理論と実践（旧：道徳教育研究） | 2単位 |

※1 教育職員免許法改正による新設科目

※2 2018年度までの単位修得に限り、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019年度以降の修得単位は文部科学省の指導により、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

<教科又は教職に関する科目>

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔⑤必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 履修方法 | 単位数 | 〔⑥選択科目〕 | 単位数 |
|-----------------|----------------------------|------|-----|--|--|
| 教科又は教職に関する科目 | | | | ◇教職研究Ⅵ(生涯教育) ◇教職研究Ⅶ(特別支援教育) ※2018年度廃止 ◇教職研究Ⅷ(総合学習の研究) ◇教職特講Ⅲ(部活動論) ◇人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)(旧:人間理解基盤講座) ◇介護体験実習講義 ◇学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)(旧:学級経営インターンシップ) ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ | 2 (2) 2 1 2 2 4 4 4 4 |

〔必修科目〕①・③・⑤ 及び 〔選択科目〕②・④・⑥ 合計で59単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・教育心理学専修……免許教科

中学 1 種「社会」

- ※●：専門必修科目 ○：専門選択科目 ◇：教職課程科目 ▼：教育学部共通科目
□：教育心理学専修 専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修 専門選択科目（選択）

<教科に関する科目>

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選択科目〕 | 単位数 | |
|----------------------|----------------------------|----------|------------------|------------------------|--------------|--------|
| 教科に関する科目 | 日本史及び 外国史 | ■日本史Ⅰ | 2 | 全科目 必修 | ■外国史Ⅲ | 2 |
| | | ■日本史Ⅱ | 2 | | | |
| | | ■外国史Ⅰ | 2 | | | |
| | | ■外国史Ⅱ | 2 | | | |
| | 地理学 (地誌を含む。) | ■地理Ⅰ | 2 | 1科目 必修 | ■地理Ⅲ ■地誌Ⅱ | 2 2 |
| | | ■地理Ⅱ | 2 | | | |
| | | ■地誌Ⅰ | 2 | | | |
| | 「法学、 政治学」 | □法学 | 2 | 1科目 必修 | | |
| | | □政治学Ⅰ | 2 | | | |
| | | □政治学Ⅱ | 2 | | | |
| 「社会学、 経済学」 | □社会学(教職) | 2 | 1科目 必修 | ●社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)※ | 4 | |
| | □経済学Ⅰ | 2 | | | | |
| | □経済学Ⅱ | 2 | | | | |
| 「哲学、 倫理学、 宗教学」 | A ○哲学研究 | 4 | A～C群から 1科目群必修 | | | |
| | B ○倫理学概論 | 4 | | | | |
| | C ○宗教研究Ⅰ | 2 | | | | |
| | ○宗教研究Ⅱ (旧：宗教研究) | 2 (4) | | | | |
| 〔①必修科目〕 合計単位数 22 単位 | | | | | | |

※ 「社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)」は、2019年度以降の単位修得に限ります。
2018年度以前に修得した単位は、教員免許の単位として使用できません。

<教職に関する科目(必修)> ※1~5を合わせて参照すること。

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔③必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 |
|-----------------------------|--|----------|-----------------|
| 第二欄 教職の意義等に関する科目 | ◇教職概論(中・高) | 2 | 全科目 必修 |
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | ○教育学概論Ⅰ ※1 | 2 | |
| | ○教育制度概論(旧：教育学概論Ⅱ) ※1 ●教育心理学概論 ※2 | 2 4 | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | ◇教育課程編成論(中・高) | 1 | |
| | ◇社会科教育法1 | 2 | |
| | ◇社会科教育法2 | 2 | |
| | ◇社会科教育法3 | 2 | |
| | ◇道徳教育論(中・高) | 2 | |
| | ◇特別活動論(中・高) 2019年度以降修得※3 (◇特別活動論(中・高)) 2018年度以前修得※3 | 1 (2) | |
| | ◇教育方法・技術論(中・高) (旧：教育方法研究(中・高)) | 2 | |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 ※4 | A ●学校心理学(教育相談・生徒指導・進路指導の理論と方法) ※2014年度～2017年度修得に限る。 | (4) | A～C群から 1科目必修 |
| | B ●教育・学校心理学 ※2018年度修得に限る。 | (4) | |
| | C ●教育相談及び生徒・進路指導論(教育・学校心理学) | 4 | |
| 第五欄 教育実習 | ◇教育実習演習(3週間)※5 | 5 | 全科目 必修 |
| 第六欄 教職実践演習 | ◇教職実践演習(中・高) | 2 | |
| 〔③必修科目〕 合計単位数 33 単位又は 34 単位 | | | |

- ※1「教育学概論Ⅰ」「教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論Ⅰ」「教育制度総論（旧：教育基礎総論Ⅱ）」の履修は不要です。
- ※2「教育心理学概論」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。
- ※3 特別活動論（中・高）は2019年度より、単位数が2単位から1単位に変更になりました。
- ※4 A～Cのいずれかの単位を修得済みの場合、教職課程科目「生徒指導・進路指導論」および「生徒理解と教育相談」の履修は不要です。
- ※5 3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（3週間）」を、2週間実習を行う場合は、「教育実習演習（2週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（3週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に2単位加算されます。）

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | | [④選 択 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 |
|------------------------|---|--|------------|
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | ◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止 | 各2単位 |
| | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | ◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（学校外教育） ◇教職研究Ⅸ（教育経営） ◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク） | |
| | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） | ◇特別支援教育（中・高）※ | 1単位 |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | 各教科の指導法 | ◇社会科教育法4 | 2単位 |
| | 特別活動の指導法 | ◇総合的な学習・探究論（中・高）※ | 1単位 |
| | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | ◇授業技術演習 ◇教育におけるICT活用（中・高） | 2単位 1単位 |

※ 教育職員免許法改正による新設科目

＜教科又は教職に関する科目＞

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | [⑤必 修 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 履修方法 | 単位数 | [⑥選 択 科 目] | 単位数 |
|------------------------|-------------------------------|--------------|-----|--|---|
| 教科又は教職に関する科目 | ◇介護体験実習講義 | 中学校の免許取得には必修 | 2 | ◇教職研究Ⅵ（生涯教育） ◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018年度廃止 ◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究） ◇教職特講Ⅲ（部活動論） ◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座） ◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ） ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ | 2 (2) 2 1 2 4 4 4 4 |
| 中学校免許：[⑤必修科目]合計単位数 2単位 | | | | | |

[必修科目] ①・③・⑤ 及び [選択科目] ②・④・⑥ 合計で59単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法

教育学科・教育心理学専修……免許教科

高校 1 種「地理歴史」

- ※●：専門必修科目 ○：専門選択科目 ◇：教職課程科目 ▼：教育学部共通科目
 □：教育心理学専修 専門選択科目（副選択）
 ■：生涯教育学専修 専門選択科目（選択） △：社会科設置科目

<教科に関する科目>

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選択科目〕 | 単位数 |
|-----------------|--------------|----------------------------|--------------|-------|--|-----|
| 教科に関する科目 | 日本史 | ■日本史Ⅰ ■日本史Ⅱ | 2 2 | 全科目必修 | | |
| | 外国史 | ■外国史Ⅰ ■外国史Ⅱ ■外国史Ⅲ | 2 2 2 | | △東洋史研究(中世)Ⅰ 2 △東洋史研究(中世)Ⅱ 2 △東洋史研究(近代)Ⅰ 2 △東洋史研究(近代)Ⅱ 2 | |
| | 人文地理学及び自然地理学 | ■地理Ⅰ ■地理Ⅱ ■地理Ⅲ | 2 2 2 | | | |
| | 地誌 | ■地誌Ⅰ ■地誌Ⅱ | 2 2 | | | |
| | | | 〔①必修科目〕合計単位数 | | 20 単位 | |

<教職に関する科目(必修)> ※1~5を合わせて参照すること。

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 〔③必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | |
|-----------------|---------------------------|--|------------------------------|-------|-------------|
| 第二欄 | 教職の意義等に関する科目 | ◇教職概論(中・高) | 2 | 全科目必修 | |
| 第三欄 | 教育の基礎理論に関する科目 | ○教育学概論Ⅰ ※1 ○教育制度概論(旧:教育学概論Ⅱ) ※1 ●教育心理学概論 ※2 | 2 2 4 | | |
| 第四欄 | 教育課程及び指導法に関する科目 | ◇教育課程編成論(中・高) ◇地理歴史科教育法1 ◇地理歴史科教育法2 ◇特別活動論(中・高)2019年度以降修得※3 (◇特別活動論(中・高)2018年度以前修得※3) ◇教育方法・技術論(中・高) (旧:教育方法研究(中・高)) | 1 2 2 1 (2) 2 | | |
| | 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 ※4 | A ●学校心理学(教育相談・生徒指導・進路指導の理論と方法) ※2014年度~2017年度修得に限る。 B ●教育・学校心理学 ※2018年度修得に限る。 C ●教育相談及び生徒・進路指導論(教育・学校心理学) | (4) (4) 4 | | A~C群から1科目必修 |
| 第五欄 | 教育実習 | ◇教育実習演習(2週間)※5 | 3 | | 全科目必修 |
| 第六欄 | 教職実践演習 | ◇教職実践演習(中・高) | 2 | 全科目必修 | |
| | | 〔③必修科目〕合計単位数 | 27 単位又は 28 単位 | | |

※1「教育学概論Ⅰ」「教育制度概論(旧:教育学概論Ⅱ)」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論1」「教育制度総論(旧:教育基礎総論2)」の履修は不要です。

※2「教育心理学概論」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。

※3 特別活動論(中・高)は2019年度より、単位数が2単位から1単位に変更になりました。

※4 A~Cのいずれかの単位を修得済みの場合、教職課程科目「生徒指導・進路指導論」および「生徒理解と教育相談」の履修は不要です。

※5 3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習(3週間)」を、2週間実習を行う場合は、「教育実習演習(2週間)」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習(3週間)」のみを登録(履修)してください。(この場合、高校免許〔③必修科目〕の合計単位数に2単位加算されます。)

<教職に関する科目（選択）>

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | | [④選 択 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 |
|---|----------------------------|---|------------|
| 第三欄 教育の基礎理論 に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | ◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 | 各2単位 |
| | | ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止 | |
| | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | ◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 | |
| | | ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（学校外教育） ◇教職研究Ⅸ（教育経営） ◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク） | |
| 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） | ◇特別支援教育（中・高）※1 | 1単位 | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | 各教科の指導法 | ◇社会科教育法3 ※2：2018年度以前修得 | 各2単位 |
| | | ◇社会科教育法4 ※2：2018年度以前修得 | |
| | 特別活動の指導法 | ◇総合的な学習・探究論（中・高）※1 | 1単位 |
| | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | ◇授業技術演習 ◇教育におけるICT活用（中・高） | 2単位 1単位 |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | 道徳の指導法 | ◇道徳教育論（中・高） | 2単位 |

※1 教育職員免許法改正による新設科目

※2 2018年度までの単位修得に限り、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019年度以降の修得単位は文部科学省の指導により、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

<教科又は教職に関する科目>

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | [⑤必 修 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 履修方法 | 単位数 | [⑥選 択 科 目] | 単位数 |
|-----------------|-------------------------------|------|-----|---|--|
| 教科又は教職に関する科目 | / | | | ◇教職研究Ⅵ（生涯教育） ◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018年度廃止 ◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究） ◇教職特講Ⅲ（部活動論） ◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座） ◇介護体験実習講義 ◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ） ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ | 2 (2) 2 1 2 2 4 4 4 4 |

[必修科目] ①・③・⑤ 及び [選択科目] ②・④・⑥ 合計で59単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法 教育学科・教育心理学専修……免許教科

高校 1 種「公民」

- ※●：専門必修科目 ○：専門選択科目 ◇：教職課程科目 ▽：教育学部共通科目
□：教育心理学専修 専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修 専門選択科目（選択）

<教科に関する科目>

| 免許法施行規則に規定された科目 | 【①必修科目】 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 【②選択科目】 | 単位数 | | | |
|-----------------|------------------------------|--------------------------------|---------------|-------------------|--|---|---------------------------------------|-----|
| 教科に関する科目 | 「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」 | A □法律学 | 2 | A～B群から 1科目群必修 | ●社会心理学概論（社会・ 集団・家族心理学） （旧：社会心理学概論） | 4 | | |
| | | B □政治学Ⅰ | 2 | | | | | |
| | | □政治学Ⅱ | 2 | | | | | |
| | 「社会学、経済学（国際経済を含む。）」 | A □社会学（教職） | 2 | A～B群から 1科目群必修。 | | | | |
| | | B □経済学Ⅰ □経済学Ⅱ | 2 2 | | | | | |
| | 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 | A ○哲学研究 | 4 | A～C群から 1科目群必修 | | | ○社会心理学特論Ⅰ（産業・組織心理学）※1 （旧：社会心理学特論Ⅰ） | (4) |
| | | B ○倫理学概論 | 4 | | | | ○心理学概論Ⅰ※2 | 4 |
| | | C ○宗教研究Ⅰ ○宗教研究Ⅱ （旧：宗教研究） | 2 2 (4) | | | | ○心理学概論Ⅱ（感情・人格心理学）※2 | 4 |
| | | | | | | | ○臨床心理学特論Ⅰ（精神疾患とその治療） （旧：臨床心理学特論Ⅰ） | 4 |
| | 【①必修科目】合計単位数 8～12 単位 | | | | | | | |
| | 【①必修科目】と【②選択科目】合計で20単位以上 | | | | | | | |

※1 「社会心理学特論Ⅰ（産業・組織心理学）」は、2018年度までの単位修得に限ります。2019年度以降に修得した単位は、教員免許の単位として使用できません。

※2 「心理学概論Ⅰ」「心理学概論Ⅱ（感情・人格心理学）」は、2019年度以降の単位修得に限ります。2018年度以前に修得した単位は、教員免許の単位として使用できません。

<教職に関する科目（必修）> ※1～5を合わせて参照すること。

| 免許法施行規則に規定された科目 | 【③必修科目】 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | |
|----------------------------|--|----------|-----------|-----------------|
| 第二欄 教職の意義等に関する科目 | ◇教職概論（中・高） | 2 | 全科目 必修 | |
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | ○教育学概論Ⅰ ※1 | 2 | | |
| | ○教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ） ※1 ●教育心理学概論 ※2 | 2 4 | | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | ◇教育課程編成論（中・高） | 1 | | |
| | ◇公民科教育法1 | 2 | | |
| | ◇公民科教育法2 | 2 | | |
| | ◇特別活動論（中・高）2019年度以降修得※3 （◇特別活動論（中・高））2018年度以前修得※3 | 1 (2) | | |
| | ◇教育方法・技術論（中・高） （旧：教育方法研究（中・高）） | 2 | | |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 ※4 | A ●学校心理学（教育相談・生徒指導・進路指導の理論と方法） ※2014年度～2017年度修得に限る。 | (4) | | A～C群から 1科目必修 |
| | B ●教育・学校心理学 ※2018年度修得に限る。 | (4) | | |
| | C ●教育相談及び生徒・進路指導論（教育・学校心理学） | 4 | | |
| 第五欄 教育実習 | ◇教育実習演習（2週間）※5 | 3 | | 全科目 必修 |
| 第六欄 教職実践演習 | ◇教職実践演習（中・高） | 2 | | |
| 【③必修科目】合計単位数 27 単位又は 28 単位 | | | | |

- ※1 「教育学概論Ⅰ」「教育制度概論(旧:教育学概論Ⅱ)」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論1」「教育制度総論(旧:教育基礎総論2)」の履修は不要です。
- ※2 「教育心理学概論」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。
- ※3 特別活動論(中・高)は2019年度より、単位数が2単位から1単位に変更になりました。
- ※4 A～Cのいずれかの単位を修得済みの場合、教職課程科目「生徒指導・進路指導論」および「生徒理解と教育相談」の履修は不要です。
- ※5 3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習(3週間)」を、2週間実習を行う場合は、「教育実習演習(2週間)」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習(3週間)」のみを登録(履修)してください。(この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に2単位加算されます。)

<教職に関する科目(選択)>

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | | [④選 択 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | |
|-----------------|-----------------|---|------------|------|
| 第三欄 | 教育の基礎理論に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 各2単位 | |
| | | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | | |
| | | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) | | 1単位 |
| | | 各教科の指導法 | | 各2単位 |
| 第四欄 | 教育課程及び指導法に関する科目 | 特別活動の指導法 | 1単位 | |
| | | 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) | 2単位 1単位 | |
| | | 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | 2単位 | |
| | 道徳の指導法 | 2単位 | | |

※1 教育職員免許法改正による新設科目

※2 2018年度までの単位修得に限り、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019年度以降の修得単位は文部科学省の指導により、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

<教科又は教職に関する科目>

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | [⑤必 修 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 履修方法 | 数 単 位 | [⑥選 択 科 目] | 数 単 位 |
|-----------------|-------------------------------|------|-------|---|--|
| 教科又は教職に関する科目 | / | | | ◇教職研究Ⅵ(生涯教育) ◇教職研究Ⅶ(特別支援教育)※2018年度廃止 ◇教職研究Ⅷ(総合学習の研究) ◇教職特講Ⅲ(部活動論) ◇人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)(旧:人間理解基盤講座) ◇介護体験実習講義 ◇学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)(旧:学級経営インターンシップ) ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ | 2 (2) 2 1 2 2 4 4 4 4 |

[必修科目] ①・③・⑤ 及び [選択科目] ②・④・⑥ 合計で59単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法

教育学科・初等教育学専攻……免許教科

小学校 1 種

※●：専門必修科目 ○：専門選択科目 ◇：教職課程科目 ▽：教育学部共通科目

<教科に関する科目>

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選択科目〕 | |
|-------------------|----------------------------|------------------|------|-----------------|--|
| 教科に関する科目 | 国語（書写を含む。） | ○初等教科専門国語（書写を含む） | 2 | 4科目8単位 を選択必修 | |
| | 社会 | ○初等教科専門社会 | 2 | | |
| | 算数 | ○初等教科専門算数 | 2 | | |
| | 理科 | ○初等教科専門理科 | 2 | | |
| | 生活 | ○初等教科専門生活 | 2 | | |
| | 音楽 | ○初等教科専門音楽 | 2 | | |
| | 図画工作 | ○初等教科専門図画工作 | 2 | | |
| | 家庭 | ○初等教科専門家庭 | 2 | | |
| | 体育 | ○初等教科専門体育 | 2 | | |
| 〔①必修科目〕 合計単位数 8単位 | | | | | |

※文科系受験者は算数、理科を含み、理科系受験者は国語、社会を含んで選択することが望ましい。

<教職に関する科目（必修）>

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔②必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 |
|--------------------------|----------------------------|-----|-----------|
| 第二欄 教職の意義等に関する科目 | ●教職原論 | 2 | 全科目 必修 |
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | ●初等教育学概論Ⅰ | 2 | |
| | ●教育の制度と経営（小）（旧：初等教育学概論Ⅱ） | 2 | |
| | ●教育心理学原論 | 2 | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | ○教育課程編成原論 | 1 | |
| | ●初等国語科教育法 | 2 | |
| | ●初等社会科教育法 | 2 | |
| | ●初等算数科教育法 | 2 | |
| | ●初等理科教育法 | 2 | |
| | ●初等生活科教育法 | 2 | |
| | ●初等音楽科教育法 | 2 | |
| | ●初等図画工作科教育法 | 2 | |
| | ●初等体育科教育法 | 2 | |
| | ●初等家庭科教育法 | 2 | |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | ●道徳教育原論 | 2 | |
| | ●特別活動原論 | 2 | |
| 第五欄 教育実習 | ●教育方法原論 | 2 | |
| | ●教育相談原論 | 2 | |
| 第六欄 教職実践演習 | ●生徒指導・進路指導原論 | 2 | |
| | ○教育実習演習（小） | 5 | |
| | ○教職実践演習（小） | 2 | |
| 小学校免許：〔③必修科目〕 合計単位数 44単位 | | | |

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 〔③ 択 科 目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 |
|-----------------|-----------------|---|---------------------------|
| 第三欄 | 教育の基礎理論に関する科目 | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） | ○特別支援教育原論※ 2 単位 |
| 第四欄 | 教育課程及び指導法に関する科目 | 各教科の指導法 | ○初等英語科教育法※ 2 単位 |
| | | 特別活動の指導法 | ○総合的な学習研究原論※ 2 単位 |
| | | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む） | ○教育における ICT 活用（小） 1 単位 |

※ 教育職員免許法改正による新設科目

＜教科又は教職に関する科目＞

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔⑤必 修 科 目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 履修方法 | 単位数 | 〔⑥選 択 科 目〕 | 単位数 | 備考 |
|-------------------|-------------------------------|------|-----|--|--|----|
| 教科又は教職に関する科目 | ◇介護体験実習講義※ | 必修 | 2 | ○生活科・総合的学習特論 (旧：生活科・総合的学習特論Ⅰ) ○初等自然科学教育フィールドワーク ○初等自然科学教育教材実習(2016年度から廃止) ○初等英語教育(2019年度から廃止) ○児童文学Ⅰ(なりたち) ○児童文学Ⅱ(展開) (旧：児童文学) ○国語教育史 ◇学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)(旧：学級経営インターンシップ)※ ◇特別支援教育インターンシップ※ ◇インクルーシブ教育インターンシップ※ ◇初等教育インターンシップ※ ◇人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)(旧：人間理解基盤講座)※ | 2 (2) 2 (2) (2) 2 2 (4) 2 4 4 4 4 2 | |
| 〔④必修科目〕合計単位数 2 単位 | | | | | | |

〔必修科目〕①・③・⑤ 及び 〔選択科目〕④・⑥ 合計で59単位以上

※ 中学・高校の免許状取得における「教科又は教職に関する科目」としても使用可。

＜教育職員免許法改正による新設科目等について＞

旧課程適用者(2018年度以前入学者)においては、専門教育科目(主選択)のうち、「初等教科専門英語」は、小学校一種免許状の単位として使用できません。誤って総単位数に数えないようご注意ください。(2018年度までに修得した「初等英語教育」は、総単位数に積算できます。)

なお、2019年度以降に修得する「特別支援教育原論」、「初等英語科教育法」および「総合的な学習研究原論」については、旧課程適用者においても「教職に関する科目」の選択科目として総単位数に積算されます。

【介護等体験の前提条件について】

介護等体験を行うには、「介護等体験実習講義」の科目登録が必要です。「介護等体験実習講義」の履修を希望する場合、以下の条件について履修前年度までに満たす必要があります。

■2018 年度以前入学者

- ①履修前年度の「介護等体験事前登録」を期限内に完了していること。
- ②体験実施前年度の「介護等体験費納入手続き」を期限内に完了していること。
- ③履修前年度までに「教職原論」（同等科目可）の単位を修得済みであること。

また、「教育心理学原論」の単位を修得済みであることが望ましい。

■2019 年度以降入学者

- ①履修前年度の「介護等体験事前登録」を期限内に完了していること。
- ②体験実施前年度の「介護等体験費納入手続き」を期限内に完了していること。
- ③履修前年度までに次の科目の単位を修得済みであること。（いずれも同等科目可。）

●教職原論

●特別支援教育原論

また、「教育心理学原論」の単位を修得済みであることが望ましい。

【小学校での教育実習の実施前提条件について】

初等教育学専攻の学生は、原則、小学校での教育実習を3年次に行います。

この教育実習に行くためには、一定の条件を満たしていなければなりません。この「条件」を、「教育実習実施前提条件」といい、3年次に教育実習に行くためには、2年次に、この「教育実習実施前提条件」を満たさなければならないこととなります。

ただし、初等教育学専攻の場合、教育実習実施前提条件の多くは必修科目と重なっており、必修を履修して単位を修得しておけば、条件の大部分を満たすことができます。しかし、自分で登録して修得しなければならない科目、手続きもありますので注意してください。

以下の条件を満たす必要があります。

- ① 実習実施前年度の教育実習ガイダンスに出席すること。
- ② 実習実施前年度の教育実習事前登録を期限内に完了していること。
- ③ 実習実施前年度までに、次の科目の単位を修得済みであること。

■2018年度以前入学者

- 「教科に関する科目」を3科目以上修得済みであること。
- 「教職原論」「初等教育学概論Ⅰ」「教育の制度と経営(小)(旧：初等教育学概論Ⅱ)」「教育方法原論」「教育心理学原論」「教育課程編成原論」の6科目を修得済みであること。
- 「教科教育法」を4科目以上修得済みであること。
- 「特別活動原論」「道徳教育原論」「教育相談原論」「生徒指導・進路指導原論」のうち、3科目以上を修得済みであること。
- 「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち、2領域以上(領域ごとに2単位以上)を修得済みであること。
- 2015年度以降入学者(学士入学者および科目等履修生は除く)については、「初等教育学基礎演習Ⅰ」、「初等教育学基礎演習Ⅱ」、「初等教育学基礎演習Ⅲ」、「初等教育学基礎演習Ⅳ」の4科目を修得済みであること。

■2019年度以降入学者

- 「教科に関する専門的事項」を3科目以上修得済みであること。
- 「教職原論」「初等教育学概論Ⅰ」「教育の制度と経営(小)」「教育方法原論」「教育心理学原論」「特別支援教育原論」「教育課程編成原論」の7科目を修得済みであること。
- 「教科教育法」を4科目以上修得済みであること。
- 「特別活動原論」「道徳教育原論」「教育相談原論」「生徒指導・進路指導原論」のうち、3科目以上を修得済みであること。
- 「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」のうち、2領域以上(領域ごとに2単位以上)を修得済みであること。
- 「初等教育学基礎演習Ⅰ」、「初等教育学基礎演習Ⅱ」、「初等教育学基礎演習Ⅲ」、「初等教育学基礎演習Ⅳ」の4科目を修得済みであること。

【教育実習演習（小）の科目登録について】

教育実習の実施時期によって登録する履修クラスが異なります。

以下を参照の上、科目登録を実施してください。なお、「実習時期」が科目登録時に「未定」の場合は、「春学期」開講クラスを登録してください。その後、実習時期が「8月～1月」に決定した場合は、至急、教育・総合科学学術院事務所で連絡をしてください。なお、実習校の都合により、「実習時期」が科目登録後に「変更」になった場合（「4月～7月」→「8月～1月」・「8月～1月」→「4月～7月」）は、至急、教育・総合科学学術院事務所に連絡をしてください。

| 教育実習の時期 | 履修クラス | 実習先 | 取得可能 免許状 | 科目登録時期 |
|----------|-------------------|-----|-------------|--------|
| 4月～7月の場合 | 春学期開講クラス（AもしくはB）※ | 小学校 | 小学校 | 春学期 |
| 8月～1月の場合 | 夏秋期開講クラス（C） | | | |

※春学期開講クラスを履修する場合、早稲田実業学校初等部で実習をする学生は、「A」クラスを履修してください。母校で実習をする学生は「B」クラスを履修してください。

【教職実践演習（小）の科目登録について】

教職実践演習は、自動登録ではなく、学生自身での登録が必要です。以下の区分に従い、4年次秋学期に科目登録を行ってください。

| クラス名 | 登録対象者 |
|------|---|
| Aクラス | 卒業後すぐに教職に就く者、もしくは、すぐにはないが将来的に教職に就くことを展望している学生 |
| Bクラス | Aクラスの条件に該当しない学生 |

初等教育学専攻の学生の他学科聴講による他校種教科の履修方法について

初等教育学専攻の学生は、下記の科目を履修することで、中学・高校一種免を取得することが可能です。
(高校一種免のみの取得は不可)

A 教科に関する科目 下記の表をもとに、教免上の必修科目を修得

初等教育学専攻の学生が中学、高校の免許状の取得を希望する場合、その希望する教科に応じて、B群の領域を指定し、免許状に必要な必修科目を履修する必要があります。ただし、各領域には定員が設けられており、定員を超えた希望者が出た場合、選考が行われます。(B群の科目については、授業ガイドの学科目の一覧を参照してください)

| 希望する免許教科 | B群での領域 | 定員(名) |
|---|--------|----------------------------------|
| 国語 | B-1 | 15名程度 |
| 社会、地歴、公民 (ただし、高校の免許である地歴、公民のみの希望は不可) | B-2 | 制限無し (ただし、科目登録の際に抽選に外れる可能性あり) |
| 数学 | B-3 | 5名程度 |
| 理科 | B-4 | 10名程度 |
| 英語 | B-5 | 15名程度 |

(注意事項)

- 1年生終了の時点で、希望する他校種教科に対応するB群の領域(1~5)を申請してください(第2希望まで申請可)。その際、文系、理系それぞれに対する専門性を踏まえて選択してください。(高校時代に各免許教科を履修していることが望ましいです)
 - 他校種教科の取得を希望しない学生についても、領域を指定する必要があります。
 - 一度領域を指定したらその領域を変えることはできません。
 - 希望する学生数が各領域の定員を超えた場合、選考が行われます。その際、他校種教科免許の取得を希望する学生を優先します。
 - 指定した領域以外でも、個人の興味に従い他領域の科目を履修することが可能です。ただし、その場合、本属(科目設置学科)における選択科目のみ履修することが可能です。
- ※複数の免許教科を修得することは不可能ではありませんが、指定したB群の領域以外の教職科目については、必ずしもすべて履修できるとは限らないので注意してください。
- ※中学校教諭免許状取得希望者は、各教科専門科目の履修方法に従って選択することが望ましいです(配当年次に注意し、配当年次の低い科目から履修してください)。

国語

教育職員免許状取得のための履修方法 免許教科 中学1種「国語」、高校1種「国語」

◇：教職課程科目

| 免許法施行規則に規定された科目 | [①必修科目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | [②選択科目] | 単位数 | |
|-----------------|---|--|----------------------|-----------|----------|---|
| 教科に関する科目 | 国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。) | 日本語学 国語表現論 | 4 4 | 全科目 必修 | ◇新国語教育講座 | 2 |
| | 国文学 (国文学史を含む。) | 日本文学史Ⅰ(古代) 日本文学史Ⅱ(中世) 日本文学史Ⅲ(近世) 日本文学史Ⅳ(近代) | 2 2 2 2 | | | |
| | 漢文学 | 中国文学基礎講読 (旧：中国文学演習Ⅰ) 中国文学基礎演習Ⅰ (旧：中国文学演習Ⅱ) | 4 (4) 2 (2) | | | |
| | 書道 (書写を中心とする。) | 書道(書写) | 4 | | | |
| | 中学校免許： [①必修科目] 合計単位数 26 単位 高校免許： [①必修科目] 合計単位数 22 単位 | | | | | |

※1 高校免許取得の単位には積算されない。

社会

教育職員免許状取得のための履修方法 免許教科 中学1種「社会」

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 【①必修科目】 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 【②選択科目】 | 単位数 |
|--------------------|----------------------|----------------------------|--------------|------------------|--------------------------|-----|
| 教科に関する科目 | 日本史及び 外国史 | 日本史Ⅰ | 2 | 全科目 必修 | 日本教育史Ⅱ 西洋教育史Ⅱ 外国史Ⅲ | 2 |
| | | 日本史Ⅱ | 2 | | | 2 |
| | | 外国史Ⅰ | 2 | | | 2 |
| | | 外国史Ⅱ | 2 | | | 2 |
| | 地理学 (地誌を含む。) | 地理Ⅰ | 2 | 全科目 必修 | 地誌Ⅱ 地理Ⅲ | 2 |
| | | 地理Ⅱ | 2 | | | 2 |
| | | 地誌Ⅰ | 2 | | | 2 |
| | 「法律学、 政治学」 | 法律学 | 2 | 1科目 必修 | | |
| | | 政治学Ⅰ | 2 | | | |
| | | 政治学Ⅱ | 2 | | | |
| | 「社会学、 経済学」 | 社会学(教職) | 2 | 1科目 必修 | 教育社会学 | 2 |
| | | 経済学Ⅰ | 2 | | | |
| | | 経済学Ⅱ | 2 | | | |
| | 「哲学、 倫理学、 宗教学」 | A 哲学研究 | 4 | A～C群から 1科目群必修 | 教育哲学 | 2 |
| | | B 倫理学概論 | 4 | | | |
| C 宗教研究Ⅰ | | 2 | | | | |
| 宗教研究Ⅱ (旧：宗教学研究) | | 2 | | | | |
| | | | (4) | | | |
| | | | 【①必修科目】合計単位数 | 22 単位 | | |

地理歴史

教育職員免許状取得のための履修方法 免許教科 高校1種「地理歴史」

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 【①必修科目】 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 【②選択科目】 | 単位数 | |
|-----------------|------------------|----------------------------|--------------|-----------|---------|--------|---|
| 教科に関する科目 | 日本史 | 日本史Ⅰ | 2 | 全科目 必修 | 日本教育史Ⅰ | 2 | |
| | | 日本史Ⅱ | 2 | | | 日本教育史Ⅱ | 2 |
| | 外国史 | 外国史Ⅰ | 2 | | 西洋教育史Ⅰ | 西洋教育史Ⅱ | 2 |
| | | 外国史Ⅱ | 2 | | | | |
| | | 外国史Ⅲ | 2 | | | | |
| | 人文地理学及び 自然地理学 | 地理Ⅰ | 2 | | | | |
| | | 地理Ⅱ | 2 | | | | |
| | | 地理Ⅲ | 2 | | | | |
| | 地誌 | 地誌Ⅰ | 2 | | | | |
| | | 地誌Ⅱ | 2 | | | | |
| | | | 【①必修科目】合計単位数 | 20 単位 | | | |

公 民

**教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科 高校 1種「公民」**

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選択科目〕 | 単位数 |
|-----------------|------------------------------|------------------------------|---------------|------------------|---|-----|
| 教科に関する科目 | 「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」 | A 法律学 | 2 | A～B群から 1科目群必修 | 教育法研究 | 2 |
| | | B 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ | 2 2 | | | |
| | 「社会学、経済学(国際経済を含む。)」 | A 社会学(教職) | 2 | A～B群から 1科目群必修 | 教育社会学 | 2 |
| | | B 経済学Ⅰ 経済学Ⅱ | 2 2 | | | |
| | 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 | A 哲学研究 | 4 | A～C群から 1科目群必修 | 臨床心理学特論Ⅰ(精神疾患とその治療) (旧:臨床心理学特論Ⅰ) 教育哲学 | 4 |
| | | B 倫理学概論 | 4 | | | 2 |
| | | C 宗教研究Ⅰ 宗教研究Ⅱ (旧:宗教研究) | 2 2 (4) | | | 2 |
| | 〔①必修科目〕 合計単位数 | | | 8～12 単位 | | |
| | 〔①必修科目〕と〔②選択科目〕 合計で20 単位以上 | | | | | |

数 学

**教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科 中学 1種「数学」、高校 1種「数学」**

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選択科目〕 | 単位数 | | | | |
|-----------------|--------------------------------------|----------------------------|-----------------------------------|------------------|---------|-----|---------------|------------------|--|--|
| 教科に関する科目 | 代数学 | A 線形代数 1 | 4 | A～B群から 1科目群必修 | | | | | | |
| | | 代数 1-1 | 2 | | | | | | | |
| | | B 代数 1-2 (旧:代数 1) | 2 (4) | | | | | | | |
| | 幾何学 | C 幾何 1 幾何 2 | 2 2 | C～D群から 1科目群必修 | | | | | | |
| | | D 幾何 3 幾何 4 | 2 2 | | | | | | | |
| | | 解析学 | E 微積分 1 | | | | 4 | E～G群から 1科目群必修 | | |
| | | | F 解析学 1-1 解析学 1-2 (旧:解析学 1) | | | | 2 2 (4) | | | |
| | G 複素解析 1-1 複素解析 1-2 (旧:複素解析 1) | | 2 2 (4) | | | | | | | |
| | H 統計入門 統計数学 | | 2 2 | H～I群から 1科目群必修 | | | | | | |
| | I 確率論 1 確率論 2 | 2 2 | | | | | | | | |
| | コンピュータ | J 情報数学 1 情報数学 2 | 2 2 | J～K群から 1科目群必修 | | | | | | |
| | | K 情報数学 3 情報数学 4 | 2 2 | | | | | | | |
| | | 〔①必修科目〕 合計単位数 | | | | | 20 単位 | | | |

教免取得の履修方法

理 科

**教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科 中学 1種「理科」**

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選択科目〕 | 単位数 | | |
|-----------------|----------------------------|----------------------|--------|-----------|------------|---|--|
| 教科に関する科目 | 物理学 | 物理学Ⅰ-1 物理学Ⅰ-2 | 2 2 | 全科目 必修 | 物理学Ⅱ（電磁気学） | 2 | |
| | 物理学実験 (コンピュータ活用を含む。) | 物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ | 2 2 | | | | |
| | 化学 | 化学Ⅰ | 4 | | 化学Ⅱ | 4 | |
| | 化学実験 (コンピュータ活用を含む。) | 化学実験Ⅰ 化学実験Ⅱ | 2 2 | | | | |
| | 生物学 | 生物学通論Ⅰ 生物学通論Ⅱ | 2 2 | | | | |
| | 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。) | 生物学通論実験Ⅰ 生物学通論実験Ⅱ | 1 1 | | | | |
| | 地学 | 地学通論Ⅰ 地学通論Ⅱ | 2 2 | | | | |
| | 地学実験 (コンピュータ活用を含む。) | 地学通論実験Ⅰ 地学通論実験Ⅱ | 1 1 | | | | |
| | 〔①必修科目〕 合計単位数 28 単位 | | | | | | |

**教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科 高校 1種「理科」**

| 免許法施行規則に規定された科目 | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選択科目〕 | 単位数 | | | |
|-----------------|--|--------------------------|----------------------|-----------|------------------|---|--|--|
| 教科に関する科目 | 物理学 | 物理学Ⅰ-1 物理学Ⅰ-2 | 2 2 | 全科目 必修 | 物理学Ⅱ（電磁気学） | 2 | | |
| | 化学 | 化学Ⅰ | 4 | | 化学Ⅱ | 4 | | |
| | 生物学 | 生物学通論Ⅰ 生物学通論Ⅱ | 2 2 | | | | | |
| | 地学 | 地学通論Ⅰ 地学通論Ⅱ | 2 2 | | | | | |
| | 「物理学実験、 化学実験、 生物学実験、 地学実験、 (それぞれコンピュータ活用を含む。)」 | E | 物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ | 2 2 | E～H群から 1科目群必修 | | | |
| | | F | 化学実験Ⅰ 化学実験Ⅱ | 2 2 | | | | |
| | | G | 生物学通論実験Ⅰ 生物学通論実験Ⅱ | 1 1 | | | | |
| | | H | 地学通論実験Ⅰ 地学通論実験Ⅱ | 1 1 | | | | |
| | | 〔①必修科目〕 合計単位数 18～20 単位 | | | | | | |
| | | 〔①必修科目〕と〔②選択科目〕合計で20単位以上 | | | | | | |

教免取得の履修方法

英 語

教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科 中学1種「英語」、高校1種「英語」

【2016年度以降入学者】

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選択科目〕 | 単位数 |
|-----------------|-------------|--|----------------------|------------------|---------|-----|
| 教科に関する科目 | 英語学 | 英語音声学Ⅰ 言語学入門 応用言語学入門 Introduction to Second Language Acquisition | 2 2 2 2 | 全科目必修 | | |
| | 英米文学 | 英文学史Ⅰ 英文学史Ⅱ 米文学史Ⅰ 米文学史Ⅱ | 2 2 2 2 | | | |
| | 英語コミュニケーション | Communicative EnglishⅠ (旧: Oral and Written CommunicationⅠ) Communicative EnglishⅡ (旧: Oral and Written CommunicationⅡ) | 2 (2) 2 (2) | | | |
| | 異文化理解 | British Cultural History (旧: イギリス文化史) アメリカ文化史 Intercultural Communication | 2 (2) 2 2 | 3科目から 2科目選択必修 | | |
| 〔①必修科目〕 合計単位数 | | | 24 単位 | | | |

教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科 中学1種「英語」、高校1種「英語」

【2011～2015年度入学者】

| 免許法施行規則に規定された科目 | | 〔①必修科目〕 (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 | 〔②選択科目〕 | 単位数 |
|-----------------|-------------|--|--------------------------------|-------|---------|-----|
| 教科に関する科目 | 英語学 | 英語音声学Ⅰ 英語音声学Ⅱ 言語学入門 (旧: 英語学Ⅰ) 応用言語学入門 (旧: 英語学Ⅱ) | 2 2 2 (2) 2 (2) | 全科目必修 | | |
| | 英米文学 | 英文学史Ⅰ 英文学史Ⅱ 米文学史Ⅰ 米文学史Ⅱ | 2 2 2 2 | | | |
| | 英語コミュニケーション | Communicative EnglishⅠ (旧: Oral and Written CommunicationⅠ) Communicative EnglishⅡ (旧: Oral and Written CommunicationⅡ) | 2 (2) 2 (2) | | | |
| | 異文化理解 | British Cultural History (旧: イギリス文化史) アメリカ文化史 | 2 (2) 2 | | | |
| 〔①必修科目〕 合計単位数 | | | 22 または 24 単位 | | | |

教免取得の履修方法

B 教職に関する科目／教科又は教職に関する科目

(1) 教職に関する科目の「単位の流用」について

「小学校」の教員免許状取得のための教職に関する科目は、原則として「小学校」の免許状申請にしか使用できません。ただし、小学校の免許状取得を条件に小学校免許の一部の科目を中高免許状に流用する「単位の流用」制度により、一部負担を軽減することができます。

※ 単位の流用とは

- ・単位の流用とは、「教育職員免許法施行規則第6条第1項備考第12・13」（旧法適用者）に規定されているもので、小学校の免許取得済みまたは取得要件を満たし、中高免許と同時に申請する場合、その単位の一部を中高免許の所定項目の単位として流用できることをいいます。
- ・これにより、履修する科目数が減り、効率的に中高免許をとれるようになりますが、単位の流用は小学校免許状の取得が前提です。（小学校免許を取得しない場合、単位を中高免許に流用することができません）

(2) 対象者

初等教育学専攻の学生で、中高免許を取得する学生全員（全学年に適用します）。

(3) 法改正による中学校・高等学校免許の新設科目について（2018年度以降）

2019年度より、改正教育職員免許法および同法施行規則が施行されました。

同法の適用は2019年度以降の入学者が対象となりますが、改正の趣旨に鑑み、旧課程適用（2018年度以前入学）者が中学校・高等学校免許を他学科聴講により取得する場合についても、以下の科目を履修することが望めます。2017年度以前入学者は可能な限り履修し、2018年度入学者は必ず履修してください。

修得した単位は、「教科又は教職に関する科目」として、中学校・高等学校免許取得のための総単位数に積算されます。ただし、「教科教育法」のうち、「社会科教育法4」については、2018年度までの修得単位に限り、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効です。2019年度からは文部科学省の指導により、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

| 免許法施行規則に規定された科目 | | （左に対応する本学部設置科目） | | 単位数 |
|-----------------|-----------------|---|-------------------|-----|
| 第三欄 | 教育の基礎理論に関する科目 | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） | ◇特別支援教育（中・高）※ | 1単位 |
| 第四欄 | 教育課程及び指導法に関する科目 | 各教科の指導法 | ◇教科教育法4 | 2単位 |
| | | 特別活動の指導法 | ◇総合的な学習・探究論（中・高）※ | 1単位 |

※1 教育職員免許法改正による新設科目

(B-1) 教職に関する科目／教科又は教職に関する科目（中学校1種）

教職に関する科目（必修）

◇教職課程科目 ●専門必修科目 ○専門選択科目

| 免許法施行規則に規定された科目 | | [必修科目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 |
|---|----------------------------|---|------------|--|
| 教職に関する科目 | 第二欄 教職の意義等に関する科目 | 2014年度以降履修する初等の「教職原論」の単位を流用 | 2 | 初等の単位を流用可能 |
| | 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | 2014年度以降履修する以下の科目の単位を流用 「初等教育学概論Ⅰ」※1 「教育の制度と経営（小）」（旧：初等教育学概論Ⅱ）※1 「教育心理学原論」 | 6 | |
| | 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | ◇教育課程編成論（中・高） | 1 | 必修 |
| | | ◇教科教育法1 | 2 | |
| | | ◇教科教育法2 | 2 | |
| | | ◇教科教育法3※2 | 2 | |
| | | ◇道徳教育論（中・高） | 2 | |
| | 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目※1 | ◇特別活動論（中・高）2019年度以降修得※3 （◇特別活動論（中・高））2018年度以前修得※3 | 1 (2) | 1科目選択必修（「教育相談原論」もしくは「生徒指導・進路指導原論」のいずれか1科目（2単位）流用 |
| ◇教育方法・技術論（中・高） （旧：教育方法研究（中・高）） | | 2 | | |
| 第五欄 教育実習 | ◇生徒理解と教育相談（中・高） | 2 | 必修 | |
| | ◇生徒指導・進路指導論（中・高） | 2 | | |
| 第六欄 教職実践演習 | ◇教育実習演習（3週間） | 5 | 必修 | |
| | 小学校の「教育実習演習（小）」の単位を3単位流用※4 | 3 | | |
| 2014年度以降履修する「教職実践演習（小）」を流用 | | 2 | 初等の単位を流用可能 | |
| 中学校免許：[必修科目] 合計単位数 19 単位又は 20 単位（流用単位を除く） +流用単位数 15 単位 | | | | |

※1 旧「初等教育学概論」（1科目4単位）を修得した場合でも、流用可能です。

※2 「社会科教育法3」については、2018年度までの修得単位に限り、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019年度からは文部科学省の指導により、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

※3 特別活動論（中・高）は2019年度より、単位数が2単位から1単位に変更になりました。

※4 この場合、「教育実習演習（3週間）」の履修を免除する目的ではなく免許取得要件の合計単位数に組み入れるために単位を流用します。

教職に関する科目（選択）

| 免許法施行規則に規定された科目 | | [選択科目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 |
|---------------------|---|--|------|
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | ◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止 | 各2単位 |
| | | ◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（学校外教育） ◇教職研究Ⅷ（教育経営） ◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク） | |
| | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） | ◇特別支援教育（中・高）※1 | 1単位 |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | 各教科の指導法 | ◇教科教育法4※2 | 2単位 |
| | 特別活動の指導法 | ◇総合的な学習・探究論（中・高）※1 | 1単位 |
| | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | ◇授業技術演習 | 2単位 |
| | | ◇教育におけるICT活用（中・高） | 1単位 |

※1 教育職員免許法改正による新設科目

※2 「社会科教育法4」については、2018年度までの修得単位に限り、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019年度からは文部科学省の指導により、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

教科又は教職に関する科目

| 免許法施行規則に規定された科目 | [必修科目] (左に対応する本学部設置科目) | 履修方法 | 単位数 | [選択科目] | 単位数 |
|-------------------------|---------------------------|--------------|-----|--|---|
| 教科又は教職に関する科目 | ◇介護体験実習講義 | 中学校の免許取得には必修 | 2 | ◇教職研究Ⅵ(生涯教育) ◇教職研究Ⅶ(特別支援教育)※2018年度廃止 ◇教職研究Ⅷ(総合学習の研究) ◇教職特講Ⅲ(部活動論) ◇人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践)(旧:人間理解基盤講座) ◇学級経営インターンシップ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)(旧:学級経営インターンシップ) ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ ◇中等国語科インターンシップ※ ◇国語科授業技術演習※ | 2 (2) 2 1 2 4 4 4 4 4 2 |
| 中学校免許: [必修科目] 合計単位数 2単位 | | | | | |

※2014年度以降は国語の免許にしか使えません。2013年度以前に修得した科目は、全教科に使えます。

**教科に関する科目、教職に関する科目(必修)、教職に関する科目(選択)、
教科又は教職に関する科目の合計で59単位以上**

(B-2) 教職に関する科目/教科又は教職に関する科目(高等学校1種)

教職に関する科目(必修)

◇教職課程科目 ●専門必修科目 ○専門選択科目

| 免許法施行規則に規定された科目 | [必修科目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 | 履修方法 |
|---|---|----------|---|
| 第二欄 教職の意義等に関する科目 | 2014年度以降履修する初等の「教職原論」の単位を 流用 | 2 | 初等の単位を流用可能 |
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | 2014年度以降履修する以下の科目の単位を 流用 「初等教育学概論Ⅰ」※1 「教育の制度と経営(小)」(旧:初等教育学概論Ⅱ)※1 「教育心理学原論」 | 6 | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | ◇教育課程編成論(中・高) | 1 | 必修 |
| | ◇教科教育法1 | 2 | |
| | ◇教科教育法2 | 2 | |
| | ◇特別活動論(中・高)2019年度以降修得※2 (◇特別活動論(中・高))2018年度以前修得※2 | 1 (2) | |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目※1 | ◇生徒理解と教育相談(中・高) | 2 | 1科目選択必修(「教育相談原論」もしくは「生徒指導・進路指導原論」のいずれか1科目(2単位)流用) |
| | ◇生徒指導・進路指導論(中・高) | 2 | |
| 第五欄 教育実習 | ◇教育実習演習(2週間)※3 | 3 | 必修 |
| | 小学校の「教育実習演習(小)」の単位を2単位 流用 ※4 | 2 | |
| 第六欄 教職実践演習 | 2014年度以降履修する「教職実践演習(小)」を 流用 | 2 | 初等の単位を流用可能 |
| 高校免許: [必修科目] 合計単位数 13単位又は14単位(流用単位を除く) +流用単位数 14単位 | | | |

※1 旧「初等教育学概論」(1科目4単位)を修得した場合でも、流用可能です。

※2 特別活動論(中・高)は2019年度より、単位数が2単位から1単位に変更になりました。

※3 高校の要件としては「3単位」となるが、「教育実習演習(3週間)・5単位」を履修する場合、5単位修得したうちの余剰の2単位は、高校の総単位として積算される。

※4 この場合、「教育実習演習(2週間)」の履修を免除する目的ではなく免許取得要件の合計単位数に組み入れるために単位を流用する。

教免取得の履修方法

教職に関する科目（選択）

| 免許法施行規則に規定された科目 | | [選 択 科 目] (左に対応する本学部設置科目) | 単位数 |
|------------------------|---|---|------------|
| 第三欄 教育の基礎理論に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | ◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止 | 各2単位 |
| | | ◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（学校外教育） ◇教職研究Ⅷ（教育経営） | |
| | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） | ◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク） | 各1単位 |
| | ◇特別支援教育（中・高）※1 | 1単位 | |
| 第四欄 教育課程及び指導法に関する科目 | 各教科の指導法 | ◇教科教育法3 ※2 ◇教科教育法4 ※2 | 各2単位 |
| | 特別活動の指導法 | ◇総合的な学習・探究論（中・高）※1 | 1単位 |
| | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | ◇授業技術演習 ◇教育におけるICT活用（中・高） | 2単位 1単位 |
| | 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | ◇道徳教育論（中・高） | 2単位 |

※1 教育職員免許法改正による新設科目

※2 「社会科教育法3」および「社会科教育法4」については、2018年度までの修得単位に限り、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019年度からは文部科学省の指導により、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

教科又は教職に関する科目

| 免許法施行規則に規定された科目 | [選 択 科 目] | 単位数 |
|-----------------|--|-----|
| 教科又は教職に関する科目 | ◇介護体験実習講義 | 2 |
| | ◇教職研究Ⅵ（生涯教育） | 2 |
| | ◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）（旧：教職研究Ⅶ（障害児教育）） | 2 |
| | ◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究） | 2 |
| | ◇教職特講Ⅲ（部活動論） | 1 |
| | ◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座） | (4) |
| | ◇教育インターンシップ（2014年度から廃止） | 4 |
| | ◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ） | 4 |
| | ◇特別支援教育インターンシップ | 4 |
| | ◇インクルーシブ教育インターンシップ | 4 |
| | ◇初等教育インターンシップ | 4 |
| | ◇中等国語科インターンシップ※ | 2 |
| | ◇国語科授業技術演習※ | |

※2014年度以降は国語の免許にしか使えません。2013年度以前に修得した科目は、全教科に使えます。

**教科に関する科目、教職に関する科目（必修）、教職に関する科目（選択）、
教科又は教職に関する科目の合計で59単位以上**

教育実習の前提条件について

教育実習は小学校での3週間の実習に加えて、中高でも3週間以上の実習を行う必要があります。教育実習については、以下の点を留意してください。

- **教育実習に行く場合、以下の①～⑤について実習実施前年度までに満たす必要があります。**

- ① 実習実施前年度の教育実習ガイダンスに出席すること。
- ② 実習実施前年度の教育実習事前登録を期限内に完了していること。
- ③ 実習実施年度中に教員免許取得に必要なすべての科目の単位を修得済み、または修得見込であること。
- ④ 実習実施年度に4年生以上で、実習実施前年度までに、卒業単位を90単位以上修得済みであること。
- ⑤ 実習実施前年度までに、以下の科目の単位を修得済みであること。

- ・ 「教科に関する科目」について3科目以上を修得済みであること。
- ・ 以下の科目を修得済みであること。
 1. 「教職原論」
 2. 「初等教育学概論Ⅰ」
 3. 「教育の制度と経営(小)」
(旧:初等教育学概論Ⅱ)
 4. 「教育心理学原論」
 5. 「教育課程編成論(中・高)」
 6. 「教科教育法1」
 7. 「教科教育法2」
 8. 「教育方法研究(中・高)」
- ・ 「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち、2領域以上(各領域2単位以上)を修得済みであること。
- ・ 「教科に関する科目」(必修および選択)のうち16単位以上

履修科目に変更はありませんが、
1～4の初等科目の単位を流用するという扱いになります。

- 教育実習期間中、他の科目の授業を受けられず、単位を修得できない可能性もあります。授業の欠席願いを各科目担当教員に提出することはできますが、欠席の最終的な取り扱いは、欠席した科目の担当教員の判断になります。

単位の流用制度を利用する場合、小学校免許をとらないと、 中高免許もとれません。必ず小学校免許をとること！

(例1)

単位の流用制度を使って中高免許取得を目指している初等の学生A君が、小学校免許に必要な単位が1単位不足して卒業となりました。

A君「小学校免許はとれないけど、中高免許は小学校の単位を流用するから、中高免許は取れるはず。」

→とれません！小学校免許を元に単位の流用を行うため、このケースだと小学校免許も中高免許も取得できません。

(例2)

学生「今回単位の流用をしないで、中高の科目を全て履修して中高免許をとるつもりだけど、それでも小学校免許をとらないと自動的に中高免許もとれなくなりますか？」

→法令上は、中高免許だけの取得は可能です。しかし、大学として、他学科聴講による中学校・高等学校免許の取得は小学校免許とセットで取得することを条件としていますので、両方の免許取得を目指してください。

Ⅲ 授業時間割

時間割の変更情報について

担当教員の都合等で時間割が変更される場合があります。

科目登録申請の際には、教育学部ホームページに掲載される「正誤表」を併せて確認してください。

<https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/>

(早稲田大学教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>科目登録の手引き・授業ガイド)



教育学部共通科目 授業時間割

[注意事項]

1. 新設となった科目

| | (新) 科目 | 単位 | 新設年度 |
|-----|------------------------|----|--------|
| 社会系 | 経済学Ⅰ（現代社会と経済学） | 2 | 2020年度 |
| | 社会心理学 ※1 | 2 | 2013年度 |
| | 現代社会とストレス | 2 | |
| 自然系 | 鉱物の世界-地球からの贈り物への誘い- ※2 | 2 | 2016年度 |
| 総合系 | オリンピックの社会科学的・人文科学的検討 | 2 | 2016年度 |

※1：「社会心理学Ⅰ（社会の中の個人）」または「社会心理学Ⅱ（集団過程）」の単位を修得済の方は、履修できません。

※2： 理学科地球科学専修の方は履修出来ません。

2. 廃止となった科目

「経済学Ⅰ（教育の経済学）」（2020年度より）

「廃棄物処理と化学」「自然科学の見取図」（2016年度より）

「宇宙の物理学Ⅱ（相対理論と宇宙の構造）」、「地球と宇宙の科学」（2015年度より）

「人権への視座Ⅰ」、「人権への視座Ⅱ」、「英語でまなぶ自然科学Ⅰ」、「資源と廃棄物」（2014年度より）

「社会心理学Ⅰ（社会の中の個人）」、「社会心理学Ⅱ（集団過程）」（2013年度より）

3. 科目名が変更になっている科目（旧科目を履修済みの方は、新科目を履修できません。）

| | (新) 科目 | (旧) 科目 | 変更年度 |
|-----|------------------|----------------------|--------|
| 人文系 | 倫理学Ⅰ | 倫理学Ⅰ（生命倫理・ホスピス倫理） | 2021年度 |
| | 倫理学Ⅱ | 倫理学Ⅱ（倫理学マップ） | |
| | 現代小説の楽しみ | 現代小説の楽しみ（村上春樹を読む） | 2019年度 |
| | 文学の近代 | 文学の近代（文学にとって近代とは何か） | |
| 社会系 | 経済学Ⅱ（実践的国際金融論） | 経済学Ⅱ（人的資本理論） | 2015年度 |
| 自然系 | 動物の機能Ⅱ（生態、行動） | 動物の機能Ⅱ（ホルモンによる調節） | 2021年度 |
| | 太陽系の起源と地球のテクトニクス | 宇宙と惑星の起源と地球のテクトニクス | 2019年度 |
| | 生活の化学 | 反応の化学 | 2016年度 |
| | 宇宙の物理学 ※ | 宇宙の物理学Ⅰ | |
| 総合計 | 外部環境の変化と企業動態 | オリンピックの社会科学的・人文科学的検討 | 2022年度 |

※：理学科生物学専修、地球科学専修の方は履修出来ません。

教育学部共通科目

人文系

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始時間 | 終了時間 |
|------------------|------------------------------|----|------|------|--------|------|---|-----|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1～4 | 現代小説の楽しみ | 2 | | 春学期 | 石原 千秋 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 文学の近代 | 2 | | 秋学期 | 石原 千秋 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 中国の文化(漢字と権力) | 2 | | 春学期 | 内山 精也 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 中国の文人論(現代中国知識人のモデル) | 2 | | 秋学期 | 佐藤 浩一 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | ヨーロッパの文化(近代システム誕生の地) | 2 | | 春学期 | 秋野 有紀 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | アメリカの文化(るつぽからサラダボウルへ) | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | アフリカ・イスラムの文化(民族・言語・宗教・社会・風俗) | 2 | | 春学期 | 森口 岳 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | ラテンアメリカの文化(民族・言語・宗教・社会・風俗) | 2 | | 秋学期 | 田中 理恵子 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ジェンダー・スタディーズI(身近なことを視座にして) | 2 | | 春学期 | 金井 景子 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | ジェンダー・スタディーズII(文学を視座にして) | 2 | | 秋学期 | 金井 景子 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 史学I(日本史における国家と社会) | 2 | | 春学期 | 長谷川 裕子 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 史学II(日本史における生活と文化) | 2 | | 秋学期 | 児玉 憲治 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 史学III(イスラムと民族) | 2 | | 春学期 | 小松 香織 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 史学IV(イスラムと帝国) | 2 | | 秋学期 | 小松 香織 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 地理学I(グローバル化と地域) | 2 | | 春学期 | 小林 正夫 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 地理学II(地域研究最前線) | 2 | | 秋学期 | 小林 正夫 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 地理学III(自然環境と風土) | 2 | | 春学期 | 藁谷 哲也 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 地理学IV(風景の科学) | 2 | | 秋学期 | 藁谷 哲也 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 倫理学I | 2 | | 春学期 | 江川 晃 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 倫理学II | 2 | | 秋学期 | 大賀 祐樹 | 秋学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 哲学I(現代思想の地平) | 2 | | 春学期 | 新田 章 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 哲学II(西洋哲学マップ) | 2 | | 秋学期 | 小口 裕史 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 東洋思想と宗教(儒教・仏教・日本思想) | 2 | | 秋学期 | 西沢 史仁 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 西欧社会と宗教(宗教史マップ・現代宗教構図) | 2 | | 春学期 | 松澤 裕樹 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 音楽(Jポップスとは何か) | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 音楽史(聴衆と音楽の政治学) | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 美術(芸術を鑑賞すること) | 2 | | 秋学期 | 木水 千里 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 日本文化の現在(2.5次元文化論) | 2 | | 春学期 | 中本 千晶 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 日本文化史(「古典」は作られる) | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |

※ 他箇所設置科目の共通科目への振り替えについては、本紙「3. 他箇所・他機関の設置科目(オープン科目含む)の履修方法」を参照してください。

教育学部共通科目

社会系

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始時間 | 終了時間 |
|-----|-----------------------|----|----|-----|--------|------|---|----------|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1～4 | 憲法 | 2 | A | 春学期 | 高橋 義人 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | B | 秋学期 | 土屋 彰久 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | |
| | | | C | 春学期 | 土屋 彰久 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | |
| | 法学I(自由とは何か) | 2 | | 春学期 | 大橋 憲広 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 法学II(正義は輸出できるか) | 2 | | 秋学期 | 大橋 憲広 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 経済学I(現代社会と経済学) | 2 | | 春学期 | 品田 直樹 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 経済学II(実践的国際金融論) | 2 | | | 【休講】 | | | | | |
| | 経済学III(知的財産権とは何か) | 2 | | | 【休講】 | | | | | |
| | 経済学IV(国際経済の基礎知識) | 2 | | 秋学期 | 飯田 幸裕 | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 社会学I(日常性の誕生) | 2 | | 春学期 | 石井 幸夫 | 春学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 社会学II(セクシャリティと近代) | 2 | | 秋学期 | 石井 幸夫 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 社会学III(自己と物語) | 2 | | 春学期 | 鈴木 無二 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 社会学IV(知と社会の構成) | 2 | | 秋学期 | 鈴木 無二 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 政治学I(国民国家とグローバリゼーション) | 2 | | 春学期 | 久邇 良子 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 政治学II(国際政治のキーワード) | 2 | | 秋学期 | 久邇 良子 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 政治学III(日本政治と市民) | 2 | | 春学期 | 白鳥 浩 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 政治学IV(欧州統合と市民) | 2 | | 秋学期 | 白鳥 浩 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 知るということ(心理学) | 2 | | 秋学期 | 阪脇 孝子 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 個人差と適応(心理学) | 2 | | 春学期 | 島津 直実 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育学I(チャレンジ教育学) | 2 | | 春学期 | 菊地 栄治 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育学II(トピック・アプローチ) | 2 | | 秋学期 | 山本 剛 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 文化人類学I(生活を読み解く技法) | 2 | | 春学期 | 嶋内 博愛 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 文化人類学II(フィールドワークの知) | 2 | | 秋学期 | 余語 琢磨 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 社会心理学 | 2 | | 春学期 | 坂田 成輝 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 現代社会とストレス | 2 | | 秋学期 | 宇佐美 尋子 | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |

※ 他箇所設置科目の共通科目への振り替えについては、本紙「3. 他箇所・他機関の設置科目(オープン科目含む)の履修方法」を参照してください。

教育学部共通科目

自然系

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始時間 | 終了時間 |
|-------|---------------------|----|----|------|--------|------|-----|------|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1~4 | 地球の起源 | 2 | | 春学期 | 澤口 隆 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 地球システムと環境問題 | 2 | | 秋学期 | 澤口 隆 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 地球生命史 | 2 | | 春学期 | 川辺 文久 | 春学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 化石の科学 | 2 | | 秋学期 | 川辺 文久 | 秋学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 動物の機能I(神経系、循環系) | 2 | | 春学期 | 黒川 信 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 動物の機能II(生態、行動) | 2 | | 秋学期 | 細 将貴 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 環境の生物学 | 2 | | 秋学期 | 町田 郁子 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 細胞機能の生物学 | 2 | | 秋学期 | 刀祢 重信 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 宇宙の物理学 | 2 | | 秋学期 | 喜古 正士 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 生活の化学 | 2 | | 秋学期 | 井出 裕介 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 自然人類学I | 2 | A | 春学期 | 樋泉 岳二 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | | 近藤 恵 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 自然人類学II | 2 | A | 秋学期 | 樋泉 岳二 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | | 近藤 恵 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 鉱物の世界-地球からの贈り物への誘い- | 2 | | 春学期 | 林 政彦 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 英語でまなぶ自然科学 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 太陽系の起源と地球のテクトニクス | 2 | | 春学期 | 阿部 信太郎 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 洪 騰 | | | | | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 小松 睦美 | | | | | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 高木 秀雄 | | | | | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |

※ 他箇所設置科目の共通科目への振り替えについては、本紙「3. 他箇所・他機関の設置科目(オープン科目含む)の履修方法」を参照してください。

※ 生物学専修の方は以下の科目を履修できません。

「動物の機能 I (神経系、循環系)」「動物の機能II(生態、行動)」「環境の生物学」「細胞機能の生物学」
「宇宙の物理学」「生活の化学」

※ 地球科学専修の方は以下の科目を履修できません。

「地球の起源」「地球システムと環境問題」「地球生命史」「化石の科学」「宇宙の物理学 I」「生活の化学」
「鉱物の世界-地球からの贈り物への誘い-」

※「生活の化学」は、以下のグローバルエデュケーションセンター設置科目と内容が同じレベルの科目のため、「生活の化学」を履修済みまたは履修中の場合には以下の科目は履修できません。また、以下の科目を履修済みまたは履修中の場合は、「生活の化学」を履修できません。

「身近な化学への招待(導入) $\alpha \cdot \beta$ 」「身近な化学への招待(発展) $\alpha \cdot \beta$ 01」「身近な化学への招待(発展) $\alpha \cdot \beta$ 02」

教育学部共通科目

数理情報系

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始時間 | 終了時間 |
|-----------------------------|-----------------------------|----|-----|-------|-------|------|-----|------|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1~4 | コンピュータ入門 | 2 | A | 春学期 | 高橋 尚子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 秋学期 | 高橋 尚子 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | C | 春学期 | 多田 武丸 | 春学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | D | 秋学期 | 多田 武丸 | 秋学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | コンピュータ初級 | 4 | A | 通年 | 原 正雄 | 通年 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 通年 | 大池 浩一 | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | C | 通年 | 原 正雄 | 通年 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | D | 通年 | 原 正雄 | 通年 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | コンピュータ中級 | 4 | | 通年 | 北川 宜稔 | 通年 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 線型代数入門(数理の窓から眺める線形構造と変換の世界) | 2 | | 春学期 | 神藏 正 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 微積分入門(数理の窓から眺める現象のモデリングの世界) | 2 | | 秋学期 | 神藏 正 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 確率入門(偶然に潜む数理の世界) | 2 | | 春学期 | 中村 好宏 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 統計入門(データが語る数理の世界) | 2 | | 秋学期 | 中村 好宏 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 | |

※ 他箇所設置科目の共通科目への振り替えについては、本紙「3. 他箇所・他機関の設置科目(オープン科目含む)の履修方法」を参照してください。

※「コンピュータ入門」「コンピュータ初級」は、在学中に履修できるのはどちらか1科目のみです。また、以下のグローバルエデュケーションセンター設置科目と内容が同じレベルの科目であるため、これらの科目も合わせて在学中に履修できるのは1科目のみです。

「情報科学の基礎」「情報表現の実践」「プレゼンテーションスキル実践」「Webデザイン実践」(2018～)、
「Webコンテンツ作成技術と実践」(~2017)、「PC・ネットワークを利用した情報表現」(~2015)、
早稲田大学情報環境の活用(アカデミックリテラシー)(~2013)

※「コンピュータ入門」「コンピュータ初級」「コンピュータ中級」

・2006年度以前入学者の方が履修した場合、[文系学科]の方は<自然系>、[理学科]の方は<社会系>になります(2007年度以降入学者の方は<数理情報系>)。

※生物学専修・地球科学専修の方は、「線型代数入門」「微積分入門」を履修できません。

※数学科の方は「線型代数入門」「微積分入門」「確率入門」「統計入門」を履修できません。

教育学部共通科目

総合系

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始時間 | 終了時間 |
|--------------|--------------|----|-----|-------|--------|------|-----|------|------|------|
| | | | | | 担当教員 | 担当学期 | | | | |
| 1~4 | 複合文化学の建築物I | 2 | | 春学期 | 秋野 有紀 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 原 克 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 福田 育弘 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 複合文化学の建築物II | 2 | | 春学期 | 神尾 達之 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 野澤 文二 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 浜 邦彦 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 複合文化学の建築物III | 2 | | 秋学期 | 後藤 雄介 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 西田 文信 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 丸川 誠司 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 複合文化学の建築物IV | 2 | | 秋学期 | 神尾 達之 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 清水 賢一郎 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 福田 育弘 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 舞台芸術入門I | 2 | | 春学期 | 岩崎 徹 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 児玉 竜一 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 関根 裕子 | | | | | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 舞台芸術入門II | 2 | | 秋学期 | 児玉 竜一 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | | 中本 千晶 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | | 安富 順 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 外部環境の変化と企業動態 | 2 | | 秋学期 | 熊谷 善彰 | 秋学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | | | 藁谷 友紀 | 秋学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |

※ 他箇所設置科目の共通科目への振り替えについては、本紙「3. 他箇所・他機関の設置科目(オープン科目含む)の履修方法」を参照してください。

外国語科目 授業時間割

英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語

* 朝鮮語履修希望者は、グローバルエデュケーションセンターの
『全学オープン科目履修ガイド』を参照してください。

1. 廃止・新設となった科目（旧科目を履修済でも、新科目を履修することができます）

| (新) 科目 | ← (旧) 科目 | 変更年度 |
|--|------------------------|--------|
| 「英語上級コミュニケーション**α」 「英語上級コミュニケーション**β」 | 「英語上級コミュニケーション**」 | 2018年度 |
| 「英語中級コンプリヘンション（文化）1」 「英語中級コンプリヘンション（文化）2」 | 「英語中級コンプリヘンション（文化）」 | |
| 「英語中級コンプリヘンション（時事）1」 「英語中級コンプリヘンション（時事）2」 | 「英語中級コンプリヘンション（時事）」 | |
| 「英語中級コンプリヘンション（サイエンス）1」 「英語中級コンプリヘンション（サイエンス）2」 | 「英語中級コンプリヘンション（サイエンス）」 | |
| 「英語中級コミュニケーション1」 「英語中級コミュニケーション2」 | 「英語中級コミュニケーション」 | |
| 「英語中級（TOEIC）1」 「英語中級（TOEIC）2」 | 「英語中級（TOEIC）」 | |
| 「英語初級コンプリヘンション（文化）1」 「英語初級コンプリヘンション（文化）2」 | 「英語初級コンプリヘンション（文化）」 | |
| 「英語初級コンプリヘンション（時事）1」 「英語初級コンプリヘンション（時事）2」 | 「英語初級コンプリヘンション（時事）」 | |
| 「英語初級コンプリヘンション（サイエンス）1」 「英語初級コンプリヘンション（サイエンス）2」 | 「英語初級コンプリヘンション（サイエンス）」 | |
| 「英語初級コミュニケーション1」 「英語初級コミュニケーション2」 | 「英語初級コミュニケーション」 | |
| 「英語初級（TOEIC）1」 「英語初級（TOEIC）2」 | 「英語初級（TOEIC）」 | |

2. 廃止・新設となった科目（旧科目を履修済の方は、新科目を履修できません）

| (新) 科目 | ← (旧) 科目 | 変更年度 |
|------------------------|----------|--------|
| 「基礎充実英語1」 「基礎充実英語2」 | 「基礎充実英語」 | 2019年度 |

英語

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 | | |
|------------------------|---------------------|----|----|------|--------|--------|-----|-----|----------|----------|------|--|
| | | | | | | 担当学期 | | | | | | |
| 1~4 | 基礎充実英語 1 | 2 | | 春学期 | 新川 清治 | 春学期 | 土 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | 基礎充実英語 2 | 2 | | 秋学期 | 新川 清治 | 秋学期 | 土 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | 英語初級コンプリヘンション(文化) 1 | A | 1 | | 春学期 | 浜野 実 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | B | | | 春学期 | 藤田 由季美 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | C | | | 【休講】 | | | | | | | |
| | | D | | | 春学期 | 大石 瑠子 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | E | | | 【休講】 | | | | | | | |
| | | F | | | 春学期 | 中野 葉子 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | G | | | 春学期 | 齊藤 貴子 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語初級コンプリヘンション(文化) 2 | A | 1 | | 秋学期 | 浜野 実 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | B | | | 秋学期 | 藤田 由季美 | 秋学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | C | | | 【休講】 | | | | | | | |
| | | D | | | 秋学期 | 大石 瑠子 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | E | | | 【休講】 | | | | | | | |
| | | F | | | 秋学期 | 中野 葉子 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | G | | | 秋学期 | 齊藤 貴子 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語初級コンプリヘンション(時事) 1 | A | 1 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | | B | | | 春学期 | 桑子 利男 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | C | | | 春学期 | 土屋 佳雅里 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | D | | | 春学期 | 土屋 佳雅里 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | E | | | 【休講】 | | | | | | | |
| | | F | | | 【休講】 | | | | | | | |
| | | G | | | 春学期 | 藤原 雅子 | 春学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | H | | | 春学期 | 五島 一美 | 春学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | I | | | 【休講】 | | | | | | | |
| | | J | | | 春学期 | 藤田 由季美 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 英語初級コンプリヘンション(時事) 2 | A | 1 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | | B | | | 秋学期 | 桑子 利男 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | C | | | 秋学期 | 土屋 佳雅里 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | D | | | 秋学期 | 土屋 佳雅里 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | E | | | 【休講】 | | | | | | | |
| | | F | | | 【休講】 | | | | | | | |
| | | G | | | 秋学期 | 藤原 雅子 | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | H | | | 秋学期 | 五島 一美 | 秋学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | I | | | 【休講】 | | | | | | | |
| | | J | | | 秋学期 | 藤田 由季美 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 英語初級コンプリヘンション(サイエンス) 1 | A | 1 | | 春学期 | 五島 一美 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | B | | | 春学期 | 小林 ゆきの | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | C | | | 春学期 | 中垣 恒太郎 | 春学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | D | | | 【休講】 | | | | | | | | |
| | E | | | 春学期 | 小宮山 貴教 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| 英語初級コンプリヘンション(サイエンス) 2 | A | 1 | | 秋学期 | 五島 一美 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | B | | | 秋学期 | 小林 ゆきの | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | C | | | 秋学期 | 中垣 恒太郎 | 秋学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | D | | | 【休講】 | | | | | | | | |
| | E | | | 秋学期 | 小宮山 貴教 | 秋学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| 英語初級コミュニケーション 1 | A | 1 | | 【休講】 | | | | | | | | |
| | B | | | 春学期 | 横山 康明 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | C | | | 春学期 | 中島 康雄 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | D | | | 春学期 | 鈴木 政浩 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | E | | | 春学期 | 新井 巧磨 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| | F | | | 【休講】 | | | | | | | | |
| | G | | | 春学期 | 谷 佐保子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | H | | | 春学期 | 河内山 有佐 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | I | | | 春学期 | 河内山 有佐 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | J | | | 春学期 | 澁谷 和郎 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | K | | | 春学期 | 上田 倫史 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | L | | | 春学期 | 谷 佐保子 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |

※2019年度より基礎充実英語が半期化されました。基礎充実英語1、2いずれか1科目の単位を修得すれば次学期より初級レベルの科目を履修することができます。

英語

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始 | 終了 | | | |
|-----|---------------------|-----|---------------|-----|-------------|-------|-------|----|----------|------|------|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | 時間 | 時間 | | | |
| 1～4 | 英語初級コミュニケーション 2 | 1 | A | 秋学期 | オオガ-ホールドウィン | ウイリアム | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | | |
| | | | B | 秋学期 | 横山 康明 | | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | C | 秋学期 | 中島 康雄 | | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | D | 秋学期 | 鈴木 政浩 | | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | E | 秋学期 | 新井 巧磨 | | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| | | | F | 秋学期 | 湯舟 英一 | | 秋学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 | | |
| | | | G | 秋学期 | 谷 佐保子 | | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | H | 秋学期 | 河内山 有佐 | | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | I | 秋学期 | 河内山 有佐 | | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | J | 秋学期 | 澁谷 和郎 | | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | K | 秋学期 | 上田 倫史 | | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | L | 秋学期 | 谷 佐保子 | | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | 英語初級(TOEIC) 1 | 1 | A | 春学期 | 横山 康明 | | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | B | 春学期 | 横山 康明 | | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | C | 春学期 | | | 沼屋 希夫 | | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | D | 春学期 | | | 金澤 良子 | | 春学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | E | 春学期 | | | 金澤 良子 | | 春学期 | 土 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | F | 春学期 | | | 沼屋 希夫 | | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| | G | | | | 【休講】 | | | | | | | | |
| | 英語初級(TOEIC) 2 | 1 | A | 秋学期 | 横山 康明 | | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | B | 秋学期 | 横山 康明 | | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | C | 秋学期 | 沼屋 希夫 | | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | D | 秋学期 | 金澤 良子 | | 秋学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | E | 秋学期 | 金澤 良子 | | 秋学期 | 土 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | F | 秋学期 | 沼屋 希夫 | | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| | | | G | | 【休講】 | | | | | | | | |
| | 英語中級コンプリヘンション(文化) 1 | 1 | A | 春学期 | 藤田 由季美 | | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | B | 春学期 | 大石 瑤子 | | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | C | 春学期 | 藤原 雅子 | | 春学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | D | 春学期 | 大石 瑤子 | | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| | | | E | 春学期 | 齊藤 貴子 | | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | F | 春学期 | 小林 英美 | | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | G | 春学期 | 岡島 慶 | | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | H | 春学期 | 中垣 恒太郎 | | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | I | 春学期 | 藤原 雅子 | | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | J | 春学期 | 堀 邦維 | | 春学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | K | 春学期 | 岡島 慶 | | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | L | 春学期 | 吉田 雅之 | | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | | |
| | | | M | 春学期 | 中垣 恒太郎 | | 春学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | | |
| | | | N | 春学期 | 五島 一美 | | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| | | | O | 春学期 | 小川 喜正 | | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| | | | P | 春学期 | 小林 英美 | | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| | | | Q | 春学期 | 田村 亮 | | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | R | 春学期 | 鈴木 孫和 | | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | 英語中級コンプリヘンション(文化) 2 | 1 | A | 秋学期 | 藤田 由季美 | | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | B | 秋学期 | 大石 瑤子 | | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | C | 秋学期 | 藤原 雅子 | | 秋学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | D | 秋学期 | 大石 瑤子 | | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| | | | E | 秋学期 | 齊藤 貴子 | | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | F | 秋学期 | 小林 英美 | | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | G | 秋学期 | 岡島 慶 | | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | H | 秋学期 | 中垣 恒太郎 | | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | I | 秋学期 | 藤原 雅子 | | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | J | 秋学期 | 堀 邦維 | | 秋学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | K | 秋学期 | 岡島 慶 | | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | L | | 【休講】 | | | | | | | | |
| | | | M | 秋学期 | 中垣 恒太郎 | | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | | |
| | | | N | 秋学期 | 五島 一美 | | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| | | | O | 秋学期 | 小川 喜正 | | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| | | | P | 秋学期 | 小林 英美 | | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| | | | Q | 秋学期 | 田村 亮 | | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | R | 秋学期 | 鈴木 孫和 | | 秋学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |

時間割(外国語)

英語

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始時間 | 終了時間 | |
|-----|---------------------|--------|-----------|------|--------|------|------|------|------|------|--|
| | | | | | | 担当学期 | | | | | |
| 1～4 | 英語中級コンプリヘンション(時事) 1 | 1 | A | 春学期 | 長田 宣子 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | B | 春学期 | 北川 彩 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | | C | 【休講】 | | | | | | | |
| | | | D | 春学期 | 中島 康雄 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | E | 春学期 | 須永 美奈子 | 春学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | F | 春学期 | 矢野 磯乃 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | G | 春学期 | 須永 美奈子 | 春学期 | 土 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | | H | 【休講】 | | | | | | | |
| | | | I | 春学期 | 澁谷 和郎 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | J | 【休講】 | | | | | | | |
| | | | K | 春学期 | 長田 哲男 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | L | 春学期 | 長田 宣子 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | M | 春学期 | 小林 英美 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | N | 春学期 | 大石 瑤子 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | A | 秋学期 | 長田 宣子 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | B | 秋学期 | 北川 彩 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | | C | 【休講】 | | | | | | | |
| | | | D | 秋学期 | 中島 康雄 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | E | 秋学期 | 須永 美奈子 | 秋学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| | F | 秋学期 | 矢野 磯乃 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| | G | 秋学期 | 須永 美奈子 | 秋学期 | 土 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| | H | 秋学期 | 鈴木 孫和 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| | I | 秋学期 | 澁谷 和郎 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | J | 【休講】 | | | | | | | | | |
| | K | 秋学期 | 長田 哲男 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | L | 秋学期 | 長田 宣子 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | M | 秋学期 | 小林 英美 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | N | 秋学期 | 大石 瑤子 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | A | 春学期 | 人見 憲司 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | B | 春学期 | 田中 由香 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| | C | 春学期 | 人見 憲司 | 春学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | | | |
| | D | 春学期 | 田中 由香 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | E | 春学期 | 金澤 良子 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | F | 春学期 | 五島 一美 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | G | 春学期 | ポツペ・クレメンス | 春学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| | H | 春学期 | 矢野 磯乃 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| | A | 秋学期 | 人見 憲司 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | B | 秋学期 | 田中 由香 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| | C | 秋学期 | 人見 憲司 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | | | |
| | D | 秋学期 | 田中 由香 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | E | 秋学期 | 金澤 良子 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | F | 秋学期 | 五島 一美 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | G | 秋学期 | ポツペ・クレメンス | 秋学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| | H | 秋学期 | 矢野 磯乃 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| A | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| B | 春学期 | 小宮山 貴教 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| C | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| D | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| E | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| F | 春学期 | 豊 浩子 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| G | 春学期 | 矢野 磯乃 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| H | 春学期 | 木村 大輔 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | | |
| I | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| J | 春学期 | 飯島 優雅 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | | |
| K | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| L | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| M | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| N | 春学期 | 金森 強 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| O | 春学期 | 谷 佐保子 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | |
| P | 春学期 | 中野 葉子 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| Q | 春学期 | 金森 強 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| R | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| S | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| T | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| U | 春学期 | 戸田 博之 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| V | 春学期 | 上田 倫史 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| W | 春学期 | 新井 巧磨 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | |

英語

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始時間 | 終了時間 | |
|-----|-----------------|--------|--------|------|--------|------|------|------|------|------|--|
| | | | | | | 担当学期 | | | | | |
| 1~4 | 英語中級コミュニケーション 2 | 1 | A | 【休講】 | | | | | | | |
| | | | B | 秋学期 | 小宮山 貴教 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | C | 【休講】 | | | | | | | |
| | | | D | 秋学期 | 湯舟 英一 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | E | 【休講】 | | | | | | | |
| | | | F | 秋学期 | 豊 浩子 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | G | 秋学期 | 矢野 磯乃 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | H | 秋学期 | 木村 大輔 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | I | 秋学期 | 木村 大輔 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | J | 秋学期 | 飯島 優雅 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | | K | 【休講】 | | | | | | | |
| | | | L | 【休講】 | | | | | | | |
| | | | M | 【休講】 | | | | | | | |
| | | | N | 秋学期 | 金森 強 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | O | 秋学期 | 谷 佐保子 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | P | 秋学期 | 中野 葉子 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | Q | 秋学期 | 金森 強 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | R | 【休講】 | | | | | | | |
| | S | 秋学期 | 湯舟 英一 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | |
| | T | 秋学期 | 小中原 麻友 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | U | 秋学期 | 戸田 博之 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | V | 秋学期 | 上田 倫史 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | W | 秋学期 | 新井 巧磨 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | |
| | A | 春学期 | 小宮山 貴教 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | B | 春学期 | 木村 啓子 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | C | 春学期 | 柳川 浩三 | 春学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| | D | 春学期 | 澁谷 和郎 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | E | 春学期 | 森田 信也 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| | F | 春学期 | 大矢 政徳 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| | G | 春学期 | 澁谷 和郎 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | |
| | H | 春学期 | 大矢 政徳 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | |
| | I | 春学期 | 豊 浩子 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | J | 春学期 | 田村 亮 | 春学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| | K | 春学期 | 新井 巧磨 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| | L | 春学期 | 森田 信也 | 春学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| | M | 春学期 | 加藤 万紀子 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| N | 春学期 | 森田 信也 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| O | 春学期 | 大矢 政徳 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| P | 春学期 | 東後 昌弘 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| Q | 春学期 | 東後 昌弘 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| R | 春学期 | 宮崎 瑞之 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | |
| S | 春学期 | 宮崎 瑞之 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | |
| T | 春学期 | 澁谷 和郎 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| U | 春学期 | 田村 亮 | 春学期 | 土 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | | |
| V | 春学期 | 田村 亮 | 春学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| W | 春学期 | 木村 啓子 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | |
| X | 春学期 | 加藤 万紀子 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | |
| A | 秋学期 | 小宮山 貴教 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| B | 秋学期 | 木村 啓子 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| C | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| D | 秋学期 | 澁谷 和郎 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| E | 秋学期 | 森田 信也 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | | |
| F | 秋学期 | 大矢 政徳 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| G | 秋学期 | 澁谷 和郎 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | |
| H | 秋学期 | 大矢 政徳 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | |
| I | 秋学期 | 豊 浩子 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| J | 秋学期 | 田村 亮 | 秋学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | | |
| K | 秋学期 | 新井 巧磨 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| L | 秋学期 | 森田 信也 | 秋学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | | |
| M | 秋学期 | 加藤 万紀子 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| N | 秋学期 | 森田 信也 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| O | 秋学期 | 大矢 政徳 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| P | 秋学期 | 東後 昌弘 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | | |
| Q | 秋学期 | 東後 昌弘 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| R | 秋学期 | 宮崎 瑞之 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | |
| S | 秋学期 | 宮崎 瑞之 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | |
| T | 秋学期 | 澁谷 和郎 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| U | 秋学期 | 田村 亮 | 秋学期 | 土 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | | |
| V | 秋学期 | 田村 亮 | 秋学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | | |
| W | 秋学期 | 木村 啓子 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | |
| X | 秋学期 | 加藤 万紀子 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | |

時間割 (外国語)

英語

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始 | 終了 | |
|-----|--------------------|----|----|-----|--------------------|------|---|-----|------|------|--|
| | | | | | | 担当学期 | | | 時間 | 時間 | |
| 1~4 | 英語上級コミュニケーション 1 α | 1 | | 春学期 | 新川 清治 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 英語上級コミュニケーション 2 α | 1 | | 春学期 | オオガ・ボールドウィン ウィリアム | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 英語上級コミュニケーション 3 α | 1 | | 春学期 | 志野 文乃 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 英語上級コミュニケーション 4 α | 1 | | 春学期 | 伊藤 壘 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 英語上級コミュニケーション 5 α | 1 | | 春学期 | 相原 雅子 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 英語上級コミュニケーション 6 α | 1 | | 春学期 | 宮崎 瑞之 | 春学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | 英語上級コミュニケーション 8 α | 1 | | 春学期 | 相原 雅子 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 9 α | 1 | | 春学期 | 宮崎 瑞之 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | 英語上級コミュニケーション 10 α | 1 | | 春学期 | 内田 夕津 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 12 α | 1 | | 春学期 | 新井 巧磨 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 英語上級コミュニケーション 13 α | 1 | | 春学期 | ケイ・ハスキー | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 14 α | 1 | | 春学期 | ケイ・ハスキー | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | 英語上級コミュニケーション 18 α | 1 | | 春学期 | 三好 力 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 20 α | 1 | | 春学期 | 内田 夕津 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 英語上級コミュニケーション 23 α | 1 | | 春学期 | 小川 喜正 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 英語上級コミュニケーション 25 α | 1 | | 春学期 | バックハウス ベート | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 英語上級コミュニケーション 29 α | 1 | | 春学期 | 市川 純 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 32 α | 1 | | 春学期 | 小宮山 貴教 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 英語上級コミュニケーション 33 α | 1 | | 春学期 | 人見 憲司 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 34 α | 1 | | 春学期 | 寺澤 由紀子 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 37 α | 1 | | 春学期 | 伊藤 健一郎 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 39 α | 1 | | 春学期 | 伊藤 壘 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1700 | 1840 | |
| | 英語上級コミュニケーション 40 α | 1 | | 春学期 | ジェームズ アンドリュウ スタンレー | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 41 α | 1 | | 春学期 | バックハウス ベート | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 英語上級コミュニケーション 43 α | 1 | | 春学期 | ジェームズ アンドリュウ スタンレー | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 英語上級コミュニケーション 44 α | 1 | | 春学期 | 河内山 晶子 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 英語上級コミュニケーション 47 α | 1 | | | 【休講】 | | | | | | |
| | 英語上級コミュニケーション 48 α | 1 | | 春学期 | 金森 強 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 49 α | 1 | | 春学期 | 伏野 久美子 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 50 α | 1 | | 春学期 | 田ノ口 正悟 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 英語上級コミュニケーション 51 α | 1 | | 春学期 | 木村 晶子 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 英語上級コミュニケーション 52 α | 1 | | 春学期 | ポツベ・クレメンス | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 英語上級コミュニケーション 53 α | 1 | | 春学期 | フェアバンクス 香織 | 春学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 英語上級コミュニケーション 54 α | 1 | | 春学期 | 平倉 菜摘子 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 英語上級コミュニケーション 55 α | 1 | | 春学期 | トクマ ウォン | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 英語上級コミュニケーション 56 α | 1 | | 春学期 | トクマ ウォン | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 57 α | 1 | | 春学期 | 伊藤 健一郎 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 英語上級コミュニケーション 58 α | 1 | | 春学期 | 田ノ口 正悟 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 59 α | 1 | | 春学期 | 河内山 晶子 | 春学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 英語上級コミュニケーション 60 α | 1 | | 春学期 | 松岡 里枝子 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 英語上級コミュニケーション 62 α | 1 | | 春学期 | 虹林 慶 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 英語上級コミュニケーション 63 α | 1 | | 春学期 | 虹林 慶 | 春学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |

英語

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始 | 終了 |
|--------------------|--------------------|----|-----|---------|--------------------|------|-----|------|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | 時間 | 時間 |
| 1~4 | 英語上級コミュニケーション 1 β | 1 | | 秋学期 | 新川 清治 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 英語上級コミュニケーション 2 β | 1 | | 秋学期 | オオガ・ボールドウィン ウィリアム | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 英語上級コミュニケーション 3 β | 1 | | 秋学期 | 志野 文乃 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 英語上級コミュニケーション 4 β | 1 | | 秋学期 | 伊藤 壘 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 英語上級コミュニケーション 5 β | 1 | | 秋学期 | 相原 雅子 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 英語上級コミュニケーション 6 β | 1 | | 秋学期 | 宮崎 瑞之 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 英語上級コミュニケーション 8 β | 1 | | 秋学期 | 相原 雅子 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 英語上級コミュニケーション 9 β | 1 | | 秋学期 | 宮崎 瑞之 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 英語上級コミュニケーション 10 β | 1 | | 秋学期 | 内田 夕津 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 英語上級コミュニケーション 12 β | 1 | | 秋学期 | 新井 巧磨 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 英語上級コミュニケーション 13 β | 1 | | 秋学期 | ケイ・ハスキー | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 英語上級コミュニケーション 14 β | 1 | | 秋学期 | ケイ・ハスキー | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 英語上級コミュニケーション 18 β | 1 | | 秋学期 | 三好 力 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 英語上級コミュニケーション 20 β | 1 | | 秋学期 | 内田 夕津 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 英語上級コミュニケーション 23 β | 1 | | 秋学期 | 小川 喜正 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 英語上級コミュニケーション 25 β | 1 | | 秋学期 | バックハウス ベート | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 英語上級コミュニケーション 29 β | 1 | | 秋学期 | 市川 純 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 英語上級コミュニケーション 32 β | 1 | | 秋学期 | 小宮山 貴教 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 英語上級コミュニケーション 33 β | 1 | | 秋学期 | 人見 憲司 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 英語上級コミュニケーション 34 β | 1 | | 秋学期 | 寺澤 由紀子 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 英語上級コミュニケーション 37 β | 1 | | 秋学期 | 伊藤 健一郎 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 英語上級コミュニケーション 39 β | 1 | | 秋学期 | 伊藤 壘 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1700 | 1840 |
| | 英語上級コミュニケーション 40 β | 1 | | 秋学期 | ジェームズ アンドリュウ スタンレー | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 英語上級コミュニケーション 41 β | 1 | | 秋学期 | バックハウス ベート | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 英語上級コミュニケーション 43 β | 1 | | 秋学期 | ジェームズ アンドリュウ スタンレー | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 英語上級コミュニケーション 44 β | 1 | | 秋学期 | 河内山 晶子 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 英語上級コミュニケーション 47 β | 1 | | 秋学期 | 土屋 慶子 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 英語上級コミュニケーション 48 β | 1 | | 秋学期 | 金森 強 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 英語上級コミュニケーション 49 β | 1 | | 秋学期 | 伏野 久美子 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 英語上級コミュニケーション 50 β | 1 | | 秋学期 | 田ノ口 正悟 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 英語上級コミュニケーション 51 β | 1 | | 秋学期 | 木村 晶子 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 英語上級コミュニケーション 52 β | 1 | | 秋学期 | ポツベ・クレメンス | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 英語上級コミュニケーション 53 β | 1 | | 秋学期 | フェアバンクス 香織 | 秋学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 英語上級コミュニケーション 54 β | 1 | | 秋学期 | 平倉 菜摘子 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 英語上級コミュニケーション 55 β | 1 | | 秋学期 | トクマ ウォン | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 英語上級コミュニケーション 56 β | 1 | | 秋学期 | トクマ ウォン | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 英語上級コミュニケーション 57 β | 1 | | 秋学期 | 伊藤 健一郎 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 英語上級コミュニケーション 58 β | 1 | | 秋学期 | 田ノ口 正悟 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 英語上級コミュニケーション 59 β | 1 | | 秋学期 | 河内山 晶子 | 秋学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 英語上級コミュニケーション 60 β | 1 | | 秋学期 | 松岡 里枝子 | 秋学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 英語上級コミュニケーション 62 β | 1 | | 秋学期 | 内田 夕津 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 英語上級コミュニケーション 63 β | 1 | | 秋学期 | 小川 喜正 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 英語上級コミュニケーション 64 β | 1 | | 秋学期 | 伏野 久美子 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |

※2018年度より基礎充実英語を除く一般英語科目が半期化されましたが、2017年以前に修得済みの一般英語科目との前提条件はありません。2017年以前に修得した科目であっても再度履修できます。

時間割
(外国語)

ドイツ語

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始時間 | 終了時間 |
|---------------|---------------------|----|-------|-----------------|-----------------|------|------|------|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1~4 | ドイツ語の基礎 | 4 | A | 【休講】 | | | | | | |
| | | | B | 通年 | 高木 葉子 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 高木 葉子 | 通年 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | C | 通年 | 神尾 達之 | 通年 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | | 神尾 達之 | 通年 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | D | 通年 | 眞岩 啓子 | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | | 眞岩 啓子 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | E | 通年 | 原 克 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 原 克 | 通年 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | F | 通年 | 関根 裕子 | 通年 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | 関根 裕子 | 通年 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | G | 通年 | 秋野 有紀 | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | 秋野 有紀 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | H | 通年 | 眞岩 啓子 | 通年 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | 眞岩 啓子 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | ドイツ語のコミュニケーションの基礎 | 2 | A | 【休講】 | | | | | | |
| | | | B | 通年 | J・バルチュ | 通年 | 土 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | C | 通年 | J・バルチュ | 通年 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| D | | | 通年 | E・ヘルメル | 通年 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| E | | | 【休講】 | | | | | | | |
| F | | | 通年 | E・ヘルメル | 通年 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| G | | | 通年 | E・ヘルメル | 通年 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| H | | | 通年 | J・バルチュ | 通年 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 2~4 | ドイツ語演習I1(文化の諸相) | 2 | A | 春学期 | 神尾 達之 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 春学期 | 高木 葉子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ドイツ語演習I2(文学テキストを読む) | 2 | | 春学期 | 原 克 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | ツールとしてのドイツ語I | 2 | A | 春学期 | J・バルチュ | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 春学期 | クラウス マヌエル フィリップ | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ドイツ語演習II1(文化の諸相) | 2 | | 秋学期 | 秋野 有紀 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ドイツ語演習II2(文化の諸相) | 2 | | 秋学期 | 神尾 達之 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| ツールとしてのドイツ語II | 2 | A | 秋学期 | J・バルチュ | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | B | 秋学期 | クラウス マヌエル フィリップ | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 3~4 | ドイツ語演習III(言語を知る) | 2 | | 春学期 | 秋野 有紀 | 春学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | ツールとしてのドイツ語III | 2 | | 春学期 | 関根 裕子 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ドイツ語演習IV(文化の諸相) | 2 | | 秋学期 | 原 克 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | ツールとしてのドイツ語IV | 2 | | 秋学期 | J・バルチュ | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 4 | ツールとしてのドイツ語V | 2 | | 春学期 | 神尾 達之 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |

※「ドイツ語の基礎」は、1つの組に授業が週2回あります。

※「ドイツ語演習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには「ドイツ語の基礎」の単位を修得していなければなりません。

※「ツールとしてのドイツ語Ⅰ～Ⅴ」を履修するためには「ドイツ語の基礎」及び「ドイツ語のコミュニケーションの基礎」の単位を修得していなければなりません。

※「ドイツ語演習」「ツールとしてのドイツ語」のⅡレベル以上の科目は各自のレベルに合わせて履修してください。

※複合文化学科の方が「ドイツ語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのドイツ語Ⅰ～Ⅱ」を履修した場合、専門必修科目となり、「ツールとしてのドイツ語Ⅲ～Ⅴ」を履修した場合、専門選択科目となります。

※複合文化学科の方が「ドイツ語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのドイツ語Ⅰ～Ⅴ」を履修する場合、以下の前提条件があります。

Ⅱレベルを履修するにはⅠレベルを修得済みであること。

Ⅲレベルを履修するにはⅡレベルを修得済みであること。

Ⅳレベルを履修するにはⅢレベルを修得済みであること。

Ⅴレベルを履修するにはⅣレベルを修得済みであること。

フランス語

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始 | 終了 | | |
|-----|-----------------------|----------|-------|-------|--------------|--------------|------|------|------|------|------|------|
| | | | | | 担当学期 | | | | 時間 | 時間 | | |
| 1~4 | フランス語の基礎 | 4 | A | 通年 | 木水 千里 | | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | | | | 木水 千里 | | | | | | | |
| | | | B | 【休講】 | | | | | | | | |
| | | | | C | 通年 | 竹田 千穂 | | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | 三宅 京子 | | | | | | | | | |
| | | | D | 【休講】 | | | | | | | | |
| | | | | E | 通年 | 丸川 誠司 | | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | 丸川 誠司 | | | | | | | | | |
| | F | 通年 | | 野澤 文二 | | 通年 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | | 野澤 文二 | | | | | | | | |
| | G | 通年 | | 竹田 千穂 | | 通年 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | | 片山 幹生 | | | | | | | | |
| | H | 通年 | | 福田 育弘 | | 通年 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | | 福田 育弘 | | | | | | | | |
| | フランス語のコミュニケーションの基礎 | 2 | | A | 通年 | ヴァンシンテヤン カティ | | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | | | クロス・山口 エリアヌ | | | | | | |
| B | | | | 通年 | クロス・山口 エリアヌ | | 通年 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | | | | 伊東 イザベル | | | | | | | |
| C | | | | 通年 | 伊東 イザベル | | 通年 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | | | | クロス・山口 エリアヌ | | | | | | | |
| D | | | | 通年 | クロス・山口 エリアヌ | | 通年 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | | | | 【休講】 | | | | | | | |
| E | 通年 | フェノ マルタン | | 通年 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | | | | |
| | | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| F | 通年 | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| | | 【休講】 | | | | | | | | | | |
| 2~4 | フランス語演習I1(文化の諸相) | 2 | A | 春学期 | 福田 育弘 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | フランス語演習I2(文学テキストを読む) | 2 | B | 春学期 | 竹田 千穂 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | ツールとしてのフランス語I | 2 | A | 春学期 | ヴァンシンテヤン カティ | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | フランス語演習II1(文化の諸相) | 2 | B | 春学期 | F・ルーセル | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | フランス語演習II2(文学テキストを読む) | 2 | A | 秋学期 | 山根 祐佳 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | ツールとしてのフランス語II | 2 | B | 秋学期 | F・ルーセル | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | フランス語演習III(文化の諸相) | 2 | A | 秋学期 | 野澤 文二 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | ツールとしてのフランス語III | 2 | B | 秋学期 | ヴァンシンテヤン カティ | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 3~4 | フランス語演習IV(言語を知る) | 2 | A | 春学期 | 福田 育弘 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | ツールとしてのフランス語IV | 2 | B | 春学期 | 丸川 誠司 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | ツールとしてのフランス語IV | 2 | A | 秋学期 | 野澤 文二 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | ツールとしてのフランス語IV | 2 | B | 秋学期 | 伊東 イザベル | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 4 | ツールとしてのフランス語V | 2 | A | 春学期 | 伊東 イザベル | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |

※「フランス語の基礎」は、1つの組に授業が週2回あります。

※「フランス語演習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには「フランス語の基礎」の単位を修得していなければなりません。

※「ツールとしてのフランス語Ⅰ～Ⅴ」を履修するためには「フランス語の基礎」及び「フランス語のコミュニケーションの基礎」の単位を修得していなければなりません。

※「フランス語演習」「ツールとしてのフランス語」のⅡレベル以上の科目は各自のレベルに合わせて履修してください。

※複合文化学科の方が「フランス語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのフランス語Ⅰ～Ⅱ」を履修した場合、専門必修科目となり、「ツールとしてのフランス語Ⅲ～Ⅴ」を履修した場合、専門選択科目となります。

※複合文化学科の方が「フランス語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのフランス語Ⅰ～Ⅴ」を履修する場合、以下の前提条件があります。

Ⅱレベルを履修するにはⅠレベルを修得済みであること。

Ⅲレベルを履修するにはⅡレベルを修得済みであること。

Ⅳレベルを履修するにはⅢレベルを修得済みであること。

Ⅴレベルを履修するにはⅣレベルを修得済みであること。

中国語

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始 | 終了 |
|------------------|---------------------|-------|-----|--------|--------|------|------|------|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | 時間 | 時間 |
| 1~4 | 中国語の基礎 | 4 | A | 通年 | 西 暢子 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 中原 裕貴 | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | B | 通年 | 張 劍波 | 通年 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | | 松尾 幸忠 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | C | 通年 | 西 暢子 | 通年 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | | 李 雪 | 通年 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | D | 通年 | 中原 裕貴 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 清水 賢一郎 | 通年 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | E | 通年 | 張 劍波 | 通年 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | | 松尾 幸忠 | 通年 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | F | 通年 | 水野 善寛 | 通年 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | | 廉 舒 | 通年 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | G | 通年 | 張 劍波 | 通年 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 松尾 幸忠 | 通年 | 土 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | H | 通年 | 水野 善寛 | 通年 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 李 棋 | 通年 | 土 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | I | 通年 | 山村 敏江 | 通年 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| 羅 奇祥 | 通年 | 金 | | | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| J | 通年 | 西田 文信 | 通年 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| | | 中原 裕貴 | 通年 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| K | 通年 | 土屋 文子 | 通年 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| | | 中原 裕貴 | 通年 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| L | 通年 | 山村 敏江 | 通年 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| | | 羅 奇祥 | 通年 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| M | 通年 | 馮 超鴻 | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| | | 川田 健 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| N | 通年 | 川田 健 | 通年 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| | | 馮 超鴻 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| O | 通年 | 梅田 雅子 | 通年 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | | | |
| | | 李 棋 | 通年 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| 中国語のコミュニケーションの基礎 | 2 | A | 通年 | 梅田 雅子 | 通年 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | B | 通年 | 土屋 文子 | 通年 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | C | 通年 | 馮 超鴻 | 通年 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | D | 通年 | 李 雪 | 通年 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | E | 通年 | 稲葉 明子 | 通年 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | F | 通年 | 稲葉 明子 | 通年 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | G | 通年 | 馮 超鴻 | 通年 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | H | 通年 | 山村 敏江 | 通年 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | I | 通年 | 李 雪 | 通年 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | J | 通年 | 廉 舒 | 通年 | 土 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | K | 通年 | 西 暢子 | 通年 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | L | 通年 | 松尾 幸忠 | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | M | 通年 | 李 雪 | 通年 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | N | 通年 | 廉 舒 | 通年 | 土 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 2~4 | 中国語演習I1(言語を知る) | 2 | A | 春学期 | 西田 文信 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | 2 | B | 春学期 | 西田 文信 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 中国語演習I2(文学テキストを読む) | 2 | A | 春学期 | 梅田 雅子 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | 2 | B | 春学期 | 清水 賢一郎 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ツールとしての中国語I | 2 | A | 春学期 | 西 暢子 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | 2 | B | 春学期 | 胡 杰 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | 2 | C | 春学期 | 張 劍波 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 中国語演習II1(言語を知る) | 2 | A | 秋学期 | 西田 文信 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | 2 | B | 秋学期 | 西田 文信 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 中国語演習II2(文学テキストを読む) | 2 | A | 秋学期 | 梅田 雅子 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 2 | B | 秋学期 | 清水 賢一郎 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| ツールとしての中国語II | 2 | A | 秋学期 | 西 暢子 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 2 | B | 秋学期 | 胡 杰 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 3~4 | 中国語演習III(文化の諸相) | 2 | 春学期 | 清水 賢一郎 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | ツールとしての中国語III | 2 | 春学期 | 胡 杰 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 中国語演習IV(文化の諸相) | 2 | 秋学期 | 清水 賢一郎 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | ツールとしての中国語IV | 2 | 秋学期 | 胡 杰 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 4 | ツールとしての中国語V | 2 | | 【休講】 | | | | | | |

- ※「中国語の基礎」は、1つの組に授業が週2回あります。
- ※「中国語演習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには「中国語の基礎」の単位を修得していなければなりません。
- ※「ツールとしての中国語Ⅰ～Ⅴ」を履修するためには「中国語の基礎」及び「中国語のコミュニケーションの基礎」の単位を修得していなければなりません。
- ※「中国語演習」「ツールとしての中国語」のⅡレベル以上の科目は各自のレベルに合わせて履修してください。
- ※複合文化学科の方が「中国語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしての中国語Ⅰ～Ⅱ」を履修した場合、専門必修科目となり、「ツールとしての中国語Ⅲ～Ⅴ」を履修した場合、専門選択科目となります。
- ※複合文化学科の方が「中国語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしての中国語Ⅰ～Ⅴ」を履修する場合、以下の前提条件があります。
 - Ⅱレベルを履修するにはⅠレベルを修得済みであること。
 - Ⅲレベルを履修するにはⅡレベルを修得済みであること。
 - Ⅳレベルを履修するにはⅢレベルを修得済みであること。
 - Ⅴレベルを履修するにはⅣレベルを修得済みであること。

ロシア語

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始 | 終了 |
|-----|---------------------|----|----|-----|--------------|------|---|-----|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | 時間 | 時間 |
| 1～4 | ロシア語の基礎 | 4 | A | 通年 | ウジーニン エフゲーニー | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | 通年 | 粕谷 典子 | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | B | 通年 | 生熊 源一 | 通年 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | 通年 | 古宮 路子 | 通年 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ロシア語のコミュニケーションの基礎 | 2 | A | 通年 | ウジーニン エフゲーニー | 通年 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | B | 通年 | ヴァレリー・グレチュコ | 通年 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| 2～4 | ロシア語演習I1(文化の諸相) | 2 | | 春学期 | 粕谷 典子 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ロシア語演習I2(言語を知る) | 2 | | 春学期 | 生熊 源一 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ツールとしてのロシア語I | 2 | | 春学期 | ウジーニン エフゲーニー | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ロシア語演習II1(文化の諸相) | 2 | | 秋学期 | 粕谷 典子 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ロシア語演習II2(文化の諸相) | 2 | | 秋学期 | 生熊 源一 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ツールとしてのロシア語II | 2 | | 秋学期 | 守屋 愛 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 3～4 | ロシア語演習III(文化の諸相) | 2 | | 春学期 | 奈倉 有里 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ツールとしてのロシア語III | 2 | | 春学期 | 守屋 愛 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ロシア語演習IV(文学テキストを読む) | 2 | | 秋学期 | 奈倉 有里 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | ツールとしてのロシア語IV | 2 | | 秋学期 | ウジーニン エフゲーニー | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 4 | ツールとしてのロシア語V | 2 | | 秋学期 | ウジーニン エフゲーニー | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |

- ※「ロシア語の基礎」は、1つの組に授業が週2回あります。
- ※「ロシア語演習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには「ロシア語の基礎」の単位を修得していなければなりません。
- ※「ツールとしてのロシア語Ⅰ～Ⅴ」を履修するためには「ロシア語の基礎」及び「ロシア語のコミュニケーションの基礎」の単位を修得していなければなりません。
- ※「ロシア語演習」「ツールとしてのロシア語」のⅡレベル以上の科目は各自のレベルに合わせて履修してください。
- ※複合文化学科の方が「ロシア語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのロシア語Ⅰ～Ⅱ」を履修した場合、専門必修科目となり、「ツールとしてのロシア語Ⅲ～Ⅴ」を履修した場合、専門選択科目となります。
- ※複合文化学科の方が「ロシア語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのロシア語Ⅰ～Ⅴ」を履修する場合、以下の前提条件があります。
 - Ⅱレベルを履修するにはⅠレベルを修得済みであること。
 - Ⅲレベルを履修するにはⅡレベルを修得済みであること。
 - Ⅳレベルを履修するにはⅢレベルを修得済みであること。
 - Ⅴレベルを履修するにはⅣレベルを修得済みであること。

スペイン語

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始 | 終了 |
|-----------------------|-------------------|----|--------|----------|----------|-----|------|------|------|------|
| | | | | | 担当 | 担当 | | | 時間 | 時間 |
| 1~4 | スペイン語の基礎 | 4 | A | 通年 | 阿由葉 恵利子 | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | | 阿由葉 恵利子 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 通年 | 後藤 雄介 | 通年 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | | 後藤 雄介 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | C | 通年 | 藤本 愛 | 通年 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | | 藤本 愛 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | D | 通年 | 増山 久美 | 通年 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | | 増山 久美 | 通年 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | E | 通年 | 金澤 直也 | 通年 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 金澤 直也 | 通年 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | F | 通年 | 佐藤 麻里乃 | 通年 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | 佐藤 麻里乃 | 通年 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | G | 通年 | 浜 邦彦 | 通年 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | 浜 邦彦 | 通年 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | H | 通年 | 田中 理恵子 | 通年 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | 田中 理恵子 | 通年 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | I | 通年 | 伊香 祝子 | 通年 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | 伊香 祝子 | 通年 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | J | 通年 | 高木 佳奈 | 通年 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| | | | 高木 佳奈 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| スペイン語のコミュニケーションの基礎 | 2 | A | 通年 | J・O・セグ | 通年 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | B | 通年 | J・O・セグ | 通年 | 金 | 6時限 | 1855 | 2035 | |
| | | C | 通年 | M・S・アロンソ | 通年 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | D | 通年 | M・S・アロンソ | 通年 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 | |
| | | E | 通年 | N・ロベス | 通年 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | F | 通年 | N・ロベス | 通年 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | G | 通年 | M・S・アロンソ | 通年 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | H | 通年 | J・C・ブルゴス | 通年 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | I | 通年 | I・オスノ | 通年 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 2~4 | スペイン語演習I1(文化の諸相) | 2 | A | 春学期 | 後藤 雄介 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | B | | 春学期 | 阿由葉 恵利子 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | C | | 春学期 | 見田 悠子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | スペイン語演習I2(言語を知る) | 2 | | 春学期 | 高澤 美由紀 | 春学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | ツールとしてのスペイン語I | 2 | A | 春学期 | J・O・セグ | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | B | 春学期 | J・C・ブルゴス | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | C | 春学期 | I・オスノ | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | スペイン語演習II1(文化の諸相) | 2 | | 秋学期 | 浜 邦彦 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | スペイン語演習II2(言語を知る) | 2 | | 秋学期 | 高澤 美由紀 | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | ツールとしてのスペイン語II | 2 | A | 秋学期 | 阿由葉 恵利子 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 秋学期 | 佐藤 麻里乃 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | C | 秋学期 | 後藤 雄介 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| スペイン語演習III(文学テキストを読む) | 2 | | 春学期 | 後藤 雄介 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| ツールとしてのスペイン語III | 2 | | 春学期 | 浜 邦彦 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| スペイン語演習IV(文学テキストを読む) | 2 | | 秋学期 | 浜 邦彦 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| ツールとしてのスペイン語IV | 2 | | 秋学期 | J・C・ブルゴス | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 4 | ツールとしてのスペイン語V | 2 | | 春学期 | J・O・セグ | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |

※「スペイン語の基礎」は、1つの組に授業が週2回あります。

※「スペイン語演習 I～IV」を履修するためには「スペイン語の基礎」の単位を修得していなければなりません。

※「ツールとしてのスペイン語 I～V」を履修するためには「スペイン語の基礎」及び「スペイン語のコミュニケーションの基礎」の単位を修得していなければなりません。

※「スペイン語演習」「ツールとしてのスペイン語」のⅡレベル以上の科目は各自のレベルに合わせて履修してください。

※複合文化学科の方が「スペイン語演習 I～IV」「ツールとしてのスペイン語 I～II」を履修した場合、専門必修科目となります。「ツールとしてのスペイン語Ⅲ～Ⅴ」を履修した場合は、専門選択科目となります。

※複合文化学科の方が「スペイン語演習 I～IV」「ツールとしてのスペイン語 I～V」を履修する場合、以下の前提条件があります。

Ⅱレベルを履修するにはⅠレベルを修得済みであること。

Ⅲレベルを履修するにはⅡレベルを修得済みであること。

Ⅳレベルを履修するにはⅢレベルを修得済みであること。

Ⅴレベルを履修するにはⅣレベルを修得済みであること。

授業時間割
【教育学科教育学専攻教育学専修】

1. 廃止・新設の専門教育科目（旧科目を履修済の方は、新科目を履修できません）

| （新）科目 | ← （旧）科目 | 変更年度 |
|-------------|------------------|--------|
| — | 特別支援教育におけるIT実践演習 | 2022年度 |
| 政治学I※ | — | 2019年度 |
| 政治学II※ | — | |
| 法律学※ | — | |
| 社会学（教職）※ | — | |
| 経済学I※ | — | |
| 経済学II※ | — | |
| 現代の教育課題I | 教育学プレゼミⅢ | 2018年度 |
| 現代の教育課題II | | |
| 現代の教育課題III | | |
| 現代の教育課題IV | 教育学プレゼミIV | |
| 教育学概論Ⅰ A | 教育学概論 A | 2017年度 |
| 教育学概論Ⅱ A | | |
| 教育学研究法Ⅰ | 教育学プレゼミⅠ | |
| 教育学研究法Ⅱ | | |
| 教育学研究法Ⅲ | | |
| 教育学研究法Ⅳ | | |
| 社会教育課題研究Ⅰ-1 | 社会教育課題研究Ⅰ | |
| 社会教育課題研究Ⅰ-2 | | |
| 社会教育課題研究Ⅰ-1 | 社会教育課題研究Ⅱ | |
| 社会教育課題研究Ⅰ-2 | | |
| 教育心理学概説Ⅰ | 教育心理学概説 | 2016年度 |
| 教育心理学概説Ⅱ | | |
| — | 道徳・シティズンシップ教育 | |

※教科に関する科目です。教員免許取得を目指す方のみ履修してください。

2. 科目名が変更になった専門選択科目（旧科目を履修済みの方は、新科目を履修できません。）

| （新）科目 | ← （旧）科目 | 変更年度 |
|---------------------|-------------|--------|
| 発達障害者教育(障害者・障害児心理学) | 発達障害者教育 | 2021年度 |
| 教育制度概論 | 教育学概論Ⅰ | 2019年度 |
| 教育思想研究Ⅰ | 教育思想研究 | 2016年度 |
| 特別支援教育総論Ⅰ | 障害児教育総論Ⅰ | 2014年度 |
| 特別支援教育総論Ⅱ | | |
| 特別支援教育総論Ⅲ | | |
| 教育社会学テーマ研究 | | |
| 学校教育活動論 | 教育社会学テーマ研究Ⅱ | |

3. 時間割の変更情報について

担当教員の都合等で時間割が変更される場合があります。

科目登録申請の際には、教育学部ホームページに掲載される「正誤表」を併せて確認してください。

<https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/>

（早稲田大学教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞授業ガイド）

教育学専攻教育学専修・専門必修科目

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 | |
|------|------------|----|----|--------|-------|--------|-----|-----|----------|----------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | | |
| 1 | 日本教育史I | 2 | | 春学期 | 梅本 大介 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 日本教育史II | 2 | | 秋学期 | 三上 敦史 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | 教育学研究法I | 1 | | 春クォーター | 坂倉 裕治 | 春クォーター | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 教育学研究法II | 1 | | 夏クォーター | 三尾 忠男 | 夏クォーター | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 教育学研究法III | 1 | | 秋クォーター | 菊地 栄治 | 秋クォーター | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 教育学研究法IV | 1 | | 冬クォーター | 野口 穂高 | 冬クォーター | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 教育学概論I | 2 | A | 春学期 | 藤井 千春 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 教育制度概論 | 2 | | 秋学期 | 鴨川 明子 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 2 | 西洋教育史I | 2 | | 春学期 | 大川 洋 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | 西洋教育史II | 2 | | 秋学期 | 藤井 千春 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 現代の教育課題I | 1 | | 春クォーター | 白川 優治 | 春クォーター | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 現代の教育課題II | 1 | | 夏クォーター | 小松 茂久 | 夏クォーター | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 現代の教育課題III | 1 | | 冬クォーター | 三上 敦史 | 冬クォーター | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 現代の教育課題IV | 1 | | 秋クォーター | 根津 朋実 | 秋クォーター | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 教育心理学概説I | 2 | | 春学期 | 中本 敬子 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 教育心理学概説II | 2 | | 秋学期 | 河村 茂雄 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 教育社会学 | 2 | A | 春学期 | 菊地 栄治 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 教育行政学 | 2 | | 春学期 | 小松 茂久 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 3 | 比較教育学 | 2 | | 秋学期 | 鴨川 明子 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | 教育哲学 | 2 | | 春学期 | 坂倉 裕治 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 教育課程論 | 2 | | 春学期 | 根津 朋実 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 教育方法学 | 2 | | 秋学期 | 三尾 忠男 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 教育学演習I | A | 4 | | 通年 | 小松 茂久 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | B | 4 | | 通年 | 日暮 トモ子 | 通年 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | C | 4 | | 通年 | 三上 敦史 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | D | 4 | | 通年 | 藤井 千春 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | E | 4 | | 通年 | 坂倉 裕治 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | F | 4 | | 通年 | 野口 穂高 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| G | | 4 | | 通年 | 菊地 栄治 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 4 | 教育学演習II | A | 4 | | 通年 | 小松 茂久 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | B | 4 | | 通年 | 日暮 トモ子 | 通年 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | C | 4 | | 通年 | 三上 敦史 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | D | 4 | | 通年 | 藤井 千春 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | E | 4 | | 通年 | 坂倉 裕治 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | F | 4 | | 通年 | 野口 穂高 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | G | 4 | | 通年 | 菊地 栄治 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | I | 4 | | 通年 | 根津 朋実 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 卒業論文 | 8 | | 通年 | | 通年 | 無 | その他 | | | | |

教育学専攻教育学専修・専門選択科目（主選択）

| 年次 | 科 目 | 単 位 | 組 名 | 学 期 | 担当教員 | | 曜 日 | 時 限 | 開始 時間 | 終了 時間 |
|--------|--------------|-----|-----|-------|---------------|------|-----|------|----------|----------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 2~4 | 生徒指導研究 | 2 | | 春学期 | 奥野 武志 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 教育哲学研究1 | 2 | | 秋学期 | 坂倉 裕治 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 教育哲学研究2 | 2 | | 春学期 | 池田 全之 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 日本教育史研究I | 2 | | 秋学期 | 大岡 紀理子 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 日本教育史研究II | 2 | | 春学期 | ママトクロヴァ ニルファル | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教材開発論 | 2 | | 春学期 | 三上 敦史 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | カリキュラム研究 | 2 | | 秋学期 | 小林 宏己 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育思想研究1 | 2 | | 春学期 | 根津 朋実 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育思想研究2 | 2 | | 春学期 | 藤井 千春 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育法研究 | 2 | | 秋学期 | 鶴海 未祐子 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 教育法研究 | 2 | | 春学期 | 中田 康彦 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | スクールマネジメント研究 | 2 | | 春学期 | 小松 茂久 | 春学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 教育政策・教育計画論 | 2 | | 春学期 | 下岡 有希子 | 春学期 | 土 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育行財政研究 | 2 | | 春学期 | 阿内 春生 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 比較・国際教育研究I | 2 | | 春学期 | 日暮 トモ子 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 比較・国際教育研究II | 2 | | 秋学期 | 立花 有希 | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 教育社会学テーマ研究 | 2 | | | 【休講】 | | | | | |
| | 学校教育活動論 | 2 | | 秋学期 | 野口 穂高 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教師教育論 | 2 | | 秋学期 | 菊地 栄治 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育理論原典講読 | 2 | | 秋学期 | 小松 茂久 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 教育情報学 | 2 | | 秋学期 | 三尾 忠男 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 国際理解教育 | 2 | | 秋学期 | 谷口 利律 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |

教育学専攻教育学専修・専門選択科目（副選択）

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 |
|------------------|----------------------------|----|-----|--------|-----------------|------------|--------|------------|--------------|--------------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 |
| 1~4 | 成人教育論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 青少年教育論 | 2 | | 秋学期 | 矢口 徹也 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 家庭教育論 | 2 | | 春学期 | 加藤 美帆 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 女性教育論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 障害者教育原論(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 梅永 雄二 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 坂爪 一幸 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 肢体不自由者の心理・生理・病理I | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 肢体不自由者の心理・生理・病理II | 2 | | 秋学期 | 川間 健之介 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 病弱者の心理・生理・病理 | 2 | | 春学期 | 川間 健之介 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 発達障害者教育(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 本田 恵子 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 肢体不自由者教育 | 2 | | 夏季集中 | 川間 健之介 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 病弱者教育 | 2 | | 夏季集中 | 土屋 忠之 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 知的障害教育論I | 2 | | 春学期 | 梅永 雄二 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 知的障害教育論II | 2 | | 秋学期 | 梅永 雄二 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 重複障害・LD等教育総論 | 2 | | 秋学期 | 齋藤 宇開 | 秋学期 | 火 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | 特別支援教育総論I | 2 | | 秋学期 | 梅永 雄二 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 特別支援教育総論II | 1 | | 夏季集中 | 福田 奏子 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 特別支援教育総論III | 1 | | 夏季集中 | 長南 浩人 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 教育リテラシー | 2 | | 秋学期 | 池 俊介 他 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 指導者養成講座I(心理学的支援法) | 2 | | 夏クォーター | 本田 恵子 他 | 夏クォーター | 土 | 3時限~5時限 | 1310 | 1840 |
| | 倫理学概論 | 4 | | 通年 | 平野 明彦 小林 亜津子 | 春学期 秋学期 | 月 月 | 3時限 3時限 | 1310 1310 | 1450 1450 |
| | 哲学研究 | 4 | | 通年 | 伊藤 功 平野 明彦 | 春学期 秋学期 | 月 月 | 2時限 2時限 | 1040 1040 | 1220 1220 |
| | 社会教育課題研究I-1 | 2 | | 春学期 | | | | | | |
| | 社会教育課題研究I-2 | 2 | | 秋学期 | 濱中 淳子 | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 社会教育課題研究II-1 | 2 | | 春学期 | 米村 健司 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 社会教育課題研究II-2 | 2 | | 秋学期 | 米村 健司 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 科学思想史I | 2 | | 春学期 | 溝口 元 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 科学思想史II | 2 | | 秋学期 | 柿原 泰 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 文化人類学研究I | 2 | | 春学期 | 吉村 郊子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 文化人類学研究II | 2 | | 秋学期 | 吉村 郊子 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 古典語(ギリシャ) | 4 | | 通年 | 兼利 琢也 | 通年 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 古典語(ラテン) | 4 | | 通年 | 兼利 琢也 | 通年 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 宗教研究I | 2 | A | 秋学期 | 鈴木 昇司 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | B | 秋学期 | 鈴木 昇司 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 宗教研究II | 2 | A | 春学期 | 阿部 善彦 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | B | 秋学期 | 阿部 善彦 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 生涯学習概論I | 2 | A | 春学期 | 坂内 夏子 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 生涯学習概論II | 2 | A | 秋学期 | 坂内 夏子 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 図書館概論 | 2 | A | 春学期 | 田辺 智子 | 春学期 | 火 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | | | B | 秋学期 | 田辺 智子 | 秋学期 | 火 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| 生涯スポーツ・レクリエーション論 | 2 | | 春学期 | 小川 かをり | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 博物館概論 | 2 | A | 春学期 | 齋藤 慎一 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | B | 秋学期 | 齋藤 慎一 | 秋学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | |

教育学専攻教育学専修・専門選択科目（副選択）

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 | |
|------------|--|----|------|-------|---------|----------|--------|-----|----------|----------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | | |
| 2~4 | 臨床心理学特論I(精神疾患とその治療) | 4 | | 通年 | 堀 正士 | 通年 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 臨床心理学特論II(健康・医療心理学) | 4 | | 通年 | 宇佐見 和哉 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | | | 宇佐美 尋子 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | | | 笹原 信一朗 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | | | 吉野 聡 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 臨床心理学特論III(司法・犯罪心理学) | 4 | | | 【休講】 | | | | | | |
| | 社会心理学特論I(産業・組織心理学) | 4 | | | 【休講】 | | | | | | |
| | 社会心理学特論II | 4 | | | 通年 | 吉川 肇子 | 通年 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 発達心理学特論I | 4 | | | 通年 | 風間 みどり | 通年 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 実験心理学特論I(学習・言語心理学) | 4 | | | 通年 | 飯田 成敏 | 通年 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 教授・学習心理学 | 4 | | | 【休講】 | | | | | | |
| | 家族理解と福祉工学 | 2 | | | 秋クォーター | 本田 恵子 他 | 秋クォーター | 土 | 3時限~5時限 | 1310 | 1840 |
| | 政治学I ※1 | 2 | | A | 春学期 | 土屋 彰久 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | |
| | | | | B | 秋学期 | 土屋 彰久 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | |
| | 政治学II ※1 | 2 | | A | 春学期 | 面 一也 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | B | 秋学期 | 面 一也 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 法律学 ※1 | 2 | | A | 春学期 | 北山 雅昭 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| B | | | | 秋学期 | 北山 雅昭 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 経済学I ※1 | 2 | | A | 春学期 | 八木 尚志 | 春学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | | B | 秋学期 | 八木 尚志 | 秋学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 経済学II ※1 | 2 | | A | 春学期 | 八木 尚志 | 春学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 | |
| | | | B | 秋学期 | 八木 尚志 | 秋学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 | |
| 社会学(教職) ※1 | 2 | | A | 春学期 | 鈴木 健之 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | | B | 秋学期 | 鈴木 無二 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 3~4 | インクルーシブ教育における学級経営(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) | 2 | | 夏季集中 | 河村 茂雄 他 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| | 脳科学を活かしたインクルーシブ教育 | 2 | | 秋学期 | 荒川 信行 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | | | 藤井 ひとみ | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 私学における特別支援教育 | 2 | | | 冬季集中 | 一ノ瀬 秀司 他 | 冬季集中 | 無 | その他 | | |
| 指導者養成講座II | 2 | | 夏季集中 | 鈴木 眞理 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | | |
| | | | | 本田 恵子 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | | |
| 4 | 特別支援学校実習 | 3 | | 通年 | 坂爪 一幸 | 通年 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |

※1 これらの科目は教職用教科に関する科目です。教員免許取得を目指す方のみ履修するようにしてください。

※2 集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

授業時間割
【教育学科教育学専攻生涯教育学専修】

1. 廃止・新設の専門教育科目（旧科目を履修済の方は、新科目を履修できません）

| (新) 科目 | ← (旧) 科目 | 変更年度 |
|-------------|------------------|--------|
| — | 社会教育方法論 ※ | 2023年度 |
| — | 特別支援教育におけるIT実践演習 | 2022年度 |
| 社会教育課題研究Ⅲ-1 | — | 2021年度 |
| 社会教育課題研究Ⅲ-2 | — | |
| — | 社会教育研究 ※ | |
| — | 社会教育行財政Ⅰ | 2020年度 |
| 生涯学習基礎演習 | 社会教育実習Ⅰ | |
| — | 社会教育実習Ⅱ | |
| 現代社会と行政 | 行政学Ⅰ | |
| 行政活動と行政改革 | 行政学Ⅱ | |
| 生涯学習支援論Ⅰ | — | |
| 生涯学習支援論Ⅱ | — | |
| 社会教育経営論Ⅰ | — | |
| 社会教育経営論Ⅱ | — | |
| 社会教育施設実習 | — | |
| 日本史Ⅰ | — | 2019年度 |
| 日本史Ⅱ | — | |
| 外国史Ⅰ | — | |
| 外国史Ⅱ | — | |
| 外国史Ⅲ | — | |
| 地理Ⅰ | — | |
| 地理Ⅱ | — | |
| 地理Ⅲ | — | |
| 地誌Ⅰ | — | |
| 地誌Ⅱ | — | |
| 教育学概論Ⅰ B | 教育学概論 B | 2017年度 |
| 教育の制度と経営 | — | |
| 社会教育演習Ⅰ-1 | 社会教育演習Ⅰ | |
| 社会教育演習Ⅰ-2 | — | |
| 社会教育演習Ⅱ-1 | 社会教育演習Ⅱ | |
| 社会教育演習Ⅱ-2 | — | |
| 社会教育行財政Ⅰ | 社会教育行財政 | |
| 社会教育行財政Ⅱ | — | |
| 社会教育課題研究Ⅰ-1 | 社会教育課題研究Ⅰ | 2016年度 |
| 社会教育課題研究Ⅰ-2 | — | |
| 社会教育課題研究Ⅱ-1 | 社会教育課題研究Ⅱ | |
| 社会教育課題研究Ⅱ-2 | — | |
| 教育心理学概説Ⅰ | 教育心理学概説 | |
| 教育心理学概説Ⅱ | — | |

※「日本史Ⅰ」～「地誌Ⅱ」は教科に関する科目です。教員免許取得を目指す方のみ履修してください。

※2019年度以前入学者の専門必修科目のため、単位未修得の場合は代替科目を科目登録し、教育学部事務所で手続きを行ってください。詳細は卒業要件のページをご確認ください。

2. 科目区分が変更された専門教育科目

| 科目名 | (新) 区分 | ← (旧) 区分 | 変更年度 |
|-----------|--------|----------|--------|
| 社会教育方法論 ※ | 専門選択 | 専門必修（3年） | 2022年度 |

※2019年度以前入学者の3年必修から専門選択への区分変更に伴い、配当年次も3年次から1年次以上と変更になります。

3. 科目名が変更になった専門教育科目（旧科目を履修済の方は、新科目を履修できません）

| (新) 科目 | ← (旧) 科目 | 変更年度 |
|---------------------|----------|--------|
| 発達障害者教育(障害者・障害児心理学) | 発達障害者教育 | 2021年度 |
| 教育の制度と経営 | 教育学概論Ⅱ | 2019年度 |
| 道徳教育の理論と実践 | 道徳教育研究 | |

4. 時間割の変更情報について

担当教員の都合等で時間割が変更される場合があります。
科目登録申請の際には、教育学部ホームページに掲載される「正誤表」を併せて確認してください。

<https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/>
(早稲田大学教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>授業ガイド)

教育学専攻生涯教育学専修・専門必修科目

2020年度以降入学者

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 |
|----------|-------------|----|-----|--------|--------|------|-----|------|----------|----------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1 | 教育学概論I | 2 | B | 秋学期 | 米村 健司 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育の制度と経営 | 2 | B | 春学期 | 濱中 淳子 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 生涯学習基礎演習 | 2 | A | 春学期 | 田辺 智子 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | B | 春学期 | 藤本 啓寛 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | C | 春学期 | 坂内 夏子 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 生涯学習概論I | 2 | B | 春学期 | 前田 耕司 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 生涯学習概論II | 2 | B | 秋学期 | 岩崎 久美子 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 2 | 教育社会学 | 2 | B | 春学期 | 吉田 文 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 博物館情報・メディア論 | 2 | F | 春学期 | 矢口 徹也 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | G | 春学期 | 川原 健太郎 | 春学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 社会教育史I | 2 | | 春学期 | 小林 敦子 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 社会教育史II | 2 | | 秋学期 | 小林 敦子 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 生涯教育研究 | 2 | | 春学期 | 濱中 淳子 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 3 | 教育調査I | 2 | A | 春学期 | 藤本 啓寛 | 春学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 春学期 | 武藤 浩子 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育調査II | 2 | A | 秋学期 | 藤本 啓寛 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 沈 雨香 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 社会教育演習I-1 | 2 | A | 春学期 | 米村 健司 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 春学期 | 田辺 智子 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | C | 春学期 | 前田 耕司 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | D | 春学期 | 小林 敦子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | E | 春学期 | 濱中 淳子 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | F | 春学期 | 矢口 徹也 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | G | 春学期 | 坂内 夏子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | H | 春学期 | 吉田 文 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 社会教育演習I-2 | 2 | A | 秋学期 | 米村 健司 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 秋学期 | 田辺 智子 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | C | 秋学期 | 前田 耕司 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| D | | | 秋学期 | 小林 敦子 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| E | | | 秋学期 | 濱中 淳子 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| F | | | 秋学期 | 矢口 徹也 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| G | | | 秋学期 | 坂内 夏子 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| H | | | 秋学期 | 吉田 文 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 4 | 社会教育演習II-1 | 2 | A | 春学期 | 米村 健司 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 春学期 | 田辺 智子 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | C | 春学期 | 前田 耕司 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | D | 春学期 | 小林 敦子 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | E | 春学期 | 濱中 淳子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | F | 春学期 | 矢口 徹也 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | G | 春学期 | 坂内 夏子 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | H | 春学期 | 吉田 文 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 社会教育演習II-2 | 2 | A | 秋学期 | 米村 健司 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 秋学期 | 田辺 智子 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | C | 秋学期 | 前田 耕司 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | D | 秋学期 | 小林 敦子 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | E | 秋学期 | 濱中 淳子 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | F | 秋学期 | 矢口 徹也 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 卒業論文 | 8 | | 通年 | | 通年 | 無 | その他 | | | |

教育学専攻生涯教育学専修・専門必修科目

2019年度以前入学者

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 | |
|------------|-------------|------------|-----------------------------|--------|--------|-------|-----|------|----------|----------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | | |
| 1 | 教育学概論I | 2 | B | 秋学期 | 米村 健司 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 教育の制度と経営 | 2 | B | 春学期 | 濱中 淳子 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 生涯学習基礎演習 | 2 | A | 春学期 | 田辺 智子 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | B | 春学期 | 藤本 啓寛 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | C | 春学期 | 坂内 夏子 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 生涯学習概論I | 2 | B | 春学期 | 前田 耕司 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| 生涯学習概論II | 2 | B | 秋学期 | 岩崎 久美子 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 2 | 教育社会学 | 2 | B | 春学期 | 吉田 文 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 博物館情報・メディア論 | 2 | F | 春学期 | 矢口 徹也 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | G | 春学期 | 川原 健太郎 | 春学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | | ※廃止。単位未修得の場合は代替科目を履修してください。 | | | | | | | | |
| | 社会教育研究 | 2 | ※廃止。単位未修得の場合は代替科目を履修してください。 | | | | | | | | |
| 社会教育史I | 2 | | 春学期 | 小林 敦子 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | | |
| 社会教育史II | 2 | | 秋学期 | 小林 敦子 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 3 | 生涯教育研究 | 2 | | 春学期 | 濱中 淳子 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 社会教育方法論 | 2 | ※廃止。単位未修得の場合は代替科目を履修してください。 | | | | | | | | |
| | 教育調査I | 2 | A | 春学期 | 藤本 啓寛 | 春学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | | B | 春学期 | 武藤 浩子 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 教育調査II | 2 | A | 秋学期 | 藤本 啓寛 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | | B | 秋学期 | 沈 雨香 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 社会教育演習I-1 | 2 | A | 春学期 | 米村 健司 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | B | 春学期 | 田辺 智子 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | C | 春学期 | 前田 耕司 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | D | 春学期 | 小林 敦子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | E | 春学期 | 濱中 淳子 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | F | 春学期 | 矢口 徹也 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | G | 春学期 | 坂内 夏子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | H | 春学期 | 吉田 文 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 社会教育演習I-2 | 2 | A | 秋学期 | 米村 健司 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | B | 秋学期 | 田辺 智子 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | C | 秋学期 | 前田 耕司 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | D | 秋学期 | 小林 敦子 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | E | 秋学期 | 濱中 淳子 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | F | 秋学期 | 矢口 徹也 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | G | 秋学期 | 坂内 夏子 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | H | 秋学期 | 吉田 文 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 4 | 社会教育演習II-1 | 2 | A | 春学期 | 米村 健司 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| B | | | | 春学期 | 田辺 智子 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| C | | | | 春学期 | 前田 耕司 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| D | | | | 春学期 | 小林 敦子 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| E | | | | 春学期 | 濱中 淳子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| F | | | | 春学期 | 矢口 徹也 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| G | | | | 春学期 | 坂内 夏子 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| H | | | | 春学期 | 吉田 文 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 社会教育演習II-2 | | 2 | A | 秋学期 | 米村 健司 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | B | 秋学期 | 田辺 智子 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | | C | 秋学期 | 前田 耕司 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | D | 秋学期 | 小林 敦子 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | E | 秋学期 | 濱中 淳子 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | F | 秋学期 | 矢口 徹也 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | | G | 秋学期 | 坂内 夏子 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 卒業論文 | 8 | A | 通年 | 米村 健司 | 通年 | 無 | その他 | | | | |

時間割(専門)

教育学専攻生涯教育学専修・専門選択科目

2020年度以降入学者
2019年度以前入学者

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始時間 | 終了時間 |
|------------------|----------------------------|----|-----|--------|---------|--------|-----|----------|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1~4 | 生涯学習支援論I | 2 | | 春学期 | 松山 鮎子 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 生涯学習支援論II | 2 | | 秋学期 | 松山 鮎子 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 社会教育経営論I | 2 | A | 春学期 | 高井 正 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 春学期 | 高井 正 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 社会教育経営論II | 2 | A | 秋学期 | 梶野 光信 | 秋学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 秋学期 | 若園 雄志郎 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 道德教育の理論と実践 | 2 | | 春学期 | 佐藤 隆之 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 学校開放論 | 2 | | 秋学期 | 呉 世連 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 高齢者教育論 | 2 | | 秋学期 | 堀 薫夫 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | |
| | 女性史 | 2 | | 秋学期 | 天童 睦子 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 多文化教育論 | 2 | | 秋学期 | 前田 耕司 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 成人教育論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 青少年教育論 | 2 | | 秋学期 | 矢口 徹也 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育福祉論 | 2 | | 春学期 | 小林 繁 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 環境教育論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 家庭教育論 | 2 | | 春学期 | 加藤 美帆 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 女性教育論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 社会福祉論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 児童福祉論 | 2 | | 秋学期 | 新藤 こずえ | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | NPO・NGO論とボランティア | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 企業内教育 | 2 | | 春学期 | 小窪 久文 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 経営教育論 | 2 | | 秋学期 | 竹澤 史江 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 消費者教育 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 子ども論 | 2 | | 秋学期 | 天童 睦子 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 障害者教育原論(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 梅永 雄二 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 坂爪 一幸 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 肢体不自由者の心理・生理・病理I | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 肢体不自由者の心理・生理・病理II | 2 | | 秋学期 | 川間 健之介 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 病弱者の心理・生理・病理 | 2 | | 春学期 | 川間 健之介 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 発達障害者教育(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 本田 恵子 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 肢体不自由者教育 | 2 | | 夏季集中 | 川間 健之介 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 病弱者教育 | 2 | | 夏季集中 | 土屋 忠之 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 知的障害教育論I | 2 | | 春学期 | 梅永 雄二 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 知的障害教育論II | 2 | | 秋学期 | 梅永 雄二 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 重複障害・LD等教育総論 | 2 | | 秋学期 | 齊藤 宇開 | 秋学期 | 火 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | 特別支援教育総論I | 2 | | 秋学期 | 梅永 雄二 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 特別支援教育総論II | 1 | | 夏季集中 | 福田 奏子 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 特別支援教育総論III | 1 | | 夏季集中 | 長南 浩人 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 教育リテラシー | 2 | | 秋学期 | 池 俊介 他 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 指導者養成講座I(心理学的支援法) | 2 | | 夏クォーター | 本田 恵子 他 | 夏クォーター | 土 | 3時限~5時限 | 1310 | 1840 |
| | 倫理学概論 | 4 | | 通年 | 平野 明彦 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 小林 亜津子 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 哲学研究 | 4 | | 通年 | 伊藤 功 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 平野 明彦 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 社会教育課題研究I-1 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 社会教育課題研究I-2 | 2 | | 秋学期 | 濱中 淳子 | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 社会教育課題研究II-1 | 2 | | 春学期 | 米村 健司 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 社会教育課題研究II-2 | 2 | | 秋学期 | 米村 健司 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 社会教育課題研究III-1 | 2 | | 春学期 | 蘇 佩怡 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 社会教育課題研究III-2 | 2 | | 春学期 | 前田 崇 | 春学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| 科学思想I | 2 | | 春学期 | 溝口 元 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 科学思想II | 2 | | 秋学期 | 柿原 泰 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 文化人類学研究I | 2 | | 春学期 | 吉村 郊子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 文化人類学研究II | 2 | | 秋学期 | 吉村 郊子 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 生涯スポーツ・レクリエーション論 | 2 | | 春学期 | 小川 かをり | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 博物館概論 | 2 | A | 春学期 | 齋藤 慎一 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | B | 秋学期 | 齋藤 慎一 | 秋学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 宗教研究I | 2 | A | 秋学期 | 鈴木 昇司 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | B | 秋学期 | 鈴木 昇司 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 宗教研究II | 2 | A | 春学期 | 阿部 善彦 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | B | 秋学期 | 阿部 善彦 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 図書館概論 | 2 | A | 春学期 | 田辺 智子 | 春学期 | 火 | 6時限 | 1855 | 2035 | |
| | | B | 秋学期 | 田辺 智子 | 秋学期 | 火 | 6時限 | 1855 | 2035 | |

時間割(専門)

| | | | | | | | | | | |
|----------|--|---|------|--------|----------|--------|-----|---------|------|------|
| 2~4 | 現代社会と行政 | 2 | | 春学期 | 久邇 良子 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 行政活動と行政改革 | 2 | | 秋学期 | 久邇 良子 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育心理学概説I | 2 | | 春学期 | 中本 敬子 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育心理学概説II | 2 | | 秋学期 | 河村 茂雄 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育思想研究1 | 2 | | 春学期 | 藤井 千春 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育思想研究2 | 2 | | 秋学期 | 鶴海 未祐子 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 教育哲学研究2 | 2 | | 春学期 | 池田 全之 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 臨床心理学特論I(精神疾患とその治療) | 4 | | 通年 | 堀 正士 | 通年 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 臨床心理学特論II(健康・医療心理学) | 4 | | 通年 | 宇佐見 和哉 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 宇佐美 尋子 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 笹原 信一郎 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 吉野 聡 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 臨床心理学特論III(司法・犯罪心理学) | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 社会心理学特論II | 4 | | 通年 | 吉川 肇子 | 通年 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 実験心理学特論I(学習・言語心理学) | 4 | | 通年 | 飯田 成敏 | 通年 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 家族理解と福祉工学 | 2 | | 秋クォーター | 本田 恵子 他 | 秋クォーター | 土 | 3時限~5時限 | 1310 | 1840 |
| | 日本史I ※1 | 2 | A | 春学期 | 亀谷 弘明 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 秋学期 | 清水 詩織 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 日本史II ※1 | 2 | A | 春学期 | 今井 修 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 今井 修 | 秋学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 外国史I ※1 | 2 | A | 春学期 | 堀越 宏一 | 春学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 堀越 宏一 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 外国史II ※1 | 2 | A | 春学期 | 峰雪 幸人 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 秋学期 | 峰雪 幸人 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 外国史III ※1 | 2 | A | 春学期 | 石川 寛 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 石川 寛 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| 地理I ※1 | 2 | A | 春学期 | 久保 純子 | 春学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | B | 秋学期 | 宋 苑瑞 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 地理II ※1 | 2 | A | 春学期 | 加賀美 雅弘 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | B | 秋学期 | 加賀美 雅弘 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 地理III ※1 | 2 | A | 春学期 | 市川 康夫 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | B | 秋学期 | 市川 康夫 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 地誌I ※1 | 2 | A | 春学期 | 川元 豊和 | 春学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 | |
| | | B | 秋学期 | 川元 豊和 | 秋学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 | |
| 地誌II ※1 | 2 | A | 春学期 | 池田 真利子 | 春学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | B | 秋学期 | 池田 真利子 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 3~4 | 教育学研究 | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | インクルーシブ教育における学級経営(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) | 2 | | 夏季集中 | 河村 茂雄 他 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 脳科学を活かしたインクルーシブ教育 | 2 | | 秋学期 | 荒川 信行 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | 秋学期 | 藤井 ひとみ | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 私学における特別支援教育 | 2 | | 冬季集中 | 一ノ瀬 秀司 他 | 冬季集中 | 無 | その他 | | |
| | 指導者養成講座II | 2 | | 夏季集中 | 鈴木 真理 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | | | 夏季集中 | 本田 恵子 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| 社会教育施設実習 | 1 | | 秋学期 | 田辺 智子 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 4 | 特別支援学校実習 | 3 | | 通年 | 矢口 徹也 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | 通年 | 坂爪 一幸 | 通年 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 |

※1 これらの科目は教職用教科に関する科目です。教員免許取得を目指す方のみ履修するようにしてください。

※2 集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

授業時間割
【教育学科教育学専攻教育心理学専修】

1. 廃止・新設の専門教育科目（旧科目を履修済の方は、新科目を履修できません）

| (新) 科目名 | ← (旧) 科目名 | 変更年度 |
|---------------|------------------|--------|
| — | 特別支援教育におけるIT実践演習 | 2022年度 |
| 政治学Ⅰ ※ | — | 2019年度 |
| 政治学Ⅱ ※ | — | |
| 法律学 ※ | — | |
| 社会学（教職）※ | — | |
| 経済学Ⅰ ※ | — | |
| 経済学Ⅱ ※ | — | |
| — | 教育心理学実験演習Ⅰ | 2018年度 |
| — | 教育心理学実験演習Ⅱ | |
| — | 発達心理学特論Ⅱ | |
| 心理学実験演習Ⅰ | — | |
| 心理学実験演習Ⅱ | — | |
| 公認心理師の職責 | — | |
| 福祉心理学 | — | |
| 公認心理師関係行政論 | — | |
| 公認心理師心理実習 | — | |
| 公認心理師心理演習 | — | |
| 人体の構造と機能および疾病 | — | 2017年度 |
| 教育学概論Ⅰ A | 教育学概論 A | |
| 教育学概論Ⅱ A | | |

※これらは教科に関する科目です。教員免許取得を目指す方のみ履修してください。

2. 科目名が変更になった専門選択科目（旧科目を履修済みの方は、新科目を履修できません。）

| (新) 科目名 | ← (旧) 科目名 | 変更年度 |
|----------------------------|-----------------------------|--------|
| 発達障害者教育（障害者・障害児心理学） | 発達障害者教育 | 2021年度 |
| 教育相談及び生徒・進路指導論（教育・学校心理学） | 教育・学校心理学 | 2019年度 |
| 教育制度概論 | 教育学概論Ⅱ | |
| 心理学研究法Ⅰ（心理学統計法） | 教育心理学研究法Ⅰ（統計法） | 2018年度 |
| 心理学概論Ⅱ（感情・人格心理学） | 心理学概論Ⅱ | |
| 社会心理学概論（社会・集団・家族心理学） | 社会心理学概論 | |
| 心理学研究法Ⅲ（調査法・観察法） | 教育心理学研究法Ⅲ（調査法） | |
| 心理学研究法Ⅳ（心理的アセスメント） | 教育心理学研究法Ⅳ（検査法） | |
| 認知心理学概論（知覚・認知心理学） | 認知心理学概論 | |
| 臨床心理学特論Ⅰ（精神疾患とその治療） | 臨床心理学特論Ⅰ | |
| 臨床心理学特論Ⅱ（健康・医療心理学） | 臨床心理学特論Ⅱ | |
| 臨床心理学特論Ⅲ（司法・犯罪心理学） | 臨床心理学特論Ⅲ | |
| 社会心理学特論Ⅰ（産業・組織心理学） | 社会心理学特論Ⅰ | |
| 実験心理学特論Ⅰ（学習・言語心理学） | 実験心理学特論Ⅰ（学習） | |
| 実験心理学特論Ⅱ（神経・生理心理学） | 実験心理学特論Ⅱ（脳神経・生理） | |
| 実験心理学特論Ⅲ（知覚）（知覚・認知心理学） | 実験心理学特論Ⅲ（知覚） | |
| 教授・学習心理学 | 教授心理学 | |
| 心理学研究法Ⅴ（測定法） | 教育心理学研究法Ⅴ（測定法） | |
| 心理学研究法Ⅵ（情報処理） | 教育心理学研究法Ⅵ（情報処理） | |
| 教育・学校心理学※ | 学校心理学（教育相談・生徒指導・進路指導の理論と方法） | |
| 障害者教育原論（障害者・障害児心理学） | 障害者教育原論 | |
| 発達障害者の心理・生理・病理（障害者・障害児心理学） | 発達障害者の心理・生理・病理 | |
| 指導者養成講座Ⅰ（心理学的支援法） | 指導者養成講座Ⅰ | |

※：2010年度以前入学者は専門選択科目（主選択）

3. 時間割の変更情報について

担当教員の都合等で時間割が変更される場合があります。

科目登録申請の際には、教育学部ホームページに掲載される「正誤表」を併せて確認してください。

<https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/>
（早稲田大学教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞授業ガイド）

教育学専攻教育心理学専修・専門必修科目

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 |
|----|--------------------------|----|----|--------|-------|------|---------|------|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 |
| 1 | 心理学概論I | 4 | | 通年 | 坂爪 一幸 | 通年 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 心理学概論II(感情・人格心理学) | 4 | | 通年 | 加藤 篤士 | 通年 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 心理学研究法I(心理学統計法) | 4 | | 通年 | 椎名 乾平 | 通年 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 発達心理学概論 | 4 | | 通年 | 阪脇 孝子 | 通年 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 臨床心理学概論 | 4 | | 通年 | 堀 正士 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 2 | 社会心理学概論(社会・集団・家族心理学) | 4 | | 通年 | 安達 智子 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 認知心理学概論(知覚・認知心理学) | 4 | | 通年 | 中村 國則 | 通年 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育心理学概論 | 4 | | 通年 | 山本 琢俣 | 通年 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 教育相談及び生徒・進路指導論(教育・学校心理学) | 4 | | 通年 | 本田 恵子 | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 心理学実験演習I | 2 | 通年 | 上田 卓司 | 通年 | 木 | 5時限～6時限 | 1700 | 2035 | |
| | | | | 大津 嘉代子 | 通年 | 木 | 5時限～6時限 | 1700 | 2035 | |
| | | | | 椎名 乾平 | 通年 | 木 | 5時限～6時限 | 1700 | 2035 | |
| | | | | 高木 幸子 | 通年 | 木 | 5時限～6時限 | 1700 | 2035 | |
| | | | | 東垣内 徹生 | 通年 | 木 | 5時限～6時限 | 1700 | 2035 | |
| | | | | 中村 國則 | 通年 | 木 | 5時限～6時限 | 1700 | 2035 | |

教育学専攻教育心理学専修・専門選択科目(主選択)

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 |
|------------|--------------------------|-------|------|--------|--------|------|------|---------|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 |
| 1～4 | 心理学史 | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 福祉心理学 | 2 | | 春学期 | 梅永 雄二 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 2～4 | 心理学研究法II(実験法) | 4 | | 通年 | 鶴沼 秀行 | 通年 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 心理学研究法III(調査法・観察法) | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 心理学研究法IV(心理的アセスメント) | 4 | | 通年 | 近藤 育代 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 心理学研究法V(測定法) | 4 | | 通年 | 荘島 宏二郎 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 心理学研究法VI(情報処理) | 4 | | 通年 | 上田 卓司 | 通年 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 臨床心理学特論I(精神疾患とその治療) | 4 | | 通年 | 堀 正士 | 通年 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 臨床心理学特論II(健康・医療心理学) | 4 | 通年 | 宇佐見 和哉 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | | 宇佐美 尋子 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | | 笹原 信一郎 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | | 吉野 聡 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 臨床心理学特論III(司法・犯罪心理学) | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 社会心理学特論I(産業・組織心理学) | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 社会心理学特論II | 4 | | 通年 | 吉川 肇子 | 通年 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 実験心理学特論I(学習・言語心理学) | 4 | | 通年 | 飯田 成敏 | 通年 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 実験心理学特論II(神経・生理心理学) | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 実験心理学特論III(知覚)(知覚・認知心理学) | 4 | | 通年 | 鶴沼 秀行 | 通年 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 発達心理学特論I | 4 | | 通年 | 風間 みどり | 通年 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 発達心理学特論III | 4 | | 通年 | 伊藤 朋子 | 通年 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 教授・学習心理学 | 4 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 3～4 | 心理学実験演習II | 2 | A | 通年 | 椎名 乾平 | 春学期 | 金 | 5時限～6時限 | 1700 | 2035 |
| | | | B | 通年 | 飯田 成敏 | 通年 | 木 | 1時限～2時限 | 0850 | 1220 |
| | | | C | 通年 | 安達 智子 | 通年 | 水 | 3時限～4時限 | 1310 | 1645 |
| | 教育心理学演習I | 4 | A | 通年 | 上淵 寿 | 通年 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 通年 | 坂爪 一幸 | 通年 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | C | 通年 | 梅永 雄二 | 通年 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | D | 通年 | 椎名 乾平 | 通年 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | E | 通年 | 本田 恵子 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| F | 通年 | 堀 正士 | 通年 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | | | |
| G | 通年 | 安達 智子 | 通年 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| 4 | 教育心理学演習II | 4 | A | 通年 | 上淵 寿 | 通年 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 通年 | 坂爪 一幸 | 通年 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | C | 通年 | 梅永 雄二 | 通年 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | D | 通年 | 椎名 乾平 | 通年 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | E | 通年 | 本田 恵子 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | F | 通年 | 堀 正士 | 通年 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | G | 通年 | 安達 智子 | 通年 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 卒業論文 | 8 | | 通年 | | 通年 | 無 | その他 | | | |

時間割(専門)

教育学専攻教育心理学専修・専門選択科目（副選択）

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始時間 | 終了時間 |
|--------------|--|----|--------|-----------|----------|--------|----------|---------|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1~4 | 教育学概論I | 2 | A | 春学期 | 藤井 千春 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育制度概論 | 2 | | 秋学期 | 鴨川 明子 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 障害者教育原論(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 梅永 雄二 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 坂爪 一幸 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 肢体不自由者の心理・生理・病理I | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 肢体不自由者の心理・生理・病理II | 2 | | 秋学期 | 川間 健之介 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 病弱者の心理・生理・病理 | 2 | | 春学期 | 川間 健之介 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 発達障害者教育(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 本田 恵子 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 公認心理師の職責 | 2 | | 春学期 | 本田 恵子 他 | 春学期 | 火 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | 肢体不自由者教育 | 2 | | 夏季集中 | 川間 健之介 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 病弱者教育 | 2 | | 夏季集中 | 土屋 忠之 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 知的障害教育論I | 2 | | 春学期 | 梅永 雄二 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 知的障害教育論II | 2 | | 秋学期 | 梅永 雄二 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 重複障害・LD等教育総論 | 2 | | 秋学期 | 齊藤 宇開 | 秋学期 | 火 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | 特別支援教育総論I | 2 | | 秋学期 | 梅永 雄二 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 特別支援教育総論II | 1 | | 夏季集中 | 福田 奏子 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 特別支援教育総論III | 1 | | 夏季集中 | 長南 浩人 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 教育リテラシー | 2 | | 秋学期 | 池 俊介 他 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 指導者養成講座I(心理学的支援法) | 2 | | 夏クォーター | 本田 恵子 他 | 夏クォーター | 土 | 3時限~5時限 | 1310 | 1840 |
| | 倫理学概論 | 4 | | 通年 | 平野 明彦 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 小林 亜津子 | | | | | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 哲学研究 | | 4 | | 通年 | 伊藤 功 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 平野 明彦 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 古典語(ギリシャ) | | 4 | | 通年 | 兼利 琢也 | 通年 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 古典語(ラテン) | | 4 | | 通年 | 兼利 琢也 | 通年 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 宗教研究I | | 2 | A | 秋学期 | 鈴木 昇司 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | B | 秋学期 | 鈴木 昇司 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 宗教研究II | | 2 | A | 春学期 | 阿部 善彦 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | B | 秋学期 | 阿部 善彦 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 公認心理師関係行政論 | 2 | | 冬クォーター | 五十嵐 実保子 他 | 冬クォーター | 土 | 3時限~5時限 | 1310 | 1840 | |
| 人体の構造と機能及び疾病 | 2 | | 秋クォーター | 岩崎 信明 他 | 秋クォーター | 土 | 3時限~5時限 | 1310 | 1840 | |
| 教育哲学研究2 | 2 | | 春学期 | 池田 全之 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 家族理解と福祉工学 | 2 | | 秋クォーター | 本田 恵子 他 | 秋クォーター | 土 | 3時限~5時限 | 1310 | 1840 | |
| 政治学I | 2 | A | 春学期 | 土屋 彰久 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | |
| | | B | 秋学期 | 土屋 彰久 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | |
| 政治学II | 2 | A | 春学期 | 面 一也 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | B | 秋学期 | 面 一也 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 法律学 | 2 | A | 春学期 | 北山 雅昭 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | B | 秋学期 | 北山 雅昭 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 経済学I | 2 | A | 春学期 | 八木 尚志 | 春学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | B | 秋学期 | 八木 尚志 | 秋学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 経済学II | 2 | A | 春学期 | 八木 尚志 | 春学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 | |
| | | B | 秋学期 | 八木 尚志 | 秋学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 | |
| 社会学(教職) | 2 | A | 春学期 | 鈴木 健之 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | B | 秋学期 | 鈴木 無二 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 3~4 | 公認心理師心理実習 | 4 | | 通年 | 梅永 雄二 他 | 通年 | 無 | その他 | | |
| | インクルーシブ教育における学級経営(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) | 2 | | 夏季集中 | 河村 茂雄 他 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | | | | | 荒川 信行 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 脳科学を活かしたインクルーシブ教育 | 2 | | 秋学期 | 藤井 ひとみ | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 私学における特別支援教育 | 2 | | 冬季集中 | 一ノ瀬 秀司 他 | 冬季集中 | 無 | その他 | | |
| 指導者養成講座II | 2 | | 夏季集中 | 鈴木 眞理 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| | | | | 本田 恵子 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| 4 | 特別支援学校実習 | 3 | | 通年 | 坂爪 一幸 | 通年 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 |

※ 集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

時間割(専門)

授業時間割
【教育学科初等教育学専攻】

1. 廃止・新設となった専門科目

| (新) 科目名 | ← (旧) 科目名 | 変更年度 |
|----------------|------------------|--------|
| 教育におけるICT活用(小) | — | 2023年度 |
| — | 特別支援教育におけるIT実践演習 | 2022年度 |
| 初等英語科教育法 | — | 2019年度 |
| 初等教科専門英語 | — | |
| 総合的な学習研究原論 | — | |
| 特別支援教育原論 | — | |
| 心理学統計法 | — | |
| 心理学実験演習 | — | |
| — | 初等英語教育 | 2016年度 |
| 教育哲学研究1 | — | |
| 初等教育学概論Ⅰ | 初等教育学概論 | |
| 初等教育学概論Ⅱ | | |
| — | 初等自然科学教育教材実習 | |
| — | 初等音楽基礎実技 | |
| — | 初等体育基礎実技 | |

2. 科目名が変更になっている専門科目 (旧科目を履修済の方は、新科目を履修できません。)

| (新) 科目名 | ← (旧) 科目名 | 変更年度 |
|----------------------------|-----------------------------|--------|
| 発達障害者教育(障害者・障害児心理学) | 発達障害者教育 | 2021年度 |
| 教育の制度と経営(小) | 初等教育学概論Ⅱ | 2019年度 |
| 教育相談及び生徒・進路指導論(教育・学校心理学) | 教育・学校心理学 | |
| 教育・学校心理学 | 学校心理学(教育相談・生徒指導・進路指導の理論と方法) | 2018年度 |
| 教授・学習心理学 | 教授心理学 | |
| 発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学) | 発達障害者の心理・生理・病理 | |
| 臨床心理学特論Ⅰ(精神疾患とその治療) | 臨床心理学特論Ⅰ | |
| 臨床心理学特論Ⅲ(司法・犯罪心理学) | 臨床心理学特論Ⅲ | |

3. 配当年次が変更となっている専門科目

| 科目名 | (新) 配当年次 | (旧) 配当年次 | 変更年度 |
|----------------------------|----------|----------|--------|
| 特別支援教育原論 | 1～4 | 3～4 | 2020年度 |
| 総合的な学習研究原論 | | | |
| 発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学) | 1～4 | 2～4 | 2019年度 |
| 肢体不自由者の心理・生理・病理Ⅰ | | | |
| 肢体不自由者の心理・生理・病理Ⅱ | | | |
| 病弱者の心理・生理・病理 | | | |
| 発達障害者教育 | | | |
| 肢体不自由者教育 | | | |
| 病弱者教育 | | | |
| 知的障害教育論Ⅰ | | | |
| 知的障害教育論Ⅱ | | | |
| 重複障害・LD等教育総論 | | | |
| 特別支援教育総論Ⅰ | 1～4 | 3～4 | |
| 特別支援教育総論Ⅱ | | | |
| 特別支援教育総論Ⅲ | | | |

4. 時間割の変更情報について

担当教員の都合等で時間割が変更される場合があります。
科目登録申請の際には、教育学部ホームページに掲載される「正誤表」を併せて確認してください。

<https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/>
(早稲田大学教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>授業ガイド)

初等教育学専攻・専門必修科目

2022年度以降入学者

| 年次 | 科 目 | 単 位 | 組 名 | 学 期 | 担当教員 | | 曜日 | 時 限 | 開始 時間 | 終了 時間 |
|----|---------------------|-----|-----|------|---------|------|----|-----|----------|----------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1 | 教職原論 | 2 | | 春学期 | 佐藤 寛之 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 子ども理解と授業 | 2 | | 秋学期 | 小林 宏己 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 道徳教育原論 | 2 | | 春学期 | 佐藤 隆之 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 特別活動原論 | 2 | | 秋学期 | 河村 茂雄 他 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 教育心理学原論 | 2 | | 秋学期 | 河村 茂雄 他 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 生徒指導・進路指導原論 | 2 | | 夏季集中 | 小野寺 正己 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 初等教育学概論I | 2 | | 春学期 | 佐藤 隆之 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育の制度と経営(小) | 2 | | 秋学期 | 佐藤 隆之 他 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 初等教育学基礎演習I | 2 | | 春学期 | 大泉 義一 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 初等教育学基礎演習II | 2 | | 秋学期 | 佐藤 寛之 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 2 | 教育相談原論 | 2 | | 春学期 | 河村 茂雄 他 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 教育方法原論 | 2 | | 秋学期 | 小林 宏己 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 子どもの生活と福祉 | 2 | | 春学期 | 小野寺 正己 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等生活科教育法 | 2 | | 秋学期 | 佐藤 寛之 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 初等社会科教育法 | 2 | | 春学期 | 小林 宏己 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 初等国語科教育法 | 2 | | 秋学期 | 茅野 政徳 | 秋学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 初等算数科教育法 | 2 | | 春学期 | 細水 保宏 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等理科教育法 | 2 | | 春学期 | 佐藤 寛之 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等教育学基礎演習III | 2 | | 春学期 | 大泉 義一 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 初等教育学基礎演習IV | 2 | | 秋学期 | 大泉 義一 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 3 | 教育におけるICT活用(小) | 1 | | 夏季集中 | 齊藤 勝 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 障害者教育原論(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 梅永 雄二 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 初等体育科教育法 | 2 | | 春学期 | 吉村 茜 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 初等音楽科教育法 | 2 | | 秋学期 | 戸谷 登貴子 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等図画工作科教育法 | 2 | | 秋学期 | 大泉 義一 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 初等家庭科教育法 | 2 | | 春学期 | 勝田 映子 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |

※担当教員未定科目は教育学部ホームページ掲載の正誤表で周知します。

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

初等教育学専攻・専門必修科目

2021年度以前入学者

| 年次 | 科 目 | 単 位 | 組 名 | 学 期 | 担当教員 | | 曜日 | 時 限 | 開始 時間 | 終了 時間 |
|----|---------------------|-----|-----|------|---------|------|----|-----|----------|----------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1 | 教職原論 | 2 | | 春学期 | 佐藤 寛之 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 子ども理解と授業 | 2 | | 秋学期 | 小林 宏己 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 道徳教育原論 | 2 | | 春学期 | 佐藤 隆之 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 特別活動原論 | 2 | | 秋学期 | 河村 茂雄 他 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 教育心理学原論 | 2 | | 秋学期 | 河村 茂雄 他 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 生徒指導・進路指導原論 | 2 | | 夏季集中 | 小野寺 正己 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 初等教育学概論I | 2 | | 春学期 | 佐藤 隆之 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育の制度と経営(小) | 2 | | 秋学期 | 佐藤 隆之 他 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 初等教育学基礎演習I | 2 | | 春学期 | 大泉 義一 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 初等教育学基礎演習II | 2 | | 秋学期 | 佐藤 寛之 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 2 | 教育相談原論 | 2 | | 春学期 | 河村 茂雄 他 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 教育方法原論 | 2 | | 秋学期 | 小林 宏己 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 子どもの生活と福祉 | 2 | | 春学期 | 小野寺 正己 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等生活科教育法 | 2 | | 秋学期 | 佐藤 寛之 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 初等社会科教育法 | 2 | | 春学期 | 小林 宏己 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 初等国語科教育法 | 2 | | 秋学期 | 茅野 政徳 | 秋学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 初等算数科教育法 | 2 | | 春学期 | 細水 保宏 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等理科教育法 | 2 | | 春学期 | 佐藤 寛之 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等教育学基礎演習III | 2 | | 春学期 | 大泉 義一 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 初等教育学基礎演習IV | 2 | | 秋学期 | 大泉 義一 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 3 | 障害者教育原論(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 梅永 雄二 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 初等体育科教育法 | 2 | | 春学期 | 吉村 茜 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 初等音楽科教育法 | 2 | | 秋学期 | 戸谷 登貴子 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等図画工作科教育法 | 2 | | 秋学期 | 大泉 義一 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 初等家庭科教育法 | 2 | | 春学期 | 勝田 映子 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |

※担当教員未定科目は教育学部ホームページ掲載の正誤表で周知します。

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

初等教育学専攻・専門選択科目（主選択）

2022年度以降入学者
2021年度以前入学者

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 | |
|------------|-----------------|----|------|-------|-------------|-------|-----|-----|----------|----------|------|
| 1～4 | 初等教科専門社会 | 2 | | 春学期 | 池 俊介 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 初等教科専門算数 | 2 | | 春学期 | 宮川 健 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 初等教科専門理科 | 2 | | 秋学期 | 佐藤 寛之 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 初等教科専門生活 | 2 | | 秋学期 | 藤井 千春 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 初等教科専門音楽 | 2 | | 春学期 | 戸谷 登貴子 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 初等教科専門図画工作 | 2 | | 春学期 | 大泉 義一 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 初等教科専門家庭 | 2 | | 秋学期 | 勝田 映子 | 秋学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 初等教科専門体育 | 2 | | 秋学期 | 吉村 茜 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 特別支援教育原論 | 2 | | 夏季集中 | 伊佐 貢一 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| | | | | | 井芹 まい | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| 河村 昭博 | | | | | 夏季集中 | 無 | その他 | | | | |
| 河村 茂雄 | | | | | 夏季集中 | 無 | その他 | | | | |
| 高橋 幾 | | | | | 夏季集中 | 無 | その他 | | | | |
| 武蔵 由佳 | | | | | 夏季集中 | 無 | その他 | | | | |
| 総合的な学習研究原論 | 2 | | 夏季集中 | 井芹 まい | 夏季集中 | 無 | その他 | | | | |
| | | | | 河村 昭博 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | | |
| | | | | 河村 茂雄 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | | |
| | | | | 齊藤 勝 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | | |
| 2～4 | 初等教科専門国語(書写を含む) | 2 | | 春学期 | 財前 謙 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 初等教科専門英語 | 2 | | 春学期 | 宮川 健郎 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 心理学統計法 | 2 | | 春学期 | オオガ-ボールドウィン | 春学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 3～4 | 初等教育学演習I | 4 | | A | 通年 | 佐藤 隆之 | 通年 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | B | 通年 | 河村 茂雄 | 通年 | 火 | 6時限 | 2045 | 2135 |
| | | | | C | 通年 | 小林 宏己 | 通年 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | | D | 通年 | 佐藤 寛之 | 通年 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | E | 通年 | 大泉 義一 | 通年 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 4 | 初等教育学演習II | 4 | | A | 通年 | 佐藤 隆之 | 通年 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | B | 通年 | 河村 茂雄 | 通年 | 火 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | | | | C | 通年 | 小林 宏己 | 通年 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | | D | 通年 | 佐藤 寛之 | 通年 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | E | 通年 | 大泉 義一 | 通年 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 卒業論文 | 8 | A | 通年 | 佐藤 隆之 | 通年 | 無 | その他 | | | |

※担当教員未定科目は教育学部ホームページ掲載の正誤表で周知します。

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

初等教育学専攻・専門選択科目（主選択） A群 1領域

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 |
|-----|--------------|----|----|-----|--------|------|----|-----|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 |
| 2~4 | 日本教育史II | 2 | | 秋学期 | 三上 敦史 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 西洋教育史II | 2 | | 秋学期 | 藤井 千春 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 教育社会学 | 2 | A | 春学期 | 菊地 栄治 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教材開発論 | 2 | | 春学期 | 小林 宏己 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教師教育論 | 2 | | 秋学期 | 菊地 栄治 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育法研究 | 2 | | 春学期 | 中田 康彦 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | スクールマネジメント研究 | 2 | | 春学期 | 小松 茂久 | 春学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 教育情報学 | 2 | | 秋学期 | 三尾 忠男 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 3~4 | 教育政策・教育計画論 | 2 | | 春学期 | 下岡 有希子 | 春学期 | 土 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育行政学 | 2 | | 春学期 | 小松 茂久 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 比較教育学 | 2 | | 秋学期 | 鴨川 明子 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 教育哲学 | 2 | | 春学期 | 坂倉 裕治 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育課程論 | 2 | | 春学期 | 根津 朋美 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |

初等教育学専攻・専門選択科目（主選択） A群 2領域

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 |
|-----|----------|----|----|-----|--------|------|----|-----|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 |
| 1~4 | 児童福祉論 | 2 | | 秋学期 | 新藤 こずえ | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 2~4 | 学校開放論 | 2 | | 秋学期 | 呉 世蓮 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 子ども論 | 2 | | 秋学期 | 天童 睦子 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 家庭教育論 | 2 | | 春学期 | 加藤 美帆 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 青少年教育論 | 2 | | 秋学期 | 矢口 徹也 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 生涯学習概論I | 2 | A | 春学期 | 坂内 夏子 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 生涯学習概論II | 2 | A | 秋学期 | 坂内 夏子 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |

初等教育学専攻・専門選択科目（主選択） A群 3領域

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 |
|-----|----------------------------|----|----|------|-------|------|----|-----|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 |
| 1~4 | 発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 坂爪 一幸 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 発達障害者教育(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 本田 恵子 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 知的障害教育論I | 2 | | 春学期 | 梅永 雄二 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 知的障害教育論II | 2 | | 秋学期 | 梅永 雄二 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 2~4 | 教育相談及び生徒・進路指導論(教育・学校心理学) | 4 | | 通年 | 本田 恵子 | 通年 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 教授・学習心理学 | 4 | | 【休講】 | | | | | | |

初等教育学専攻・専門選択科目（主選択） A群 4領域

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 |
|-----|------------------|----|----|------|-------------------|------|----|-----|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 |
| 1~4 | 文化人類学研究I | 2 | | 春学期 | 吉村 郊子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 文化人類学研究II | 2 | | 秋学期 | 吉村 郊子 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 消費者教育 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| 2~4 | 生活科・総合的学習特論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 多文化教育論 | 2 | | 秋学期 | 前田 耕司 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 環境教育論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 初等自然科学教育フィールドワーク | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 初等英語科教育法 | 2 | | 秋学期 | オオガ・ボールドウィン ウィリアム | 秋学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 |

B群 1領域 (国語国文学科設置科目)

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 | | |
|--------------|-----------------|----|-----|-------|-------|-------|--------|----------|----------|----------|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | | | |
| 2~4 | 日本文学史I(古代) ※1 | 2 | A | 春学期 | 高野 浩 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | | |
| | | | | | 松本 直樹 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | | |
| | | | B | 秋学期 | 高野 浩 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | | |
| | | | | | 松本 直樹 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | | |
| | 日本文学史II(中世) ※1 | 2 | A | 秋学期 | 大津 雄一 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | | | 米田 有里 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | B | 春学期 | 大津 雄一 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | | | 米田 有里 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | 日本文学史III(近世) ※1 | 2 | A | 春学期 | 伊藤 善隆 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | | | | | 鈴木 久美 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| | 日本文学史IV(近代) ※1 | 2 | A | 秋学期 | 和田 敦彦 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | | |
| | | | | | B | 春学期 | 五味淵 典嗣 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | |
| | 中国文学基礎講読 ※1 | 4 | A | 通年 | 阿部 光磨 | 通年 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | | |
| | | | | | B | 通年 | 内山 精也 | 通年 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | C | 通年 | 内山 精也 | 通年 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 国語表現論 | 4 | A | 通年 | 金子 泰子 | 通年 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | | B | 通年 | 菊野 雅之 | 通年 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 書道(書写) | 4 | A | 通年 | 財前 謙 | 通年 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | | | | B | 通年 | 宮崎 肇 | 通年 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | | C | 通年 | 財前 謙 | 通年 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | | D | 通年 | 宮崎 肇 | 通年 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 国語教育史 | 2 | | 秋学期 | 宮川 健郎 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| 児童文学I(なりたち) | 2 | | 春学期 | 宮川 健郎 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| 児童文学II(展開) | 2 | | 秋学期 | 宮川 健郎 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | | |
| 中国文学基礎演習I ※1 | 2 | A | 秋学期 | 堀 誠 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | |
| | | | | B | 春学期 | 堀 誠 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | | C | 秋学期 | 堀 誠 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 3~4 日本語学 | 4 | A | 通年 | 仁科 明 | 通年 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | | | |
| | | | | B | 通年 | 仁科 明 | 通年 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |

※1: B群1領域選択者のみ履修可能

B群 2領域 (社会科設置科目)

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 |
|--------|---------|----|-----|--------|--------|------|-----|----------|----------|----------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 2~4 | 日本史I | 2 | A | 春学期 | 亀谷 弘明 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 秋学期 | 清水 詩織 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 日本史II | 2 | A | 春学期 | 今井 修 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 今井 修 | 秋学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 外国史I | 2 | A | 春学期 | 堀越 宏一 | 春学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 堀越 宏一 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 地理I | 2 | A | 春学期 | 久保 純子 | 春学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 宋 苑瑞 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 地理II | 2 | A | 春学期 | 加賀美 雅弘 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 秋学期 | 加賀美 雅弘 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 地誌I | 2 | A | 春学期 | 川元 豊和 | 春学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | | | B | 秋学期 | 川元 豊和 | 秋学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | 法律学 | 2 | A | 春学期 | 北山 雅昭 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 秋学期 | 北山 雅昭 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 政治学I | 2 | A | 春学期 | 土屋 彰久 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | |
| | | | B | 秋学期 | 土屋 彰久 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | |
| | 政治学II | 2 | A | 春学期 | 面 一也 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 秋学期 | 面 一也 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 社会学(教職) | 2 | A | 春学期 | 鈴木 健之 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 鈴木 無二 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 経済学I | 2 | A | 春学期 | 八木 尚志 | 春学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 八木 尚志 | 秋学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 経済学II | 2 | A | 春学期 | 八木 尚志 | 春学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | | | B | 秋学期 | 八木 尚志 | 秋学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | 哲学研究 | 4 | | 通年 | 伊藤 功 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 平野 明彦 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 倫理学概論 | 4 | | 通年 | 平野 明彦 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 小林 亜津子 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 外国史II | 2 | A | 春学期 | 峰雪 幸人 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | B | 秋学期 | 峰雪 幸人 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 地誌II | 2 | A | 春学期 | 池田 真利子 | 春学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | B | 秋学期 | 池田 真利子 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 外国史III | 2 | A | 春学期 | 石川 寛 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | B | 秋学期 | 石川 寛 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 地理III | 2 | A | 春学期 | 市川 康夫 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | | B | 秋学期 | 市川 康夫 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 宗教研究I | 2 | A | 秋学期 | 鈴木 昇司 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | B | 秋学期 | 鈴木 昇司 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 宗教研究II | 2 | A | 春学期 | 阿部 善彦 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | B | 秋学期 | 阿部 善彦 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |

B群 3領域 (数学科設置科目)

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始時間 | 終了時間 |
|-------|------------|----|------|--------|-------|------|-----|------|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 2~4 | 微積分1 ※1 | 4 | A | 春学期 | 新井 仁之 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | 春学期 | 新井 仁之 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | 4 | B | 春学期 | 高木 悟 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | 春学期 | 高木 悟 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 線形代数1 ※1 | 4 | A | 春学期 | 松崎 克彦 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | 春学期 | 松崎 克彦 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | 4 | B | 春学期 | 村井 聡 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | 春学期 | 村井 聡 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 代数1-1 ※1 | 2 | A | 春学期 | 柴田 和樹 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | B | | 春学期 | 衛藤 和文 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 代数1-2 ※1 | 2 | A | 秋学期 | 柴田 和樹 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | B | | 秋学期 | 衛藤 和文 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 解析学1-1 ※1 | 2 | A | 春学期 | 戸松 玲治 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | B | | 春学期 | 曾布川 拓也 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 解析学1-2 ※1 | 2 | A | 秋学期 | 戸松 玲治 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | B | | 秋学期 | 曾布川 拓也 | 秋学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 複素解析1-1 ※1 | 2 | A | 春学期 | 田辺 正晴 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | B | | 春学期 | 町原 秀二 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 複素解析1-2 ※1 | 2 | A | 秋学期 | 田辺 正晴 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | B | | 秋学期 | 町原 秀二 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 幾何1 | 2 | | 春学期 | 谷山 公規 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 幾何2 | 2 | | 秋学期 | 谷山 公規 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 統計入門 | 2 | | 春学期 | 梁 松 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 統計数学 | 2 | | 秋学期 | 梁 松 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 情報数学1 | 2 | A | 春学期 | 大池 浩一 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | B | 【休講】 | | | | | | | |
| | | C | 春学期 | 多田 武丸 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 情報数学2 | 2 | A | 秋学期 | 大池 浩一 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | B | 【休講】 | | | | | | | |
| | | C | 秋学期 | 多田 武丸 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 情報数学3 | 2 | | 春学期 | 北川 宜稔 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 情報数学4 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 3~4 | 幾何3 | 2 | | 春学期 | 谷山 公規 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 幾何4 | 2 | | 秋学期 | 谷山 公規 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 確率論1 | 2 | | 春学期 | 河備 浩司 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 確率論2 | 2 | | 秋学期 | 河備 浩司 | 秋学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |

※1: B群3領域選択者のみ履修可能

B群 4領域 (理学科設置科目)

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 | |
|-----------|-------------|----|-----|-------|-------|-------|---------|---------|---------|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 | |
| 2~4 | 物理学実験I | 2 | | 春学期 | 伊藤 悦朗 | 春学期 | 木 | 1時限~2時限 | 0850 | 1220 | |
| | 物理学実験II | 2 | | 秋学期 | 伊藤 悦朗 | 秋学期 | 木 | 1時限~2時限 | 0850 | 1220 | |
| | 物理学I-1 | 2 | | 春学期 | 伊藤 悦朗 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 物理学I-2 | 2 | | 秋学期 | 喜古 正士 | 秋学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | 物理学II(電磁気学) | 2 | | 春学期 | 喜古 正士 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | 化学I | 4 | | 通年 | 中尾 愛子 | 通年 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 化学II | 4 | | 通年 | 中野 善夫 | 通年 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 生態学・実習 ※1 | 2 | | 夏季集中 | | 坂巻 義章 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | | | | | | 吉竹 晋平 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 化学実験I ※1 | 2 | A | 春学期 | 大江 親臣 | 春学期 | 水 | 3時限~4時限 | 1310 | 1645 | |
| | | | B | 春学期 | 安井 万奈 | 春学期 | 水 | 1時限~2時限 | 0850 | 1220 | |
| | | | A | 秋学期 | 大江 親臣 | 秋学期 | 水 | 3時限~4時限 | 1310 | 1645 | |
| | 化学実験II ※1 | 2 | B | 秋学期 | 安井 万奈 | 秋学期 | 水 | 1時限~2時限 | 0850 | 1220 | |
| | | | | | | | | | | | |
| | 地学通論I | 2 | | 春学期 | 川辺 文久 | 春学期 | 土 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 地学通論II | 2 | | 秋学期 | 川辺 文久 | 秋学期 | 土 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 地学通論実験I | 1 | | 春学期 | 大森 聡一 | 春学期 | 木 | 5時限~6時限 | 1700 | 2035 | |
| | 地学通論実験II | 1 | | 秋学期 | | 清水 啓介 | 秋学期 | 木 | 5時限~6時限 | 1700 | 2035 |
| | | | | | | 清家 一馬 | 秋学期 | 木 | 5時限~6時限 | 1700 | 2035 |
| | | | | | | 高木 秀雄 | 秋学期 | 木 | 5時限~6時限 | 1700 | 2035 |
| 生物学通論I | 2 | | 春学期 | 刀祢 重信 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 生物学通論II | 2 | | 秋学期 | 坂巻 義章 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 生物学通論実験I | 1 | | 春学期 | 林 良信 | 春学期 | 月 | 1時限~2時限 | 0850 | 1220 | | |
| 生物学通論実験II | 1 | | 秋学期 | 富永 基樹 | 秋学期 | 月 | 1時限~2時限 | 0850 | 1220 | | |

※1: B群4領域選択者のみ履修可能

B群 5領域 (英語英文学科設置科目)

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 | |
|--|-------------------------------|----|-----|------------------|------------------|------|----------|----------|----------|----------|--|
| | | | | | | 担当学期 | | | | | |
| 2~4 | アメリカ文化史 ※1 | 2 | | 春学期 | 佐久間 由梨 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | British Cultural History ※1 | 2 | | 春学期 | 三好 力 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 米文学史I ※1 | 2 | A | 【休講】 | | | | | | | |
| | | | B | 春学期 | 田ノ口 正悟 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 米文学史II ※1 | 2 | A | 【休講】 | | | | | | | |
| | | | B | 秋学期 | 田ノ口 正悟 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | Communicative English I ※1※2 | 2 | A | 春学期 | オオガ・ボルドウィン ウィリアム | 春学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | Communicative English II ※1※2 | 2 | A | 秋学期 | 松永 典子 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | B | 秋学期 | マキュワン 麻哉 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 英語音声学I ※1 | 2 | A | 春学期 | 折井 麻美子 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | | B | 春学期 | 折井 麻美子 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 英語音声学II ※1※3 | 2 | A | 秋学期 | 折井 麻美子 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 英文学史I ※1 | 2 | | 春学期 | 桑子 利男 | 春学期 | 無 | その他 | | | |
| | | | | | 新川 清治 | 春学期 | 無 | その他 | | | |
| | | | | | 三好 力 | 春学期 | 無 | その他 | | | |
| | | | | | 吉田 雅之 | 春学期 | 無 | その他 | | | |
| | 英文学史II ※1 | 2 | | 秋学期 | 木村 晶子 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | |
| | | | | | 虹林 慶 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | |
| | | | | | 松永 典子 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | |
| | | | | | 三好 力 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | |
| 言語学入門 ※1 | 2 | | 春学期 | 久野 正和 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | | |
| | | | | 原田 哲男 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | | |
| | | | | ポツベ・クレメンス | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | | |
| 応用言語学入門 ※1 | 2 | | 秋学期 | オオガ・ボルドウィン ウィリアム | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | | 木村 大輔 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | | 佐々木 みゆき | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | | 澤木 泰代 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | | | バックハウス ベート | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| Intercultural Communication ※1※4 | 2 | | 春学期 | マキュワン 麻哉 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| Introduction to Second Language Acquisition ※1※4 | 2 | A | 春学期 | マキュワン 麻哉 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| | | B | 秋学期 | マキュワン 麻哉 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |

※1: B群5領域選択者のみ履修可能

※2: 2015年度以前入学者が履修する場合、単位数は1です。

※3: 2016年度以降入学者は履修することができません。

※4: 2015年度以前入学者は履修することができません。

初等教育学専攻・専門選択科目（副選択）

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 |
|-----------|--|----|--------|---------|----------|--------|---------|---------|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 |
| 1～4 | 日本教育史I | 2 | | 春学期 | 梅本 大介 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 成人教育論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 教育課程編成原論 | 1 | | 春クォーター | 佐藤 隆之 | 春クォーター | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 生涯スポーツ・レクリエーション論 | 2 | | 春学期 | 小川 かをり | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 教育リテラシー | 2 | | 秋学期 | 池 俊介 他 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 指導者養成講座I(心理学的支援法) | 2 | | 夏クォーター | 本田 恵子 他 | 夏クォーター | 土 | 3時限～5時限 | 1310 | 1840 |
| | 重複障害・LD等教育総論 | 2 | | 秋学期 | 齊藤 宇開 | 秋学期 | 火 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | 肢体不自由者教育 | 2 | | 夏季集中 | 川間 健之介 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 病弱者教育 | 2 | | 夏季集中 | 土屋 忠之 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 肢体不自由者の心理・生理・病理I | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 肢体不自由者の心理・生理・病理II | 2 | | 秋学期 | 川間 健之介 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 病弱者の心理・生理・病理 | 2 | | 春学期 | 川間 健之介 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 特別支援教育総論I | 2 | | 秋学期 | 梅永 雄二 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 特別支援教育総論II | 1 | | 夏季集中 | 福田 奏子 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 特別支援教育総論III | 1 | | 夏季集中 | 長南 浩人 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| 2～4 | 西洋教育史I | 2 | | 春学期 | 大川 洋 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 教育行財政研究 | 2 | | 春学期 | 阿内 春生 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | カリキュラム研究 | 2 | | 秋学期 | 根津 朋実 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育理論原典講読 | 2 | | 秋学期 | 小松 茂久 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 臨床心理学特論I(精神疾患とその治療) | 4 | | 通年 | 堀 正士 | 通年 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 臨床心理学特論II(健康・医療心理学) | 4 | | 通年 | 宇佐見 和哉 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 宇佐美 尋子 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 笹原 信一朗 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 吉野 聡 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 臨床心理学特論III(司法・犯罪心理学) | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 発達心理学特論I | 4 | | 通年 | 風間 みどり | 通年 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 教育哲学研究1 | 2 | | 秋学期 | 坂倉 裕治 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 教育哲学研究2 | 2 | | 春学期 | 池田 全之 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 家族理解と福祉工学 | 2 | | 秋クォーター | 本田 恵子 他 | 秋クォーター | 土 | 3時限～5時限 | 1310 | 1840 | |
| 3～4 | インクルーシブ教育における学級経営(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) | 2 | | 夏季集中 | 河村 茂雄 他 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 脳科学を活かしたインクルーシブ教育 | 2 | | 荒川 信行 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | | | 藤井 ひとみ | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 私学における特別支援教育 | 2 | | 冬季集中 | 一ノ瀬 秀司 他 | 冬季集中 | 無 | その他 | | |
| | 指導者養成講座II | 2 | | 鈴木 真理 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| | | | | 本田 恵子 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| | 公認心理師心理実習 | 4 | | 通年 | 梅永 雄二 他 | 通年 | 無 | その他 | | |
| | | | | | 本田 恵子 | 通年 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 教育実習演習(小) | 5 | | A | 春学期 | 小林 宏己 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | B | 春学期 | 川合 克彦 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | C | 夏秋期 | 大泉 義一 | 夏秋期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 4 | 特別支援学校実習 | 3 | | 通年 | 坂爪 一幸 | 通年 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 教職実践演習(小) | 2 | A | 秋学期 | 小林 宏己 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| B | | | 秋学期 | 大塚 俊明 | 秋学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 | |

授業時間割

【他学科他専修聴講可能科目】

- ・ 講義内容はWebシラバスを参照してください。
- ・ 科目によっては、自学科・自専修の専門選択科目としても配当されていることがあるので注意してください。その場合、他学科他専修科目としては履修できません。
- ・ 担当教員の都合等で時間割が変更される場合があります。科目登録申請の際には、教育学部ホームページに掲載される「正誤表」を併せて確認してください。

<https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/>
(早稲田大学教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録>授業ガイド)



[授業ガイド] は学科ごとに分冊になっています。

[授業ガイド] 教育学科編
[授業ガイド] 国語国文学科編
[授業ガイド] 英語英文学科編
[授業ガイド] 社会科編
[授業ガイド] 理学科編
[授業ガイド] 数学科編
[授業ガイド] 複合文化学科編

教育学専攻教育学専修・他学科他専修聴講可能科目

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 |
|------------|--------------|----|-----|-------|---------------|------|-----|----------|----------|----------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1~4 | 倫理学概論 | 4 | | 通年 | 平野 明彦 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 小林 亜津子 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 哲学研究 | 4 | | 通年 | 伊藤 功 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 平野 明彦 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 科学思想史I | 2 | | 春学期 | 溝口 元 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 科学思想史II | 2 | | 秋学期 | 柿原 泰 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 古典語(ギリシヤ) | 4 | | 通年 | 兼利 琢也 | 通年 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 古典語(ラテン) | 4 | | 通年 | 兼利 琢也 | 通年 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 宗教研究I | 2 | A | 秋学期 | 鈴木 昇司 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | B | 秋学期 | 鈴木 昇司 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 宗教研究II | 2 | A | 春学期 | 阿部 善彦 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | B | 秋学期 | 阿部 善彦 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 生涯学習概論I | 2 | A | 春学期 | 坂内 夏子 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 生涯学習概論II | 2 | A | 秋学期 | 坂内 夏子 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 2~4 | 生徒指導研究 | 2 | | 春学期 | 奥野 武志 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 日本教育史研究I | 2 | | 秋学期 | 大岡 紀理子 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | ママトクロヴァ ニルファル | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 日本教育史研究II | 2 | | 春学期 | 三上 敦史 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 教材開発論 | 2 | | 春学期 | 小林 宏己 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | カリキュラム研究 | 2 | | 秋学期 | 根津 朋実 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育思想研究1 | 2 | | 春学期 | 藤井 千春 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育法研究 | 2 | | 春学期 | 中田 康彦 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | スクールマネジメント研究 | 2 | | 春学期 | 小松 茂久 | 春学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 教育思想研究2 | 2 | | 秋学期 | 鵜海 未祐子 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 教育政策・教育計画論 | 2 | | 春学期 | 下岡 有希子 | 春学期 | 土 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育行財政研究 | 2 | | 春学期 | 阿内 春生 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 比較・国際教育研究I | 2 | | 春学期 | 日暮 トモ子 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 比較・国際教育研究II | 2 | | 秋学期 | 立花 有希 | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 教育社会学テーマ研究 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 学校教育活動論 | 2 | | 秋学期 | 野口 穂高 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教師教育論 | 2 | | 秋学期 | 菊地 栄治 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育理論原典講読 | 2 | | 秋学期 | 小松 茂久 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育情報学 | 2 | | 秋学期 | 三尾 忠男 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 国際理解教育 | 2 | | 秋学期 | 谷口 利律 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 政治学I ※1 | 2 | A | 春学期 | 土屋 彰久 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | |
| | | | B | 秋学期 | 土屋 彰久 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | |
| | 政治学II ※1 | 2 | A | 春学期 | 面 一也 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 秋学期 | 面 一也 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 法律学 ※1 | 2 | A | 春学期 | 北山 雅昭 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 秋学期 | 北山 雅昭 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 経済学I ※1 | 2 | A | 春学期 | 八木 尚志 | 春学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | B | 秋学期 | 八木 尚志 | 秋学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 経済学II ※1 | 2 | A | 春学期 | 八木 尚志 | 春学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 | |
| | | B | 秋学期 | 八木 尚志 | 秋学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 | |
| 社会学(教職) ※1 | 2 | A | 春学期 | 鈴木 健之 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | B | 秋学期 | 鈴木 無二 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | |

※1 生涯教育学専修の学生のみ履修可能です。

教育学専攻生涯教育学専修・他学科他専修聴講可能科目

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜 | 時限 | 開始 | 終了 |
|------------------|-----------------|----|-----|--------|--------|-----|-----|----------|------|------|
| | | | | | 担当学期 | 時間 | | | 時間 | |
| 1~4 | 生涯学習支援論I | 2 | | 春学期 | 松山 鮎子 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 生涯学習支援論II | 2 | | 秋学期 | 松山 鮎子 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 社会教育経営論I | 2 | A | 春学期 | 高井 正 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 春学期 | 高井 正 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 社会教育経営論II | 2 | A | 秋学期 | 梶野 光信 | 秋学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 秋学期 | 若園 雄志郎 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 社会教育課題研究III-1 | 2 | | 春学期 | 蘇 佩怡 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 社会教育課題研究III-2 | 2 | | 春学期 | 前田 崇 | 春学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 道德教育の理論と実践 | 2 | | 春学期 | 佐藤 隆之 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 学校開放論 | 2 | | 秋学期 | 呉 世蓮 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 高齢者教育論 | 2 | | 秋学期 | 堀 薫夫 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | |
| | 女性史 | 2 | | 秋学期 | 天童 睦子 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 多文化教育論 | 2 | | 秋学期 | 前田 耕司 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 成人教育論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 青少年教育論 | 2 | | 秋学期 | 矢口 徹也 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育福祉論 | 2 | | 春学期 | 小林 繁 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 環境教育論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 家庭教育論 | 2 | | 春学期 | 加藤 美帆 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 女性教育論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 社会福祉論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 児童福祉論 | 2 | | 秋学期 | 新藤 こずえ | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | NPO・NGO論とボランティア | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 企業内教育 | 2 | | 春学期 | 小窪 久文 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 経営教育論 | 2 | | 秋学期 | 竹澤 史江 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 消費者教育 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 子ども論 | 2 | | 秋学期 | 天童 睦子 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 社会教育課題研究I-1 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 社会教育課題研究I-2 | 2 | | 秋学期 | 濱中 淳子 | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| 社会教育課題研究II-1 | 2 | | 春学期 | 米村 健司 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 社会教育課題研究II-2 | 2 | | 秋学期 | 米村 健司 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 生涯スポーツ・レクリエーション論 | 2 | | 春学期 | 小川 かをり | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 2~4 | 日本史I ※1 | 2 | A | 春学期 | 亀谷 弘明 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 秋学期 | 清水 詩織 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 日本史II ※1 | 2 | A | 春学期 | 今井 修 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 今井 修 | 秋学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 外国史I ※1 | 2 | A | 春学期 | 堀越 宏一 | 春学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 堀越 宏一 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 外国史II ※1 | 2 | A | 春学期 | 峰雪 幸人 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 秋学期 | 峰雪 幸人 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 外国史III ※1 | 2 | A | 春学期 | 石川 寛 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 石川 寛 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 地理I ※1 | 2 | A | 春学期 | 久保 純子 | 春学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | | | B | 秋学期 | 宋 苑瑞 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 地理II ※1 | 2 | A | 春学期 | 加賀美 雅弘 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 秋学期 | 加賀美 雅弘 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 地理III ※1 | 2 | A | 春学期 | 市川 康夫 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | B | 秋学期 | 市川 康夫 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 地誌I ※1 | 2 | A | 春学期 | 川元 豊和 | 春学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | | | B | 秋学期 | 川元 豊和 | 秋学期 | 水 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| 地誌II ※1 | 2 | A | 春学期 | 池田 真利子 | 春学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | | B | 秋学期 | 池田 真利子 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 3~4 | 社会教育施設実習 | 1 | | 秋学期 | 田辺 智子 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 教育工学研究 | 4 | | 【休講】 | 矢口 徹也 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |

※1 教育学専修および教育心理学専修の学生のみ履修可能です。

教育学専攻教育心理学専修・他学科他専修聴講可能科目

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 |
|--------------|--|----|--------|----------|----------|--------|---------|---------|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 |
| 1~4 | 心理学史 | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 坂爪 一幸 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 肢体不自由者の心理・生理・病理I | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 肢体不自由者の心理・生理・病理II | 2 | | 秋学期 | 川間 健之介 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 病弱者の心理・生理・病理 | 2 | | 春学期 | 川間 健之介 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 発達障害者教育(障害者・障害児心理学) | 2 | | 春学期 | 本田 恵子 | 春学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 肢体不自由者教育 | 2 | | 夏季集中 | 川間 健之介 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 病弱者教育 | 2 | | 夏季集中 | 土屋 忠之 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 知的障害教育論I | 2 | | 春学期 | 梅永 雄二 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 知的障害教育論II | 2 | | 秋学期 | 梅永 雄二 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 重複障害・LD等教育総論 | 2 | | 秋学期 | 齊藤 宇開 | 秋学期 | 火 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | 特別支援教育総論I | 2 | | 秋学期 | 梅永 雄二 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 特別支援教育総論II | 1 | | 夏季集中 | 福田 奏子 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 特別支援教育総論III | 1 | | 夏季集中 | 長南 浩人 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 教育リテラシー | 2 | | 秋学期 | 本田 恵子 他 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 指導者養成講座I(心理学的支援法) | 2 | | 夏クォーター | 本田 恵子 他 | 夏クォーター | 土 | 3時限~5時限 | 1310 | 1840 |
| | 公認心理師の職責 | 2 | | 春学期 | 本田 恵子 他 | 春学期 | 火 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| 福祉心理学 | 2 | | 春学期 | 梅永 雄二 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 2~4 | 心理学研究法II(実験法) | 4 | | 通年 | 鶴沼 秀行 | 通年 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 心理学研究法III(調査法・観察法) | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 心理学研究法IV(心理的アセスメント) | 4 | | 通年 | 近藤 育代 | 通年 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 臨床心理学特論I(精神疾患とその治療) | 4 | | 通年 | 堀 正士 | 通年 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 臨床心理学特論II(健康・医療心理学) | 4 | | 通年 | 宇佐見 和哉 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 宇佐美 尋子 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | | | 笹原 信一郎 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 臨床心理学特論III(司法・犯罪心理学) | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 社会心理学特論I(産業・組織心理学) | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 社会心理学特論II | 4 | | 通年 | 吉川 肇子 | 通年 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 実験心理学特論III(知覚)(知覚・認知心理学) | 4 | | 通年 | 鶴沼 秀行 | 通年 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 実験心理学特論II(神経・生理心理学) | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 発達心理学特論I | 4 | | 通年 | 風間 みどり | 通年 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 実験心理学特論I(学習・言語心理学) | 4 | | 通年 | 飯田 成敏 | 通年 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 教授・学習心理学 | 4 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 心理学研究法V(測定法) | 4 | | 通年 | 荘島 宏二郎 | 通年 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 発達心理学特論III | 4 | | 通年 | 伊藤 朋子 | 通年 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| 家族理解と福祉工学 | 2 | | 秋クォーター | 本田 恵子 他 | 秋クォーター | 土 | 3時限~5時限 | 1310 | 1840 | |
| 公認心理師関係行政論 | 2 | | 冬クォーター | 大磯 義一郎 他 | 冬クォーター | 土 | 3時限~5時限 | 1310 | 1840 | |
| 人体の構造と機能及び疾病 | 2 | | 秋クォーター | 岩崎 信明 他 | 秋クォーター | 土 | 3時限~5時限 | 1310 | 1840 | |
| 3~4 | インクルーシブ教育における学級経営(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) | 2 | | 夏季集中 | 河村 茂雄 他 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 脳科学を活かしたインクルーシブ教育 | 2 | | 秋学期 | 荒川 信行 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | 秋学期 | 藤井 ひとみ | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 私学における特別支援教育 | 2 | | 冬季集中 | 一ノ瀬 秀司 他 | 冬季集中 | 無 | その他 | | |
| | 指導者養成講座II | 2 | | 夏季集中 | 鈴木 真理 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| 指導者養成講座II | 2 | | 夏季集中 | 本田 恵子 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

初等教育学専攻・他学科他専修聴講可能科目（履修許可者のみ履修可能）

| 年次 | 科 目 | 単 位 | 組 名 | 学 期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜 日 | 時 限 | 開 始 | 終 了 |
|------------|------------------|-----|-----|--------|-------------------|--------|-----|------------|--------------|--------------|
| | | | | | | | | | 時 間 | 時 間 |
| 1～4 | 初等教科専門生活 | 2 | | 秋学期 | 藤井 千春 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等教科専門図画工作 | 2 | | 春学期 | 大泉 義一 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 初等教科専門家庭 | 2 | | 秋学期 | 勝田 映子 | 秋学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 道徳教育原論 | 2 | | 春学期 | 佐藤 隆之 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 特別活動原論 | 2 | | 秋学期 | 河村 茂雄 他 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 生徒指導・進路指導原論 | 2 | | 夏季集中 | 小野寺 正己 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 初等教科専門社会 | 2 | | 春学期 | 池 俊介 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等教科専門算数 | 2 | | 春学期 | 宮川 健 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 初等教科専門理科 | 2 | | 秋学期 | 佐藤 寛之 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 初等教科専門音楽 | 2 | | 春学期 | 戸谷 登貴子 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等教科専門体育 | 2 | | 秋学期 | 吉村 茜 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 教育課程編成原論 | 1 | | 春クォーター | 佐藤 隆之 | 春クォーター | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 特別支援教育原論 | 2 | | 夏季集中 | 河村 茂雄 他 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 総合的な学習研究原論 | 2 | | 夏季集中 | 河村 茂雄 他 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| 2～4 | 初等生活科教育法 | 2 | | 秋学期 | 佐藤 寛之 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 初等理科教育法 | 2 | | 春学期 | 佐藤 寛之 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等社会科教育法 | 2 | | 春学期 | 小林 宏己 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 教育相談原論 | 2 | | 春学期 | 河村 茂雄 高橋 幾 | 春学期 | 火 | 1時限 1時限 | 0850 0850 | 1030 1030 |
| | 初等国語科教育法 | 2 | | 秋学期 | 茅野 政徳 | 秋学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 初等算数科教育法 | 2 | | 春学期 | 細水 保宏 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 教育方法原論 | 2 | | 秋学期 | 小林 宏己 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 初等教科専門国語(書写を含む) | 2 | | 春学期 | 財前 謙 宮川 健郎 | 春学期 | 金 | 4時限 4時限 | 1505 1505 | 1645 1645 |
| | 生活科・総合的学習特論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 初等自然科学教育フィールドワーク | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 初等教科専門英語 | 2 | | 春学期 | オオガ・ホールドウィン ウィリアム | 春学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 初等英語科教育法 | 2 | | 秋学期 | オオガ・ホールドウィン ウィリアム | 秋学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 初等体育科教育法 | 2 | | 春学期 | 吉村 茜 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 初等音楽科教育法 | 2 | | 秋学期 | 戸谷 登貴子 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 3～4 | 教育実習演習(小) | 5 | A | 春学期 | 小林 宏己 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | B | 春学期 | 川合 克彦 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | C | 夏秋期 | 大泉 義一 | 夏秋期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 初等図画工作科教育法 | 2 | | 秋学期 | 大泉 義一 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 初等家庭科教育法 | 2 | | 春学期 | 勝田 映子 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 4 | 教職実践演習(小) | 2 | A | 秋学期 | 小林 宏己 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | B | 秋学期 | 大塚 俊明 | 秋学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |

※担当教員未定科目は教育学部ホームページ掲載の正誤表で周知します。

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

国語国文学科・他学科他専修聴講可能科目

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 |
|----------------|------------------|----|------|-------|--------|------|----------|------|----------|----------|
| | | | | | 担当教員 | 担当学期 | | | | |
| 1~4 | 授業に活かす朗読講座 | 2 | | 春学期 | 内木 明子 | 春学期 | 金 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | | | | | 宗我部 義則 | 春学期 | 金 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | 届く声を育てるワークショップ | 2 | | 冬季集中 | 野崎 美子 | 冬季集中 | 無 | その他 | | |
| | 書道(書写) | 4 | A | 通年 | 財前 謙 | 通年 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | B | 通年 | 宮崎 肇 | 通年 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | C | 通年 | 財前 謙 | 通年 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | D | 通年 | 宮崎 肇 | 通年 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 日本語教授法入門 | 2 | | 春学期 | 飽本 弘平 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 日本語教育演習I(基礎) | 2 | | 春学期 | 山内 薫 | 春学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 日本語教育演習II(応用) | 2 | | 秋学期 | 山内 薫 | 秋学期 | 金 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 日本語の諸相 | 2 | | 秋学期 | 永谷 直子 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 児童文学I(なりたち) | 2 | | 春学期 | 宮川 健郎 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 児童文学II(展開) | 2 | | 秋学期 | 宮川 健郎 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 劇文学I(能・狂言) | 2 | | 春学期 | 江口 文恵 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 劇文学II(歌舞伎・浄瑠璃) | 2 | | 秋学期 | 原田 真澄 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 文学理論I(古典) | 2 | | 秋学期 | 木村 朗子 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 文学理論II(近代) | 2 | | 秋学期 | 石原 千秋 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 中国文学史I(詩歌) | 2 | | 秋学期 | 鎌田 出 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 中国文学史II(小説・戯曲) | 2 | | 春学期 | 堀 誠 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 東アジアの思想と文化I(古代) | 2 | | 春学期 | 阿部 光麿 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 東アジアの思想と文化II(近世) | 2 | | 秋学期 | 阿部 光麿 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 日中比較文学I(説話・物語) | 2 | | 春学期 | 馮 超鴻 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 日中比較文学II(詩歌) | 2 | | 秋学期 | 濱田 寛 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 出版文化史I(近世) | 2 | | 春学期 | 伊藤 善隆 | 春学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 出版文化史II(近代) | 2 | | 秋学期 | 中野 綾子 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 近世の制度と文化 | 2 | | 秋学期 | 小澤 笑理子 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 日本文学と書画 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 日本文学と宗教 | 2 | | 春学期 | 門屋 温 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 授業に活かすマルチメディア | 2 | | 春学期 | 黒川 孝広 | 春学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 国語教育史 | 2 | | 秋学期 | 宮川 健郎 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 国語表現論 | 4 | A | 通年 | 金子 泰子 | 通年 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | B | 通年 | 菊野 雅之 | 通年 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 日本詩歌史I(古典) | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 日本詩歌史II(近現代) | 2 | | 秋学期 | 加藤 邦彦 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 編集の理論と実践 | 2 | | 春学期 | 横山 建城 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 評論教材の研究 | 2 | | 秋学期 | 鈴木 章弘 | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 日本語史I(古代語) | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 日本語史II(近代語) | 2 | | 秋学期 | 池上 尚 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 書誌学・文献学 | 2 | | 秋学期 | 田代 圭一 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 創作演習I(随筆・小説) | 2 | | 秋学期 | 廣岡 祐 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 創作演習II(随筆・現代詩) | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 創作演習III(短歌) | 2 | | 秋学期 | 奥田 亡羊 | 秋学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 創作演習IV(俳句) | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 日本文学とメディア | 2 | | 春学期 | 大尾 侑子 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | A | 春学期 | 松本 直樹 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | |
| 上代文学I | 2 | B | 春学期 | 工藤 浩 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | A | 秋学期 | 松本 直樹 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | |
| 上代文学II | 2 | B | 秋学期 | 工藤 浩 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | | A | 春学期 | 庄司 敏子 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 中古文学I | 2 | B | 春学期 | 新美 哲彦 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | | A | 秋学期 | 中西 智子 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 中古文学II | 2 | B | 秋学期 | 栗山 元子 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | | A | 春学期 | 幾浦 裕之 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 中世文学I | 2 | B | 春学期 | 大津 雄一 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | |
| | | A | 秋学期 | 幾浦 裕之 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 中世文学II | 2 | B | 秋学期 | 大津 雄一 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | |

時間割他学科他専修

| | | | | | | | | | | |
|-----|---------|---|---|------|-------|-----|---|----------|------|------|
| 2~4 | 近世文学I | 2 | A | 春学期 | 荻原 大地 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 春学期 | 井上 和人 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 近世文学II | 2 | A | 秋学期 | 荻原 大地 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | B | 秋学期 | 井上 和人 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 近代文学I | 2 | A | 春学期 | 副田 賢二 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 【休講】 | | | | | | |
| | 近代文学II | 2 | | 秋学期 | 大島 文志 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 近代文学III | 2 | | 春学期 | 和田 敦彦 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | |
| | 中国文学I | 2 | | 春学期 | 濱田 寛 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 中国文学II | 2 | | 秋学期 | 鎌田 出 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |

※ 「授業に活かす朗読講座」「届く声を育てるワークショップ」「授業に活かすマルチメディア」については、中学校または高等学校の国語科
教諭免許状および小学校教諭免許状の取得希望者に限り申請により履修可能。

※ 集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

英語英文学科・他学科他専修聴講可能科目

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 |
|--|--|----|------|-------------------|------------|------|-----|------|----------|----------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1~4 | 聖書入門I | 2 | | 春学期 | 直原 典子 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | イギリス小説研究 | 2 | | 春学期 | 木村 晶子 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | アメリカ小説研究 | 2 | | 秋学期 | 田ノ口 正悟 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | アメリカ映画研究 | 2 | | 春学期 | 渡邊 俊 | 春学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | イギリス映画研究 | 2 | | 春学期 | 桑子 利男 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 言語統計入門 | 2 | | 秋学期 | 印南 洋 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | Current Affairs in English | 2 | | 秋学期 | 吉田 雅之 | 秋学期 | 無 | その他 | | |
| | Developing Skills for Learning English | 2 | | 秋学期 | 安田 利典 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | Debate in English | 2 | | 秋学期 | 鈴木 雅子 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | Advanced Preparation for TOEFL | 2 | A | 春学期 | 澤木 泰代 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 秋学期 | 戸田 博之 | 秋学期 | 金 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | Preparation for TOEFL | 2 | A | 春学期 | 戸田 博之 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | | | B | 秋学期 | 戸田 博之 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 外国文学研究 | 2 | | 春学期 | 桑子 利男 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 文学批評理論I | 2 | | 春学期 | 田村 亮 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 文学批評理論II | 2 | | 秋学期 | 田村 亮 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 英語文学とジェンダー・マイノリティ | 2 | | 春学期 | 松永 典子 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 統語論基礎 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 統語論研究 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 意味論基礎 | 2 | | 春学期 | 久野 正和 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 意味論研究 | 2 | | 秋学期 | 久野 正和 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | Language and Society | 2 | | 秋学期 | バックハウス ベート | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 聖書入門II | 2 | | 秋学期 | 直原 典子 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | Introduction to British Culture | 2 | | 秋学期 | 松永 典子 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | Introduction to American Culture | 2 | | 秋学期 | 佐久間 由梨 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 英語表現研究 | 2 | | 春学期 | 吉田 雅之 | 春学期 | 無 | その他 | | |
| 音韻論 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 形態論 | 2 | | 春学期 | ポツペ・クレメンス | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| Content and Language Integrated Learning | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| Bilingualism and Bilingual Education | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| Foreign Language in the Elementary School (FLES) | 2 | | 春学期 | オオガ・ホールドウィン ウィリアム | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| Cognitive Linguistics | 2 | | 秋学期 | ポツペ・クレメンス | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| マルチメディア言語教育 | 2 | | 春学期 | 下山 幸成 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| コーパス言語学 | 2 | | 秋学期 | 下山 幸成 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| Language Assessment for Classroom Teachers | 2 | | 秋学期 | 澤木 泰代 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 英語圏文学 | 2 | | 春学期 | 松永 典子 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| アメリカ詩研究 | 2 | | 春学期 | 佐久間 由梨 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| イギリス詩研究 | 2 | | 秋学期 | 虹林 慶 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| Discourse, Culture and Communication | 2 | | 春学期 | 木村 大輔 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| Language and Culture | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| イギリス演劇研究 | 2 | | 春学期 | 三好 力 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| アメリカ演劇研究 | 2 | | 秋学期 | 三好 力 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 中世英語I | 2 | | 春学期 | 吉田 雅之 | 春学期 | 無 | その他 | | | |
| 中世英語II | 2 | | 秋学期 | 吉田 雅之 | 秋学期 | 無 | その他 | | | |
| 実験音声学 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| Advanced Phonetics | 2 | | 春学期 | 原田 哲男 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 英語圏文化論I | 2 | | 春学期 | 虹林 慶 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 英語圏文化論II | 2 | | 秋学期 | 虹林 慶 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 第二言語ライティング論 | 2 | | 秋学期 | 佐々木 みゆき | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| Pragmatics and Discourse Analysis | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| Teaching Practicum | 2 | | 秋学期 | オオガ・ホールドウィン ウィリアム | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| カリキュラム・教材開発 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| Teaching English for Communication | 2 | | 秋学期 | 折井 麻美子 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 英語史研究I | 2 | | 春学期 | 新川 清治 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 英語史研究II | 2 | | 秋学期 | 新川 清治 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| Special Topics in Literature and Culture | 2 | | 秋学期 | 桑子 利男 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| Advanced Second Language Acquisition | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| Special Topics in Applied Linguistics | 2 | | 秋学期 | 原田 哲男 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| Special Topics in Linguistics | 2 | | 【休講】 | 原田 哲男 | 秋学期 | 日 | 7時限 | 2045 | 2135 | |

時間割 他学科他専修

地理歴史専修・他学科他専修聴講可能科目

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 |
|-------------|-----------|----|------|--------|-------|------|-----|------|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 |
| 1~4 | 民俗学I | 2 | | 春学期 | 橋村 修 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 民俗学II | 2 | | 秋学期 | 橋村 修 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 文化遺産研究I | 2 | | 春学期 | 藤島 幸彦 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 文化遺産研究II | 2 | | 秋学期 | 藤島 幸彦 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 文化人類学研究I | 2 | | 春学期 | 吉村 郊子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 文化人類学研究II | 2 | | 秋学期 | 吉村 郊子 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 考古学研究I-1 | 2 | | 春学期 | 車崎 正彦 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 考古学研究I-2 | 2 | | 秋学期 | 車崎 正彦 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 考古学研究II-1 | 2 | | 春学期 | 後藤 健 | 春学期 | 土 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| 考古学研究II-2 | 2 | | 秋学期 | 後藤 健 | 秋学期 | 土 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 経済地理学I | 2 | | 春学期 | 荒井 良雄 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 経済地理学II | 2 | | 秋学期 | 荒井 良雄 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 自然地理学研究1 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 自然地理学研究2 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 自然地理学研究3 | 2 | | 春学期 | 高橋 日出男 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 自然地理学研究4 | 2 | | 秋学期 | 高橋 日出男 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 地誌学研究1 | 2 | | 春学期 | 小野寺 淳 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 地誌学研究2 | 2 | | 秋学期 | 小野寺 淳 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 地誌学研究3 | 2 | | 春学期 | 市川 康夫 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 地誌学研究4 | 2 | | 秋学期 | 市川 康夫 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 地誌学研究5 | 2 | | 秋学期 | 佐藤 英人 | 秋学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 地図情報学 | 2 | | 秋学期 | 政春 尋志 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 文化地理学 | 2 | | 秋学期 | 松井 圭介 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 都市地理学 | 2 | | 春学期 | 佐藤 英人 | 春学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 地図学 | 2 | | 春学期 | 政春 尋志 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 歴史地理学 | 2 | | 春学期 | 川合 一郎 | 春学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 地理学特殊講義1 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 地理学特殊講義2 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 地理学特殊講義3 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 地理学特殊講義4 | 2 | | 秋学期 | 宇根 寛 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 日本史研究(近世)I | 2 | | 春学期 | 大橋 幸泰 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 日本史研究(近世)II | 2 | | 秋学期 | 久保 貴子 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 日本史研究(近代)I | 2 | | 春学期 | 高木 重治 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 日本史研究(近代)II | 2 | | 秋学期 | 大門 正克 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 日本史研究(古代)I | 2 | | 春学期 | 岩本 健寿 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 日本史研究(古代)II | 2 | | 秋学期 | 岩本 健寿 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 日本史研究(中世)I | 2 | | 春学期 | 高橋 傑 | 春学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 日本史研究(中世)II | 2 | | 秋学期 | 長谷川 裕子 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 西洋史研究(近代)I | 2 | | 春学期 | 小森 宏美 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 西洋史研究(近代)II | 2 | | 秋学期 | 齋藤 正樹 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 西洋史研究(古代)I | 2 | | 春学期 | 松原 俊文 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 西洋史研究(古代)II | 2 | | 秋学期 | 松原 俊文 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 西洋史研究(中世)I | 2 | | 春学期 | 大貫 俊夫 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 西洋史研究(中世)II | 2 | | 秋学期 | 大貫 俊夫 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 東洋史研究(近代)I | 2 | | 春学期 | 小松 香織 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 東洋史研究(近代)II | 2 | | 秋学期 | 小松 香織 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 東洋史研究(古代)I | 2 | | 春学期 | 石川 寛 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 東洋史研究(古代)II | 2 | | 秋学期 | 石川 寛 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 東洋史研究(中世)I | 2 | | 春学期 | 峰雪 幸人 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 東洋史研究(中世)II | 2 | | 秋学期 | 峰雪 幸人 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 日本史史料講読I | 2 | | 秋学期 | 亀谷 弘明 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 日本史史料講読II | 2 | | 春学期 | 高木 徳郎 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 日本史史料講読III | 2 | | 春学期 | 清水 詩織 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 日本史史料講読IV | 2 | | 秋学期 | 高木 重治 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 現代史研究I-1 | 2 | | 春学期 | 石濱 裕美子 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 現代史研究I-2 | 2 | | 秋学期 | 石濱 裕美子 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 現代史研究II-1 | 2 | | 春学期 | 小嶋 栄一 | 春学期 | 金 | 6時限 | 1855 | 2035 | |
| 現代史研究II-2 | 2 | | 春学期 | 小森 宏美 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| 現代史研究III-1 | 2 | | 春学期 | 小沢 節子 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 現代史研究III-2 | 2 | | 秋学期 | 小沢 節子 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |

公共市民学専修・他学科他専修聴講可能科目

| 年次 | 科 目 | 単 位 | 組 名 | 学 期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜 日 | 時 限 | 開始 | 終了 | |
|------------|-----------------|-----|-----|---------|--------|-------|-----|----------|------|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 | |
| 1～4 | 憲法概論 | 2 | | 秋学期 | 高橋 義人 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | メディア文化論 | 2 | | 春学期 | 毛利 嘉孝 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 2～4 | 西洋政治思想史II | 2 | | 秋学期 | 千野 貴裕 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | ポストモダン社会論 | 2 | | 春学期 | 野上 元 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | メディア市民学I | 2 | | 春学期 | 伊藤 守 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | メディア市民学II | 2 | | 秋学期 | 伊藤 守 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 自己の社会理論 | 2 | | 春学期 | 鈴木 無二 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | コミュニケーションと社会 | 2 | | 秋学期 | 鈴木 無二 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | EU論 | | 2 | | 秋学期 | 小林 正英 | 秋学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | | | | | | 小森 宏美 | 秋学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 日本の金融市場と金融論入門 | 2 | | 春学期 | 熊谷 善彰 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 地域経済論 | 2 | | 春学期 | 劉 迪 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 現代経済学I | 2 | | 秋学期 | 藁谷 友紀 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 現代経済学II | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | 財政学 | 2 | | 春学期 | 寺田 和之 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 家族の中のジェンダー | 2 | | 春学期 | 今井 千恵 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 社会の中のジェンダー | 2 | | 秋学期 | 今井 千恵 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 日本経済史 | 2 | | 秋学期 | 藤井 典子 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 日本経営史 | 2 | | 秋学期 | 宝利 ひとみ | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 福祉国家の歴史 | 2 | | 春学期 | 羅 仁淑 | 春学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | |
| | 福祉国家の課題 | 2 | | 秋学期 | 羅 仁淑 | 秋学期 | 無 | フルオンデマンド | 0000 | | |
| | 経済データ分析 | 2 | | 秋学期 | 枝村 一磨 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 西洋政治思想史I | 2 | | 春学期 | 宮本 雅也 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1700 | 1840 | |
| | 統治の制度と市民I | 2 | | 春学期 | 遠藤 美奈 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 統治の制度と市民II | 2 | | 秋学期 | 遠藤 美奈 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 民法I | 2 | | 春学期 | 北山 雅昭 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 民法II | 2 | | 秋学期 | 北山 雅昭 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 国際関係の成立と展開 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | 国際関係の理論と課題 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | 日本の労働市場と労働経済学入門 | 2 | | 春学期 | 池永 肇恵 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 労働市場の基礎と応用 | 2 | | 秋学期 | 黒田 祥子 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 家族と法 | 2 | | 秋学期 | 大橋 憲広 | 秋学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 働く女性の法と権利 | 2 | | 春学期 | 黒岩 容子 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 移民政策論 | 2 | | 秋学期 | 川崎 亜紀子 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 | | |
| グローバル社会論 | 2 | | 春学期 | 若林 幹夫 他 | 春学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 | | |
| 金融市場の基礎と応用 | 2 | | 秋学期 | 熊谷 善彰 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 経営学への招待 | 2 | | 春学期 | 佐々木 秀綱 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| 現代日本の政治 | 2 | | 秋学期 | 高安 健将 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |

生物学専修・他学科他専修聴講可能科目

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始 時間 | 終了 時間 | |
|-------|---------|----|----|-----|-------|-------|------|---------|----------|----------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | | |
| 1~4 | 地学通論I | 2 | | 春学期 | 川辺 文久 | 春学期 | 土 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 地学通論II | 2 | | 秋学期 | 川辺 文久 | 秋学期 | 土 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 化学II | 4 | | 通年 | 中野 善夫 | 通年 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 2~4 | 基礎免疫学 | 2 | | 秋学期 | 廣井 隆親 | 秋学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 植物生理学I | 2 | | 秋学期 | 園池 公毅 | 秋学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 生態学I | 2 | | 春学期 | 吉竹 晋平 | 春学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | 進化生物学II | 2 | | 秋学期 | 細 将貴 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 遺伝学 | 2 | | 春学期 | 松本 隆 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 生物学史 | 2 | | 春学期 | 溝口 元 | 春学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 生命科学探索法 | 2 | | 秋学期 | 加藤 尚志 | 秋学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | 微生物学 | 2 | | 春学期 | 堀内 裕之 | 春学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 神経生理学 | 2 | | 春学期 | 黒川 信 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 生態学・実習 | | 2 | | 夏季集中 | 坂巻 義章 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | | | | | | 吉竹 晋平 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| | 地学通論実験I | | 1 | | 春学期 | 大森 聡一 | 春学期 | 木 | 5時限~6時限 | 1700 | 2035 |
| | | | | | | 清水 啓介 | 秋学期 | 木 | 5時限~6時限 | 1700 | 2035 |
| | | | | | | 清家 一馬 | 秋学期 | 木 | 5時限~6時限 | 1700 | 2035 |
| 高木 秀雄 | | | | | | 秋学期 | 木 | 5時限~6時限 | 1700 | 2035 | |

※総合科学プログラム対象科目です。

※生態学・実習：8月上旬実施予定

地球科学専修・他学科他専修聴講可能科目

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | | 曜日 | 時限 | 開始時間 | 終了時間 |
|------------|----------------|----|--------|-----------------|-----------------|------|---------|---------|------|------|
| | | | | | | 担当学期 | | | | |
| 1~4 | 地質学入門－地球の物質 | 2 | | 春学期 | 鈴木 由希 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 田口 知樹 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 地質学入門－地球の歴史 | 2 | | 秋学期 | 太田 亨 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 守屋 和佳 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 惑星地球の変動と進化 | 2 | | 秋学期 | 飯塚 理子 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | 高木 秀雄 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 惑星地球科学入門 | 2 | | 春学期 | 田中 優作 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | | | | | ティモシー・ジェイ・フェイガン | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 物理学I-1 | 2 | | 春学期 | 伊藤 悦朗 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 物理学I-2 | 2 | | 秋学期 | 喜古 正士 | 秋学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 気象の基礎物理 | 2 | | 春学期 | 伊賀 啓太 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 大気の変動と気象システム | 2 | | 秋学期 | 伊賀 啓太 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 情報地球科学 | 2 | | 春学期 | 田中 優作 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 生物学通論I | 2 | | 春学期 | 刀裨 重信 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| 生物学通論II | 2 | | 秋学期 | 坂巻 義章 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| 環境化学 | 2 | | 秋学期 | 田中 伸幸 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 鉱物学 | 2 | | 秋学期 | 清田 馨 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| アメリカ西部地質巡検 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 2~4 | 生物学通論実験II | 1 | | 秋学期 | 富永 基樹 | 秋学期 | 月 | 1時限～2時限 | 0850 | 1220 |
| | 生物学通論実験II | 1 | | 秋学期 | 富永 基樹 | 秋学期 | 月 | 1時限～2時限 | 0850 | 1220 |
| | 地史学I | 2 | | 春学期 | 守屋 和佳 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 地史学II | 2 | | 秋学期 | 守屋 和佳 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 構造地質学 | 2 | | 秋学期 | 高木 秀雄 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 天体物理学I | 2 | | 秋学期 | 矢治 健太郎 | 秋学期 | 土 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 地球物理学 | 2 | | 春学期 | 馬場 久紀 | 春学期 | 土 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 地震学 | 2 | | 秋学期 | 馬場 久紀 | 秋学期 | 土 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 古生物学I | 2 | | 春学期 | 守屋 和佳 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 古生物学II | 2 | | 秋学期 | 守屋 和佳 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 分析化学実験 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 地形解析法 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 堆積学I | 2 | | 春学期 | 太田 亨 | 春学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 堆積学II | 2 | | 秋学期 | 太田 亨 | 秋学期 | 月 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 衛星地球観測学 | 2 | | 秋学期 | 田中 優作 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 変動地形学 | 2 | | 春学期 | 渡辺 満久 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 地球化学 | 2 | | 秋学期 | 飯塚 理子 | 秋学期 | 木 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 物理学II(電磁気学) | 2 | | 春学期 | 喜古 正士 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 物理学III(量子力学入門) | 2 | | 秋学期 | 笹川 幸則 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 鉱床学 | 2 | | 秋学期 | 村上 浩康 | 秋学期 | 土 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 地質図学演習 | 2 | | 秋学期 | 太田 亨 | 秋学期 | 水 | 3時限～4時限 | 1310 | 1645 | |
| | 2 | | 秋学期 | 高木 秀雄 | 秋学期 | 水 | 3時限～4時限 | 1310 | 1645 | |
| 惑星科学 | 2 | | 春学期 | ティモシー・ジェイ・フェイガン | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| 地球システム科学 | 2 | | 秋学期 | 澤口 隆 | 秋学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 3~4 | 天体物理学II | 2 | (西早稲田) | 春学期 | 辻川 信二 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 山田 章一 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 石油地球化学 | 2 | | 秋学期 | 早稲田 周 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 地殻運動論 | 2 | | 春学期 | 高木 秀雄 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 石油地質学 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 地質工学 | 2 | | 春学期 | 宇田川 義夫 | 春学期 | 土 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 岩石成因論 | 2 | | 春学期 | 田口 知樹 | 春学期 | 火 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 地球物質科学 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 結晶化学熱力学 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 結晶化学 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 物理探鉱法 | 2 | | 春学期 | 馬場 久紀 | 春学期 | 土 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 地球テクトニクス | 2 | | 秋学期 | 山野 誠 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 海洋科学 | 2 | | 春学期 | 道田 豊 | 春学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| | 海洋底ダイナミクス | 2 | | 秋学期 | 芦 寿一郎 | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 |
| 沖野 郷子 | | | | | 秋学期 | 木 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| 同位体地球化学 | 2 | | 春学期 | 飯塚 理子 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

時間割他学科他専修

数学科・他学科他専修聴講可能科目

| 年次 | 科目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 | |
|----------------|---------------|----|-----|-------|-------|-------|-----|------|------|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 | |
| 2~4 | 統計入門 | 2 | | 春学期 | 梁 松 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 統計数学 | 2 | | 秋学期 | 梁 松 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 幾何1 | 2 | | 春学期 | 谷山 公規 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 幾何2 | 2 | | 秋学期 | 谷山 公規 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 微積分3 | 2 | | 秋学期 | 三竹 大寿 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 実解析学 | 2 | | 春学期 | 安藤 浩志 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 応用数学1 | 2 | | 春学期 | 高島 克幸 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 応用数学2 | 2 | | 秋学期 | 高島 克幸 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 応用数学3 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | 応用数学4 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | 応用数学5 | 2 | | 秋学期 | 安藤 浩志 | 秋学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 応用数学6 | 2 | | 秋学期 | 柳田 英二 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 情報数学1 | | 2 | A | 春学期 | 大池 浩一 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | B | 【休講】 | | | | | | |
| | | | | C | 春学期 | 多田 武丸 | 春学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 情報数学2 | | 2 | A | 秋学期 | 大池 浩一 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | B | 【休講】 | | | | | | |
| | | | | C | 秋学期 | 多田 武丸 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 情報数学3 | 2 | | 春学期 | 北川 宜稔 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 情報数学4 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | 情報数学5 | 2 | | 春学期 | 高島 克幸 | 春学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 情報数学6 | 2 | | 秋学期 | 高島 克幸 | 秋学期 | 木 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 情報システム1 | 2 | | 春学期 | 諸橋 玄武 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 情報システム2 | 2 | | 秋学期 | 諸橋 玄武 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 情報通信ネットワーク1 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | 情報通信ネットワーク2 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | マルチメディア基礎と応用I | 2 | | 春学期 | 前野 謙二 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| マルチメディア基礎と応用II | 2 | | 秋学期 | 前野 謙二 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 数理科学1 | 2 | | 春学期 | 新井 仁之 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 3~4 | フーリエ解析 | 2 | | 秋学期 | 戸松 玲治 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 数学基礎論1 | 2 | | 春学期 | 板井 昌典 | 春学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 数学基礎論2 | 2 | | 秋学期 | 板井 昌典 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 代数2 | 2 | | 春学期 | 遠藤 直樹 | 春学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 代数3 | 2 | | 秋学期 | 遠藤 直樹 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 代数4 | 2 | | 春学期 | 大野 真裕 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 代数5 | 2 | | 秋学期 | 大野 真裕 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| | 代数6 | 2 | | 秋学期 | 桑田 孝泰 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 代数7 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | 代数8 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | 幾何3 | 2 | | 春学期 | 谷山 公規 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 幾何4 | 2 | | 秋学期 | 谷山 公規 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 幾何5 | 2 | | 春学期 | 丹下 稜斗 | 春学期 | 火 | 4時限 | 0850 | 1030 | |
| | 幾何6 | 2 | | 秋学期 | 丹下 稜斗 | 秋学期 | 月 | 1時限 | 0850 | 1030 | |
| | 多様体論1 | 2 | | 春学期 | 渡邊 展也 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 多様体論2 | 2 | | 秋学期 | 渡邊 展也 | 秋学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 確率論1 | 2 | | 春学期 | 河備 浩司 | 春学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | 確率論2 | 2 | | 秋学期 | 河備 浩司 | 秋学期 | 火 | 5時限 | 1700 | 1840 | |
| | 複素解析1 | 2 | | 春学期 | 横川 光司 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 複素解析2 | 2 | | 秋学期 | 横川 光司 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 関数解析 | 2 | | 秋学期 | 森 迪也 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 微分方程式と数理モデル | 2 | | 春学期 | 梁 松 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 関数方程式 | 2 | | 春学期 | 柳田 英二 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| | 現代数学教育 | 2 | | 春学期 | 宮川 健 | 春学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 数学特論1 | 2 | | 秋学期 | 梁 松 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| | 数学特論2 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| | 数学特論3 | 2 | | 【休講】 | | | | | | | |
| 数学特論4 | 2 | | 春学期 | 小沢 誠 | 春学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| 数学特論5 | 2 | | 春学期 | 駒野 雄一 | 春学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 数学特論6 | 2 | | 秋学期 | 駒野 雄一 | 秋学期 | 月 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 数学特論7 | 2 | | 秋学期 | 小沢 誠 | 秋学期 | 金 | 3時限 | 1310 | 1450 | | |
| 数学特論8 | 2 | | 秋学期 | 戸松 玲治 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |
| 数学特論9 | 2 | | 秋学期 | 宮川 健 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | | |

複合文化学科・他学科他専修聴講可能科目

| 年次 | 科 目 | 単位 | 組名 | 学期 | 担当教員 | 担当学期 | 曜日 | 時限 | 開始 | 終了 |
|---------------|-------------------------|----|------|-------------|-------------|------|-----|------|------|------|
| | | | | | | | | | 時間 | 時間 |
| 1~4 | ネットワーク論I(社会) | 2 | | 秋学期 | 橋本 典明 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | マルチメディア論I(産業・技術) | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | マルチメディア論II(社会) | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | メディア・コミュニケーション論(情報メディア) | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| 2~4 | 複合文化学の道具箱I | 2 | | 春学期 | 秋野 有紀 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 神尾 達之 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 浜 邦彦 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 福田 育弘 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 複合文化学の道具箱II | 2 | | 春学期 | 神岡 理恵子 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 鴻野 わか菜 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 野澤 文二 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 原 克 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 福田 育弘 | 春学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 複合文化学特論1 | 2 | | 【休講】 | | |
| | 複合文化学特論2 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 複合文化学特論3 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 複合文化学特論4 | 2 | | 秋学期 | 清水 賢一郎 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 複合文化学特論5 | 2 | | 秋学期 | 後藤 雄介 | 秋学期 | 金 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 複合文化学特論6 | 2 | | 春学期 | 浜 邦彦 | 春学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 複合文化学特論7 | 2 | | 春学期 | ウジーニ エフゲーニー | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 複合文化学特論8 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 複合文化学特論9 | 2 | | 春学期 | 大寺 眞輔 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 複合文化学特論11 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 複合文化学特論13 | 2 | | 秋学期 | 藤本 愛 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | 複合文化学特論14 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 複合文化学特論15 | 2 | | 春学期 | 磯貝 日月 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 福田 育弘 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 三村 一郎 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 吉川 成美 | 春学期 | 月 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 複合文化学特論16 | 2 | | 秋学期 | 北山 雅昭 | 秋学期 | 金 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 複合文化学特論18 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 複合文化学特論19 | 2 | | 秋学期 | 福田 育弘 | 秋学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 複合文化学特論20 | 2 | | 秋学期 | 向後 恵里子 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 複合文化学特論21 | 2 | | 春学期 | 野澤 文二 | 春学期 | 水 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | 複合文化学特論22 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | ドイツ語圏の社会と文化 | 2 | | 秋学期 | 原 克 | 秋学期 | 火 | 2時限 | 1040 | 1220 |
| | フランス語圏の社会と文化 | 2 | | 秋学期 | 福田 育弘 | 秋学期 | 水 | 5時限 | 1700 | 1840 |
| | 中国語圏の社会と文化 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | スペイン語圏の社会と文化 | 2 | | 春学期 | 後藤 雄介 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | ドイツ語圏の文学 | 2 | | 秋学期 | 秋野 有紀 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | フランス語圏の文学 | 2 | | 秋学期 | 丸川 誠司 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 中国語圏の文学 | 2 | | 春学期 | 梅田 雅子 | 春学期 | 火 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | スペイン語圏の文学 | 2 | | 春学期 | 久野 量一 | 春学期 | 月 | 6時限 | 1855 | 2035 |
| | 海外でのドイツ語研修I | 2 | | 夏季集中 | 神尾 達之 | 夏季集中 | 無 | その他 | | |
| 海外でのフランス語研修I | 2 | | 夏季集中 | 野澤 文二 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| | | | 夏季集中 | 福田 育弘 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| 海外での中国語研修I | 2 | | 夏季集中 | 清水 賢一郎 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| | | | 夏季集中 | 西田 文信 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| 海外でのロシア語研修I | 2 | | 夏季集中 | ウジーニ エフゲーニー | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| 海外でのスペイン語研修I | 2 | | 夏季集中 | 後藤 雄介 | 夏季集中 | 無 | その他 | | | |
| 海外でのドイツ語研修II | 2 | | 春季集中 | 神尾 達之 | 春季集中 | 無 | その他 | | | |
| 海外でのフランス語研修II | 2 | | 春季集中 | 野澤 文二 | 春季集中 | 無 | その他 | | | |
| | | | 春季集中 | 福田 育弘 | 春季集中 | 無 | その他 | | | |
| 海外での中国語研修II | 2 | | 夏季集中 | 清水 賢一郎 | 春季集中 | 無 | その他 | | | |
| | | | 夏季集中 | 西田 文信 | 春季集中 | 無 | その他 | | | |
| 海外でのロシア語研修II | 2 | | 春季集中 | ウジーニ エフゲーニー | 春季集中 | 無 | その他 | | | |
| 海外でのスペイン語研修II | 2 | | 春季集中 | 後藤 雄介 | 春季集中 | 無 | その他 | | | |
| ドイツ語研究 | 2 | | 秋学期 | 関根 裕子 | 秋学期 | 水 | 2時限 | 1040 | 1220 | |
| フランス語研究 | 2 | | 秋学期 | 山根 祐佳 | 秋学期 | 火 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 中国語研究 | 2 | | 秋学期 | 西田 文信 | 秋学期 | 水 | 3時限 | 1310 | 1450 | |
| スペイン語研究 | 2 | | 秋学期 | 佐藤 麻里乃 | 秋学期 | 水 | 1時限 | 0850 | 1030 | |

時間割他学科他専修

| | | | | | | | | | | |
|-------|------------|---|-----|------|--------|-----|-----|------|------|------|
| 2~4 | ネットワーク技術1 | 2 | | 春学期 | 前野 謙二 | 春学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | ネットワーク技術2 | 2 | | 秋学期 | 前野 謙二 | 秋学期 | 月 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 情報技術の応用と職業 | 2 | | 春学期 | 楠元 範明 | 春学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 情報社会・情報倫理 | 2 | | 秋学期 | 楠元 範明 | 秋学期 | 木 | 3時限 | 1310 | 1450 |
| | 複合文化学特論10 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 複合文化学特論12 | 2 | | 【休講】 | | | | | | |
| | 複合文化学の組立方 | 2 | | 秋学期 | 神尾 達之 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 神岡 理恵子 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| | | | | | 野澤 文二 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 |
| 浜 邦彦 | | | | | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 原 克 | | | | | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | |
| 福田 育弘 | 秋学期 | 木 | 4時限 | 1505 | 1645 | | | | | |

IV 付 録

※教員連絡先一覧は MyWaseda 上に掲載します。

教育学部ホームページ>在学生の方へ>科目登録・授業ガイド

<https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/>

上記のページにリンクを掲載しています。

レポートの作成・提出について

教育学部で課されるレポートの作成・提出にあたっては、以下の点に留意して臨んでください。

1. レポート課題の周知について

レポートの課題は、各科目の担当教員より教場・WasedaMoodle 等を通じて課されます。なお、教員から事務所に連絡があった場合のみ MyWaseda のお知らせや Waseda メールを通じて周知していますが、すべてのレポート課題が掲示されているわけではありません。詳細は必ず授業中または担当教員が指定する方法で確認してください。

2. レポート作成上の注意

インターネット上の著作物を簡単にコピー&ペーストできるようになったこともあり、近年、他人の文章をつなぎ合わせて自分のレポートとしている例や、他人の文章を不適切な形で自分のレポートの中に取り込んでしまっている例が増えてきています。当然ながら、他人の文章には友人等の作成したレポートも含まれます。

レポートを作成する際には、守らなければならないルールがあります。ルールを守らない場合はレポートとして認められませんし、不正行為として処分の対象となる場合もあります。

(1) 著作権法上のルール（これを守らないと法に抵触します）

レポートを書く際に、他人の文章や資料などを参照することも多いと思います。一部分であっても、他人の文章や資料をそのまま借用する場合は、以下に示す引用のルールに従う必要があります。

- ・他人の著作物を引用する必然性があること。
- ・かぎ括弧をつけるなど、自分の著作物と引用部分とが区別されていること。
- ・自分の著作物と引用する著作物との主従関係が明確であること。（自分の著作物が主体）。
- ・出所の明示がなされていること。*

*文化庁サイト「著作物が自由に使える場合」

http://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html

による。2021年1月25日現在。

出所の明示とは、印刷物の場合は著者名、著書・論文等のタイトル、当該ページ、出版社、出版年などを、Web ページの場合はサイト名、URL、アクセスした日時などを記すことです。他人の発想を利用したり、他人の主張を要約してレポートに取り込んだりする場合も出所の明示が必要です。

(2) 大学におけるレポートのルール

レポートにはオリジナリティが求められます。つまり、自分で調べ、考え、文章にしたことが評価の対象になるのです。その科目の履修者であるあなたに課されたレポートであれば、あなた自身の力で書き上げる必要があります。他人の力を借りてレポートを作成することは大学におけるレポートの趣旨に反します。

(3) 学問分野、履修科目でのルール

論文やレポートは学問分野によって書式など作成上のルールが異なる場合があります。

教育学部には文系から理系まで多様な学問分野の授業がありますので、それぞれの科目の担当教員の提示するレポート作成のルールをしっかりと確認し、それにのっとった形で論文やレポートを作成してください。

3. レポート提出先

レポート提出先はレポート課題と合わせて担当教員より指示されます。主な提出先には下記があげられます。

- ・ 教場（指定日の授業中に回収します）
- ・ Waseda Moodle
- ・ レポートボックス
- ・ E-mail 添付
- ・ その他（教員宅へ郵送等、適宜教員の指示による）



4. レポート用表紙の添付

レポートボックスに提出するレポートには、教育学部所定のレポート用表紙をつけて提出してください（提出先がレポートボックス以外の場合は、担当教員の指示に従ってください）。レポート用表紙は、16号館2階サービスルームに用意しています。

以下のことに注意し、確実に担当教員の手元に届くレポート作りを心がけてください。

- (1) レポート用表紙の必要事項をすべて記入すること。特に、複数教員担当科目の場合は担当教員のほかに提出先教員を明記すること。
- (2) 表紙が外れた場合に備え、レポート本体にも学籍番号・氏名を明記すること。
- (3) 紙の向きをそろえて下記位置をホッチキスで固定すること（縦書きの場合は天地がそろわなくてもかまいません）。

例

| A4（横書き・縦書き）レポート | B4（縦書き）原稿用紙 |
|--|---|
| <div style="text-align: center;">  <p>レポート用表紙</p> </div> <p>横書き 表紙とレポート本体の天地をそろえて、 左肩1ヶ所に2本打つ</p> <p>縦書き レポート本体の右肩と表紙の左肩を 合わせて、1ヶ所に2本打つ</p> | <div style="text-align: center;">  <p>レポート用表紙</p> </div> <p>表紙と原稿用紙の天地をそろえて、右肩1ヶ所に2本打つから、原稿用紙は2つに折る</p> |

5. レポートボックスへの提出について

提出先がレポートボックスの場合には、事務局が指定の受付期間にレポートボックスを設置し、レポート課題用紙を掲示板に掲出します。そこに記されたレポートボックス番号を確認し、該当するボックスに投函してください。

なお、教育学部のレポートボックス利用は教育学部設置科目が対象となっています。他箇所設置科目のレポートボックス指定の提出については、当該科目設置箇所に確認してください。オープン教育センター設置科目およびメディアネットワークセンター設置科目については7号館早稲田ポータルオフィスにお問い合わせください。

(1) レポートボックス設置場所

16号館2階 エレベーターホール前のサービスルーム内

(2) 提出受付時間

サービスルーム開室時間のみ提出可能です。

* サービスルーム開室時間

| 授業期間中・春季休業中 | 夏季・冬季休業中 |
|--------------|--------------|
| 月 - 土 | 月 - 金 |
| 9:00 - 21:00 | 9:00 - 19:30 |

※印刷等の事務取扱いはLL準備室開室時間中のみ（月-金曜 9:00-17:00、土曜 9:00-14:00）

※都合により取扱時間を変更する場合は、事前に周知します。

*当該レポートの受付期間外の事務局への提出や教員への転送には一切応じられません。

*日曜祝日・夏季一斉休業期間・年末年始休業期間等の大学の休業日および入学試験実施に伴う早稲田キャンパスの立ち入り禁止期間の他、教育学部が指定するサービスルーム閉室日にはレポートを提出することはできません。

(3) 注意事項

- ①所定の体裁が整っておらず、持ち主不明のレポートが発生した場合、事務局では対応できません（担当教員の手元に届けることができません）。
- ②受付期間外に投函した場合、違う科目のレポートボックスに誤投函した場合には、提出を「無効」とし、当該ボックスのレポートを回収後、学生に返却します。
- ③一度投函したレポートの返却はできません。

以上

早稲田大学 教育学部

授業欠席の取り扱いについて

以下の事例により、「授業欠席（オンライン授業における未受講を含む）」、「レポート未提出」、「試験未受験」に該当する場合は、所属箇所（学部・研究科等）事務所で手続きを行うことで、その間の取り扱いについて成績評価において不利にならないよう当該科目の担当教員に配慮を願い出ることができます。ただし、欠席の取扱いの最終的な判断は、担当教員の判断によります。

1 忌引き

(1) 対象

1 親等（親、子）、2 親等（兄弟姉妹、祖父母、孫）および配偶者

(2) 日数

授業実施日連続 7 日まで（ただし、対象者が海外在住者の場合は、柔軟に対応する）

(3) 手続方法

- ① 欠席期間終了後 10 日以内に、所属箇所事務所より「忌引きによる欠席届」を受け取る。
- ② 「忌引きによる欠席届」（記入済）および会葬礼状等を、すみやかに所属箇所事務所に提出する。
※保護者等死去の場合は、保護者等変更の手続きも必要。
- ③ 所属箇所事務所より「忌引きによる授業欠席等に関する取扱いのお願い」を受領。
- ④ 担当教員に、教場にて（オンライン授業の場合は E メール、LMS 等を通じて、あるいは科目設置箇所事務所に）、「忌引きによる授業欠席等に関する取扱いのお願い」を渡し、配慮を願い出る。

2 裁判員制度

(1) 対象

裁判員候補者に指名され、裁判員選任手続期日、審理・公判当日に、裁判所へ出頭する本学通学課程に在学する者（国内交換留学生は、これに準ずる）

※科目等履修生や人間科学部 e スクール学生は対象外とする。

【参考】法律により学生であることを理由に、裁判員の辞退を願い出ることができます。

裁判員の参加する刑事裁判に関する法律（第十六条抜粋）

（辞退事由）

第十六条 次の各号のいずれかに該当する者は、裁判員となることについて辞退の申し立てをすることができる。

- 一 年齢七十年以上の者
- 二 地方公共団体の議会の議員（会期中の者に限る。）
- 三 学校教育法第一条、第二百二十四条又は第三十四条の学校の学生又は生徒（常時通学を要する課程に在学する者に限る。）

(2) 手続方法

- ① 「選任手続期日のお知らせ（呼出状）」とともに、所属箇所事務所に申し出る。
- ② 担当教員に、教場にて（オンライン授業の場合は E メール、LMS 等を通じて、あるいは科目設置箇所事務所に）、「配慮願」を渡し、配慮を願い出る。

3 学校において予防すべき感染症【保健センター／学校保健安全法による】

(1) 対象

保健センターホームページ「学校において予防すべき感染症」参照

*新型コロナウイルス関連についても以下をご確認ください。

<https://www.waseda.jp/inst/hsc/information/healthcare/infection>

(2) 手続方法

- ① 罹患したことを、所属学部または大学院事務所に連絡する。
- ② 治癒後、診断を受けた医師に「学校における感染症治癒証明書」の記入を依頼し、所属学部または大学院事務所に提出する。
- ③ 所属学部または大学院所定の「欠席届」に記入し、所属学部または大学院事務所の指示に従い、担当教員に配慮を願い出る。

※新型コロナウイルス感染症の場合は、出席停止を指示する範囲及び手続方法が異なる場合があるため、最新の情報を上記の保健センターホームページで確認してください。なお、罹患の場合のみならず、ワクチン接種の副反応による欠席および大学が出席停止を指示した場合等の欠席も、配慮を願い出ることが可能です。詳細は所属の学術院事務所までお問合せください。

4 「介護等体験」「教育実習」期間の取り扱い【教職課程】

(1) 対象

教職課程を履修し、「介護等体験」または「教育実習」を行う者

(2) 日数

実習期間

※クォーター科目の履修期間中に実習期間が該当する場合、配慮が難しいため、当該期間にはクォーター科目の履修登録を行わないこと。

(3) 手続方法等

介護等体験、教育実習ともに欠席配慮の申し出方法とその手続きは、対象者へ Waseda Moodle 等で通知する。所定の手続きを行うことで欠席の配慮を申し出ることができるが、この最終的な取扱いは各科目担当教員の判断による。

授業期間中の全学休講の取り扱いについて

気象情報悪化等、次に挙げる事案に際し、全学休講とする場合があります（休日および休業期間を除く）。休講・延期となるのは、対象キャンパスにて対面で実施されるすべての授業および試験となります。

学生は大学の決定した授業の休講・試験の延期措置に原則として従うこととしますが、授業が実施されるキャンパスまでの経路において、交通機関の乱れや弾道ミサイル発射に伴う J アラート発信等により通学することが危険又は困難であると自身で判断し、通学を見合わせた場合は、所属箇所事務所による承認済みの欠席届をもって、該当科目の担当教員へ配慮を願い出ることができます。

■例外的な対応

※オンライン授業受講にあたっては、授業を受講する場所において、気象状況の影響等により受講が困難である場合は、各自で判断する。各自の判断で視聴を見合わせた場合は、後日所属学部（研究科）において手続きを行うことにより、欠席の配慮を求めることができる。

1 気象状況悪化

気象庁による気象警報のみに基づく授業の休講・試験の延期措置は行いません。ただし、大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪等の気象状況および気象庁による気象警報をもとに、危険であると判断した場合は、次の通り、授業の休講・試験の延期措置をとります。なお、大学から特段の通知等がない場合は、原則として授業の休講・試験の延期措置は行いません。

- ① 授業の休講・試験の延期措置を決定する場合は、原則として、各時限の授業・試験開始 60 分前までに決定し、以下に記載の「緊急時の通知方法」に従って周知・広報する。ただし、できる限り授業・試験開始の 2 時間前までには周知できるよう努力する。
- ② 台風や大雪等、気象状況が時間の経過とともに悪化することが十分予測される場合は、前日に授業の休講・試験の延期措置の決定を行うことがある。その場合は、前日の午後 7 時までに決定の判断を行い、学生への周知は以下に記載の「緊急時の通知方法」に従って前日の午後 9 時までに通知を行う。

2 大地震

大地震発生により、授業実施が困難であると判断した場合は、次の通り、授業の休講・試験の延期措置をとります。

- ① 授業の休講・試験の延期措置を決定した場合は、直ちに以下に記載の「緊急時の通知方法」で周知・広報する。
- ② 授業時間中の場合は、校内放送で迅速に周知する。

3 大規模停電

電力需要量が供給量を大幅に上回り、予測不能な大規模停電が発生した場合は、次の通り授業を休講とし、復旧の翌日の 1 時限から授業を再開します。

- ① 授業時間中（1～7 時限）に大規模停電が発生した場合は、状況が落ち着くまで教室待機とします。その後の授業は全て休講とします。

② 授業時間外に大規模停電が発生した場合は、当日の授業は全て休講とします。

4 首都圏の交通機関がストライキを実施した場合

早稲田・戸山・西早稲田キャンパスは①②③④を適用し、所沢キャンパスは①②③⑤を適用します。

- ① JR等交通機関のストライキが実施された場合（ゼネスト）は次の通りとします。
- A 午前0時までに中止された場合、平常通り授業を行います。
 - B 午前8時までに中止された場合、授業は3時限目（午後1時）から行います。
 - C 午前8時までに中止の決定がない場合は、授業は終日休講とします。
- 上記は、JRの順法闘争および私鉄のストには適用しません。
- ② 首都圏JRの部分（拠点）ストライキが実施された場合は通常通り授業を行います。
- ③ 首都圏JRの全面時限ストライキが実施された場合は次の通りとします。
- A 午前8時までストライキが実施された場合、授業は3時限目（午後1時）から行います。
 - B 正午までストライキが実施された場合、6時限目（午後6時15分）から授業を行います。
 - C 正午を越えてストライキが実施された場合、授業を終日休講とします。
- ④ 私鉄、都市交通のみストライキが実施された場合は、平常通り授業を行います。
- ⑤ 西武鉄道新宿線または西武鉄道池袋線のどちらか一方でもストライキが実施された場合、また、西武鉄道両線が実施されない場合でも西武バスのストライキが実施された場合、次の通りとします。
- A 午前8時までストライキが実施された場合、授業は3時限目（午後1時）から行います。
 - B 午前8時を越えてストライキが実施された場合、授業を終日休講とします。

緊急時の通知方法

緊急時に大学から通知する内容は、以下の方法で確認してください。

1. 早稲田大学緊急用お知らせサイト <https://emergency-notice.waseda.jp/>
2. MyWaseda 内のお知らせ
3. Waseda メール

また、以下からも同一の内容にアクセスできます。

1. MyWaseda ログイン前画面 <https://my.waseda.jp/>
2. 早稲田大学公式 Web サイト <https://www.waseda.jp/>
3. 早稲田大学公式 Twitter https://twitter.com/waseda_univ
4. 早稲田大学公式 Facebook <https://www.facebook.com/WasedaU>